

本資料内に掲載されている平成 18 年から平成 22 年の統計については、数値の一部に誤りがあります。

修正後の数値は、

- 警察庁トップページ>統計>捜査活動に関する統計等>犯罪統計
 >「犯罪統計資料(平成 22 年 1～12 月【確定値】訂正版)」の「正誤情報」
 「犯罪統計(平成 20 年～平成 24 年)の訂正について」
- 警察庁トップページ>統計>捜査活動に関する統計等
 >年間の犯罪の「正誤情報」

をご確認ください。

平成22年の犯罪情勢

平成23年5月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯.....殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯.....暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯.....窃盗

知能犯.....詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯.....賭博、わいせつ

その他の刑法犯.....公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分率で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは 20 歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは 14 歳以上 20 歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(10) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに 14 歳以上 20 歳未満の少年の検挙人員をいう。

(11) 犯罪手口の名称変更

平成 16 年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(12) 発生場所

ア 「共同住宅（4 階建以上）」とは、中高層（4 階建以上）住宅とし、「共同住宅（3 階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4 階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成 20 年以前は、総合スーパー、ホームセンター、家電量販店の区分はない）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、コインランドリー、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、カラオケボックス、漫画喫茶・インターネットカフェ、深夜飲食店、その他の飲食店（平成 20 年以前は、コインランドリー、カラオケボックス、漫画喫茶・インターネットカフェの区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下通路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭（平成 20 年以前は、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

コ 「駐車(輪)場」とは、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場及び駐輪場（平成 20 年以前は、「駐車(輪)場」で、コインパーキング、月極駐車場、その他の駐車場、駐輪場の区分はない）とした。

サ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法の一部を改正する法律（平成 19 年 6 月 27 日法律第 98 号）による改正前の学校教育法第 1 条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第 82 条の 2 の専修学校及び同法第 83 条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

シ 「都市公園」とは、都市公園法第 2 条に規定する公園及び緑地で、同法第 2 条の 2 の規定に基づき設置されたものをいう。

(13) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(14) 暴力団構成員等

暴力団構成員等には、暴力団構成員のほか、準構成員を含む。

(15) オートバイ

オートバイとは、自動二輪（50cc 超）及び原動機付自転車（50cc 以下）とした。

(16) 高齢者

高齢者とは、65 歳以上の者とした。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）。

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成 22 年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	2
3 刑法犯の被害状況の推移	3

第 2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

1 街頭犯罪	7
(1) 路上強盗	8
(2) ひったくり	10
(3) 街頭における強姦	12
(4) 街頭における強制わいせつ	14
(5) 街頭における略取誘拐	16
(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝	18
(7) 自動車盗	22
(8) オートバイ盗	24
(9) 自転車盗	26
(10) 車上ねらい	29
(11) 部品ねらい	31
(12) 自動販売機ねらい	33
2 侵入犯罪	35
(1) 侵入強盗	35
(2) 侵入窃盗	37
(3) 住居侵入	40

第 3 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪	45
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	45
(2) 殺人事件の状況	46
ア 捜査本部設置事件の状況	48
イ 通り魔殺人事件	48
ウ 保険金目的殺人事件	49
エ 被疑者と被害者の関係別検挙件数	50
(3) 強盗事件の状況	51
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	53

イ	消費者金融対象強盗事件	55
ウ	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	55
エ	ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	56
オ	ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	57
カ	現金輸送車対象強盗事件	57
キ	タクシー対象強盗事件	58
ク	強盗の手口別認知・検挙状況	59
(4)	主な性犯罪の状況	60
(5)	略取誘拐・人身売買事件の状況	62
(6)	放火事件の状況	64
2	重要窃盗犯	66
(1)	重要窃盗犯の認知・検挙状況	66
(2)	組織窃盗事件の状況	69
(3)	建設機械等を使用した現金自動支払機等を対象とした窃盗事件	70
3	振り込め詐欺の状況	71
(1)	オレオレ詐欺	72
(2)	架空請求詐欺	73
(3)	融資保証金詐欺	74
(4)	還付金等詐欺	75
(5)	振り込め詐欺を助長する犯罪	75
ア	預貯金口座の不正な取得・流通	76
イ	携帯電話の不正な取得・流通	76
4	詐欺の状況	77
5	構造的な不正事案等	77
(1)	政治・行政をめぐる不正事案	77
ア	贈収賄事件	78
イ	談合・競売入札妨害事件	79
ウ	公職選挙法違反事件	79
エ	公務員犯罪	80
(2)	経済をめぐる不正事案	81
ア	企業犯罪、証券犯罪、財政侵害犯罪	81
イ	金融関連犯罪	81
(3)	通貨偽造犯罪	83
6	風俗犯の認知・検挙状況	84
(1)	強制わいせつの認知・検挙状況	84

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	84
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	84
(4) 賭博の認知・検挙状況	84
7 特殊事件・事故	85
(1) 人質立てこもり事件	85
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	86
8 その他の特徴的な犯罪	87
(1) 高齢者による犯罪	87
(2) 薬物常用者による犯罪	88
(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	88
(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	90
ア カードの窃盗被害の状況	90
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	91
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	91
(5) その他	92
ア 暴行・傷害の認知・検挙状況	92
イ 万引き・置引きの認知・検挙状況	94
ウ 公務執行妨害の認知・検挙状況	95
エ 器物損壊の認知・検挙状況	95
9 少年による犯罪	96
(1) 少年による刑法犯の検挙状況	96
(2) 少年による初発型非行の検挙状況	97
(3) 触法少年（刑法）の補導状況	98
10 来日外国人による犯罪	99
(1) 刑法犯の検挙状況	99
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	99
(3) 凶悪犯の検挙状況	100
(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	101
(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	102
11 暴力団による犯罪	103
(1) 暴力団構成員等の状況	103
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	104
12 女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪	106
(1) 女性を主たる被害者とする犯罪	106
ア 女性の犯罪被害の状況	106

イ	年齢層別の犯罪被害の状況	107
ウ	場所別被害の発生状況	108
エ	配偶者による暴力事件	109
(2)	子どもを主たる被害者とする犯罪	110
ア	子どもの犯罪被害の状況	110
イ	就学別の犯罪被害の状況	112
ウ	場所別被害の発生状況	112
エ	子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況	113
(3)	高齢者を主たる被害者とする犯罪	114
ア	高齢者の犯罪被害の状況	114
イ	場所別被害の発生状況	116

第4 資料

1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	119
2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	120
3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	122
4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	124
5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	126
6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	128
7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	128
8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	130
9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	130
10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	132
11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	132
12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	134
13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	134
14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	136
15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	136
16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	138
17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	140
18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	142
19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)(平成22年)	144
20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)(平成22年)	146
	図表索引	149

第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、以後、平成16年は8.1%、平成17年は11.5%、平成18年は9.6%、平成19年は6.9%、平成20年は4.8%、平成21年は6.3%、平成22年は6.9%(11万7,188件)と8年連続減少した結果、平成22年の認知件数は158万5,856件となった。

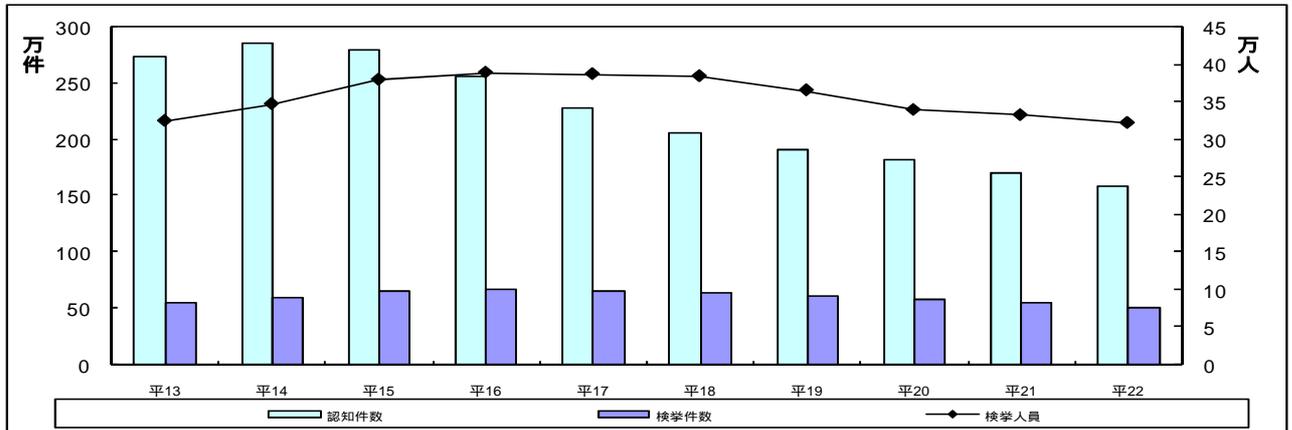
認知件数を前年と比較すると、減少件数が多いものとして、自転車盗、車上ねらい、器物損壊等、オートバイ盗、部品ねらい、詐欺等がある。一方、増加件数の多いものとして、倉庫荒し、強制わいせつ、公然わいせつ、病院荒し等がある。

検挙件数は、平成11年以降減少したのち、平成14年以降は増加していたが、平成17年に再び減少に転じ、平成22年であっても49万7,356件と、前年に比べ、4万7,343件(8.7%)減少している。その中でも、減少件数が多いものとして、車上ねらい、占有離脱物横領、自動販売機ねらい、空き巣、詐欺等がある。一方、増加件数の多いものとして、部品ねらい、倉庫荒し、暴行等がある。

検挙人員は、平成13年以降増加していたが、平成17年に減少に転じ、平成22年であっても、32万2,620人と、前年に比べ、1万268人(3.1%)減少している。その中でも、減少人数が多いものとして、占有離脱物横領、自転車盗、詐欺等がある。一方、増加人数の多いものとして、暴行、置引き、公然わいせつ等がある。

検挙率は、平成14年以降上昇傾向にあったが、平成20年に減少に転じ、平成21年はやや回復したものの、平成22年は31.4%と、前年に比べ0.6ポイント下降し、再び減少した(図表1-1)。

図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減 件(人)数	率(%)
認知件数		2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	-117,188	-6.9
検挙件数		542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	-47,343	-8.7
検挙人員		325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	-10,268	-3.1
うち少年 (割合%)		138,654 42.6	141,775 40.8	144,404 38.0	134,847 34.7	123,715 32.0	112,817 29.4	103,224 28.2	90,966 26.8	90,282 27.1	85,846 26.6	-4,436	-4.9
うち来日外国人 (割合%)		7,168 2.2	7,690 2.2	8,725 2.3	8,898 2.3	8,505 2.2	8,148 2.1	7,528 2.1	7,148 2.1	7,190 2.2	6,710 2.1	-480	-6.7
うち暴力団構成員等 (割合%)		19,650 6.0	20,405 5.9	20,265 5.3	19,472 5.0	18,629 4.8	18,016 4.7	16,621 4.5	16,242 4.8	16,312 4.9	15,782 4.9	-530	-3.2
検挙率		19.8	20.8	23.2	26.1	28.6	31.2	31.7	31.5	32.0	31.4	-0.6	ポイント

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

刑法犯認知件数を包括罪種別にみると、前年に比べ、凶悪犯は738件(8.9%)、粗暴犯は349件(0.5%)、窃盗犯は8万5,852件(6.6%)、知能犯は8,655件(16.3%)それぞれ減少したが、風俗犯は711件(7.0%)増加した。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別にみると、凶悪犯は0.5%、粗暴犯は4.0%、窃盗犯は76.5%、知能犯は2.8%、風俗犯は0.7%、その他の刑法犯は15.5%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は570件(9.4%)、窃盗犯は3万4,183件(9.4%)、知能犯は4,459件(13.1%)それぞれ減少しているが、粗暴犯は213件(0.5%)、風俗犯は264件(4.1%)それぞれ増加している。

検挙人員は、前年に比べ、凶悪犯は633人(11.2%)、窃盗犯は609人(0.3%)、知能犯は1,295人(8.4%)それぞれ減少しているが、粗暴犯は300人(0.6%)、風俗犯は82人(1.4%)それぞれ増加している(図表1-2)。

図表1-2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

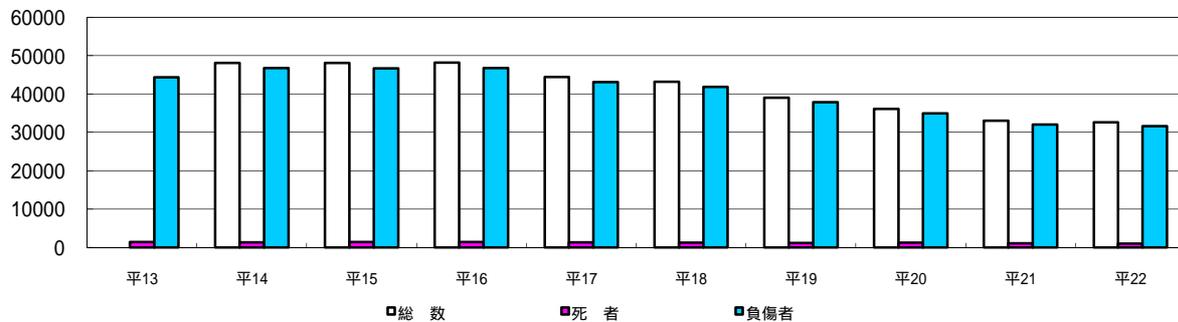
区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
刑法犯総数	認知件数(件)	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	-117,188	-6.9
	検挙件数(件)	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	573,392	544,699	497,356	-47,343	-8.7
	検挙人員(人)	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	339,752	332,888	322,620	-10,268	-3.1
凶悪犯	認知件数	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	8,581	8,314	7,576	-738	-8.9
	検挙件数	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461	6,229	6,073	5,503	-570	-9.4
	検挙人員	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	5,923	5,634	5,654	5,021	-633	-11.2
粗暴犯	認知件数	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	68,948	63,995	63,646	-349	-0.5
	検挙件数	39,924	40,425	42,296	41,128	44,037	49,409	49,656	47,772	45,719	45,932	213	0.5
	検挙人員	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	54,163	51,924	49,225	49,525	300	0.6
窃盗犯	認知件数	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	-85,852	-6.6
	検挙件数	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243	379,839	361,969	327,786	-34,183	-9.4
	検挙人員	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446	174,738	175,823	175,214	-609	-0.3
知能犯	認知件数	53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	73,252	53,002	44,347	-8,655	-16.3
	検挙件数	37,800	39,884	40,574	36,299	38,151	37,296	33,878	36,979	34,147	29,688	-4,459	-13.1
	検挙人員	11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760	15,264	15,145	15,433	14,138	-1,295	-8.4
風俗犯	認知件数	11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	11,184	10,559	10,182	10,893	711	7.0
	検挙件数	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462	6,376	6,478	6,742	264	4.1
	検挙人員	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279	6,048	5,951	6,033	82	1.4
その他の刑法犯	認知件数	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	283,843	268,257	245,952	-22,305	-8.3
	検挙件数	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	113,658	96,197	90,313	81,705	-8,608	-9.5
	検挙人員	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502	86,263	80,802	72,689	-8,113	-10.0

3 刑法犯の被害状況の推移

刑法犯の死傷被害者数は、平成9年以降増加しており、平成14年から平成16年までは4万8千人台で推移していたが、平成17年から減少し、平成22年は3万2,611人で、前年に比べ465人（1.4%）減少している。死傷被害者数の内訳をみると、死者は996人で、前年に比べ58人（5.5%）減少し、負傷者は3万1,615人で、前年に比べ407人（1.3%）減少している（図表1-3-(1)）。

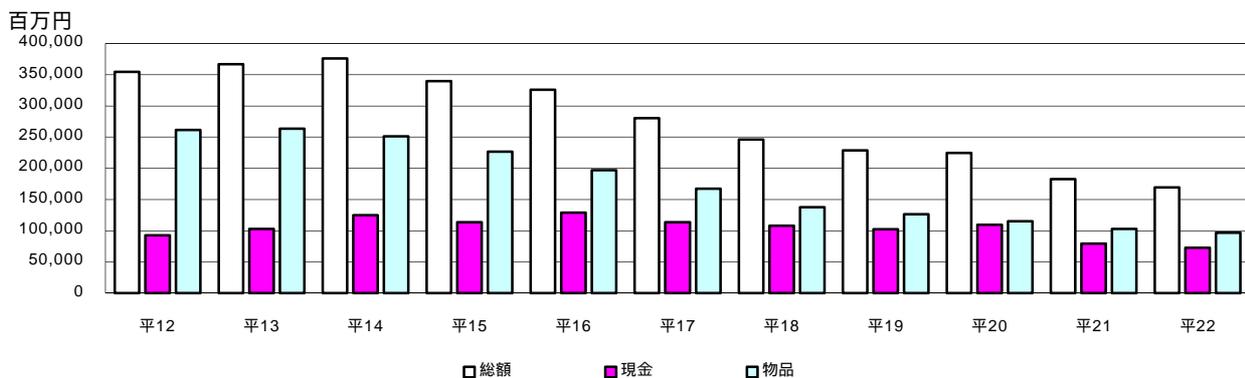
財産犯の被害額は、平成15年から減少しており、平成22年にあっても、約1,693億1,700万円で、前年に比べ約130億8,700万円（7.2%）減少している。被害の内訳をみると、現金の被害は約727億6,700万円で、前年に比べ約67億200万円（8.4%）、物品の被害は約965億5,000万円で、前年に比べ約63億8,500万円（6.2%）それぞれ減少している（図表1-3-(2)）。

図表1-3-(1) 刑法犯 死傷被害者数の推移



年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											人数	率(%)
総数	45,778	48,130	48,097	48,190	44,465	43,160	39,022	36,153	33,076	32,611	-465	-1.4
死者	1,441	1,368	1,432	1,397	1,354	1,284	1,134	1,211	1,054	996	-58	-5.5
負傷者	44,337	46,762	46,665	46,793	43,111	41,876	37,888	34,942	32,022	31,615	-407	-1.3

図表1-3-(2) 財産犯 被害額の推移



年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											金額	率(%)
総額	366,539	375,881	339,787	325,846	280,536	245,840	228,594	224,662	182,404	169,317	-13,087	-7.2
現金	103,026	124,948	113,321	128,928	113,386	108,010	102,245	109,408	79,469	72,767	-6,702	-8.4
物品	263,513	250,933	226,466	196,918	167,150	137,830	126,349	115,254	102,935	96,550	-6,385	-6.2

注：財産犯とは、強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領とした。

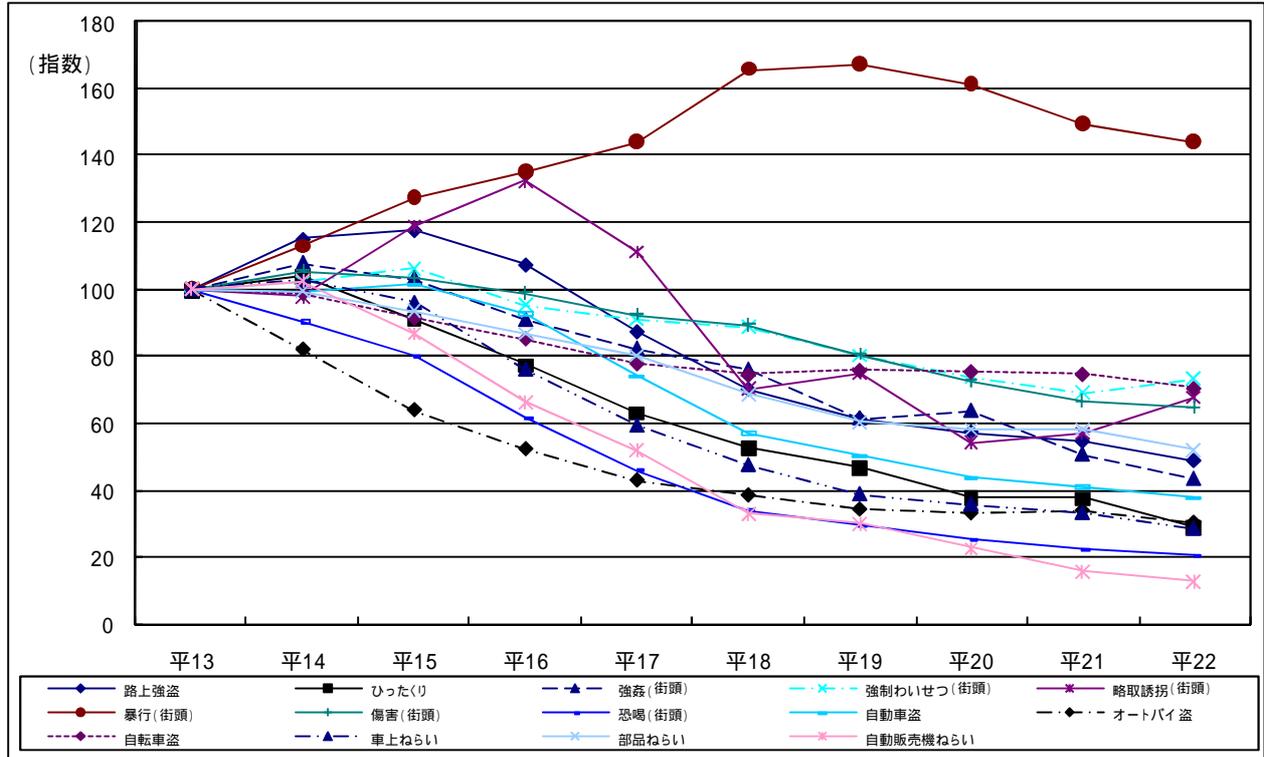
(単位：百万円)

第2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

1 街頭犯罪

主な街頭犯罪の認知件数は72万9,407件と、前年に比べ7万1,785件(9.0%)減少した。中でも、路上強盗、ひったくり、街頭における強姦、街頭における暴行、街頭における傷害、街頭における恐喝、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、車上ねらい、部品ねらい、自動販売機ねらいはそれぞれ減少しているが、街頭における強制わいせつ、街頭における略取誘拐はそれぞれ増加している(図表2-1)。

図表2-1 街頭犯罪の認知状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)
街頭犯罪(計) (指数)	1,664,309 100	1,630,549 98	1,481,377 89	1,275,413 77	1,086,497 65	943,614 57	876,346 53	831,410 50	801,192 48	729,407 44	-71,785	-9.0
路上強盗 (指数)	2,509 100	2,888 115	2,955 118	2,695 107	2,192 87	1,759 70	1,537 61	1,437 57	1,366 54	1,221 49	-145	-10.6
ひったくり (指数)	50,838 100	52,919 104	46,354 91	39,399 77	32,017 63	26,828 53	23,687 47	19,145 38	19,036 37	14,559 29	-4,477	-23.5
強姦(街頭) (指数)	806 100	869 108	832 103	732 91	663 82	612 76	495 61	513 64	408 51	349 43	-59	-14.5
強制わいせつ(街頭) (指数)	5,786 100	5,915 102	6,145 106	5,510 95	5,254 91	5,131 89	4,640 80	4,261 74	3,994 69	4,245 73	251	6.3
略取誘拐(街頭) (指数)	179 100	175 98	213 119	237 132	199 111	126 70	134 75	97 54	102 57	121 68	19	18.6
暴行(街頭) (指数)	11,352 100	12,814 113	14,477 128	15,319 135	16,332 144	18,816 166	18,993 167	18,306 161	16,950 149	16,358 144	-592	-3.5
傷害(街頭) (指数)	19,400 100	20,465 105	20,098 104	19,218 99	17,961 93	17,373 90	15,665 81	14,118 73	12,964 67	12,602 65	-362	-2.8
恐喝(街頭) (指数)	13,856 100	12,514 90	11,089 80	8,534 62	6,346 46	4,690 34	4,042 29	3,466 25	3,055 22	2,836 20	-219	-7.2
自動車盗 (指数)	63,275 100	62,673 99	64,223 101	58,737 93	46,728 74	36,058 57	31,790 50	27,515 43	25,815 41	23,775 38	-2,040	-7.9
オートバイ盗 (指数)	242,517 100	198,642 82	154,979 64	126,717 52	104,155 43	93,294 38	83,028 34	80,354 33	82,116 34	73,491 30	-8,625	-10.5
自転車盗 (指数)	521,801 100	514,120 99	476,589 91	444,268 85	406,104 78	388,463 74	395,344 76	393,462 75	389,476 75	367,509 70	-21,967	-5.6
車上ねらい (指数)	432,140 100	443,298 103	414,819 96	328,921 76	256,594 59	205,744 48	168,129 39	154,836 36	143,863 33	123,512 29	-20,351	-14.1
部品ねらい (指数)	129,380 100	128,539 99	120,726 93	112,161 87	103,772 80	88,739 69	78,016 60	75,423 58	75,361 58	67,307 52	-8,054	-10.7
自動販売機ねらい (指数)	170,470 100	174,718 102	147,878 87	112,965 66	88,180 52	55,981 33	50,846 30	38,477 23	26,686 16	21,522 13	-5,164	-19.4

注：指数は、平成13年を100とした場合の値である。

(1) 路上強盗

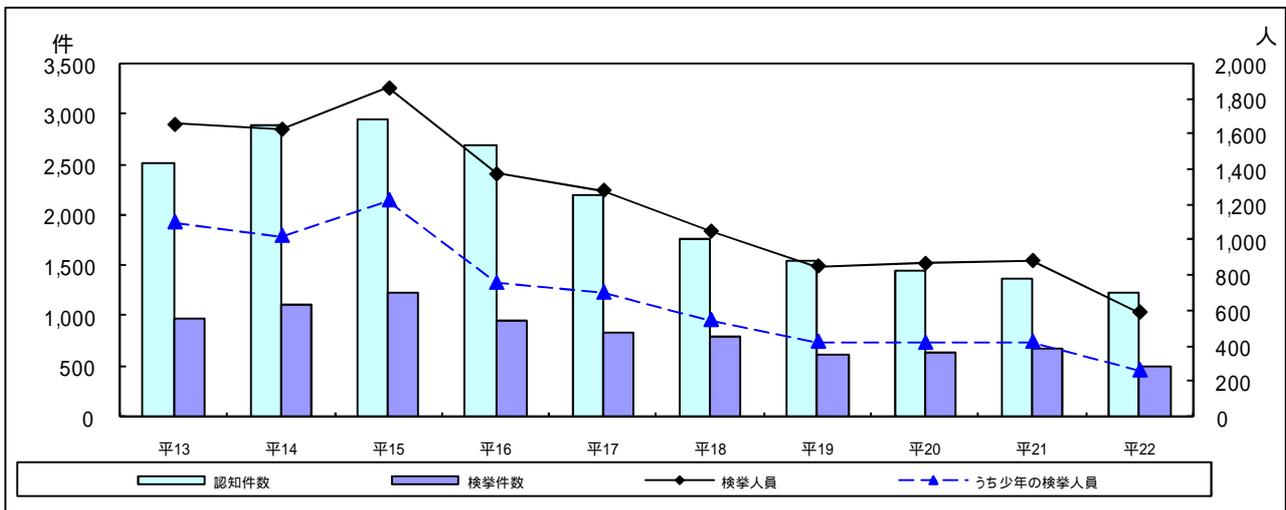
路上強盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は145件(10.6%)、検挙件数は164件(24.7%)、検挙人員は293人(33.1%)それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の45.5%(前年に比べ3.1ポイント低下)となっている(図表2-1-(1)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害者は20歳代の女性が最も多い(図表2-1-(1)-2、3、4)。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、その他・該当なしを除くと、自動車を利用したものが最も多い(図表2-1-(1)-5、6)。

図表2-1-(1)-1 路上強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759	1,537	1,437	1,366	1,221	-145	-10.6
うち未遂	126	154	186	155	148	103	94	104	101	93	-8	-7.9
検挙件数	968	1,104	1,226	955	836	788	621	625	665	501	-164	-24.7
検挙人員	1,658	1,631	1,865	1,377	1,285	1,053	855	869	886	593	-293	-33.1
うち少年	1,103	1,027	1,227	763	707	553	431	425	431	270	-161	-37.4
(割合%)	66.5	63.0	65.8	55.4	55.0	52.5	50.4	48.9	48.6	45.5	-3.1	-
検挙率	38.6	38.2	41.5	35.4	38.1	44.8	40.4	43.5	48.7	41.0	-7.7	ポイント

図表 2 - 1 - (1) - 2 路上強盗の発生場所別認知件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	1,366	100.0	1,221	100.0	-145	-10.6		
街頭	1,292	94.6	1,154	94.5	-138	-10.7		
道路上	1,122	82.1	1,004	82.2	-118	-10.5		
駐車(輪)場	127	9.3	108	8.8	-19	-15.0		
都市公園	35	2.6	32	2.6	-3	-8.6		
空き地	3	0.2	3	0.2	0	0.0		
公共交通機関等	4	0.3	6	0.5	2	50.0		
その他の交通機関	1	0.1	1	0.1	0	0.0		
その他の街頭	0	0.0	0	0.0	0	-		
その他	74	5.4	67	5.5	-7	-9.5		

図表 2 - 1 - (1) - 3 路上強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平21		264	180	90	30	18	48	26	34	53	118	198	306	1	1,366
平22		247	134	59	32	21	39	36	34	47	101	188	280	3	1,221
(割合%)		20.2	11.0	4.8	2.6	1.7	3.2	2.9	2.8	3.8	8.3	15.4	22.9	0.2	100.0
増減	件数	-17	-46	-31	2	3	-9	10	0	-6	-17	-10	-26	2	-145
率(%)		-6.4	-25.6	-34.4	6.7	16.7	-18.8	38.5	0.0	-11.3	-14.4	-5.1	-8.5	-	-10.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 4 路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成22年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	1,219	229	376	207	131	90	186
男性	515	114	135	108	55	50	53
(割合%)	42.2	9.4	11.1	8.9	4.5	4.1	4.3
女性	704	115	241	99	76	40	133
(割合%)	57.8	9.4	19.8	8.1	6.2	3.3	10.9

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 5 路上強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	655	100.0	485	100.0	-170	-26.0		
成人事件の総数	369	56.3	304	62.7	-65	-17.6		
単独	240	65.0	215	70.7	-25	-10.4		
共犯	129	35.0	89	29.3	-40	-31.0		
少年事件の総数	220	33.6	122	25.2	-98	-44.5		
単独	41	18.6	38	31.1	-3	-7.3		
共犯	179	81.4	84	68.9	-95	-53.1		
成人・少年共犯事件の総数	66	10.1	59	12.2	-7	-10.6		

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (1) - 6 路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次		平21		平22		増減	
	検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	655	100.0	485	100.0	-170	-26.0		
自動車	233	35.6	170	35.1	-63	-27.0		
うち盗難自動車	23	3.5	22	4.5	-1	-4.3		
自二車・原付車	84	12.8	55	11.3	-29	-34.5		
うち盗難自二車・原付車	25	3.8	17	3.5	-8	-32.0		
自転車	76	11.6	54	11.1	-22	-28.9		
その他・該当なし	262	40.0	206	42.5	-56	-21.4		

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(2) ひったくり

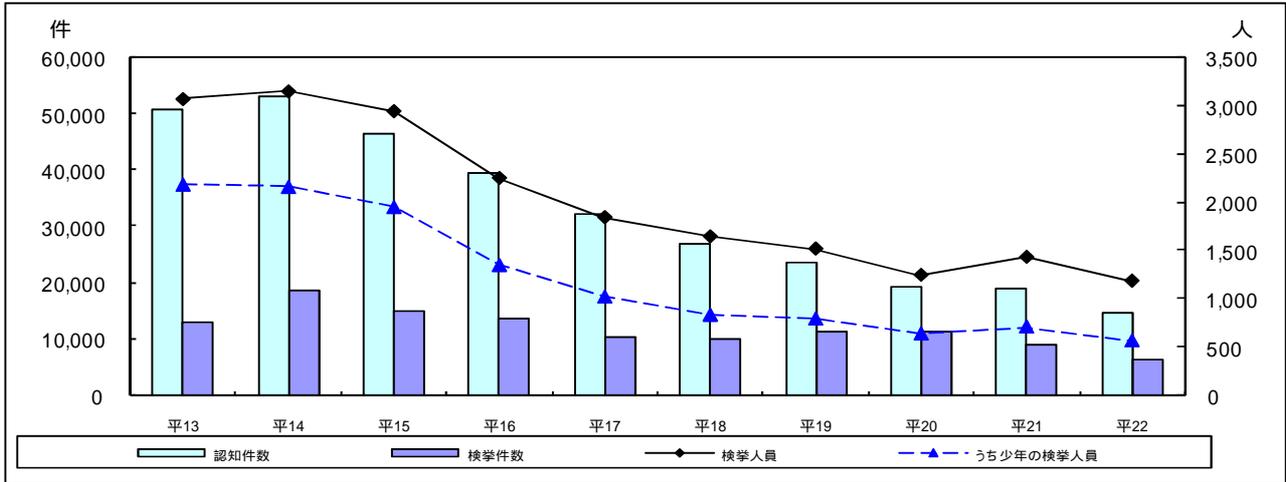
ひったくりの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は4,477件(23.5%)、検挙件数は2,728件(30.1%)、検挙人員は247人(17.2%)それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の47.7%(前年に比べ1.8ポイント低下)となっている(図表2-1-(2)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い(図表2-1-(2)-2、3、4)。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、盗難オートバイを利用したものが最も多い(図表2-1-(2)-5、6)。

図表 2 - 1 - (2) - 1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	-4,477	-23.5
	うち未遂	2,718	3,027	3,031	2,489	1,903	1,665	1,416	1,271	1,263	903	-360	-28.5
検挙件数		12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	-2,728	-30.1
検挙人員		3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	-247	-17.2
うち少年 (割合%)		2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	796	640	712	568	-144	-20.2
		71.2	68.6	66.3	59.8	55.4	50.5	52.2	51.2	49.5	47.7	-1.8	-
検挙率		25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	-4.1	ポイント

図表 2 - 1 - (2) - 2 ひったくりの発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
		認知件数	19,036	100.0	14,559	100.0	-4,477
街頭	道路上	18,608	97.8	14,205	97.6	-4,403	-23.7
	道路上	18,335	96.3	13,986	96.1	-4,349	-23.7
	駐車(輪)場	203	1.1	158	1.1	-45	-22.2
	都市公園	29	0.2	25	0.2	-4	-13.8
	空き地	5	0.0	3	0.0	-2	-40.0
	公共交通機関等	29	0.2	29	0.2	0	0.0
	その他の交通機関	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の街頭	7	0.0	4	0.0	-3	-42.9
その他	428	2.2	354	2.4	-74	-17.3	

図表 2 - 1 - (2) - 3 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平21	1,733	705	478	568	700	1,238	1,226	1,242	1,478	2,754	3,654	3,259	
平22		1,233	478	331	372	502	905	996	1,011	1,248	2,251	2,936	2,296	0	14,559
(割合%)		8.5	3.3	2.3	2.6	3.4	6.2	6.8	6.9	8.6	15.5	20.2	15.8	0.0	100.0
増減	件数	-500	-227	-147	-196	-198	-333	-230	-231	-230	-503	-718	-963	-1	-4,477
	率(%)	-28.9	-32.2	-30.8	-34.5	-28.3	-26.9	-18.8	-18.6	-15.6	-18.3	-19.6	-29.5	-100.0	-23.5

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 4 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成 22 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	14,554	806	2,959	1,943	1,727	2,036	5,083
男性	1,213	113	238	171	143	171	377
(割合%)	8.3	0.8	1.6	1.2	1.0	1.2	2.6
女性	13,341	693	2,721	1,772	1,584	1,865	4,706
(割合%)	91.7	4.8	18.7	12.2	10.9	12.8	32.3

注 1：被害者が団体・法人のものを除く。

注 2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 5 ひったくりの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		9,006	100.0	6,290	100.0	-2,716	-30.2
成人事件の総数		6,720	74.6	5,071	80.6	-1,649	-24.5
単独		5,089	75.7	4,251	83.8	-838	-16.5
共犯		1,631	24.3	820	16.2	-811	-49.7
少年事件の総数		2,123	23.6	1,079	17.2	-1,044	-49.2
単独		1,143	53.8	537	49.8	-606	-53.0
共犯		980	46.2	542	50.2	-438	-44.7
成人・少年共犯事件の総数		163	1.8	140	2.2	-23	-14.1

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (2) - 6 ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平21		平22		増減	
		検挙件数	割合(%)	検挙件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		9,006	100.0	6,290	100.0	-2,716	-30.2
自動車		783	8.7	507	8.1	-276	-35.2
うち盗難自動車		117	1.3	72	1.1	-45	-38.5
自二車・原付車		6,528	72.5	4,350	69.2	-2,178	-33.4
うち盗難自二車・原付車		3,471	38.5	2,429	38.6	-1,042	-30.0
自転車		1,008	11.2	781	12.4	-227	-22.5
その他・該当なし		687	7.6	652	10.4	-35	-5.1

注 1：解決事件を除く。

注 2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(3) 街頭における強姦

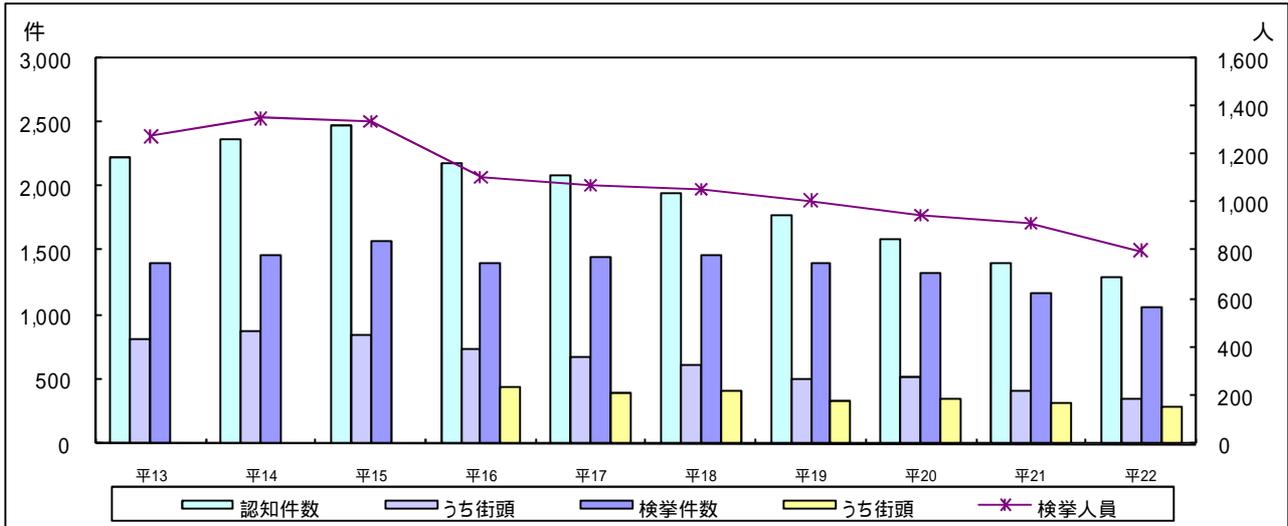
強姦の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 113 件（8.1%）、検挙件数は 100 件（8.6%）、検挙人員は 115 人（12.5%）それぞれ減少している。

うち街頭における認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は 59 件（14.5%）、検挙件数は 38 件（11.9%）それぞれ減少している（図表 2 - 1 - (3) - 1）。

街頭において発生した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後 10 時から午前 2 時、被害女性は 20 歳未満が最も多い（図表 2 - 1 - (3) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (3) - 5）。

図表 2 - 1 - (3) - 1 強姦の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数	認知件数	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	-113	-8.1
	うち街頭	806	869	832	732	663	612	495	513	408	349	-59	-14.5
	うち未遂	149	148	158	161	138	153	87	90	95	72	-23	-24.2
検挙件数	検挙件数	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	-100	-8.6
	うち街頭	-	-	-	438	394	408	329	348	318	280	-38	-11.9
検挙人員	検挙人員	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	-115	-12.5
検挙率	検挙率	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	-0.5	ポイント

図表 2 - 1 - (3) - 2 街頭における強姦の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
		認知件数	1,402	100.0	1,289	100.0	-113
街頭	街頭	408	29.1	349	27.1	-59	-14.5
	道路上	147	10.5	120	9.3	-27	-18.4
	駐車(輪)場	115	8.2	94	7.3	-21	-18.3
	都市公園	34	2.4	35	2.7	1	2.9
	空き地	34	2.4	38	2.9	4	11.8
	公共交通機関等	7	0.5	5	0.4	-2	-28.6
	その他の交通機関	68	4.9	57	4.4	-11	-16.2
	その他の街頭	3	0.2	0	0.0	-3	-100.0
その他	994	70.9	940	72.9	-54	-5.4	

図表 2 - 1 - (3) - 3 街頭における強姦の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平21	71	61	20	6	13	16	5	11	21	56	56	66	6
平22	64	45	28	7	4	3	7	12	15	43	56	64	1	349	
(割合%)		18.3	12.9	8.0	2.0	1.1	0.9	2.0	3.4	4.3	12.3	16.0	18.3	0.3	100.0
増減	件数	-7	-16	8	1	-9	-13	2	1	-6	-13	0	-2	-5	-59
	率(%)	-9.9	-26.2	40.0	16.7	-69.2	-81.3	40.0	9.1	-28.6	-23.2	0.0	-3.0	-83.3	-14.5

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 4 街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数（平成 22 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	349	182	135	23	6	2	1
(割合%)	100.0	52.1	38.7	6.6	1.7	0.6	0.3

注：主たる被害者の年齢を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 5 強姦の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,068	100.0	995	100.0	-73	-6.8
成人事件の総数		959	89.8	896	90.1	-63	-6.6
単独		887	92.5	851	95.0	-36	-4.1
共犯		72	7.5	45	5.0	-27	-37.5
少年事件の総数		97	9.1	86	8.6	-11	-11.3
単独		87	89.7	76	88.4	-11	-12.6
共犯		10	10.3	10	11.6	0	0.0
成人・少年共犯事件の総数		12	1.1	13	1.3	1	8.3

注：解決事件を除く。

(4) 街頭における強制わいせつ

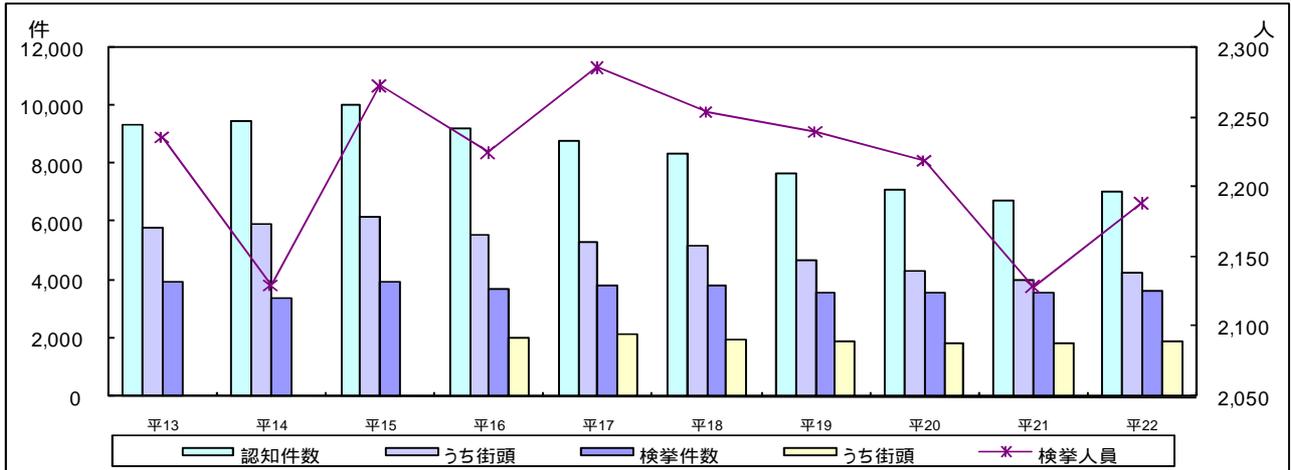
強制わいせつの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 339 件（5.1%）、検挙件数は 74 件（2.1%）、検挙人員は 60 人（2.8%）それぞれ増加している。

うち街頭における認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は 251 件（6.3%）、検挙件数は 52 件（2.9%）それぞれ増加している（図表 2 - 1 - (4) - 1）。

街頭において発生した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後 10 時から午前 0 時、被害者は 20 歳未満の女性が最も多い（図表 2 - 1 - (4) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (4) - 5）。

図表 2 - 1 - (4) - 1 強制わいせつの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人数)	率(%)
認知件数		9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	339 [↓]	5.1
	うち街頭	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131	4,640	4,261	3,994	4,245	251 [↑]	6.3
	うち未遂	364	353	413	311	320	330	263	252	240	267	27 [↑]	11.3
検挙件数		3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	74 [↑]	2.1
	うち街頭	-	-	-	2,009	2,091	1,951	1,853	1,810	1,820	1,872	52 [↑]	2.9
検挙人員		2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	60 [↑]	2.8
検挙率		41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	-1.5ポイント	

図表 2 - 1 - (4) - 2 街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		6,688	100.0	7,027	100.0	339	5.1
街頭	街頭	3,994	59.7	4,245	60.4	251	6.3
	道路上	2,707	40.5	3,013	42.9	306	11.3
	駐車(輪)場	511	7.6	484	6.9	-27	-5.3
	都市公園	195	2.9	203	2.9	8	4.1
	空き地	59	0.9	52	0.7	-7	-11.9
	公共交通機関等	433	6.5	403	5.7	-30	-6.9
	その他の交通機関	80	1.2	74	1.1	-6	-7.5
	その他の街頭	9	0.1	16	0.2	7	77.8
その他		2,694	40.3	2,782	39.6	88	3.3

図表 2 - 1 - (4) - 3 街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平21	582	221	140	242	187	106	99	184	277	508	672	762	14
平22	661	249	128	236	166	96	108	195	349	557	725	763	12	4,245	
(割合%)		15.6	5.9	3.0	5.6	3.9	2.3	2.5	4.6	8.2	13.1	17.1	18.0	0.3	100.0
増減	件数	79	28	-12	-6	-21	-10	9	11	72	49	53	1	-2	251
	率(%)	13.6	12.7	-8.6	-2.5	-11.2	-9.4	9.1	6.0	26.0	9.6	7.9	0.1	-14.3	6.3

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 4 街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数（平成 22 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	4,245	2,336	1,561	255	75	11	7
男性 (割合%)	59 1.4	49 1.2	9 0.2	0 0.0	0 0.0	1 0.0	0 0.0
女性 (割合%)	4,186 98.6	2,287 53.9	1,552 36.6	255 6.0	75 1.8	10 0.2	7 0.2

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 5 強制わいせつの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		3,396	100.0	3,470	100.0	74	2.2
成人事件の総数		3,005	88.5	2,965	85.4	-40	-1.3
単独		2,981	99.2	2,934	99.0	-47	-1.6
共犯		24	0.8	31	1.0	7	29.2
少年事件の総数		389	11.5	505	14.6	116	29.8
単独		374	96.1	479	94.9	105	28.1
共犯		15	3.9	26	5.1	11	73.3
成人・少年共犯事件の総数		2	0.1	0	0.0	-2	-100.0

注：解決事件を除く。

(5) 街頭における略取誘拐

略取誘拐の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 29 件（18.6%）、検挙件数は 11 件（7.9%）、検挙人員は 6 人（5.9%）それぞれ増加している。

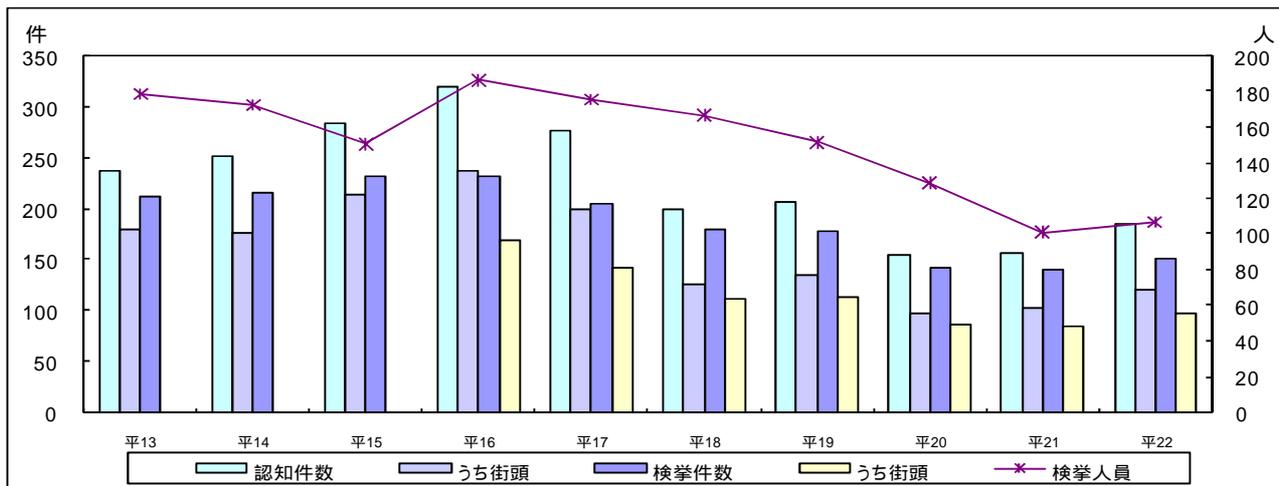
うち街頭における認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は 19 件（18.6%）、検挙件数は 12 件（14.1%）それぞれ増加している（図表 2 - 1 - (5) - 1）。

街頭において発生した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後 2 時から午後 4 時、被害者は 20 歳未満の女性が最も多い（図表 2 - 1 - (5) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (5) - 5）。

注：「略取誘拐」の認知・検挙件数、検挙人員には、人身売買の認知・検挙件数、検挙人員を含む（以下同じ）。

図表 2 - 1 - (5) - 1 略取誘拐の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件(人)数
認知件数		237	251	284	320	277	199	207	155	156	185	29	18.6
うち街頭		179	175	213	237	199	126	134	97	102	121	19	18.6
	うち未遂	35	44	61	77	55	35	28	22	23	22	-1	-4.3
検挙件数		211	215	231	232	204	180	178	141	140	151	11	7.9
うち街頭		-	-	-	168	141	112	113	86	85	97	12	14.1
検挙人員		179	173	151	187	176	167	152	129	101	107	6	5.9
検挙率		89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	-8.1	ポイント

図表 2 - 1 - (5) - 2 街頭における略取誘拐の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		156	100.0	185	100.0	29	18.6
街頭	街頭	102	65.4	121	65.4	19	18.6
	道路上	77	49.4	89	48.1	12	15.6
	駐車(輪)場	14	9.0	23	12.4	9	64.3
	都市公園	5	3.2	5	2.7	0	0.0
	空き地	0	0.0	2	1.1	2	#DIV/0!
	公共交通機関等	4	2.6	2	1.1	-2	-50.0
	その他の交通機関	2	1.3	0	0.0	-2	-100.0
	その他の街頭	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他		54	34.6	64	34.6	10	18.5

図表 2 - 1 - (5) - 3 街頭における略取誘拐の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平21	4	4	2	7	9	13	14	15	10	6	8	9	1
平22	4	6	3	6	8	6	6	25	18	16	11	10	2	121	
(割合%)		3.3	5.0	2.5	5.0	6.6	5.0	5.0	20.7	14.9	13.2	9.1	8.3	1.7	100.0
増減	件数	0	2	1	-1	-1	-7	-8	10	8	10	3	1	1	19
	率(%)	0.0	50.0	50.0	-14.3	-11.1	-53.8	-57.1	66.7	80.0	166.7	37.5	11.1	-	18.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 4 街頭における略取誘拐の被害者の年齢別認知件数（平成 22 年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	121	95	21	3	1	0	1
男性	21	19	1	0	0	0	1
(割合%)	17.4	15.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8
女性	100	76	20	3	1	0	0
(割合%)	82.6	62.8	16.5	2.5	0.8	0.0	0.0

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 5 略取誘拐の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		135	100.0	146	100.0	11	8.1
成人事件の総数		127	94.1	135	92.5	8	6.3
単独		105	82.7	123	91.1	18	17.1
共犯		22	17.3	12	8.9	-10	-45.5
少年事件の総数		7	5.2	9	6.2	2	28.6
単独		6	85.7	7	77.8	1	16.7
共犯		1	14.3	2	22.2	1	100.0
成人・少年共犯事件の総数		1	0.7	2	1.4	1	100.0

注：解決事件を除く。

(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝

暴行、傷害及び恐喝の認知件数は、前年に比べ、傷害は 83 件（0.3%）増加しているが、暴行は 45 件（0.2%）、恐喝は 328 件（5.9%）それぞれ減少している。

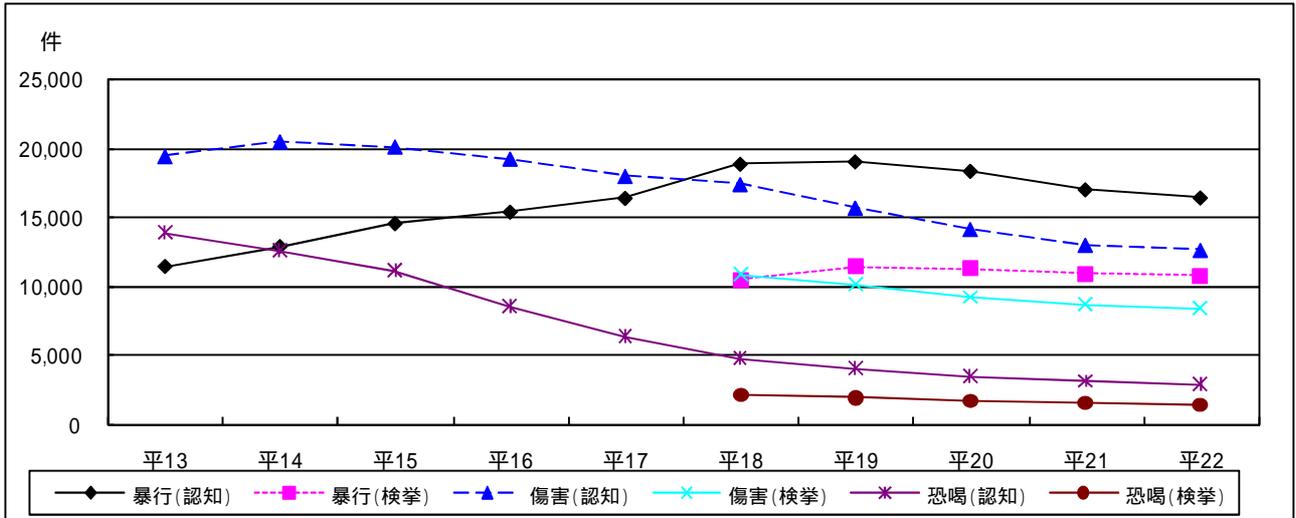
うち街頭における認知件数は、暴行は 592 件（3.5%）、傷害は 362 件（2.8%）、恐喝は 219 件（7.2%）それぞれ減少している。

検挙件数は、前年に比べ、暴行は 429 件（2.0%）増加しているが、傷害は 38 件（0.2%）、恐喝は 124 件（3.8%）それぞれ減少している。

うち街頭における検挙件数は、暴行は 173 件（1.6%）、傷害は 347 件（4.0%）、恐喝は 79 件（5.3%）それぞれ減少している（図表 2 - 1 - (6) - 1）。

街頭において発生した事件をみると、発生場所は暴行、傷害、恐喝のいずれも道路上が最も多く、暴行、傷害の被害者は 20 歳代の男性、恐喝の被害者は 20 歳未満の男性が最も多く、凶器を使用したものは傷害、恐喝のいずれも包丁類（その他の刃物を含む。）が最も多い（図表 2 - 1 - (6) - 2、3、4）。

図表 2 - 1 - (6) - 1 街頭における暴行・傷害・恐喝の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人数)	率(%)
暴行	認知件数	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641	29,638	29,593	-45	-0.2
	うち街頭	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	18,816	18,993	18,306	16,950	16,358	-592	-3.5
	(割合%)	67.1	65.9	66.0	64.7	63.3	60.7	59.4	57.9	57.2	55.3	-1.9	-
	検挙件数	7,852	8,348	9,539	10,666	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	429	2.0
	うち街頭	-	-	-	5,898	7,537	10,447	11,399	11,316	10,877	10,704	-173	-1.6
(割合%)	-	-	-	55.3	55.0	53.8	53.1	51.6	51.2	49.4	-1.8	-	
傷害	認知件数	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291	26,464	26,547	83	0.3
	うち街頭	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	17,373	15,665	14,118	12,964	12,602	-362	-2.8
	(割合%)	57.1	56.3	55.0	53.5	52.1	51.1	50.6	49.9	49.0	47.5	-1.5	-
	検挙件数	22,544	23,453	23,659	22,938	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	-38	-0.2
	うち街頭	-	-	-	11,032	10,985	10,791	10,050	9,115	8,652	8,305	-347	-4.0
(割合%)	-	-	-	48.1	47.1	46.3	45.6	45.2	44.6	42.9	-1.7	-	
恐喝	認知件数	19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	8,636	7,384	6,349	5,530	5,202	-328	-5.9
	うち街頭	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	4,690	4,042	3,466	3,055	2,836	-219	-7.2
	(割合%)	70.8	68.0	63.0	59.2	57.8	54.3	54.7	54.6	55.2	54.5	-0.7	-
	うち未遂	1,967	1,789	1,797	1,484	1,163	928	771	663	599	551	-48	-8.0
	検挙件数	7,895	7,022	7,502	5,915	5,376	4,841	4,242	3,701	3,297	3,173	-124	-3.8
うち街頭	-	-	-	2,851	2,581	2,114	1,926	1,684	1,503	1,424	-79	-5.3	
(割合%)	-	-	-	48.2	48.0	43.7	45.4	45.5	45.6	44.9	-0.7	-	

図表 2 - 1 - (6) - 2 街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
暴行の認知件数		29,638	100.0	29,593	100.0	-45	-0.2
街頭		16,950	57.2	16,358	55.3	-592	-3.5
道路上		11,204	37.8	10,987	37.1	-217	-1.9
駐車(輪)場		1,963	6.6	1,915	6.5	-48	-2.4
都市公園		481	1.6	442	1.5	-39	-8.1
空き地		92	0.3	81	0.3	-11	-12.0
公共交通機関等		2,778	9.4	2,526	8.5	-252	-9.1
その他の交通機関		360	1.2	343	1.2	-17	-4.7
その他の街頭		72	0.2	64	0.2	-8	-11.1
その他		12,688	42.8	13,235	44.7	547	4.3
傷害の認知件数		26,464	100.0	26,547	100.0	83	0.3
街頭		12,964	49.0	12,602	47.5	-362	-2.8
道路上		8,444	31.9	8,038	30.3	-406	-4.8
駐車(輪)場		2,155	8.1	2,130	8.0	-25	-1.2
都市公園		891	3.4	949	3.6	58	6.5
空き地		147	0.6	145	0.5	-2	-1.4
公共交通機関等		1,061	4.0	1,068	4.0	7	0.7
その他の交通機関		217	0.8	231	0.9	14	6.5
その他の街頭		49	0.2	41	0.2	-8	-16.3
その他		13,500	51.0	13,945	52.5	445	3.3
恐喝の認知件数		5,530	100.0	5,202	100.0	-328	-5.9
街頭		3,055	55.2	2,836	54.5	-219	-7.2
道路上		1,772	32.0	1,585	30.5	-187	-10.6
駐車(輪)場		807	14.6	810	15.6	3	0.4
都市公園		258	4.7	233	4.5	-25	-9.7
空き地		26	0.5	26	0.5	0	0.0
公共交通機関等		107	1.9	107	2.1	0	0.0
その他の交通機関		67	1.2	71	1.4	4	6.0
その他の街頭		18	0.3	4	0.1	-14	-77.8
その他		2,475	44.8	2,366	45.5	-109	-4.4

図表 2 - 1 - (6) - 3 街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成 22 年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
暴行(街頭)認知件数	16,358	3,511	4,258	3,129	2,460	1,537	1,463
男性	11,093	1,715	2,517	2,300	1,980	1,309	1,272
(割合%)	67.8	10.5	15.4	14.1	12.1	8.0	7.8
女性	5,265	1,796	1,741	829	480	228	191
(割合%)	32.2	11.0	10.6	5.1	2.9	1.4	1.2
傷害(街頭)認知件数	12,602	3,033	3,092	2,365	1,822	1,163	1,127
男性	10,077	2,369	2,403	1,880	1,511	989	925
(割合%)	80.0	18.8	19.1	14.9	12.0	7.8	7.3
女性	2,525	664	689	485	311	174	202
(割合%)	20.0	5.3	5.5	3.8	2.5	1.4	1.6
恐喝(街頭)認知件数	2,825	1,493	745	258	147	96	86
男性	2,573	1,397	670	227	119	92	68
(割合%)	91.1	49.5	23.7	8.0	4.2	3.3	2.4
女性	252	96	75	31	28	4	18
(割合%)	8.9	3.4	2.7	1.1	1.0	0.1	0.6

注 1 : 被害者が団体・法人のものを除く。

注 2 : 主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (6) - 4 街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況

区分	年次		平22		増減			
	平21	平22	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
街頭における傷害の認知件数	12,964	100.0	12,602	100.0	-362	-2.8		
銃砲類(拳銃様のもを含む)	4	0.0	2	0.0	-2	-50.0		
刀剣類	21	0.2	20	0.2	-1	-4.8		
包丁類(その他の刃物を含む)	167	1.3	144	1.1	-23	-13.8		
凶器以外	4	0.0	2	0.0	-2	0.0		
不明	155	1.2	155	1.2	0	0.0		
該当なし、供用物なし	12,613	97.3	12,279	97.4	-334	-2.6		
街頭における恐喝の認知件数	3,055	100.0	2,836	100.0	-219	-7.2		
銃砲類(拳銃様のもを含む)	4	0.1	4	0.1	0	0.0		
刀剣類	5	0.2	4	0.1	-1	-20.0		
包丁類(その他の刃物を含む)	38	1.2	41	1.4	3	7.9		
凶器以外	38	1.2	47	1.7	9	23.7		
不明	41	1.3	34	1.2	-7	-17.1		
該当なし、供用物なし	2,929	95.9	2,706	95.4	-223	-7.6		

注1：街頭における傷害の「凶器以外」の内訳は、平成21年は電話・ファックスが3件、新聞・雑誌広告が1件、平成22年は電話・ファックスが2件である。

注2：街頭における恐喝の「凶器以外」の内訳は、平成21年は電話・ファックスが38件、平成22年は電話・ファックスが47件である。

(7) 自動車盗

自動車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は2,040件(7.9%)、検挙件数は1,124件(11.8%)、検挙人員は208人(10.2%)それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の24.6%(前年に比べ0.4ポイント上昇)となっている(図表2-1-(7)-1)。

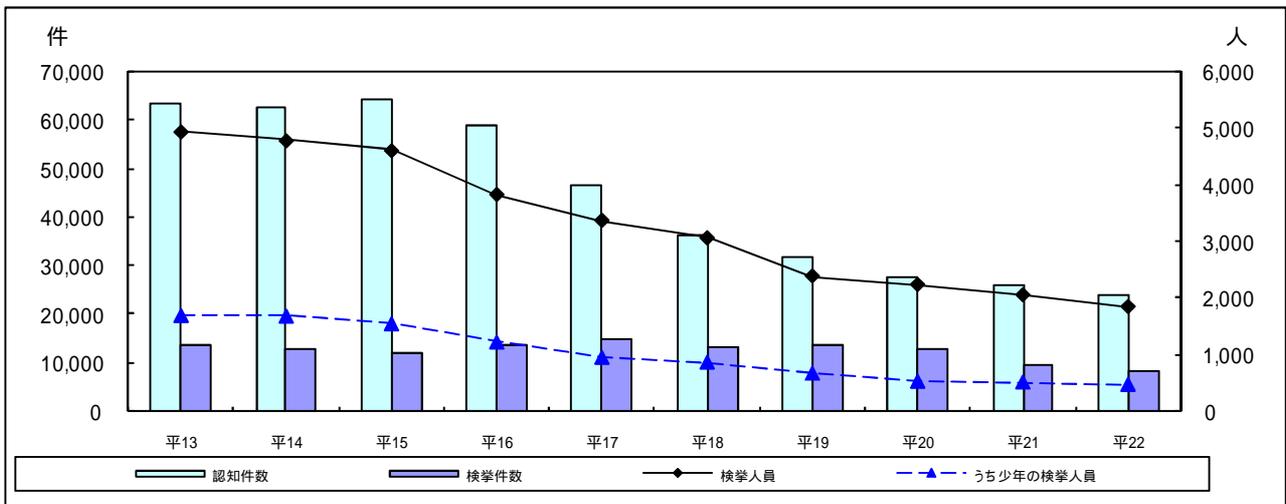
認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の26.7%で、前年に比べ0.6ポイント低下している。

また、被害額別の認知件数では、200万円未満が2,385件(12.3%)減少しているが、200万円以上300万円未満が130件(4.9%)、300万円以上が136件(5.4%)それぞれ増加している。

さらに、被害自動車の還付率は25.7%で、前年に比べ3.1ポイント低下している(図表2-1-(7)-2、3、4、5)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い(図表2-1-(7)-6)。

図表2-1-(7)-1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件(人)数
認知件数		63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9
検挙件数		13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	-1,124	-11.8
検挙人員		4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	-208	-10.2
うち少年 (割合%)		1,691	1,680	1,542	1,216	938	852	655	508	494	451	-43	-8.7
		34.3	35.2	33.5	31.8	27.9	27.9	27.5	22.8	24.2	24.6	0.4	-
検挙率		21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	-1.5	ポイント

図表 2 - 1 - (7) - 2 自動車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		25,815	100.0	23,775	100.0	-2,040	-7.9
街頭		18,205	70.5	15,409	64.8	-2,796	-15.4
道路上		2,103	8.1	1,705	7.2	-398	-18.9
駐車(輪)場		15,393	59.6	13,121	55.2	-2,272	-14.8
都市公園		17	0.1	12	0.1	-5	-29.4
空き地		654	2.5	541	2.3	-113	-17.3
公共交通機関等		38	0.1	28	0.1	-10	-26.3
その他の街頭		0	0.0	2	0.0	2	-
その他		7,610	29.5	8,366	35.2	756	9.9

図表 2 - 1 - (7) - 3 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知件数		63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9
キーあり		21,743	20,204	18,568	15,999	13,186	10,355	8,695	7,628	7,038	6,355	-683	-9.7
(割合%)		34.4	32.2	28.9	27.2	28.2	28.7	27.4	27.7	27.3	26.7	-0.6	-
キーなし		41,532	42,469	45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	19,887	18,777	17,420	-1,357	-7.2

注:「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (7) - 4 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知件数		63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9
200万円未満		40,405	42,089	44,538	41,484	33,972	26,873	23,756	21,381	19,369	16,984	-2,385	-12.3
(割合%)		63.9	67.2	69.3	70.6	72.7	74.5	74.7	77.7	75.0	71.4	-3.6	-
200~300万円未満		9,563	9,693	9,736	8,535	5,982	3,957	3,631	2,519	2,656	2,786	130	4.9
(割合%)		15.1	15.5	15.2	14.5	12.8	11.0	11.4	9.2	10.3	11.7	1.4	-
300万円以上		11,499	8,932	7,373	6,195	4,696	3,551	3,011	2,363	2,539	2,675	136	5.4
(割合%)		18.2	14.3	11.5	10.5	10.0	9.8	9.5	8.6	9.8	11.3	1.5	-
被害なし・被害額認定困難		1,808	1,959	2,576	2,523	2,078	1,677	1,392	1,252	1,251	1,330	79	6.3

図表 2 - 1 - (7) - 5 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知件数		63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9
還付件数		19,579	19,422	20,036	17,806	14,081	11,794	9,793	8,414	7,429	6,108	-1,321	-17.8
還付率(%)		30.9	31.0	31.2	30.3	30.1	32.7	30.8	30.6	28.8	25.7	-3.1	-

注:還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (7) - 6 自動車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	9,025	100.0	7,931	100.0	-1,094	-12.1		
成人事件の総数	8,482	94.0	7,447	93.9	-1,035	-12.2		
単独	3,310	39.0	3,136	42.1	-174	-5.3		
共犯	5,172	61.0	4,311	57.9	-861	-16.6		
少年事件の総数	463	5.1	408	5.1	-55	-11.9		
単独	196	42.3	178	43.6	-18	-9.2		
共犯	267	57.7	230	56.4	-37	-13.9		
成人・少年共犯事件の総数	80	0.9	76	1.0	-4	-5.0		

注：解決事件を除く。

(8) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 8,625 件（10.5%）、検挙件数は 1,626 件（17.2%）、検挙人員は 240 人（3.9%）それぞれ減少している。

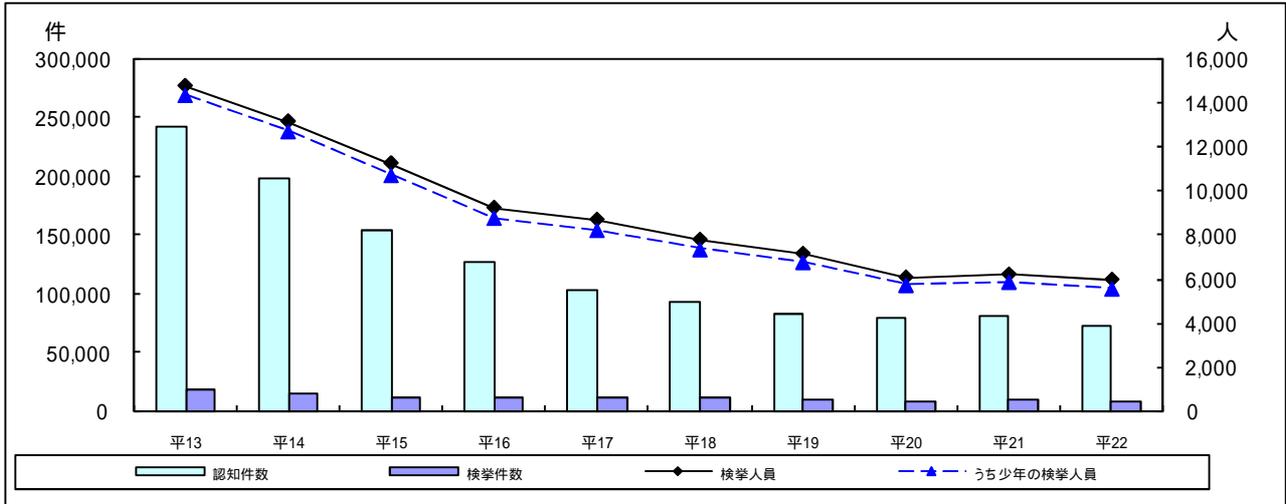
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の 92.9%（前年に比べ 1.4 ポイント低下）となっている（図表 2 - 1 - (8) - 1）。

認知した事件をみると、発生場所はその他を除くと駐車（輪）場が最も多く、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の 23.6%で、前年に比べ 1.1 ポイント上昇している。

また、被害オートバイの還付率は 38.8%で、前年に比べ 0.5 ポイント上昇している（図表 2 - 1 - (8) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件は単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い（図表 2 - 1 - (8) - 5）。

図表 2 - 1 - (8) - 1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
	認知件数	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	-8,625	-10.5
	検挙件数	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	12,426	10,161	8,930	9,437	7,811	-1,626	-17.2
	検挙人員	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	7,766	7,131	6,062	6,194	5,954	-240	-3.9
	うち少年 (割合%)	14,288 97.2	12,650 96.5	10,669 95.1	8,735 94.9	8,188 94.5	7,311 94.1	6,740 94.5	5,702 94.1	5,842 94.3	5,530 92.9	-312	-5.3
	検挙率	8.0	7.9	8.0	9.2	11.2	13.3	12.2	11.1	11.5	10.6	-0.9	ポイント

図表 2 - 1 - (8) - 2 オートバイ盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
	認知件数	82,116	100.0	73,491	100.0	-8,625	-10.5
	街頭	49,625	60.4	41,281	56.2	-8,344	-16.8
	道路上	11,927	14.5	9,973	13.6	-1,954	-16.4
	駐車(輪)場	36,812	44.8	30,660	41.7	-6,152	-16.7
	都市公園	183	0.2	148	0.2	-35	-19.1
	空き地	409	0.5	298	0.4	-111	-27.1
	公共交通機関等	290	0.4	201	0.3	-89	-30.7
	その他の街頭	4	0.0	1	0.0	-3	-75.0
	その他	32,491	39.6	32,210	43.8	-281	-0.9

図表 2 - 1 - (8) - 3 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
	認知件数	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	-8,625	-10.5
	キーあり (割合%)	50,346 20.8	43,039 21.7	33,969 21.9	28,574 22.5	23,758 22.8	21,145 22.7	19,686 23.7	18,496 23.0	18,458 22.5	17,349 23.6	-1,109	-6.0
	キーなし	192,171	155,603	121,010	98,143	80,397	72,149	63,342	61,858	63,658	56,142	-7,516	-11.8

注:「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (8) - 4 被害オートバイの還付数・還付率の推移

区分	年次											増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)	
認知件数	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	80,354	82,116	73,491	-8,625	-10.5	
還付件数	86,163	72,503	59,599	47,796	40,421	37,521	34,640	32,062	31,421	28,506	-2,915	-9.3	
還付率(%)	35.5	36.5	38.5	37.7	38.8	40.2	41.7	39.9	38.3	38.8	0.5	-	

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (8) - 5 オートバイ盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		8,767	100.0	7,210	100.0	-1,557	-17.8
成人事件の総数		2,625	29.9	1,918	26.6	-707	-26.9
単独		1,312	50.0	1,009	52.6	-303	-23.1
共犯		1,313	50.0	909	47.4	-404	-30.8
少年事件の総数		6,015	68.6	5,191	72.0	-824	-13.7
単独		2,828	47.0	2,385	45.9	-443	-15.7
共犯		3,187	53.0	2,806	54.1	-381	-12.0
成人・少年共犯事件の総数		127	1.4	101	1.4	-26	-20.5

注：解決事件を除く。

(9) 自転車盗

自転車盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は21,967件(5.6%)、検挙件数は1,995件(7.5%)、検挙人員は1,327人(6.5%)それぞれ減少している。

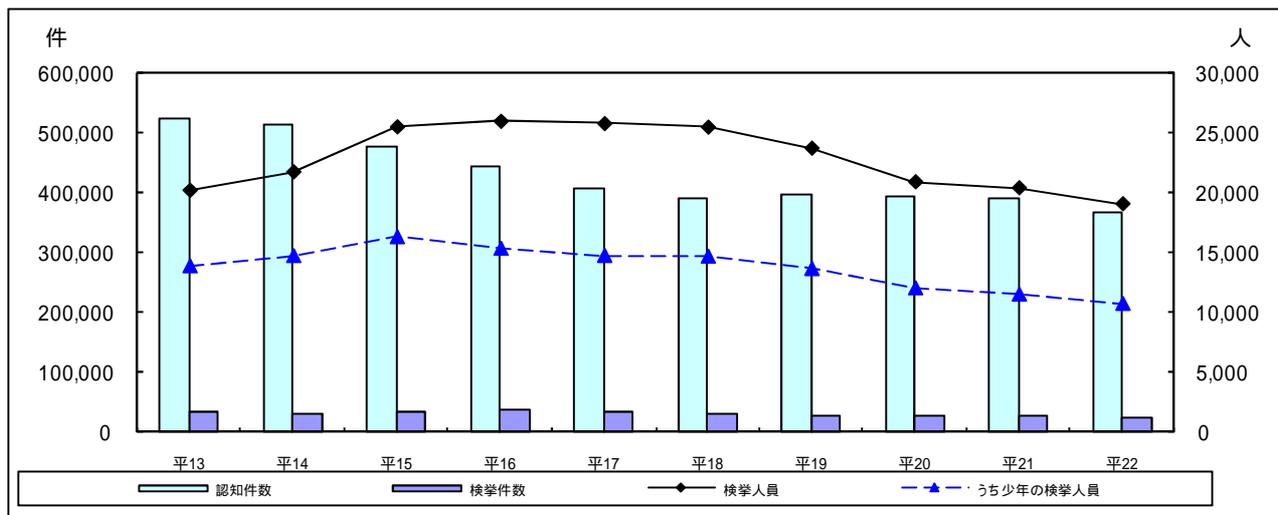
また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の55.9%(前年に比べ0.2ポイント低下)となっている(図表2-1-(9)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時の状況は盗難防止のための施錠がなされていなかったものの割合は全体の52.7%で、前年に比べ2.7ポイント上昇している。

また、被害自転車の還付率は42.8%で、前年に比べ0.9ポイント上昇している(図表2-1-(9)-2、3、4)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多く、被疑者の年齢別の増減率は60歳から64歳のみが増加している(図表2-1-(9)-5、6)。

図表 2 - 1 - (9) - 1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人数)	率(%)
認知件数	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	-21,967	-5.6
検挙件数	32,605	29,412	32,489	35,828	32,322	30,945	28,243	28,053	26,747	24,752	-1,995	-7.5
検挙人員	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	25,432	23,682	20,872	20,378	19,051	-1,327	-6.5
うち少年 (割合%)	13,843 68.6	14,710 67.8	16,316 64.1	15,342 59.2	14,732 57.2	14,656 57.6	13,611 57.5	11,977 57.4	11,430 56.1	10,653 55.9	-777	-6.8
検挙率	6.2	5.7	6.8	8.1	8.0	8.0	7.1	7.1	6.9	6.7	-0.2	ポイント

図表 2 - 1 - (9) - 2 自転車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		389,476	100.0	367,509	100.0	-21,967	-5.6
街頭		273,039	70.1	248,347	67.6	-24,692	-9.0
道路上		76,279	19.6	68,625	18.7	-7,654	-10.0
駐車(輪)場		188,892	48.5	172,728	47.0	-16,164	-8.6
都市公園		2,050	0.5	2,057	0.6	7	0.3
空き地		1,369	0.4	1,138	0.3	-231	-16.9
公共交通機関等		4,432	1.1	3,781	1.0	-651	-14.7
その他の街頭		17	0.0	18	0.0	1	5.9
その他		116,437	29.9	119,162	32.4	2,725	2.3

図表 2 - 1 - (9) - 3 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	年次										増減	
		平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)
認知件数		521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	-21,967	-5.6
施錠あり		313,920	311,787	280,444	249,951	220,210	206,182	209,312	200,035	194,595	173,888	-20,707	-10.6
施錠なし (割合%)		207,881 39.8	202,333 39.4	196,145 41.2	194,317 43.7	185,894 45.8	182,281 46.9	186,032 47.1	193,427 49.2	194,881 50.0	193,621 52.7	-1,260	-0.6

注:「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (9) - 4 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次											増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)	
認知件数	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	393,462	389,476	367,509	-21,967	-5.6	
還付件数	154,784	166,185	179,352	169,792	159,849	157,711	165,540	162,077	163,233	157,216	-6,017	-3.7	
還付率(%)	29.7	32.3	37.6	38.2	39.4	40.6	41.9	41.2	41.9	42.8	0.9	-	

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (9) - 5 自転車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		23,394	100.0	21,887	100.0	-1,507	-6.4
成人事件の総数		12,613	53.9	12,002	54.8	-611	-4.8
単独		11,778	93.4	11,476	95.6	-302	-2.6
共犯		835	6.6	526	4.4	-309	-37.0
少年事件の総数		10,741	45.9	9,851	45.0	-890	-8.3
単独		8,510	79.2	7,802	79.2	-708	-8.3
共犯		2,231	20.8	2,049	20.8	-182	-8.2
成人・少年共犯事件の総数		40	0.2	34	0.2	-6	-15.0

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (9) - 6 自転車盗の年齢別検挙人員

年次	区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13		20,173	13,880	2,968	885	839	917	302	382
平14		21,708	14,756	3,152	950	862	1,133	369	486
平15		25,453	16,386	4,230	1,310	1,017	1,359	502	649
平16		25,926	15,392	4,864	1,557	1,085	1,463	612	953
平17		25,737	14,797	4,960	1,613	1,125	1,498	672	1,072
平18		25,432	14,727	4,771	1,586	1,031	1,505	636	1,176
平19		23,682	13,658	4,403	1,399	1,006	1,394	613	1,209
平20		20,872	12,014	3,819	1,319	923	1,136	580	1,081
平21		20,378	11,466	3,850	1,425	986	1,042	517	1,092
平22		19,051	10,698	3,681	1,296	869	938	534	1,035
増減数		-1,327	-768	-169	-129	-117	-104	17	-57
増減率		-6.5	-6.7	-4.4	-9.1	-11.9	-10.0	3.3	-5.2

注：犯行時の年齢を計上している。

(10) 車上ねらい

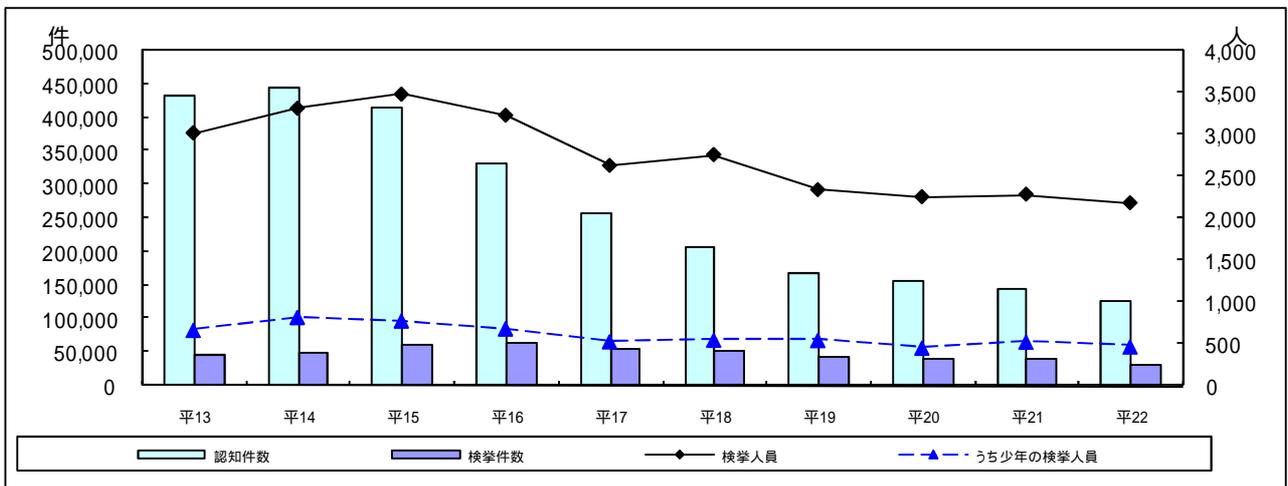
車上ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は20,351件(14.1%)、検挙件数は8,926件(23.1%)、検挙人員は104人(4.5%)それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の21.3%(前年に比べ1.5ポイント低下)となっている(図表2-1-(10)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時の状況は施錠なしで被害に遭っているものの割合は全体の39.6%で、前年同期に比べ1.6ポイント上昇している(図表2-1-(10)-2、3)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多く、被疑者の年齢別の増加率は40歳から49歳が最も高くなっている(図表2-1-(10)-4、5)。

図表2-1-(10)-1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	-20,351	-14.1
検挙件数	43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	49,592	41,116	40,146	38,706	29,780	-8,926	-23.1
検挙人員	3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	2,766	2,344	2,258	2,290	2,186	-104	-4.5
うち少年 (割合%)	21.9	24.6	22.2	21.0	20.0	19.8	23.1	20.1	22.8	21.3	-1.5	-10.7
検挙率	10.0	11.0	14.6	19.2	20.8	24.1	24.5	25.9	26.9	24.1	-2.8	ポイント

図表2-1-(10)-2 車上ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次		増減			
	平21	平22	平21	平22		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	143,863	100.0	123,512	100.0	-20,351	-14.1
街頭	113,840	79.1	95,185	77.1	-18,655	-16.4
道路上	21,374	14.9	18,966	15.4	-2,408	-11.3
駐車(輪)場	89,119	61.9	73,110	59.2	-16,009	-18.0
都市公園	1,397	1.0	1,532	1.2	135	9.7
空き地	1,644	1.1	1,301	1.1	-343	-20.9
公共交通機関等	268	0.2	231	0.2	-37	-13.8
その他の街頭	38	0.0	45	0.0	7	18.4
その他	30,023	20.9	28,327	22.9	-1,696	-5.6

図表 2 - 1 - (10) - 3 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)
認知件数	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	154,836	143,863	123,512	-20,351	-14.1
施錠あり	312,380	324,713	305,871	233,481	174,862	136,083	104,857	98,435	89,241	74,661	-14,580	-16.3
施錠なし	119,760	118,585	108,948	95,440	81,732	69,661	63,272	56,401	54,622	48,851	-5,771	-10.6
(割合%)	27.7	26.8	26.3	29.0	31.9	33.9	37.6	36.4	38.0	39.6	1.6	-

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい（施錠なし）」とする。

図表 2 - 1 - (10) - 4 車上ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		37,901	100.0	29,003	100.0	-8,898	-23.5
成人事件の総数		36,544	96.4	28,011	96.6	-8,533	-23.3
単独		27,385	74.9	20,061	71.6	-7,324	-26.7
共犯		9,159	25.1	7,950	28.4	-1,209	-13.2
少年事件の総数		1,122	3.0	633	2.2	-489	-43.6
単独		644	57.4	414	65.4	-230	-35.7
共犯		478	42.6	219	34.6	-259	-54.2
成人・少年共犯事件の総数		235	0.6	359	1.2	124	52.8

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (10) - 5 車上ねらいの年齢別検挙人員

年次	区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13		3,027	679	776	432	430	500	116	94
平14		3,322	828	842	502	399	511	124	116
平15		3,491	792	833	612	433	524	137	160
平16		3,238	692	837	565	411	442	138	153
平17		2,634	535	603	468	315	413	124	176
平18		2,766	554	605	515	366	410	153	163
平19		2,344	557	454	391	287	341	130	184
平20		2,258	464	400	365	355	343	146	185
平21		2,290	525	407	392	306	334	133	193
平22		2,186	475	403	379	324	280	127	198
増減数		-104	-50	-4	-13	18	-54	-6	5
増減率		-4.5	-9.5	-1.0	-3.3	5.9	-16.2	-4.5	2.6

注：犯行時の年齢を計上している。

(11) 部品ねらい

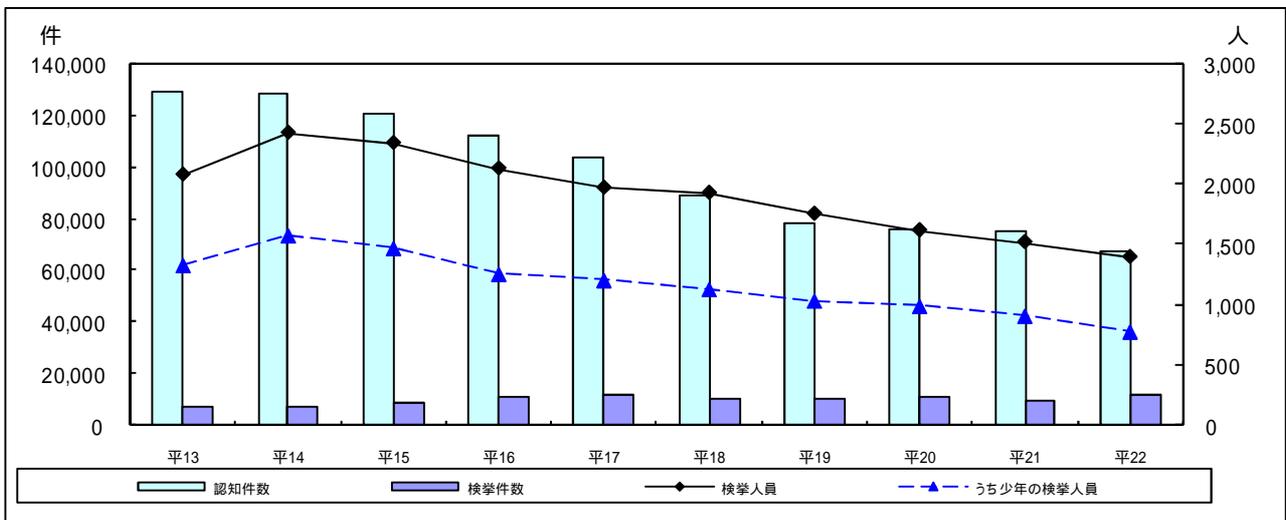
部品ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は8,054件(10.7%)、検挙人員は124人(8.1%)それぞれ減少しているが、検挙件数は2,424件(25.9%)増加している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の55.8%(前年に比べ4.0ポイント低下)となっている(図表2-1-(11)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多い(図表2-1-(11)-2)。

検挙した事件をみると、成人事件は共犯が多いが、少年事件は単独犯が多く、被疑者の年齢別の増加率は65歳以上が最も高くなっている(図表2-1-(11)-3、4)。

図表2-1-(11)-1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	75,423	75,361	67,307	-8,054	-10.7
検挙件数	6,650	7,260	8,515	10,668	11,786	9,840	10,382	10,591	9,359	11,783	2,424	25.9
検挙人員	2,082	2,429	2,345	2,134	1,973	1,931	1,758	1,621	1,523	1,399	-124	-8.1
うち少年 (割合%)	63.8	64.8	62.6	58.8	61.0	58.6	59.0	61.2	59.8	55.8	-4.0	-
検挙率	5.1	5.6	7.1	9.5	11.4	11.1	13.3	14.0	12.4	17.5	5.1	ポイント

図表2-1-(11)-2 部品ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次		増減			
	平21		平22		件数	率(%)
	件数	割合(%)	件数	割合(%)		
認知件数	75,361	100.0	67,307	100.0	-8,054	-10.7
街頭	57,011	75.7	48,946	72.7	-8,065	-14.1
道路上	4,019	5.3	3,392	5.0	-627	-15.6
駐車(輪)場	51,898	68.9	44,494	66.1	-7,404	-14.3
都市公園	86	0.1	62	0.1	-24	-27.9
空き地	610	0.8	577	0.9	-33	-5.4
公共交通機関等	394	0.5	416	0.6	22	5.6
その他の街頭	4	0.0	5	0.0	1	25.0
その他	18,350	24.3	18,361	27.3	11	0.1

図表 2 - 1 - (11) - 3 部品ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	9,182	100.0	11,670	100.0	2,488	27.1		
成人事件の総数	7,812	85.1	10,439	89.5	2,627	33.6		
単独	4,578	58.6	4,492	43.0	-86	-1.9		
共犯	3,234	41.4	5,947	57.0	2,713	83.9		
少年事件の総数	1,293	14.1	938	8.0	-355	-27.5		
単独	662	51.2	474	50.5	-188	-28.4		
共犯	631	48.8	464	49.5	-167	-26.5		
成人・少年共犯事件の総数	77	0.8	293	2.5	216	280.5		

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (11) - 4 部品ねらいの年齢別検挙人員

年次	区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13		2,082	1,339	426	117	74	83	20	23
平14		2,429	1,589	461	154	71	77	32	45
平15		2,345	1,477	446	149	77	116	39	41
平16		2,134	1,270	404	176	86	91	40	67
平17		1,973	1,216	321	157	73	89	41	76
平18		1,931	1,146	317	176	76	100	50	66
平19		1,758	1,044	316	124	73	83	39	79
平20		1,621	998	228	117	67	76	47	88
平21		1,523	919	264	114	77	58	37	54
平22		1,399	787	222	105	88	70	30	97
増減数		-124	-132	-42	-9	11	12	-7	43
増減率		-8.1	-14.4	-15.9	-7.9	14.3	20.7	-18.9	79.6

注：犯行時の年齢を計上している。

(12) 自動販売機ねらい

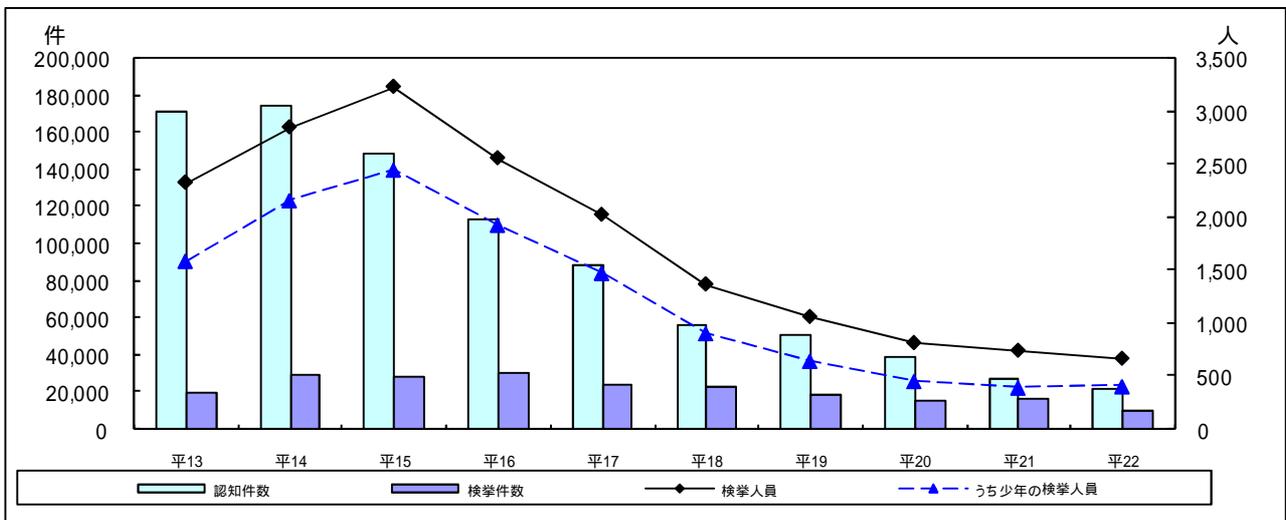
自動販売機ねらいの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は5,164件(19.4%)、検挙件数は6,902件(41.7%)、検挙人員は75人(10.1%)それぞれ減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、検挙人員全体の61.3%(前年に比べ7.8ポイント上昇)となっている(図表2-1-(12)-1)。

認知した事件をみると、発生場所はその他を除くと一般事務所が最も多い(図表2-1-(12)-2)。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者の年齢別の増加率は65歳以上が最も高くなっている(図表2-1-(12)-3、4)。

図表2-1-(12)-1 自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981	50,846	38,477	26,686	21,522	-5,164	-19.4
検挙件数	18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	22,607	18,585	15,197	16,535	9,633	-6,902	-41.7
検挙人員	2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	1,370	1,064	819	746	671	-75	-10.1
うち少年 (割合%)	1,593 68.4	2,163 75.9	2,453 75.9	1,933 75.5	1,479 73.0	912 66.6	650 61.1	460 56.2	399 53.5	411 61.3	12	3.0
検挙率	11.1	16.6	19.0	26.3	26.5	40.4	36.6	39.5	62.0	44.8	-17.2	ポイント

図表 2 - 1 - (12) - 2 自動販売機ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	26,686	100.0	21,522	100.0	-5,164	-19.4		
街頭	8,021	30.1	6,377	29.6	-1,644	-20.5		
道路上	3,408	12.8	2,887	13.4	-521	-15.3		
駐車(輪)場	3,035	11.4	2,379	11.1	-656	-21.6		
都市公園	668	2.5	492	2.3	-176	-26.3		
空き地	670	2.5	458	2.1	-212	-31.6		
公共交通機関等	234	0.9	156	0.7	-78	-33.3		
その他の交通機関	1	0.0	0	0.0	-1	-100.0		
その他の街頭	5	0.0	5	0.0	0	0.0		
一般事務所	4,436	16.6	3,769	17.5	-667	-15.0		
商店	3,489	13.1	2,693	12.5	-796	-22.8		
その他	10,740	40.2	8,683	40.3	-2,057	-19.2		

図表 2 - 1 - (12) - 3 自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	16,494	100.0	9,624	100.0	-6,870	-41.7		
成人事件の総数	13,602	82.5	8,871	92.2	-4,731	-34.8		
単独	8,811	64.8	5,304	59.8	-3,507	-39.8		
共犯	4,791	35.2	3,567	40.2	-1,224	-25.5		
少年事件の総数	2,646	16.0	455	4.7	-2,191	-82.8		
単独	127	4.8	65	14.3	-62	-48.8		
共犯	2,519	95.2	390	85.7	-2,129	-84.5		
成人・少年共犯事件の総数	246	1.5	298	3.1	52	21.1		

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (12) - 4 自動販売機ねらいの年齢別検挙人員

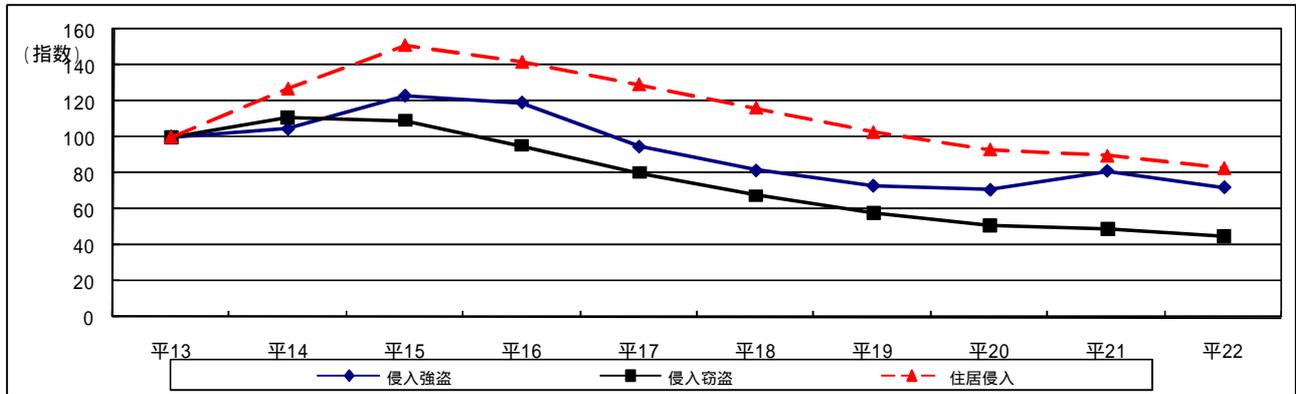
年次	区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13		2,329	1,600	415	168	76	55	10	5
平14		2,850	2,172	349	157	87	59	14	12
平15		3,231	2,474	364	205	77	85	15	11
平16		2,560	1,943	321	133	69	58	27	9
平17		2,027	1,486	242	152	68	57	14	8
平18		1,370	917	182	120	70	51	19	11
平19		1,064	658	171	87	71	43	17	17
平20		819	464	135	91	64	43	10	12
平21		746	402	137	69	64	44	19	11
平22		671	415	103	54	50	23	10	16
増減数		-75	13	-34	-15	-14	-21	-9	5
増減率		-10.1	3.2	-24.8	-21.7	-21.9	-47.7	-47.4	45.5

注：犯行時の年齢を計上している。

2 侵入犯罪

主な侵入犯罪の認知件数は、前年に比べ、侵入強盗は 212 件(11.2%)、侵入窃盗は 11,936 件(8.0%)、住居侵入は 1,836 件(7.7%)それぞれ減少している(図表 2 - 2)。

図表 2 - 2 侵入犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		件数	率(%)										
侵入犯罪(計)	(指数)	332,719	374,602	376,446	331,228	281,499	238,389	204,811	181,501	174,243	160,259	-13,984	-8.0
	(指数)	100	113	113	100	85	72	62	55	52	48	-	-
侵入強盗	(指数)	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	1,700	1,647	1,892	1,680	-212	-11.2
	(指数)	100	104	123	119	94	81	73	71	81	72	-	-
侵入窃盗	(指数)	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0
	(指数)	100	111	110	96	81	68	58	51	49	45	-	-
住居侵入	(指数)	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	27,383	24,807	23,863	22,027	-1,836	-7.7
	(指数)	100	127	151	142	129	116	103	93	89	83	-	-

注：指数は、平成13年を100とした場合の値である。

(1) 侵入強盗

侵入強盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は 212 件(11.2%)、検挙件数は 126 件(10.3%)、検挙人員は 115 人(10.7%)それぞれ減少している。

うち住宅におけるものの認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は 17 件(4.5%)減少しているが、検挙件数は 17 件(7.1%)増加している。

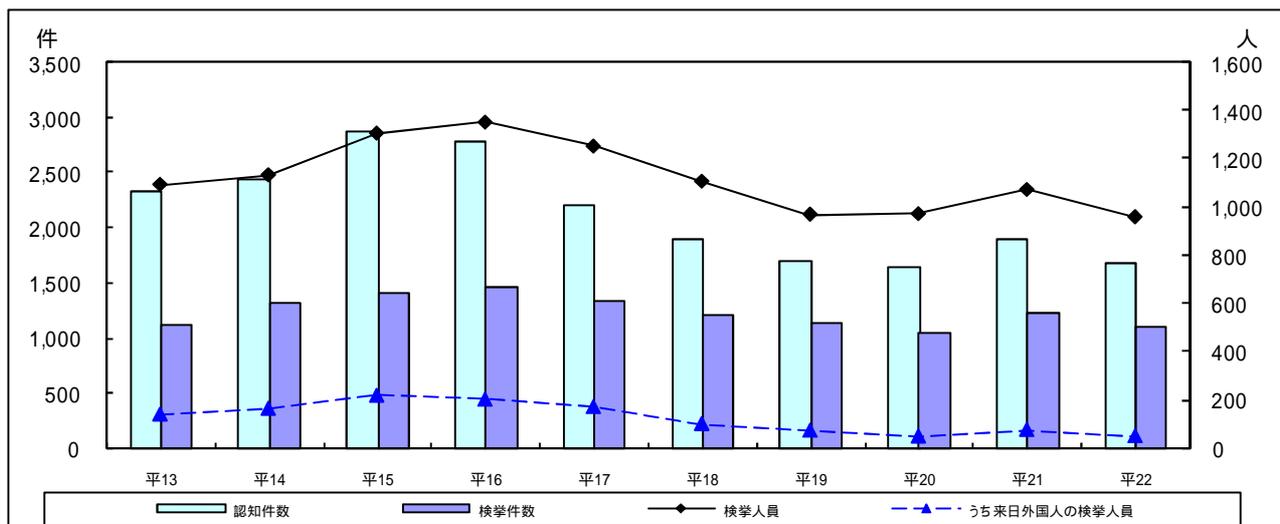
また、来日外国人の検挙人員は、前年に比べ、26 人(35.6%)減少している(図表 2 - 2 - (1) - 1)。

認知した事件をみると、侵入強盗に伴う身体犯(侵入強盗殺人・致死、侵入強盗傷人及び侵入強盗強姦をいう。)は、前年に比べ、20 件(5.7%)減少している。

また、発生場所は商店が 60.2%、住宅が 21.4%(うち一戸建住宅が 9.5%、4 階建以上の共同住宅が 4.8%、3 階建以下の共同住宅が 7.1%)、生活環境営業が 11.0%となっており、発生時間帯は午前 2 時から午前 4 時が最も多い(図表 2 - 2 - (1) - 2、3、4)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表 2 - 2 - (1) - 5)。

図表 2 - 2 - (1) - 1 侵入強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件(人)数
認知件数		2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	1,700	1,647	1,892	1,680	-212	-11.2
うち住宅		711	797	891	954	703	545	439	410	376	359	-17	-4.5
検挙件数		1,116	1,314	1,402	1,458	1,328	1,201	1,140	1,045	1,220	1,094	-126	-10.3
うち住宅		-	-	-	510	396	325	315	299	239	256	17	7.1
検挙人員		1,094	1,134	1,310	1,356	1,255	1,107	968	970	1,072	957	-115	-10.7
うち来日外国人		138	163	218	201	170	98	70	45	73	47	-26	-35.6
(割合%)		12.6	14.4	16.6	14.8	13.5	8.9	7.2	4.6	6.8	4.9	-1.9	-
検挙率		47.8	53.9	48.9	52.5	60.2	63.3	67.1	63.4	64.5	65.1	0.6	ポイント

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (1) - 2 侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件数
侵入強盗		2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896	1,700	1,647	1,892	1,680	-212	-11.2
侵入強盗に伴う身体犯		627	689	741	727	570	476	438	413	349	329	-20	-5.7
強盗殺人・致死		58	52	48	51	44	30	24	21	21	14	-7	-33.3
強盗傷人		477	557	572	552	431	381	334	339	260	258	-2	-0.8
強盗強姦		92	80	121	124	95	65	80	53	68	57	-11	-16.2

注：「侵入強盗に伴う身体犯」とは、侵入強盗のうち、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表 2 - 2 - (1) - 3 侵入強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		1,892	100.0	1,680	100.0	-212	-11.2
住宅		376	19.9	359	21.4	-17	-4.5
一戸建住宅		176	9.3	160	9.5	-16	-9.1
共同住宅(4階建以上)		87	4.6	80	4.8	-7	-8.0
共同住宅(3階建以下)		113	6.0	119	7.1	6	5.3
一般事務所		28	1.5	24	1.4	-4	-14.3
商店		1,198	63.3	1,012	60.2	-186	-15.5
生活環境営業		181	9.6	185	11.0	4	2.2
金融機関等		96	5.1	79	4.7	-17	-17.7
その他		13	0.7	21	1.3	8	61.5

図表 2 - 2 - (1) - 4 侵入強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平21		256	460	283	51	60	108	87	96	98	139	116	138	0	1,892
平22		185	393	291	43	53	81	80	113	74	124	127	115	1	1,680
(割合%)		11.0	23.4	17.3	2.6	3.2	4.8	4.8	6.7	4.4	7.4	7.6	6.8	0.1	100.0
増減	件数	-71	-67	8	-8	-7	-27	-7	17	-24	-15	11	-23	1	-212
	率(%)	-27.7	-14.6	2.8	-15.7	-11.7	-25.0	-8.0	17.7	-24.5	-10.8	9.5	-16.7	-0.5	-11.2

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 2 - (1) - 5 侵入強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,211	100.0	1,083	100.0	-128	-10.6
成人事件の総数		1,137	93.9	975	90.0	-162	-14.2
単独		972	85.5	836	85.7	-136	-14.0
共犯		165	14.5	139	14.3	-26	-15.8
少年事件の総数		51	4.2	87	8.0	36	70.6
単独		38	74.5	54	62.1	16	42.1
共犯		13	25.5	33	37.9	20	153.8
成人・少年共犯事件の総数		23	1.9	21	1.9	-2	-8.7

注：解決事件を除く。

(2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は11,936件(8.0%)、検挙件数は11,238件(13.8%)、検挙人員は86人(0.8%)それぞれ減少している。

うち住宅におけるものの認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は6,636件(7.8%)、検挙件数は7,910件(15.9%)それぞれ減少している。

また、来日外国人の検挙人員は、前年に比べ、58人(17.6%)減少している(図表2-2-(2)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は住宅が57.6%(うち一戸建住宅が37.6%、4階建以上の共同住宅が5.6%、3階建以下の共同住宅が14.4%)、一般事務所が13.5%、商店が9.1%、生活環境営業が8.8%を占めている。

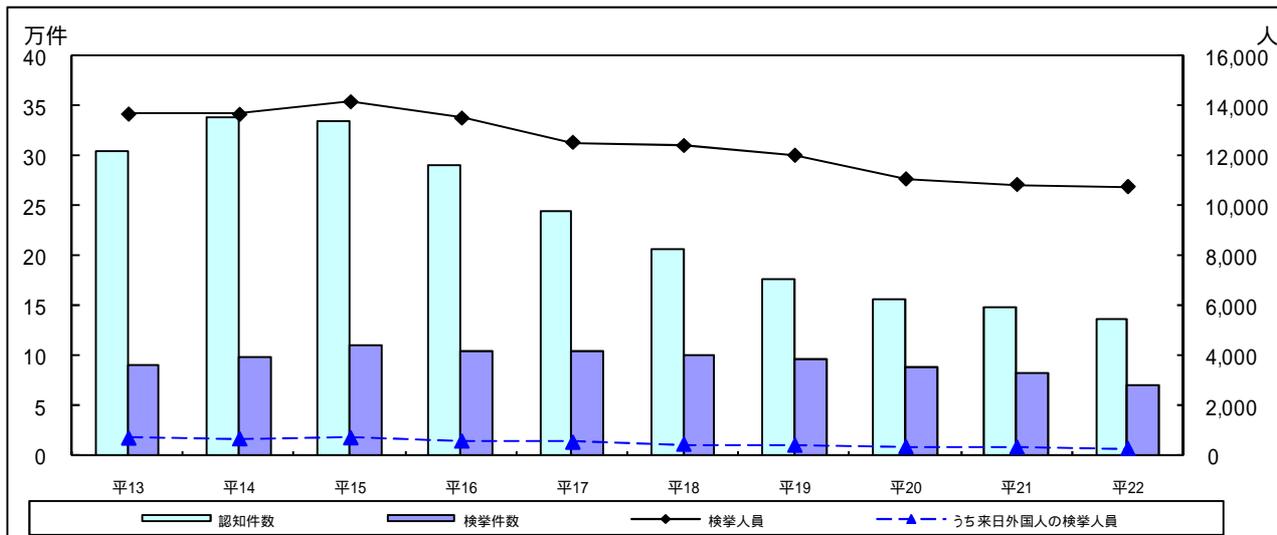
また、侵入口・侵入手段を発生場所別にみると、侵入口は、一戸建住宅、4階建以上の共同住宅及び3階建以下の共同住宅は窓、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多く、侵入手段は、3階建以下の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業はガラス破りが最も多いが、一戸建住宅及び4階建以上の共同住宅は無締りが最も多い(図表2-2-(2)-2、3)。

ピッキング用具を使用した侵入窃盗の認知件数は、前年同期に比べ、21件(5.6%)減少している。

ドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗(ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口)の認知件数は、前年に比べ、3件(7.5%)増加している(図表2-2-(2)-4、5)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-2-(2)-6)。

図表 2 - 2 - (2) - 1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件(人)数
認知件数		303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0
うち住宅		163,305	191,200	192,383	174,519	146,243	123,403	106,700	94,548	85,228	78,592	-6,636	-7.8
検挙件数		89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	-11,238	-13.8
うち住宅		-	-	-	58,667	61,414	59,776	55,677	50,973	49,600	41,690	-7,910	-15.9
検挙人員		13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	-86	-0.8
うち来日外国人		688	658	704	565	524	441	408	342	329	271	-58	-17.6
(割合%)		5.0	4.8	5.0	4.2	4.2	3.5	3.4	3.1	3.0	2.5	-0.5	-
検挙率		29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	-3.4	-6.1

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (2) - 2 侵入窃盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		148,488	100.0	136,552	100.0	-11,936	-8.0
住宅		85,228	57.4	78,592	57.6	-6,636	-7.8
一戸建住宅		55,992	37.7	51,301	37.6	-4,691	-8.4
共同住宅(4階建以上)		8,079	5.4	7,682	5.6	-397	-4.9
共同住宅(3階建以下)		21,157	14.2	19,609	14.4	-1,548	-7.3
一般事務所		20,870	14.1	18,435	13.5	-2,435	-11.7
商店		13,236	8.9	12,453	9.1	-783	-5.9
生活環境営業		13,291	9.0	11,957	8.8	-1,334	-10.0
金融機関等		274	0.2	250	0.2	-24	-8.8
その他		15,589	10.5	14,865	10.9	-724	-4.6

図表 2 - 2 - (2) - 3 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成 22 年）

	総数	ピッキング	サムターン回し	合かぎ	その他の施錠開け	ドア錠破り	ガラス破り	戸外し	無締り	その他	不明	
一戸建住宅	認知件数	51,301	13	145	691	640	967	21,304	382	22,081	2,765	2,313
	表出入口	7,501	10	27	559	182	241	439	25	5,623	242	153
	非常口	55	0	1	0	1	5	19	0	19	7	3
	その他の出入口	8,734	2	51	127	211	526	2,353	28	4,335	934	167
	窓	31,236	1	55	1	234	185	18,276	302	10,673	1,311	198
	その他	877	0	9	2	10	10	213	27	326	245	35
	不明	2,898	0	2	2	2	0	4	0	1,105	26	1,757
共同住宅（4階建以上）	認知件数	7,682	43	90	782	148	160	2,711	17	2,775	307	649
	表出入口	2,754	40	82	778	102	104	24	0	1,328	141	155
	非常口	10	0	0	0	1	0	1	0	7	1	0
	その他の出入口	87	0	1	1	2	12	27	0	29	12	3
	窓	4,258	3	5	0	41	41	2,643	17	1,340	119	49
	その他	74	0	0	1	2	3	16	0	17	29	6
	不明	499	0	2	2	0	0	0	54	5	436	
共同住宅（3階建以下）	認知件数	19,609	39	145	967	287	350	8,404	64	7,610	661	1,082
	表出入口	5,081	37	95	957	183	240	160	8	2,956	203	242
	非常口	22	0	0	1	1	1	8	1	9	1	0
	その他の出入口	771	2	8	8	15	37	197	8	372	102	22
	窓	12,606	0	38	0	83	67	7,986	45	4,039	257	91
	その他	235	0	3	1	4	5	53	2	65	91	11
	不明	894	0	1	0	1	0	0	169	7	716	
一般事務所	認知件数	18,435	11	96	787	428	1,729	8,604	229	3,912	1,890	749
	表出入口	6,947	9	62	633	261	1,153	2,081	76	1,816	701	155
	非常口	195	0	1	14	2	52	68	1	37	18	2
	その他の出入口	3,468	2	21	135	85	456	1,325	38	844	485	77
	窓	6,732	0	11	1	70	56	4,951	107	1,052	439	45
	その他	538	0	1	4	7	12	175	7	82	236	14
	不明	555	0	0	0	3	0	4	81	11	456	
商店	認知件数	12,453	7	83	340	234	1,647	4,916	148	2,481	2,205	392
	表出入口	4,528	2	48	226	97	687	1,452	46	903	973	94
	非常口	234	1	1	8	5	75	66	0	37	37	4
	その他の出入口	3,818	4	30	98	89	849	1,158	26	850	647	67
	窓	3,144	0	4	0	38	24	2,119	71	595	269	24
	その他	490	0	0	5	5	12	119	5	66	270	8
	不明	239	0	0	3	0	0	2	30	9	195	
生活環境営業	認知件数	11,957	9	94	812	333	2,213	3,883	184	2,305	1,615	509
	表出入口	4,720	3	54	569	179	1,160	1,109	52	822	646	126
	非常口	319	2	2	24	17	93	49	3	72	53	4
	その他の出入口	3,861	4	35	214	113	941	1,155	29	676	610	84
	窓	2,491	0	3	0	22	15	1,507	94	666	170	14
	その他	246	0	0	4	2	4	63	6	35	128	4
	不明	320	0	0	1	0	0	0	34	8	277	

図表 2 - 2 - (2) - 4 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
									件数	率 (%)
認知件数		4,355	2,171	1,529	708	373	149	128	-21	-5.6
検挙件数		2,418	1,095	705	819	689	418	114	-304	-44.1
検挙率		55.5	50.4	46.1	115.7	184.7	280.5	89.1	-191.4	ポイント

図表 2 - 2 - (2) - 5 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分	年次	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
									件数	率 (%)
認知件数		1,763	735	868	169	40	59	62	3	7.5
検挙件数		999	869	353	326	105	64	5	-59	-56.2
検挙率		56.7	118.2	40.7	192.9	262.5	108.5	8.1	-100.4	ポイント

図表 2 - 2 - (2) - 6 侵入窃盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	80,531	100.0	69,390	100.0	-11,141	-13.8		
成人事件の総数	76,653	95.2	65,568	94.5	-11,085	-14.5		
単独	58,278	76.0	52,351	79.8	-5,927	-10.2		
共犯	18,375	24.0	13,217	20.2	-5,158	-28.1		
少年事件の総数	2,920	3.6	2,751	4.0	-169	-5.8		
単独	1,623	55.6	1,508	54.8	-115	-7.1		
共犯	1,297	44.4	1,243	45.2	-54	-4.2		
成人・少年共犯事件の総数	958	1.2	1,071	1.5	113	11.8		

注：解決事件を除く。

(3) 住居侵入

住居侵入の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は1,836件(7.7%)、検挙件数は206件(2.5%)それぞれ減少しているが、検挙人員は54人(1.0%)増加している。

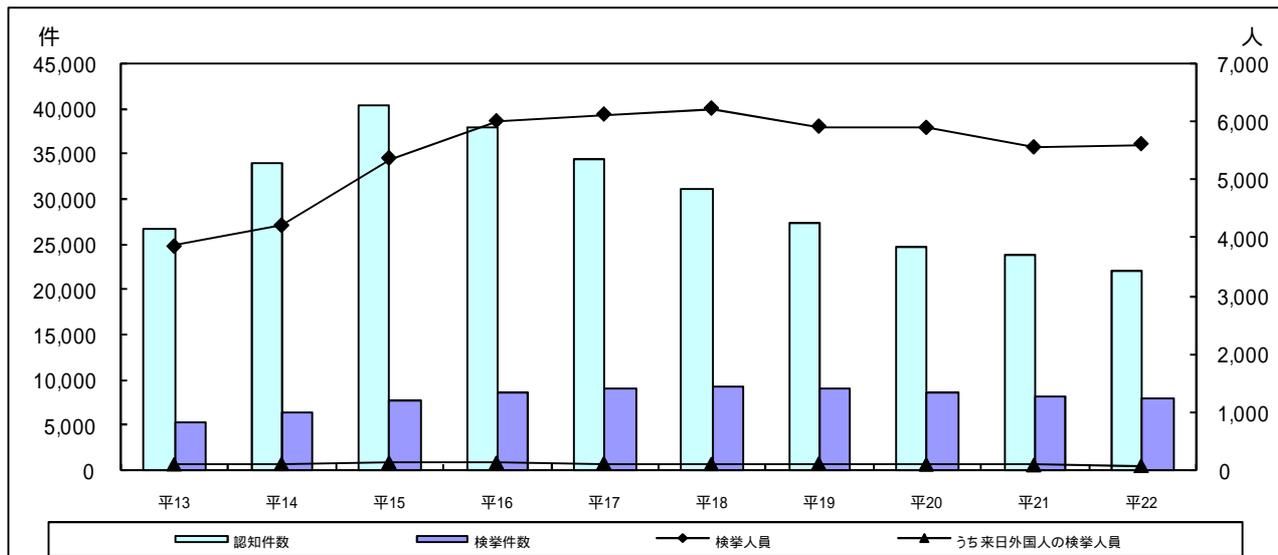
うち住宅におけるものの認知件数及び検挙件数は、前年に比べ、認知件数は871件(6.0%)、検挙件数は378件(7.6%)それぞれ減少している。

また、来日外国人の検挙人員は、前年に比べ、17人(19.5%)減少している(図表2-2-(3)-1)。

認知した事件をみると、発生場所は住宅が61.9%(うち一戸建住宅が34.7%、4階建以上の共同住宅が9.0%、3階建以下の共同住宅が18.2%)、一般事務所が8.5%、商店が6.7%、生活環境営業が6.3%を占めている(図表2-2-(3)-2)。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い(図表2-2-(3)-3)。

図表 2 - 2 - (3) - 1 住居侵入の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		件数	率(%)										
認知件数		26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	27,383	24,807	23,863	22,027	-1,836	-7.7
うち住宅		15,516	20,084	24,765	23,730	21,608	19,508	17,579	15,641	14,515	13,644	-871	-6.0
検挙件数		5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	9,211	9,041	8,682	8,234	8,028	-206	-2.5
うち住宅		-	-	-	5,025	5,189	5,369	5,425	5,146	4,967	4,589	-378	-7.6
検挙人員		3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	6,209	5,901	5,881	5,547	5,601	54	1.0
うち来日外国人		99	110	134	127	114	106	114	97	87	70	-17	-19.5
(割合%)		2.6	2.6	2.5	2.1	1.9	1.7	1.9	1.6	1.6	1.2	-0.4	-
検挙率		19.7	19.1	19.4	22.6	26.0	29.7	33.0	35.0	34.5	36.4	1.9	ポイント

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (3) - 2 住居侵入の発生場所別認知件数

区分	年次	平21		平22		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		23,863	100.0	22,027	100.0	-1,836	-7.7
住宅		14,515	60.8	13,644	61.9	-871	-6.0
一戸建住宅		8,062	33.8	7,649	34.7	-413	-5.1
共同住宅(4階建以上)		2,122	8.9	1,976	9.0	-146	-6.9
共同住宅(3階建以下)		4,331	18.1	4,019	18.2	-312	-7.2
一般事務所		2,168	9.1	1,866	8.5	-302	-13.9
商店		1,655	6.9	1,485	6.7	-170	-10.3
生活環境営業		1,534	6.4	1,377	6.3	-157	-10.2
金融機関等		74	0.3	65	0.3	-9	-12.2
その他		3,917	16.4	3,590	16.3	-327	-8.3

図表 2 - 2 - (3) - 3 住居侵入の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	8,111	100.0	7,915	100.0	-196	-2.4		
成人事件の総数	6,805	83.9	6,561	82.9	-244	-3.6		
単独	5,963	87.6	5,843	89.1	-120	-2.0		
共犯	842	12.4	718	10.9	-124	-14.7		
少年事件の総数	1,242	15.3	1,260	15.9	18	1.4		
単独	458	36.9	544	43.2	86	18.8		
共犯	784	63.1	716	56.8	-68	-8.7		
成人・少年共犯事件の総数	64	0.8	94	1.2	30	46.9		

注：解決事件を除く。

第3 主な刑法犯の現況

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取誘拐・人身売買、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成11年以降増加していたが、平成16年に減少に転じ、平成22年にあっても、前年に比べ370件（2.4%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は485件（5.0%）、検挙人員は567人（7.2%）それぞれ減少している。

また、検挙率は62.8%と、前年に比べ、1.7ポイント低下している（図表3-1-（1））。

なお、強盗のうち、路上強盗については、前記図表2-1-（1）-1、侵入強盗については、前記図表2-2-（1）-1のとおりである。

図表3-1-（1） 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数	21,530	22,294	23,971	22,568	20,388	18,649	16,922	15,847	15,158	14,788	-370	-2.4
	検挙件数	11,418	11,186	12,362	11,812	11,419	11,084	10,181	9,925	9,776	9,291	-485	-5.0
	検挙人員	9,905	10,029	10,786	9,931	9,509	8,880	8,315	7,982	7,884	7,317	-567	-7.2
	検挙率	53.0	50.2	51.6	52.3	56.0	59.4	60.2	62.6	64.5	62.8	-1.7	ポイント
殺人	認知件数	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	-27	-2.5
	検挙件数	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	-45	-4.2
	検挙人員	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	-37	-3.6
	検挙率	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	-1.8	ポイント
強盗	認知件数	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	-483	-10.7
	検挙件数	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	-407	-13.9
	検挙人員	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	-501	-16.3
	検挙率	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	-2.4	ポイント
放火	認知件数	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	-115	-8.8
	検挙件数	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	-18	-2.0
	検挙人員	783	815	866	867	791	825	764	659	631	651	20	3.2
	検挙率	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	5.2	ポイント
強姦	認知件数	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	-113	-8.1
	検挙件数	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	-100	-8.6
	検挙人員	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	-115	-12.5
	検挙率	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	-0.5	ポイント
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	237	251	284	320	277	199	207	155	156	185	29	18.6
	検挙件数	211	215	231	232	204	180	178	141	140	151	11	7.9
	検挙人員	179	173	151	187	176	167	152	129	101	107	6	5.9
	検挙率	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	-8.1	ポイント
強制 わいせつ	認知件数	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	339	5.1
	検挙件数	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	74	2.1
	検挙人員	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	60	2.8
	検挙率	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	-1.5	ポイント

(2) 殺人事件の状況

殺人事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は27件(2.5%)、検挙件数は45件(4.2%)、検挙人員は37人(3.6%)それぞれ減少している。

また、検挙率は、前年に比べ1.8ポイント低下している(図表3-1-(2)-1)。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが118件(11.1%)で最も多く、次いで午後8時から午後10時までが113件(10.6%)となっている(図表3-1-(2)-2)。

また、発生場所は、住宅が679件(63.6%)で最も多く、次いで道路上が136件(12.7%)となっている(図表3-1-(2)-3)。

検挙した被疑者の逃走手段は、図表3-1-(2)-4のとおりである。

年齢別検挙人員は、図表3-1-(2)-5のとおりである。

図表3-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	1,297	1,094	1,067	-27	-2.5
検挙件数(件)		1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	1,237	1,074	1,029	-45	-4.2
検挙人員(人)		1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	1,211	1,036	999	-37	-3.6
検 挙 率(%)		94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	95.4	98.2	96.4	-1.8ポイント	
被害(死亡)者数		696	662	697	699	643	619	574	646	506	465	-41	-8.1
	男性	382	347	379	366	324	295	292	309	253	228	-25	-9.9
	女性	314	315	318	333	319	324	282	337	253	237	-16	-6.3

図表3-1-(2)-2 殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況(平成22年)

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
1,067	118	83	64	81	68	66	71	68	83	102	113	100	50

図表3-1-(2)-3 殺人事件の発生場所別認知件数の状況(平成22年)

認知件数	住宅	道路上	駐車(輪)場	その他
1,067	679	136	39	213

図表3-1-(2)-4 殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段(平成22年)

総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
944	9	0	81	2	6	25	3	16	10	792

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表3 - 1 - (2) - 5 殺人事件の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	1,334	102	279	264	205	256	109	119
平14	1,405	85	260	326	238	274	82	140
平15	1,456	95	268	314	212	306	117	144
平16	1,391	60	299	322	216	240	90	164
平17	1,338	71	253	303	219	247	107	138
平18	1,241	73	215	268	209	226	98	152
平19	1,161	64	197	294	185	199	99	123
平20	1,211	51	200	279	224	199	79	179
平21	1,036	53	187	219	189	165	80	143
平22	999	46	170	192	181	144	92	174
増減数	-37	-7	-17	-27	-8	-21	12	31
増減率	-3.6	-13.2	-9.1	-12.3	-4.2	-12.7	15.0	21.7

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】石巻市における殺人等事件（宮城）

解体工の男（18）は、2月10日、石巻市の一般民家において、女子高校生等を刃物で突き刺すなどして2名を殺害し、1名に負傷を負わせた（2月10日検挙）。

【事例2】広島市の自動車工場敷地内における殺人等事件（広島）

派遣社員の男（42）は、6月22日、広島市の自動車工場敷地内において、同社員12名を自動車を運転して跳ね飛ばし、1名を殺害し、11名に負傷を負わせた（6月22日検挙）。

【事例3】横浜市中区における弁護士殺人事件（神奈川）

無職の男（41）は、6月2日、横浜市中区所在の法律事務所内において、弁護士を持っていたアウトドアナイフで突き刺して殺害した（7月1日検挙）。

【事例4】豊島区における殺人事件（警視庁）

清掃作業員の男（56）は、平成13年4月15日、豊島区所在のアパートにおいて、居住する男性をナイフで突き刺して殺害した（平成23年1月10日検挙）。

【事例5】西宮市における夫婦殺人事件（兵庫）

飲食店店員の男（35）は、無職の男（61）と共謀して、11月12日、西宮市所在の事務所及び隣接する車庫において夫婦を刃物で突き刺すなどして殺害した（平成23年1月10日検挙）。

【事例6】守山市における女性殺人事件（滋賀）

社員の男（35）は、12月17日、守山市所在のアパートにおいて、女性を持っていた果物ナイフで突き刺すなどして殺害した（12月21日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は79件である。また、捜査本部設置事件の解決率は78.5%で、前年に比べ17.0ポイント低下している（図表3-1-(2)-6）。

注：「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（警視庁については、組織犯罪対策部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件とした。

図表3-1-(2)-6 捜査本部設置・解決状況の推移

区分	年次											増減率 (%)
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22		
設置件数(件)	165	176	145	145	116	98	103	102	88	79	-10.2	
		19	27	13	7	6	25	20	8	7	-12.5	
解決事件数(件)	122	140	118	117	102	89	98	87	84	62	-26.2	
		17	15	16	8	4	15	20	8	7	-12.5	
解決率(%)	73.9	79.5	81.4	80.7	87.9	90.8	95.1	85.3	95.5	78.5	-	
		89.5	55.6	123.1	114.3	66.7	60.0	100.0	100.0	100.0	-	

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：平成14年以降については、暴力団犯罪捜査担当課において設置したものを下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

通り魔殺人事件（注）の認知事件数及び検挙事件数は、前年に比べ、認知事件数は1件、検挙事件数は1件それぞれ増加している（図表3-1-(2)-7）。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表3-1-(2)-7 通り魔殺人事件の認知・検挙の推移

区分	年次											増減率	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)	
認知事件数(件)	6	8	9	3	6	4	8	14	4	5	1	25.0	
検挙事件数(件)	6	6	9	3	6	4	8	14	4	5	1	25.0	

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成22年12月末までに検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例】 大阪市旭区における通り魔殺人事件（大阪）

無職の男(35)は、5月25日、大阪市旭区のぱちんこ店内において、遊技客を刃物で突き刺して殺害した(5月25日検挙)。

ウ 保険金目的殺人事件

保険金目的殺人事件の検挙事件は1件で、前年に比べ、1件増加している（図表3 - 1 - (2) - 8）。

図表3 - 1 - (2) - 8 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分 \ 年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減率	
											件数	率(%)
検挙事件数(件)	9	11	10	9	2	4	3	2	0	1	1	-

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

エ 被疑者と被害者の関係別検挙件数

殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係別は、図表3-1-(2)-9のとおりである。

図表3-1-(2)-9 殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係

	被害者	総数	親族間計		親	子	配偶者 (内縁を 含む)	兄弟姉妹	その他の親族	知人友人	職場関係者	その他	面識なし	被害者なし
			割合											
総数	平成10年	1,222	520	42.6	118	130	189	38	45	334	74	133	159	2
	平成11年	1,098	459	41.8	114	98	170	40	37	299	60	138	141	1
	平成12年	1,219	514	42.2	131	120	197	34	32	304	84	140	172	5
	平成13年	1,157	492	42.5	98	121	191	47	35	282	77	134	162	10
	平成14年	1,238	512	41.4	111	128	197	41	35	325	68	133	193	7
	平成15年	1,258	530	42.1	133	110	215	47	25	333	71	134	184	6
	平成16年	1,224	557	45.5	121	135	206	57	38	300	65	147	154	1
	平成17年	1,224	541	44.2	133	111	218	50	29	273	74	144	189	3
	平成18年	1,155	542	46.9	154	143	179	38	28	290	71	114	132	6
	平成19年	1,052	506	48.1	133	102	192	42	37	251	61	92	137	5
	平成20年	1,120	558	49.8	143	130	200	36	49	283	63	86	123	7
	平成21年	971	467	48.1	121	116	152	48	30	254	61	75	111	3
	平成22年	944	494	52.3	121	101	184	43	45	227	55	58	108	2
	増減数	-27	27	4.2	0	-15	32	-5	15	-27	-6	-17	-3	-1
増減率	-2.8	5.8	-	0.0	-12.9	21.1	-10.4	50.0	-10.6	-9.8	-22.7	-2.7	-33.3	
14 - 19歳	平成10年	67	20	29.9	5	9	0	4	2	27	2	4	14	0
	平成11年	48	17	35.4	10	3	0	1	3	16	0	4	11	0
	平成12年	70	16	22.9	10	4	0	2	0	20	2	9	22	1
	平成13年	66	18	27.3	8	6	0	3	1	20	0	7	20	1
	平成14年	52	16	30.8	4	5	0	5	2	12	2	2	19	1
	平成15年	58	17	29.3	6	4	1	5	1	18	1	5	16	1
	平成16年	38	19	50.0	9	4	1	4	1	10	0	4	5	0
	平成17年	52	30	57.7	17	5	1	4	3	7	1	4	10	0
	平成18年	56	25	44.6	15	7	0	3	0	16	0	3	11	1
	平成19年	45	21	46.7	8	4	0	3	6	10	0	5	8	1
	平成20年	40	16	40.0	9	1	2	1	3	10	1	4	8	1
	平成21年	45	23	51.1	13	3	1	5	1	16	0	1	5	0
	平成22年	39	23	59.0	9	3	0	7	4	11	1	1	3	0
	増減数	-6	0	7.9	-4	0	-1	2	3	-5	1	0	-2	0
増減率	-13.3	0.0	-	-30.8	0.0	-100.0	40.0	300.0	-31.3	-	0.0	-40.0	-	
20 - 64歳	平成10年	1,039	423	40.7	110	98	150	32	33	284	70	116	144	2
	平成11年	944	380	40.3	101	81	135	33	30	259	59	121	124	1
	平成12年	1,028	426	41.4	117	90	164	29	26	259	79	115	145	4
	平成13年	980	393	40.1	86	92	146	41	28	246	77	115	140	9
	平成14年	1,046	411	39.3	100	98	152	32	29	280	60	117	172	6
	平成15年	1,051	424	40.3	123	80	167	35	19	292	63	110	158	4
	平成16年	1,024	452	44.1	106	113	154	48	31	253	59	125	134	1
	平成17年	1,031	437	42.4	111	91	172	39	24	234	66	122	169	3
	平成18年	949	432	45.5	138	112	130	31	21	239	65	94	114	5
	平成19年	879	411	46.8	122	85	148	32	24	215	58	70	123	2
	平成20年	900	423	47.0	126	104	126	32	35	243	58	68	104	4
	平成21年	783	347	44.3	104	84	100	36	23	215	55	64	99	3
	平成22年	730	351	48.1	110	66	113	30	32	185	49	46	98	1
	増減数	-53	4	3.8	6	-18	13	-6	9	-30	-6	-18	-1	-2
増減率	-6.8	1.2	-	5.8	-21.4	13.0	-16.7	39.1	-14.0	-10.9	-28.1	-1.0	-66.7	
65歳以上	平成10年	116	77	66.4	3	23	39	2	10	23	2	13	1	0
	平成11年	106	62	58.5	3	14	35	6	4	24	1	13	6	0
	平成12年	121	72	59.5	4	26	33	3	6	25	3	16	5	0
	平成13年	111	81	73.0	4	23	45	3	6	16	0	12	2	0
	平成14年	140	85	60.7	7	25	45	4	4	33	6	14	2	0
	平成15年	149	89	59.7	4	26	47	7	5	23	7	19	10	1
	平成16年	162	86	53.1	6	18	51	5	6	37	6	18	15	0
	平成17年	141	74	52.5	5	15	45	7	2	32	7	18	10	0
	平成18年	150	85	56.7	1	24	49	4	7	35	6	17	7	0
	平成19年	128	74	57.8	3	13	44	7	7	26	3	17	6	2
	平成20年	180	119	66.1	8	25	72	3	11	30	4	14	11	2
	平成21年	143	97	67.8	4	29	51	7	6	23	6	10	7	0
	平成22年	175	120	68.6	2	32	71	6	9	31	5	11	7	1
	増減数	32	23	0.8	-2	3	20	-1	3	8	-1	1	0	1
増減率	22.4	23.7	-	-50.0	10.3	39.2	-14.3	50.0	34.8	-16.7	10.0	0.0	-	

注1：解決事件を除く。

注2：犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備のうち、被害者が特定できないものが計上されている。

(3) 強盗事件の状況

強盗事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は483件(10.7%)、検挙件数は407件(13.9%)、検挙人員は501人(16.3%)それぞれ減少している。

また、検挙率は62.4%と、前年に比べ、2.4ポイント低下している(図表3-1-(3)-1)。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが629件(15.6%)と最も多い(図表3-1-(3)-2)。

犯罪供用物別では、刃物類を使用したものが34.8%と最も高い(図表3-1-(3)-3)。

また、強盗に伴う身体犯の認知件数は、前年に比べ、181件(10.5%)減少している(図表3-1-(3)-4)。

検挙した被疑者の逃走手段は、図表3-1-(3)-5のとおりである。

なお、年齢別検挙人員は、図表3-1-(3)-6のとおりである。

図表3-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減率	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	-483	-10.7
検挙件数(件)		3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	2,790	2,612	2,923	2,516	-407	-13.9
検挙人員(人)		4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	2,985	2,813	3,069	2,568	-501	-16.3
検挙率(%)		48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	61.1	64.8	62.4	-2.4	ポイント

図表3-1-(3)-2 強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況(平成22年)

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
4,029	555	629	411	112	110	216	243	267	230	350	403	495	8

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表3 - 1 - (3) - 3 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成22年）

犯罪供用物 強盗手口	総数	銃器										
		銃器		うち拳銃等		刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他
		認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)			
強盗	4,029	60	1.5	57	1.4	61	1.5	1,401	34.8	1,918	104	485
侵入強盗	1,680	41	2.4	40	2.4	36	2.1	1,071	63.8	292	37	203
住宅強盗	336	7	2.1	6	1.8	5	1.5	121	36.0	101	18	84
金融機関強盗	69	4	5.8	4	5.8	1	1.4	52	75.4	5	1	6
コンビニ強盗	723	13	1.8	13	1.8	18	2.5	553	76.5	77	10	52
その他の店舗強盗	480	14	2.9	14	2.9	12	2.5	315	65.6	87	4	48
その他	72	3	4.2	3	4.2	0	0.0	30	41.7	22	4	13
非侵入強盗	2,349	19	0.8	17	0.7	25	1.1	330	14.0	1,626	67	282
途中強盗	24	1	4.2	1	4.2	1	4.2	4	16.7	9	1	8
タクシー強盗	115	5	4.3	5	4.3	3	2.6	32	27.8	63	2	10
自動車強盗	49	2	4.1	1	2.0	0	0.0	15	30.6	24	2	6
路上強盗	1,221	5	0.4	4	0.3	7	0.6	148	12.1	888	47	126
その他	940	6	0.6	6	0.6	14	1.5	131	13.9	642	15	132

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知事件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「拳銃等」には、拳銃様のものを含む。

図表3 - 1 - (3) - 4 強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		件数	件数	率(%)									
強盗		6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	4,278	4,512	4,029	-483	-10.7
強盗に伴う身体犯		3,022	3,285	3,400	3,248	2,576	2,207	1,932	1,797	1,729	1,548	-181	-10.5
強盗殺人・致死		96	93	78	89	66	52	44	44	55	36	-19	-34.5
強盗傷人		2,755	3,038	3,119	2,958	2,351	2,018	1,752	1,649	1,564	1,415	-149	-9.5
強盗強姦		171	154	203	201	159	137	136	104	110	97	-13	-11.8

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表3 - 1 - (3) - 5 強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）

総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	該当なし	
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
2,479	92	26	450	16	25	188	115	215	12	1,340

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表3 - 1 - (3) - 6 強盗事件の年齢別検挙人員

年次	区分 総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	4,096	1,705	992	577	361	331	73	57
平14	4,151	1,631	1,088	591	367	331	82	61
平15	4,698	1,818	1,261	643	414	373	106	83
平16	4,154	1,305	1,199	722	381	352	111	84
平17	3,844	1,159	1,146	625	413	309	97	95
平18	3,335	913	1,010	616	340	283	72	101
平19	2,985	786	848	541	341	271	88	110
平20	2,813	730	758	490	391	244	97	103
平21	3,069	722	859	531	443	292	106	116
平22	2,568	576	746	504	310	234	91	107
増減数	-501	-146	-113	-27	-133	-58	-15	-9
増減率	-16.3	-20.2	-13.2	-5.1	-30.0	-19.9	-14.2	-7.8

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】鳥取市における強盗殺人事件（鳥取）

無職の女（36）は、支払を免れようと企て、平成21年10月6日、鳥取市において、男性に睡眠薬等を服用させて意識もうろう状態に陥らせた上、河川内に入水させるなどして窒息させて殺害し、債務の返済を免れた。また、女は、債務の弁済を免れようと企て、平成21年4月4日にも、鳥取市等において、別の男性に睡眠薬等を服用させて意識もうろう状態に陥らせた上、海中に入水させるなどして窒息させて殺害し、債務の弁済を免れていた（1月28日検挙）。

【事例2】松戸市における強盗殺人等事件（千葉）

無職の男（49）は、平成21年10月20日、松戸市内のマンションにおいて、金品を強取しようと企て、女性に包丁を突き付けるなどして現金等を強取し、さらに同女性を刃物で突き刺すなどして殺害した上、同所に火を放って焼損させた（2月17日検挙）。

【事例3】八潮市のぱちんこ店における強盗殺人事件（埼玉）

無職の男（37）は、金品を強取しようと企て、7月30日、八潮市のぱちんこ店内において、遊技客の女性に持っていた包丁を突き付けるなどして脅迫し、バッグを強取しようとしたが、同女性の夫に妨害されそうになったことから、同人を包丁で突き刺して殺害した（8月20日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は70件（うち郵便局対象は58件、82.9%）、検挙事件数は57件で、前年に比べ、認知事件数が10件（12.5%）、検挙事件数が16件（21.9%）それぞれ減少している（図表3-1-(3)-7、8）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午後2時から午後4時までが27件（38.6%）と最も多い（図表3-1-(3)-9）。

また、強盗事件発生時における各被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況をみると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表3-1-(3)-10）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。郵便局は金融機関であるが、これまでの発生状況等をかんがみ、銀行、信用金庫等の金融機関とは区別し、本文では個別に記載している。

図表3-1-(3)-7 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	229	141	142	129	128	146	144	83	80	70	-10	-12.5
検挙事件数	147	111	113	83	97	106	117	62	73	57	-16	-21.9
検挙率	64.2	78.7	79.6	64.3	75.8	72.6	81.3	74.7	91.3	81.4	-9.9	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 1 - (3) - 8 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

区分	年次	平21年		平22年		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知事件数		80	100.0	70	100.0	-10	-12.5
金融機関		22	27.5	12	17.1	-10	-45.5
銀行		15	18.8	4	5.7	-11	-73.3
信用金庫		5	6.3	6	8.6	1	20.0
信用組合		0	0.0	0	0.0	0	0.0
農(漁)業協同組合		2	2.5	2	2.9	0	0.0
郵便局		58	72.5	58	82.9	0	0.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 1 - (3) - 9 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成 22 年）

区分	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	総数
認知事件数		0	0	0	0	3	16	16	27	8	0	0	0	70
割合 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	22.9	22.9	38.6	11.4	0.0	0.0	0.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 1 - (3) - 10 防犯設備の設置・活用状況（平成 22 年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	67	60	7	3
	(割合%)	95.7	89.6	10.4	4.3
非常ベル	認知事件数	54	21	33	16
	(割合%)	77.1	38.9	61.1	22.9
防犯カメラ	認知事件数	70	68	2	0
	(割合%)	100.0	97.1	2.9	0.0
カラーボール	認知事件数	69	14	39	1
	(割合%)	98.6	20.3	56.5	1.4
屋外赤色灯	認知事件数	52	34	18	18
	(割合%)	74.3	65.4	34.6	25.7

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

【事例 1】福井市における信用金庫対象の持凶器強盗事件（福井）

無職の男（44）は、金員を強取しようと企て、3月24日、福井市内の信用金庫において、女性職員らに対し、ナイフを示すなどして脅迫し、現金を強取した（3月25日検挙）。

【事例 2】高知市における郵便局対象の持凶器強盗致傷事件（高知）

社員の男（57）は、現金を強取しようと企て、7月15日、高知市内の郵便局において、女性職員に対して、持っていた包丁を突き付けて、ガソリンをまくなどして脅迫し、同女性に傷害を負わせ、現金を強取した（7月23日検挙）。

【事例 3】品川区における郵便局対象のけん銃使用強盗事件（警視庁）

無職の男（65）は、現金を強取しようと企て、8月2日、品川区内の郵便局において、けん銃を発射するなどして職員を脅迫し、現金を強取した（10月7日検挙）。

イ 消費者金融対象強盗事件

消費者金融対象強盗事件の認知はなく、前年に比べ3件減少している（図表3-1-(3)-11）。

図表3-1-(3)-11 消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		104	46	53	42	26	24	10	8	3	0	-3	-100.0
検挙事件数		37	33	26	19	17	13	15	6	2	1	-1	-50.0
検挙率		35.6	71.7	49.1	45.2	65.4	54.2	150.0	75.0	66.7	-	-	-

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は614件、検挙事件数は359件で、前年に比べ、認知事件数が153件（19.9%）、検挙事件数が52件（12.7%）それぞれ減少している（図表3-1-(3)-12）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前3時から午前4時までが158件（25.7%）と最も多く、午前2時から午前5時までで全体の66.9%を占めている（図表3-1-(3)-13）。

また、強盗事件発生時における被害店舗の防犯設備の設置及び活用の状況を見ると、防犯カメラの活用率は高くなっているが、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率は低い（図表3-1-(3)-14）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表3-1-(3)-12 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		527	468	742	680	561	527	457	514	767	614	-153	-19.9
検挙事件数		163	225	259	247	337	261	218	277	411	359	-52	-12.7
検挙率		30.9	48.1	34.9	36.3	60.1	49.5	47.7	53.9	53.6	58.5	4.9	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-1-(3)-13 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成22年）

区分	時間	22～23時	23～0時	0～1時	1～2時	2～3時	3～4時	4～5時	5～6時	6～7時	総数
認知事件数		13	33	27	65	116	158	137	49	16	614
割合(%)		2.1	5.4	4.4	10.6	18.9	25.7	22.3	8.0	2.6	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 1 - (3) - 14 防犯設備の設置・活用状況（平成 22 年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	452	227	223	2
	(割合%)	73.6	50.2	49.3	0.4
非常ベル	認知事件数	516	111	403	2
	(割合%)	84.0	21.5	78.1	0.4
防犯カメラ	認知事件数	614	590	24	0
	(割合%)	100.0	96.1	3.9	0.0
カラーボール	認知事件数	588	27	544	17
	(割合%)	95.8	4.6	92.5	2.9
屋外赤色灯	認知事件数	398	94	304	0
	(割合%)	64.8	23.6	76.4	0.0

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：「活用不要」とは、検挙等により活用する必要がなかったものをいう。

【事例 1】佐波郡玉村町におけるコンビニエンスストア対象の強盗事件（群馬）

無職の男（42）ら 2 名は、1 月 12 日、現金を強取しようとして、佐波郡玉村町内のコンビニエンスストアにおいて、店員に対し、けん銃様のものを示すなどして脅迫し、現金を強取した（5 月 18 日検挙）。

【事例 2】大野市におけるコンビニエンスストア対象の強盗殺人事件（福井）

無職の男（45）は、現金を強取しようとして、8 月 27 日、大野市内のコンビニエンスストアにおいて、持っていたアイスピックで店長を突き刺すなどして殺害し、現金を強取した（9 月 4 日検挙）。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

ぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は、前年に比べ 7 件（21.2%）減少している（図表 3 - 1 - (3) - 15）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前 0 時から午前 2 時までが最も多い（図表 3 - 1 - (3) - 16）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表 3 - 1 - (3) - 15 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
認知件数	77	95	110	44	51	36	48	33	33	26	-7	-21.2

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表 3 - 1 - (3) - 16 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数（平成 22 年）

時間 区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知件数	5	2	2	0	2	3	0	4	0	3	3	2	0	26
割合(%)	19.2	7.7	7.7	0.0	7.7	11.5	0.0	15.4	0.0	11.5	11.5	7.7	0.0	100

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は11件で、前年に比べ10件(47.6%)減少している(図表3-1-(3)-17)。

認知した事件をみると、午前10時から午後0時及び午後8時から午後10時までの間の発生がそれぞれ3件で最も多い(図表3-1-(3)-18)。

図表3-1-(3)-17 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	80	42	75	42	32	37	31	20	21	11	-10	-47.6
検挙件数	25	17	19	11	8	11	11	12	9	5	-4	-44.4
検挙率	31.3	40.5	25.3	26.2	25.0	29.7	35.5	60.0	42.9	45.5	2.6	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-1-(3)-18 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数(平成22年)

時間 区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	総数
認知事件数	1	0	0	0	0	3	1	1	0	1	3	1	11
割合(%)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

カ 現金輸送車対象強盗事件

現金輸送車対象強盗事件の認知はなく、前年に比べ1件減少している(図表3-1-(3)-19)。

図表3-1-(3)-19 現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	9	8	7	3	3	6	1	1	1	0	-1	-100.0
検挙事件数	4	5	1	9	3	5	1	0	1	0	-1	-100.0
検挙率	44.4	62.5	14.3	300.0	100.0	83.3	100.0	0.0	100.0	-	-	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

キ タクシー対象強盗事件

タクシー対象強盗事件の認知事件数は105件で、前年に比べ50件(32.3%)減少している(図表3-1-(3)-20)。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが25件(23.8%)と最も多い(図表3-1-(3)-21)。

また、防犯仕切板の設置状況をみると、被害車両の82.9%が設置されている(図表3-1-(3)-22)。

図表3-1-(3)-20 タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移

区分	年次						増減	
	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)
認知事件数	196	178	184	196	155	105	-50	-32.3
検挙事件数	104	116	117	126	129	76	-53	-41.1
検挙率	53.1	65.2	63.6	64.3	83.2	72.4	-10.8	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-1-(3)-21 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数(平成22年)

区分	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知事件数		25	17	14	8	6	3	3	5	2	3	9	9	1	105
割合(%)		23.8	16.2	13.3	7.6	5.7	2.9	2.9	4.8	1.9	2.9	8.6	8.6	1.0	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-1-(3)-22 防犯仕切板の活用と負傷等の状況(平成22年)

設置状況	区分	被害件数	負傷等あり			負傷等なし	
			死亡	重体(傷)	軽傷		
タクシー対象強盗の総数(件)		105	43	1	2	40	62
防犯仕切板あり		87	36	1	2	33	51
(割合%)		100.0	41.4	1.1	2.3	37.9	58.6
防犯仕切板なし		18	7	0	0	7	11
(割合%)		100.0	38.9	0.0	0.0	38.9	61.1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

ク 強盗の手口別認知・検挙状況

強盗の手口別認知状況は、前年に比べ、侵入強盗は212件（11.2%）、非侵入強盗は271件（10.3%）それぞれ減少している（図表3-1-(3)-23）。

手口別検挙状況は、図表3-1-(3)-24、25のとおりである。

図表3-1-(3)-23 強盗の手口別認知件数

	平21	平22	増減数	増減率
総数	4,512	4,029	-483	-10.7
侵入強盗計	1,892	1,680	-212	-11.2
住宅強盗	346	336	-10	-2.9
金融機関強盗	84	69	-15	-17.9
コンビニ強盗	897	723	-174	-19.4
その他の店舗強盗	479	480	1	0.2
侵入強盗その他	86	72	-14	-16.3
非侵入強盗計	2,620	2,349	-271	-10.3
途中強盗	35	24	-11	-31.4
タクシー強盗	159	115	-44	-27.7
自動車強盗	67	49	-18	-26.9
路上強盗	1,366	1,221	-145	-10.6
非侵入強盗その他	993	940	-53	-5.3

図表3-1-(3)-24 強盗の手口別検挙件数・検挙率

	検挙件数				検挙率		
	平21	平22	増減数	増減率	平21	平22	増減数
総数	2,923	2,516	-407	-13.9	64.8	62.4	-2.4
侵入強盗計	1,220	1,094	-126	-10.3	64.5	65.1	0.6
住宅強盗	212	236	24	11.3	61.3	70.2	8.9
金融機関強盗	73	56	-17	-23.3	86.9	81.2	-5.7
コンビニ強盗	543	474	-69	-12.7	60.5	65.6	5.1
その他の店舗強盗	317	268	-49	-15.5	66.2	55.8	-10.4
侵入強盗その他	75	60	-15	-20.0	87.2	83.3	-3.9
非侵入強盗計	1,703	1,422	-281	-16.5	65.0	60.5	-4.5
途中強盗	21	23	2	9.5	60.0	95.8	35.8
タクシー強盗	129	87	-42	-32.6	81.1	75.7	-5.4
自動車強盗	27	38	11	40.7	40.3	77.6	37.3
路上強盗	665	501	-164	-24.7	48.7	41.0	-7.7
非侵入強盗その他	861	773	-88	-10.2	86.7	82.2	-4.5

図表3-1-(3)-25 強盗の手口別検挙人員

	総数				うち) 少年			
	平21	平22	増減数	増減率	平21	平22	増減数	増減率
総数	3,069	2,568	-501	-16.3	696	565	-131	-18.8
侵入強盗計	1,072	957	-115	-10.7	91	106	15	16.5
住宅強盗	213	253	40	18.8	11	11	-	-
金融機関強盗	74	44	-30	-40.5	1	0	-1	-100.0
コンビニ強盗	418	330	-88	-21.1	51	37	-14	-27.5
その他の店舗強盗	272	258	-14	-5.1	20	56	36	180.0
侵入強盗その他	95	72	-23	-24.2	8	2	-6	-75.0
非侵入強盗計	1,997	1,611	-386	-19.3	605	459	-146	-24.1
途中強盗	31	32	1	3.2	2	1	-1	-50.0
タクシー強盗	117	98	-19	-16.2	11	11	-	-
自動車強盗	27	41	14	51.9	1	8	7	700.0
路上強盗	886	593	-293	-33.1	431	270	-161	-37.4
非侵入強盗その他	936	847	-89	-9.5	160	169	9	5.6

(4) 主な性犯罪の状況

強姦の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は113件(8.1%)、検挙件数が100件(8.6%)、検挙人員が115人(12.5%)それぞれ減少している。

また、検挙率は82.5%で、前年に比べ、0.5ポイント低下している(図表3-1-(4)-1)。

強制わいせつの認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は339件(5.1%)、検挙件数は74件(2.1%)、検挙人員は60人(2.8%)それぞれ増加している。

また、検挙率は51.8%で、前年に比べ、1.5ポイント低下している(図表3-1-(4)-2)。

認知した事件を発生時間帯別にみると、強姦は午前0時から午前2時が229件(17.8%)、強制わいせつは午後10時から午前0時が1,057件(15.0%)と、最も多くなっている(図表3-1-(4)-3)。

検挙した被疑者の逃走手段は、図表3-1-(4)-4のとおりである。

強姦の年齢別検挙人員は図表3-1-(4)-5、強制わいせつの年齢別検挙人員は図表3-1-(4)-6のとおりである。

図表3-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	1,582	1,402	1,289	-113	-8.1
検挙件数(件)		1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	1,326	1,163	1,063	-100	-8.6
検挙人員(人)		1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	951	918	803	-115	-12.5
検 挙 率(%)		63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	83.8	83.0	82.5	-0.5	ポ イ ント

図表3-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	7,111	6,688	7,027	339	5.1
検挙件数(件)		3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	3,555	3,563	3,637	74	2.1
検挙人員(人)		2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	2,219	2,129	2,189	60	2.8
検 挙 率(%)		41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	50.0	53.3	51.8	-1.5	ポ イ ント

図表3-1-(4)-3 主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況(平成22年)

区分	認知件数	0時 - 2時	2時 - 4時	4時 - 6時	6時 - 8時	8時 - 10時	10時 - 12時	12時 - 14時	14時 - 16時	16時 - 18時	18時 - 20時	20時 - 22時	22時 - 24時	不明
		強姦	1,289	229	185	134	48	30	43	47	63	59	107	146
強制わいせつ	7,027	1,000	549	284	307	240	248	279	464	700	821	1,019	1,057	59

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表3-1-(4)-4 主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）

	総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	該当なし	
		自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
強姦	995	11	7	223	2	10	35	32	64	5	606
強制わいせつ	3,470	23	7	678	4	14	64	109	388	28	2,155

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被害者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表3-1-(4)-5 強姦の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	1,277	269	560	228	109	84	11	16
平14	1,355	258	566	283	108	91	26	23
平15	1,342	260	572	306	106	73	15	10
平16	1,107	159	438	274	116	83	16	21
平17	1,074	152	392	308	118	75	15	14
平18	1,058	120	384	310	123	81	23	17
平19	1,013	129	367	278	133	69	19	18
平20	951	132	324	275	120	56	24	20
平21	918	128	317	232	141	57	23	20
平22	803	123	275	231	81	55	23	15
増減数	-115	-5	-42	-1	-60	-2	0	-5
増減率	-12.5	-3.9	-13.2	-0.4	-42.6	-3.5	0.0	-25.0

注：犯行時の年齢を計上している。

図表3-1-(4)-6 強制わいせつの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	2,236	325	665	576	282	249	68	71
平14	2,130	260	644	530	302	245	67	82
平15	2,273	337	647	550	285	281	69	104
平16	2,225	260	554	605	327	277	82	120
平17	2,286	288	581	626	344	252	85	110
平18	2,254	246	593	581	342	272	85	135
平19	2,240	265	554	588	347	257	94	135
平20	2,219	279	570	564	327	251	98	130
平21	2,129	284	532	519	330	226	107	131
平22	2,189	322	545	548	331	196	100	147
増減数	60	38	13	29	1	-30	-7	16
増減率	2.8	13.4	2.4	5.6	0.3	-13.3	-6.5	12.2

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】連続持凶器強姦等事件（愛知）

風俗店店長の男（36）は、1月3日、名古屋市中区の路上において、停車中の車両に乗り込み、乗車中の女性にナイフを突き付けて脅迫するなどして姦淫した。男は、他にも同種の強姦事件等を敢行していた（1月15日検挙）。

【事例2】連続強姦致傷事件（愛知・滋賀）

会社員の男（40）は、4月18日、大津市の路上において、女性を殴打して脅迫するなどして姦淫した。男は、他にも同種の強姦等事件を敢行していた（6月5日検挙）。

(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況

略取誘拐・人身売買の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数が29件（18.6%）、検挙件数が11件（7.9%）、検挙人員が6人（5.9%）それぞれ増加している。

また、検挙率は81.6%で、前年に比べ、8.1ポイント低下している（図表3-1-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害者の年齢は13歳未満の者を対象としたものが91件で、全体の49.2%を占めている（図表3-1-(5)-2）。

発生時間では、午後2時から午後4時が34件（18.4%）と最も多い（図表3-1-(5)-3）。

検挙した被疑者の逃走手段は、図表3-1-(5)-4のとおりである。

年齢別検挙人員等は、図表3-1-(5)-5のとおりである。

また、身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数及び検挙事件数は、前年と同数である（図表3-1-(5)-6）。

図表3-1-(5)-1 略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	237	251	284	320	277	199	207	155	156	185	29	18.6
検挙件数(件)	211	215	231	232	204	180	178	141	140	151	11	7.9
検挙人員(人)	179	173	151	187	176	167	152	129	101	107	6	5.9
検挙率(%)	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	91.0	89.7	81.6	-8.1	ポイント

図表3-1-(5)-2 略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成22年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	185	32	59	57	26	9	1	0	1
(割合%)	100	17.3	31.9	30.8	14.1	4.9	0.5	0.0	0.5
男性	39	15	14	5	1	3	0	0	1
(割合%)	21.1	8.1	7.6	2.7	0.5	1.6	0.0	0.0	0.5
女性	146	17	45	52	25	6	1	0	0
(割合%)	78.9	9.2	24.3	28.1	13.5	3.2	0.5	0.0	0.0

図表3-1-(5)-3 略取誘拐・人身売買事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
185	10	8	3	9	17	12	11	34	30	23	13	10	5

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 3 - 1 - (5) - 4 略取誘拐・人身売買事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成 22 年）

総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
146	0	1	62	6	0	13	2	7	5	50

注 1：解決事件を除く。

注 2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

図表 3 - 1 - (5) - 5 略取誘拐・人身売買の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	179	11	65	51	23	21	7	1
平14	173	16	52	56	25	19	1	4
平15	151	7	60	43	17	21	1	2
平16	187	12	47	63	32	21	4	8
平17	176	8	57	56	23	18	7	7
平18	167	16	40	53	22	27	4	5
平19	152	14	49	43	26	13	3	4
平20	129	7	49	31	15	14	6	7
平21	101	4	27	30	21	9	5	5
平22	107	5	21	42	21	9	5	4
増減数	6	1	-6	12	0	0	0	-1
増減率	5.9	25.0	-22.2	40.0	0.0	0.0	0.0	-20.0

注：犯行時の年齢を計上している

図表 3 - 1 - (5) - 6 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		件(人)数	率(%)										
認知事件数(件)		10	10	12	7	6	6	2	3	2	2	0	0.0
検挙事件数(件)		10	10	11	7	6	6	2	3	2	2	0	0.0
検挙人員(人)		24	35	24	24	21	21	7	13	7	5	-2	-28.6

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】安芸郡熊野町における身の代金目的誘拐等事件（広島）

無職の男（24）は、1月13日、知人の女（24）と共に謀し、同女性の実子である娘を誘拐し、同女性の夫に対して身の代金を要求した（1月14日検挙）。

(6) 放火事件の状況

放火事件の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は115件(8.8%)、検挙件数は18件(2.0%)それぞれ減少しているが、検挙人員は20人(3.2%)増加している。

また、検挙率は75.1%で、前年に比べ、5.2ポイント上昇している(図表3-1-(6)-1)。

認知した事件をみると、発生時間帯は、午前2時から午前4時までが172件(14.4%)と最も多い(図表3-1-(6)-2)。

検挙した被疑者の逃走手段は、図表3-1-(6)-3のとおりである。

年齢別検挙人員は、図表3-1-(6)-4のとおりである。

図表3-1-(6)-1 放火事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	1,424	1,306	1,191	-115	-8.8
検挙件数(件)		1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	1,054	913	895	-18	-2.0
検挙人員(人)		783	815	866	867	791	825	764	659	631	651	20	3.2
検 挙 率(%)		76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	74.0	69.9	75.1	5.2	ポ イ ント

図表3-1-(6)-2 放火事件の発生時間帯別認知件数の状況(平成22年)

認知件数	0時 ～2時	2時 ～4時	4時 ～6時	6時 ～8時	8時 ～10時	10時 ～12時	12時 ～14時	14時 ～16時	16時 ～18時	18時 ～20時	20時 ～22時	22時 ～24時	不明
1,191	161	172	101	60	61	75	70	82	84	112	102	104	7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表3-1-(6)-3 放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況(平成22年)

総数	盗 難 車		盗 難 車 以 外					自 転 車	そ の 他	該 当 な し
	自 動 車	オ ー ト バ イ	自 己 所 有 の 自 動 車	レ ン タ カ ー	タ ク シ ー ・ ハ イ ヤ ー	そ の 他 の 自 動 車	オ ー ト バ イ			
852	5	3	85	2	1	13	5	100	8	630

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表3 - 1 - (6) - 4 放火の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	783	105	149	137	144	160	38	50
平14	815	91	144	184	136	155	57	48
平15	866	108	138	186	150	155	50	79
平16	867	105	153	162	149	189	57	52
平17	791	86	141	157	122	161	63	61
平18	825	103	136	171	154	152	41	68
平19	764	103	117	149	156	137	36	66
平20	659	66	125	151	111	92	49	65
平21	631	83	118	116	114	105	46	49
平22	651	67	117	135	132	96	27	77
増減数	20	-16	-1	19	18	-9	-19	28
増減率	3.2	-19.3	-0.8	16.4	15.8	-8.6	-41.3	57.1

注：犯行時の年齢を計上している。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりという。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成22年も、前年に比べ、1万9,438件（9.7%）減少している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は15,534件（15.2%）、検挙人員は442人（2.9%）それぞれ減少している。

また、検挙率は47.8%で、前年に比べ3.1ポイント低下している（図表3-2-(1)-1）。

なお、各手口の年齢別検挙人員については、図表3-2-(1)-2、3、4、5、6、7のとおりである。

図表3-2-(1)-1 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	H22	増減	
		件(人)数	率(%)	件(人)数	率(%)								
重要窃盗犯	認知件数	443,502	478,476	469,148	407,929	338,967	282,047	241,425	210,103	200,572	181,134	-19,438	-9.7
	検挙件数	120,183	133,960	140,861	135,933	133,390	127,901	124,158	112,607	102,130	86,596	-15,534	-15.2
	検挙人員	22,493	22,425	22,596	20,600	18,719	18,098	16,857	15,455	15,159	14,717	-442	-2.9
	検挙率	27.1	28.0	30.0	33.3	39.4	45.3	51.4	53.6	50.9	47.8	-3.1	ポイント
侵入盗	認知件数	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0
	検挙件数	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	87,047	81,545	70,307	-11,238	-13.8
	検挙人員	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	11,079	10,852	10,766	-86	-0.8
	検挙率	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	56.1	54.9	51.5	-3.4	ポイント
住宅対象	認知件数	161,883	189,336	190,473	170,991	142,945	120,023	103,490	91,082	81,436	74,558	-6,878	-8.4
	検挙件数	45,752	51,897	59,133	57,948	60,486	58,717	54,491	49,600	48,157	39,880	-8,277	-17.2
	検挙人員	5,144	5,241	5,318	5,209	4,875	4,830	4,462	4,182	4,170	4,072	-98	-2.4
	検挙率	28.3	27.4	31.0	33.9	42.3	48.9	52.7	54.5	59.1	53.5	-5.6	ポイント
自動車盗	認知件数	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9
	検挙件数	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	-1,124	-11.8
	検挙人員	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	-208	-10.2
	検挙率	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.7	37.0	35.5	-1.5	ポイント
ひったくり	認知件数	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	19,145	19,036	14,559	-4,477	-23.5
	検挙件数	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	11,229	9,051	6,323	-2,728	-30.1
	検挙人員	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	1,251	1,438	1,191	-247	-17.2
	検挙率	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	58.7	47.5	43.4	-4.1	ポイント
すり	認知件数	25,691	24,590	25,338	19,198	15,446	13,698	10,220	8,396	7,233	6,248	-985	-13.6
	検挙件数	4,412	4,400	4,149	3,791	3,632	3,699	3,064	1,762	1,977	1,533	-444	-22.5
	検挙人員	770	796	836	970	938	956	916	897	824	923	99	12.0
	検挙率	17.2	17.9	16.4	19.7	23.5	27.0	30.0	21.0	27.3	24.5	-2.8	ポイント

注：「住宅対象」とは、侵入盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

図表 3 - 2 - (1) - 2 侵入盗の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	13,712	3,883	3,585	2,386	1,748	1,486	346	278
平14	13,696	3,879	3,482	2,509	1,679	1,479	353	315
平15	14,208	3,901	3,677	2,697	1,699	1,524	377	333
平16	13,548	3,756	3,383	2,540	1,688	1,433	386	362
平17	12,564	3,044	3,209	2,425	1,686	1,428	396	376
平18	12,434	2,670	3,292	2,589	1,654	1,446	392	391
平19	12,037	2,464	3,148	2,490	1,612	1,460	405	458
平20	11,079	2,177	2,778	2,249	1,582	1,369	456	468
平21	10,852	2,302	2,751	2,168	1,524	1,231	446	430
平22	10,766	2,115	2,911	2,051	1,553	1,175	485	476
増減数	-86	-187	160	-117	29	-56	39	46
増減率	-0.8	-8.1	5.8	-5.4	1.9	-4.5	8.7	10.7

注：犯行時の年齢を記載している

図表 3 - 2 - (1) - 3 侵入盗のうち住宅対象の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	5,144	1,138	1,452	946	687	644	147	130
平14	5,241	1,099	1,456	1,033	683	659	147	164
平15	5,318	1,094	1,470	1,127	693	625	161	148
平16	5,209	1,015	1,411	1,075	727	629	180	172
平17	4,875	836	1,413	1,004	709	566	181	166
平18	4,830	726	1,394	1,126	683	580	162	159
平19	4,462	675	1,295	970	660	549	154	159
平20	4,182	649	1,106	935	610	519	174	189
平21	4,170	680	1,223	870	595	470	168	164
平22	4,072	638	1,199	829	594	466	183	163
増減数	-98	-42	-24	-41	-1	-4	15	-1
増減率	-2.4	-6.2	-2.0	-4.7	-0.2	-0.9	8.9	-0.6

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 3 - 2 - (1) - 4 侵入盗のうち住宅対象以外の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	8,568	2,745	2,133	1,440	1,061	842	199	148
平14	8,455	2,780	2,026	1,476	996	820	206	151
平15	8,890	2,807	2,207	1,570	1,006	899	216	185
平16	8,339	2,741	1,972	1,465	961	804	206	190
平17	7,689	2,208	1,796	1,421	977	862	215	210
平18	7,604	1,944	1,898	1,463	971	866	230	232
平19	7,575	1,789	1,853	1,520	952	911	251	299
平20	6,897	1,528	1,672	1,314	972	850	282	279
平21	6,682	1,622	1,528	1,298	929	761	278	266
平22	6,694	1,477	1,712	1,222	959	709	302	313
増減数	12	-145	184	-76	30	-52	24	47
増減率	0.2	-8.9	12.0	-5.9	3.2	-6.8	8.6	17.7

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 3 - 2 - (1) - 5 自動車盗の年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	4,933	1,714	1,219	873	593	439	65	30
平14	4,775	1,701	1,129	862	505	434	86	58
平15	4,599	1,575	1,064	867	532	430	82	49
平16	3,823	1,236	881	755	452	386	61	52
平17	3,366	960	771	722	452	332	71	58
平18	3,056	867	642	678	439	303	72	55
平19	2,380	678	496	477	348	265	60	56
平20	2,228	519	446	474	367	284	71	67
平21	2,045	508	422	439	352	211	62	51
平22	1,837	466	371	369	316	200	64	51
増減数	-208	-42	-51	-70	-36	-11	2	0
増減率	-10.2	-8.3	-12.1	-15.9	-10.2	-5.2	3.2	0.0

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 3 - 2 - (1) - 6 ひったくりの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	3,078	2,208	497	181	85	78	18	11
平14	3,158	2,187	554	172	107	96	25	17
平15	2,953	1,985	552	208	90	91	16	11
平16	2,259	1,380	503	181	88	76	17	14
平17	1,851	1,041	463	154	98	70	14	11
平18	1,652	855	408	193	95	66	16	19
平19	1,524	816	364	162	80	66	12	24
平20	1,251	650	303	148	68	53	15	14
平21	1,438	723	384	161	88	50	10	22
平22	1,191	578	306	151	76	48	16	16
増減数	-247	-145	-78	-10	-12	-2	6	-6
増減率	-17.2	-20.1	-20.3	-6.2	-13.6	-4.0	60.0	-27.3

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 3 - 2 - (1) - 7 すりの年齢別検挙人員

区分 年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	770	59	115	133	137	178	55	93
平14	796	72	121	122	123	172	93	93
平15	836	103	126	144	137	166	83	77
平16	970	90	152	169	174	208	72	105
平17	938	83	154	174	133	200	90	104
平18	956	98	177	185	145	154	71	126
平19	916	92	173	153	144	170	56	128
平20	897	96	187	142	122	160	68	122
平21	824	101	163	124	132	113	82	109
平22	923	136	195	144	129	115	81	123
増減数	99	35	32	20	-3	2	-1	14
増減率	12.0	34.7	19.6	16.1	-2.3	1.8	-1.2	12.8

注：犯行時の年齢を計上している。

(2) 組織窃盗事件の状況

各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は28件であり、また、6件を、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録している（図表3-2-(2)）。

これまでの警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例をみると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団員等を主要なメンバーとして、数十人単位の多数の者で構成され、首魁の指揮の下、実行メンバーを入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入盗や自動車盗等を敢行するとともに、実行メンバー以外のメンバーが、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車の車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注1：「組織窃盗」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表3-2-(2) 組織窃盗事件（登録・認定）数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		43	43	64	58	49	45	30	30	21	28	7	33.3
		(7)	(11)	(9)	(9)	(9)	(6)	(1)	(2)	(2)	(6)	4	200.0
	終結事件数(件)	43	43	64	58	49	45	26	22	15	10		
		(7)	(11)	(9)	(9)	(9)	(6)	(1)	(2)	(2)	(1)		
現在捜査中の事件数(件)		0	0	0	0	0	0	4	8	6	18		
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：（ ）内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：組織窃盗事件数、終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成21年6月末現在のものである。

【事例1】中国人らグループによる広域空き巣等事件（警察庁登録組織窃盗第92号事件）（京都、警視庁、神奈川、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良）

平成18年2月から平成21年7月までの間、中国籍の男（27）が首魁となり、不法滞在等の中国人と窃盗グループを組織し、日本人首魁の運転手グループと結託して、関東・近畿等において、高級住宅等を対象に空き巣を敢行し、現金、貴金属等を窃取していた。

平成22年1月までに、16都道府県下にわたる空き巣等約1,550件（首魁を含む被疑者70人、被害総額約16億800万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例2】暴力団周辺者を首魁とする広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第93号事件）（神奈川、北海道、茨城、群馬、埼玉、静岡、京都）

平成14年8月から平成21年9月までの間、暴力団周辺者の男（34）が首魁となり、暴力団組員及びその周辺者らと結託して、関東、近畿等において、自動車盗等を敢行し、解体・コンテナ詰めした上、不正輸出するなどしていた。

平成22年3月までに、17都道府県下にわたる自動車盗等約2,500件（首魁を含む被疑者65人、被害総額約32億8,300万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例3】ナイジェリア人らグループによる広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第94号事件）（兵庫、和歌山、岡山、滋賀、山口、愛知、大阪）

平成14年9月から平成21年8月までの間、ナイジェリア人の男（46）が首魁となり、日本人グループらに指示し、中部、近畿等において、自動車盗等を敢行し、ナイジェリア人グループが解体・コンテナ詰めした上、不正輸出するなどしていた。

平成22年7月までに、15府県下にわたる自動車盗等約1,070件（首魁を含む被疑者63人、被害総額約17億1,500万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

（3）建設機械等を使用した現金自動預払機等を対象とした窃盗事件

建設機械等を使用して現金自動預払機（ATM）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取する窃盗事件の認知事件はない（図表3-2-(3)）。

図表3-2-(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
認知事件数(件)		57	44	64	30	22	9	3	17	0	-17	-100.0
	うち未遂	31	32	39	16	11	3	0	7	0	-7	-100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

3 振り込み詐欺の状況

振り込み詐欺とは、オレオレ詐欺(注1)、架空請求詐欺(注2)、融資保証金詐欺(注3)及び還付金等詐欺(注4)の総称であり、匿名性の高い犯行ツールである架空・他人名義の預貯金口座や携帯電話等を利用し、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪(同様の手口による恐喝も含む。)である。

平成22年における振り込み詐欺の認知件数は6,637件、被害総額は約82億1,361万円で、いずれも前年に比べ減少したものの、内訳をみると平成22年のオレオレ詐欺の認知件数は、4,418件と前年に比べ1,361件(44.5%)増加している。また、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出(窃取)額は約19億円であり、これを加えた振り込み詐欺の実質的な被害総額は100億円を超えている。

一方、振り込み詐欺の検挙件数は5,189件、検挙人員は686人であり、前年に比べ減少している(図表3-3-1)。

また最近では、未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等の売買勧誘をめぐる詐欺等、振り込み詐欺と同様に匿名性・非面接性を担保して敢行される詐欺的事犯も全国的に増加している。

注1：親族を装うなどして電話をかけ、会社における横領金の補てん金等の様々な名目で現金が至急必要であるかのように信じ込ませ、動転した被害者に指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注2：架空の事実を口実に金品を請求する文書を送付して指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注3：融資を受けるための保証金の名目で指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口による詐欺

注4：市区町村の職員等を装い、医療費の還付等に必要の手続を装ってATMを操作させて口座間送金により振り込ませる手口による電子計算機使用詐欺

図表3-3-1 振り込み詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減
	認知件数		21,612	19,020	17,930	20,481	7,340	6,637
	うち既達	19,840	18,662	17,671	20,124	7,156	6,469	-687
被害総額		25,151,867,404	25,493,300,973	25,142,421,788	27,594,389,498	9,579,122,058	8,213,607,351	-1,365,514,707
実質的な被害総額		-	-	-	-	-	10,088,048,014	-
検挙件数		2,539	2,974	3,079	4,400	5,669	5,189	-480
検挙人員		819	761	454	699	955	686	-269

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：実質的な被害総額とは、被害総額に警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出(窃取)額を加えた額である。

図表3-3-2 振り込み詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成22年中)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
男(%)	24	3	3	3	3	6	5	2
女(%)	76	3	2	2	7	19	25	17

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているので、数値の合計が一致しない。

(1) オレオレ詐欺

オレオレ詐欺の認知件数は4,418件と、前年に比べ1,361件増加し、被害総額は約60億4,383万円と、前年に比べ約8億4,117万円増加している。また、警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出額を加えたオレオレ詐欺の実質的な被害総額は、約79億1,827万円となっている。

一方、検挙件数は1,742件と、前年に比べ344件減少し、検挙人員も388人と、前年に比べ119人減少している(図表3-3-(1)-1)。

また、オレオレ詐欺の被害者の性別・年齢別構成をみると、60歳以上の女性が全体の約8割を占めている(図表3-3-(1)-2)。

図表3-3-(1)-1 オレオレ詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減
	認知件数		6,854	7,093	6,430	7,615	3,057	4,418
	うち既遂	5,682	6,797	6,300	7,407	2,928	4,267	1,339
被害総額		12,862,013,578	14,676,261,337	14,532,904,592	15,519,282,494	5,202,663,725	6,043,829,710	841,165,985
実質的な被害総額		-	-	-	-	-	7,918,270,373	-
1件当たりの被害額		2,263,642	2,159,226	2,306,810	2,095,218	1,776,866	1,855,700	78,834
検挙件数		1,142	975	820	1,432	2,086	1,742	-344
検挙人員		325	254	197	345	507	388	-119

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：実質的な被害総額とは、被害総額に警察官等を装ってキャッシュカードを直接受け取る手口のオレオレ詐欺におけるATMからの引出(窃取)額を加えた額である。

注3：平成22年の1件当たりの被害額は、実質的な被害総額より算出している。

図表3-3-(1)-2 オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成22年中)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
男(%)	13	0	0	0	1	5	5	2
女(%)	87	0	0	0	8	24	32	23

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載している。

【事例1】警察官等を装ったキャッシュカード回収名目のオレオレ詐欺事件(静岡、福島、茨城、徳島、愛媛、宮城、埼玉、神奈川、新潟、福井、山形、富山)

無職の男(23)らは、平成21年10月ころ、警察官を装って被害者方に電話をかけ、「埼玉県警のヤマダです。警察で詐欺犯人を捕まえました。その犯人の中に銀行員がいたのですが、あなたの通帳から20万円引き出したと犯人が言っています。」「そのカードは使えません。口座番号を変更するので古いカードを取りに行きます。」などとうそを言い、金融庁職員を装って被害者方へ赴き、同人からキャッシュカードをだまし取り、同日、金融機関において、同キャッシュカードを使用し、現金自動預払機から現金合計約198万円を窃取した(6月9日検挙)。

【事例2】大手家具販売メーカー商品仕入れ代金補填名目のオレオレ詐欺事件（警視庁）

無職の男(46)らは、平成22年2月ころ、被害者方に同人の甥を装って電話をかけ、「実は、今、マンションの展示場なんかにはベッドを卸す仕事に手を出しているんだけど、ベッドを10台買ったんだ。ただ、その時にお金がなかったから会社の金を使って買ったんだ。実は、決算があって会社のお金を使い込んだことがばれてしまった。今日の12時までには200万円を用意しないとイケないんだ。」などとうそを言い、現金200万円を交付させてだまし取った(7月14日検挙)。

【事例3】警察官及び銀行協会を装った現金回収名目のオレオレ詐欺事件（警視庁）

無職の男(26)らは、平成22年6月ころ、中華人民共和国内から東京都内の被害者方に警察官及び全国銀行協会職員を装って電話をかけ、「町田警察署のゴトウと言います。家宅捜査をしたところ、あなた名義の通帳が出てきました。」「町田警察署から連絡がありましたが、あなた名義の銀行口座を凍結するので、凍結前に4万円を残してお金を引き出しておいてほしい。引き出したお金は、うちの者が取りに行きます。」などとうそを言い、2回にわたり、現金合計366万円を交付させてだまし取った(8月6日検挙)。

(2) 架空請求詐欺

架空請求詐欺の認知件数は1,774件と、前年に比べ719件減少し、被害総額も約17億5,207万円と、前年に比べ約14億3,023万円減少している。一方、検挙件数は1,607件と、前年に比べ470件増加しているが、検挙人員は224人と、前年に比べ23人減少している(図表3-3-(2)-1)。

図表3-3-(2)-1 架空請求詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減
	認知件数		4,826	3,614	3,007	3,253	2,493	1,774
	うち既遂	4,258	3,570	2,984	3,215	2,444	1,759	-685
被害総額		5,605,918,855	4,886,110,114	3,765,763,583	3,587,122,347	3,182,296,949	1,752,071,081	-1,430,225,868
1件当たりの被害額		1,316,561	1,368,658	1,261,985	1,115,746	1,302,085	996,061	-306,025
検挙件数		821	1,123	1,252	1,074	1,137	1,607	470
検挙人員		285	339	132	154	247	224	-23

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-3-(2)-2 架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
男(%)	56	16	12	10	8	5	2	2
女(%)	44	14	10	8	4	5	2	2

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

【事例1】民事訴訟取下げ費用等名目の架空請求詐欺事件(兵庫、富山、福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)

無職の男(28)らは、平成21年11月ころ、「この度、通知いたしましたのは被告に対する民事訴訟裁判開始の通達です。」などと虚偽の事実を記載した「日本管財事務局」と称する架空の団体を差出人とするはがきを郵送し、これを見て電話をかけてきた被害者に対し、同団体の職員や弁護士等を装って、「裁判を取り下げる手続きをしますが、そのためには取下げ費用49万5,000円と諸費用8,000円の合計50万3,000円が必要です。」などとうそを言い、現金合計60万円を振り込ませてだまし取った(2月10日検挙)。

【事例2】資格取得講座の受講契約終了手続費用等名目の架空請求詐欺事件(愛知、北海道、石川、熊本)

無職の男(27)らは、平成22年3月ころ、被害者に電話をかけ、「以前受講していた通信教育講座の終了手続が終わっていません。本来ならば、手続の費用と教材費を合わせて49万8,000円かかりますが、これまで他の業者にも支払いをしていますので、会議の結果、42万3,000円でかまわないと決まりました。後日、契約書を送りますので、契約書を書いた後、お金を振り込んで下さい。」などとうそを言い、現金約42万円を振り込ませてだまし取った(5月26日検挙)。

(3) 融資保証金詐欺

融資保証金詐欺の認知件数は362件と、前年に比べ1,129件減少し、被害総額も約3億4,400万円と、前年に比べ約6億575万円減少している。

一方、検挙件数は1,600件と、前年に比べ426件減少し、検挙人員も60人と、前年に比べ108人減少している(図表3-3-(3)-1)。

図表3-3-(3)-1 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減
	認知件数		9,932	7,831	5,922	5,074	1,491	362
	うち既遂	9,900	7,815	5,896	5,035	1,490	361	-1,129
被害総額		6,683,934,971	5,416,037,778	3,857,042,597	3,747,940,481	949,759,965	344,004,997	-605,754,968
1件当たりの被害額		675,145	693,031	654,180	744,377	637,423	952,922	315,500
検挙件数		576	876	886	1,529	2,026	1,600	-426
検挙人員		209	168	117	144	168	60	-108

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-3-(3)-2 融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成22年中)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
男(%)	75	6	11	12	18	18	9	1
女(%)	25	4	7	7	3	3	2	1

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

【事例】ダイレクトメールを使用した融資保証金詐欺事件(岩手、茨城、三重)

飲食店従業員の男(29)らは、平成 21 年 3 月ころ、虚偽の事実を記載したダイレクトメールを見て 100 万円の融資を申し込んできた被害者に対し、電話で、「200 万円融資することもできます。返済能力を確認する必要があるので 18 万 4,000 円を振り込んで下さい。このお金は融資と同時に全額返済します。」などとうそを言い、8 回にわたり、現金合計約 353 万円を振り込ませてだまし取った(1 月 13 日検挙)。

(4) 還付金等詐欺

還付金等詐欺の認知件数は 83 件と、前年に比べ 216 件減少し、被害総額も約 7,370 万円と、前年に比べ約 1 億 7,070 万円減少している。

一方、検挙件数は 240 件と、前年に比べ 180 件減少し、検挙人員も 14 人と、前年に比べ 19 人減少している(図表 3 - 3 - (4) - 1)。

図表 3 - 3 - (4) - 1 還付金等詐欺の認知・検挙状況

区分	年次	平18	平19	平20	平21	平22	増 減
	認知件数		482	2,571	4,539	299	83
	うち既遂	480	2,491	4,467	294	82	-212
被害総額		514,891,744	2,986,711,016	4,740,044,176	244,401,419	73,701,563	-170,699,856
1 件当たりの被害額		1,072,691	1,199,001	1,061,125	831,297	898,800	67,502
検挙件数		0	121	365	420	240	-180
検挙人員		0	8	56	33	14	-19

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：還付金等詐欺は平成 18 年 6 月に初めて認知された。

図表 3 - 3 - (4) - 2 還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成(平成 22 年中)

	合計	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
男(%)	29	0	1	0	0	13	12	3
女(%)	71	0	0	2	2	27	34	7

注：本表は、各欄それぞれ四捨五入したものを記載しているため、数値の合計が一致しない。

(5) 振り込め詐欺を助長する犯罪

振り込め詐欺を撲滅させるためには、振り込め詐欺の本犯を検挙するだけでなく、匿名性の高い犯行ツールである架空・他人名義の預貯金口座や携帯電話の不正な供給・流通を遮断する必要がある。

警察では、「金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律」(いわゆる改正本人確認法)及び平成 20 年 3 月 1 日に施行された「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(いわゆる犯罪収益移転防止法)並びに「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」(いわゆる携帯電話不正利用防止法)を積極的に活用するなどして、振り込め詐欺を助長する犯罪の取締りを推進している。

ア 預貯金口座の不正な取得・流通

金融機関から通帳・キャッシュカードをだまし取る詐欺罪及びだまし取られた通帳等であることを知りながら譲り受ける盗品譲受け等罪の検挙件数は2,328件と、前年に比べ1,533件減少し、検挙人員は961人と、前年に比べ528人減少している(図表3-3-(5)-1)。

また、改正本人確認法違反事件及び犯罪収益移転防止法違反事件の検挙件数は748件、検挙人員は550人である(図表3-3-(5)-2)。

図表3-3-(5)-1 口座詐欺等の検挙状況

区分		年次		平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減
		検挙件数	検挙人員							
口座詐欺	検挙件数	1,222	1,558	1,602	2,849	3,778	2,288	-1,490		
	検挙人員	866	818	700	1,023	1,439	925	-514		
盗品譲受け	検挙件数	148	108	48	81	83	40	-43		
	検挙人員	161	94	40	57	50	36	-14		
合計	検挙件数	1,370	1,666	1,650	2,930	3,861	2,328	-1,533		
	検挙人員	1,027	912	740	1,080	1,489	961	-528		

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-3-(5)-2 改正本人確認法等の検挙状況

区分		年次		平18	平19	平20	平21	平22	増減
		検挙件数	検挙人員						
改正本人確認法	検挙件数	183	203	287	171	25	-146		
	検挙人員	145	139	130	110	19	-91		
犯罪収益移転防止法	検挙件数	-	-	198	739	723	-16		
	検挙人員	-	-	149	538	531	-7		
合計	検挙件数	183	203	485	910	748	-162		
	検挙人員	145	139	279	648	550	-98		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：犯罪収益移転防止法については、平成20年3月以降、警察庁刑事局捜査第二課に報告があったものを計上している。

【事例】犯罪収益移転防止法(業としての有償譲受)違反事件(神奈川)

無職の男(31)らは、業として、通常の商取引又は金融取引として行われるものであることその他の正当な理由がないのに、平成21年11月ころから同年12月ころまでの間、前後3回にわたり、飲食店従業員の女ほか2名から、通帳6通及びキャッシュカード7枚を代金合計約12万円で譲り受けた(2月26日検挙)。

イ 携帯電話の不正な取得・流通

携帯電話販売店から携帯電話端末をだまし取る詐欺罪の検挙件数は554件と、前年に比べ385件減少し、検挙人員は277人と、前年と比べ93人減少している(図表3-3-(5)-3)。

また、携帯電話不正利用防止法違反事件の検挙件数は44件と、前年に比べ20件減少し、検挙人員は37人と、前年と比べ13人減少している(図表3-3-(5)-3)。

図表3 - 3 - (5) - 3 携帯電話端末詐欺、携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況

区分		年次	平19	平20	平21	平22	増減
携 帯 電 話 端 末 詐 欺	検挙件数		281	1,182	939	554	-385
	検挙人員		224	579	370	277	-93
携 帯 電 話 不 正 利 用 防 止 法	検挙件数		85	61	64	44	-20
	検挙人員		16	36	50	37	-13

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】組織的携帯電話端末詐欺事件（警視庁）

無職の男(37)らは、不正に入手した自動車運転免許証等を使用して他人になりすまして携帯電話端末をだまし取る詐欺集団として、平成22年3月ころ、携帯電話販売店2店舗において、店員に対して不正に入手した自動車運転免許証を示し、同運転免許証の名義人になりすまして携帯電話端末2台の購入を申し込み、その交付を受けようとしたが、店員に見破られたため、その目的を遂げなかった(8月6日検挙)。

4 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成14年以降増加していたが、平成18年に減少に転じ、平成22年にあっても3万7,516件と、前年に比べ7,646件(16.9%)減少している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は3,856件(13.4%)、検挙人員は1,236人(9.9%)それぞれ減少している(図表3 - 4)。

図表3 - 4 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件(人)数	率
認知件数	43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	74,632	67,787	64,427	45,162	37,516	-7,646	-16.9%
検挙件数	30,017	31,547	30,364	26,617	29,384	30,127	27,963	30,277	28,753	24,897	-3,856	-13.4%
検挙人員	8,495	9,507	10,194	11,238	11,648	12,406	12,113	12,036	12,542	11,306	-1,236	-9.9%
検挙率	69.6%	63.8%	50.4%	32.1%	34.3%	40.4%	41.3%	47.0%	63.7%	66.4%	2.7ポイント	

5 構造的な不正事案等

(1) 政治・行政をめぐる不正事案

政治・行政をめぐる不正事案(公職選挙法違反事件を除く。)の平成22年中の検挙事件数は55事件であり、前年に比べ、3事件(5.8%)増加している(図表3 - 5 - (1) - 1)。

図表3 - 5 - (1) - 1 政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数

	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件数	率(%)
贈収賄	85	73	55	72	65	74	47	50	38	41	3	7.9
談合・競売入札妨害	20	15	12	11	17	42	26	27	14	12	-2	-14.3
あっせん利得処罰法違反	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0.0
政治資金規正法違反	1	4	1	0	1	1	0	0	0	2	2	200.0
合計	106	93	68	83	84	119	73	77	52	55	3	5.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

ア 贈収賄事件

贈収賄事件の検挙事件数及び検挙人員は41事件88人で、前年に比べ、検挙事件数は3事件(7.9%)増加し、検挙人員は同一であるが、福岡県副知事らによる同県後期高齢者医療広域連合設立をめぐる贈収賄事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】福岡県副知事らによる福岡県後期高齢者医療広域連合設立をめぐる贈収賄事件(福岡)

福岡県副知事(67)は、平成19年8月ごろ、福岡県町村会会長らから、福岡県後期高齢者医療広域連合の議員定数及び事務局経費に関する各市町村の負担方法の決定につき、前記町村会に有利かつ便宜な取り計らいを受けたことに対する謝礼及び今後も同町村会等に対する便宜な取り計らいを受けたい趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金100万円を収受した(2月2日検挙)。

【事例2】特許庁職員らによる新事務処理システム開発をめぐる贈収賄事件(警視庁)

特許庁職員(45)は、平成17年8月ごろから同21年11月ごろまでの間、前後66回にわたり、特許庁が発注を予定していた同庁業務・システム最適化に係る新事務処理システム開発業務等の発注に向けて営業活動に従事するデータ通信システム開発等事業者の部長らから、前記新事務処理システムの開発に関する情報を同人らに提供するなど有利かつ便宜な取り計らいを受けたことへの謝礼及び将来も同様の取り計らいを受けたい趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、タクシー乗車の利益(料金合計約256万円相当)を受けた(6月22日検挙)。

【事例3】厚生労働省特別医療指導監査官らによるコンタクトレンズ診療所の指導監督をめぐる贈収賄事件(大阪)

厚生労働省特別医療指導監査官(50)は、平成20年2月ごろから同年9月ごろまでの間、前後14回にわたり、コンタクトレンズ販売会社取締役らから、同社が実質経営する眼科診療所が管轄社会保険事務局による健康保険法に基づく指導・監督対象から免れるため指導・助言したことなど、有利な取り計らいを受けたことに対する謝礼及び今後も同様の取り計らいを受けたいとの趣旨で供与されるものであることを知りながら、自己名義の銀行口座に合計1,175万円の振込送金を受けた(9月25日検挙)。

【事例4】独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構元職員らによる三次元物理探査船プロジェクトをめぐる贈収賄事件（警視庁）

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構元職員(41)は、平成20年5月ころから平成21年10月ころまでの間、前後16回にわたり、労働者派遣会社代表取締役から、機構による船上調査員等の公募等に関し、同社の従業員を機構への出向者として選定するよう意見具申するなど、有利かつ便宜な取り計らいを受けたことに対する謝礼等の趣旨で供与されるものであることを知りながら、合計約2,930万円の振込送金を受け、賄賂を収受した（11月16日検挙）。

イ 談合・競売入札妨害事件

談合・偽計入札妨害事件は12事件、50人を検挙している。

【事例】日本年金機構職員らによる官製談合防止法違反及び競売入札妨害事件（警視庁）

日本年金機構職員(46)は、年金記録に係るコンピュータ記録と紙台帳との突き合わせ業務に関する一般競争入札に関し、特定業者に落札受注させることを企て、平成22年2月ころから5月ころまでの間、予算関係資料や技術評価点一覧書など入札に関する秘密を教示し、入札等の公正を害すべき行為をした（10月14日検挙）。

ウ 公職選挙法違反事件

(ア) 第22回参議院議員通常選挙違反取締り

第22回参議院議員通常選挙における選挙期日後90日現在の検挙件数は220件、検挙人員339人（うち逮捕者70人）で、前回の第21回参議院議員通常選挙期日後90日に比べ、検挙件数が64件（41.0%）、検挙人員が102人（43.0%）、逮捕者が15人（27.3%）それぞれ増加している（図表3-5-(1)-2）。

【事例1】障害者施設施設長による投票干渉事件（山梨）

障害者施設施設長(49)は、平成22年7月上旬ころ、期日前投票所において、同施設の入所者であり選挙人である7名が投票する際、選挙区選出議員選挙に立候補した候補者及び比例代表選出議員選挙に立候補した候補者の氏名を記載した紙片を選挙人に所持させた上、投票所に入場させて投票させ、投票に干渉した（7月6日検挙）。

【事例2】選挙運動員による日当買収事件（島根）

選挙運動員(58)らは、共謀の上、平成22年7月中旬ころ、

- 1 選挙運動員に対し、車上運動員として投票を呼びかけるほか、他の車上運動員を手配・指導するなどの選挙運動をしたことの報酬等として、現金約130万円を供与し
- 2 選挙運動員7名に対し、車上運動員として投票依頼をするなどの選挙運動をしたことの報酬として、一人当たり現金数万円から数十万円を供与した（7月14日検挙）。

【事例3】落選候補者らによる日当買収（約束）事件（警視庁）

落選候補者(65)らは、共謀の上、平成22年6月下旬ころ、選挙運動員7名に対し、選挙人に電話をかけて投票依頼する選挙運動をしたことの報酬として、一人当たり給与等に相当する金額を供与する約束をした（7月28日検挙）。

図表3-5-(1)-2 公職選挙法違反事件の検挙件数・人員

罪種	区分	今回（第22回）			前回（第21回）			増 減		
		件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕
買収		119	235	35	67	136	16	52	99	19
自由妨害		47	25	16	49	41	26	-2	-16	-10
詐偽投票等		8	8	1	16	20	6	-8	-12	-5
投票偽造		5	16	9	6	14	4	-1	2	5
投票干渉		12	14	5	0	0	0	12	14	5
地位利用		1	1	0	2	2	1	-1	-1	-1
戸別訪問		0	0	0	1	0	0	-1	0	0
文書違反		21	34	1	12	21	0	9	13	1
その他		7	6	3	3	3	2	4	3	1
合計		220	339	70	156	237	55	64	102	15

注：選挙期日後90日現在の統計である。

(1) 一般地方選挙違反取締り

一般地方選挙において、選挙運動員等を検挙している。

【事例1】茨城県議会議員選挙における現金買収事件(茨城)

選挙運動員(71)は、平成22年8月上旬ころ、

- 1 選挙人7名に対し、投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、一人当たり現金数万円を供与
- 2 選挙人2名に対し、前同様の趣旨で、一人当たり現金数万円を供与する約束をした（12月22日検挙）。

【事例2】茨城県議会議員選挙における供応買収事件(茨城)

選挙運動員(55)らは共謀の上、平成22年11月ころ、選挙人12名に対し、投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、一人当たり数千円相当の酒食の供応接待をした（12月25日検挙）。

エ 公務員犯罪

主要な公務員犯罪については、自治体職員らによる詐欺事件等を検挙している。

(2) 経済をめぐる不正事案

ア 企業犯罪、証券犯罪、財政侵害事犯

企業犯罪等については、ジャスダック上場会社役員らによる民事再生法違反並びに金融商品取引法（偽計）違反事件や、事業主及び不動産業者らによる組織的な就職安定資金融資名目の詐欺事件等の社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】ジャスダック上場会社役員らによる民事再生法違反並びに金融商品取引法（偽計）違反事件

（警視庁）

ジャスダック証券取引所へ株式を上場していた情報システム会社役員(55)らは、同社が第三者割当増資によって増資計画を実施するに当たり、同社が発行した新株予約権について、その行使に係る払込みを仮装して新株を発行しようと企て、平成20年7月ごろに投資事業組合に対して発行した新株予約権の行使に係る払込金として、払込取扱銀行に開設した普通預金口座に総額8億8,800万円を入金して払込みを仮装した上、一般投資家等に向けて、適法な増資がなされた旨の虚偽の事実を公表するとともに、同年8月ごろ、法務局において、仮装払込金を含めた虚偽の資本金変更登記を行った(3月8日検挙)。

【事例2】大手マンション総合管理会社役員らによる社債等をめぐる証券取引法違反並びに詐欺等事件

（福岡・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島）

不動産管理、リゾート施設運営等会社の代表取締役会長(56)らは、平成18年7月以降、架空法人名義の社債券を偽造・行使し、また、内閣総理大臣への届出をせずに、平成18年7月下旬ごろ、約1万5,000世帯に社債を無届で募集し、さらに、元本保証や高利を謳い文句に満期償還できる能力もないのに、リゾートクラブ入会預託金名下に平成20年6月以降、64名から約1億6,000万円をだまし取った(9月3日検挙)。

【事例3】事業主及び不動産業者らによる組織的な就職安定資金融資名目の詐欺事件（大分）

団体役員(64)らは、就職安定資金融資制度を悪用して金員をだまし取ろうと企て、平成21年7月ごろから同22年1月ごろにかけて、内容虚偽の離職・住居喪失証明書等を作成し、公共職業安定所に提出し就職安定資金融資対象者証明書の交付を受けた上、金融機関に同証明書とともに融資申請書類等を提出するなどして融資を申込み、住宅入居初期費用等として約2,100万円をだまし取った(2月27日検挙)。

イ 金融関連犯罪

金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は、84事件で前年同期より22事件(20.8%)減少している。

検挙事件数の内訳をみると、前年同期に比べ、「融資過程における事件」は9事件(18.0%)減少、「債権回収過程における事件」は2事件(33.3%)減少、「その他金融機関の役職員による事件」は11事件(22.0%)減少となっている(図表3-5-(2))。

図表 3 - 5 - (2) 金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移

区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件数	率(%)
融資過程	44 (27)	25 (9)	29 (13)	20 (11)	20 (12)	32 (14)	19 (15)	18 (12)	50 (39)	41 (33)	-9 (-6)	-18.0%
債権回収過程	93 (74)	73 (63)	75 (63)	52 (43)	47 (38)	27 (21)	13 (10)	10 (6)	6 (6)	4 (2)	-2 (-4)	-33.3%
その他金融 機関役員	65 (0)	75 (3)	63 (0)	72 (1)	49 (1)	68 (1)	47 (0)	44 (0)	50 (0)	39 (0)	-11 (0)	-22.0%
合計	202 (101)	173 (75)	167 (76)	144 (55)	116 (51)	127 (36)	79 (25)	72 (18)	106 (45)	84 (35)	-22 (-10)	-20.8%

注：本表は、実務統計による集計数値である。()内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

(7) 融資過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を41事件検挙している。

【事例1】大手商工ローン会社代表取締役らによる詐欺再生、特別背任、電磁的公正証書原本不実記録・同供用事件(警視庁)

商工ローン会社(A社)代表取締役(62)らは、地方裁判所による同社に係る民事再生手続開始の決定及び同決定の確定に先立ち、同社の債権者を害し、自己及び自己が実質的に支配する法人(B社)等の利益を図る目的で、平成20年12月ころ、B社に対し、A社が保有している簿価合計約418億円の不動産担保貸付債権を実質的に無償で譲渡し、同社の財産を債権者の不利益に処分するとともに、同社に財産上の損害を加え、さらにB社に対する同債権譲渡について、民事再生手続等における否認権行使を免れるため、これをより以前の日付で譲渡したように仮装することを企て、平成21年2月ころ、法務局において、真実は、平成20年11月ころに、A社がC社に対して、前記債権の一部など簿価合計約373億円の不動産担保貸付債権を譲渡した事実も、同年12月ころに、C社がB社に対して、同債権を売却した事実もないのに、これら譲渡を行った旨の内容虚偽の債権譲渡登記を申請して、登記官に債権譲渡登記簿の原本として用いられる電磁的記録にその旨不実の記録等をさせた(6月16日検挙)。

【事例2】不動産仲介業者による住宅ローン融資名目の詐欺事件(愛知)

不動産仲介業者の代表取締役(41)は、多重債務や所得不足により、本来なら金融機関から住宅ローンの融資を受けることができない顧客らと共謀し、同人らにかかる住宅ローン融資の名目で金融機関から現金をだまし取ろうと企て、金融機関3社に対し、偽造した源泉徴収票、健康保険証及び売買契約書等を提出するなどして、住宅ローン融資を受けるための条件を満たしたものと信用させて融資を決定させ、平成21年4月から22年3月までの間、総額約2億8,500万円をだまし取った(6月9日検挙)。

(1) 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における詐欺事件等を4事件検挙している。

(ウ) その他金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等((ア)及び(イ)で挙げた事例を除く。)を 39 事件検挙している。

【事例】金融機関役員らによる銀行法違反(検査忌避)事件(警視庁)

金融機関の取締役会長(48)らは、金融庁が銀行法第 25 条に基づき、平成 21 年 6 月から 22 年 3 月まで実施した同社に対する立入検査に際して、同庁検査官から電子メールの提出を求められた際、同社の業務内容等の実態を隠ぺいし、検査官による同社の業務及び財産の状況に関する実態把握を誤らせようと企て、平成 21 年 6 月ごろ、同社本店において、複製された電子メールデータのうち、被疑者送信にかかる電子メール 285 件を削除し、電子メール全部の複製データであるかのように装ってこれを検査官の閲覧に供して提出し、検査を忌避した(7 月 14 日検挙)。

(3) 通貨偽造犯罪

通貨偽造罪等の検挙事件数は 50 事件である。また、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数(発見枚数)は、3,609 枚である(図表 3 - 5 - (3))。

図表 3 - 5 - (3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

区分	年次	平 17	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22
一 万 円 券		5,714	3,293	3,562	1,975	1,966	2,427
五 千 円 券		557	249	121	105	278	474
二 千 円 券		7	10	13	6	9	327
千 円 券		5,925	736	12,083	454	1,180	381
合 計		12,203	4,288	15,779	2,540	3,433	3,609
5 百 円 貨 幣		20,034	960	459	476	515	2,690

注 1：本表は、実務統計による集計数値である。

注 2：数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。

【事例 1】暴力団員らによる偽造通貨(E 1 万円券)行使事件(青森、埼玉、福島、宮城、岩手)

暴力団組員(38)らは、平成 22 年 1 月下旬ごろ、東北各地の個人商店等において、偽造に係る金額 1 万円の日本銀行券約 100 枚を物品の購入代金の支払等として、店主等に手渡し、これを行使した(3 月 6 日検挙)。

【事例 2】1 都 6 県に及ぶ偽造通貨(E 1 万円券)行使事件(警視庁、群馬、埼玉、千葉、静岡)

無職の男(24)らは、平成 22 年 1 月上旬ごろから 2 月下旬ごろまでの間、関東各地の個人商店等において、偽造に係る金額 1 万円の日本銀行券百数十枚を物品の購入代金の支払等として、店主等に手渡し、これを行使した(3 月 12 日検挙)。

【事例 3】印刷業者らによる通貨(D 1 万円券)偽造・同行使事件(岡山)

印刷業の男(50)らは、平成 22 年 3 月ごろ、福岡県内の印刷店において、業務用のパソコン及び印刷機等を使用して金額 1 万円の日本銀行券約 80 枚を偽造し、同月ごろ、岡山県内の個人商店等で、物品の購入代金として偽造に係る金額 1 万円の日本銀行券を手渡し、行使した。同年 7 月までに、偽造通貨行使罪で 3 人、通貨偽造罪で 1 人を逮捕した(7 月 24 日検挙)。

6 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、前記図表3 - 1 - (4) - 2のとおりである。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

公然わいせつの認知件数は、前年に比べ、294件（12.5%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は143件（7.9%）、検挙人員は101人（6.2%）それぞれ増加している（図表3 - 6 - (2)）。

図表3 - 6 - (2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,771	2,052	2,422	2,391	2,420	2,602	2,286	2,361	2,357	2,651	294	12.5
うちショーによるもの		5	22	52	11	10	14	7	15	5	4	-1	-20.0
検挙件数(件)		1,438	1,573	1,706	1,669	1,741	1,999	1,718	1,782	1,810	1,953	143	7.9
うちショーによるもの		4	9	14	8	7	14	7	12	4	4	0	0.0
検挙人員(人)		1,261	1,371	1,456	1,451	1,502	1,715	1,618	1,613	1,626	1,727	101	6.2
うちショーによるもの		16	16	29	21	14	56	78	58	26	21	-5	-19.2

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

わいせつ物頒布等の認知件数は、前年に比べ、40件（5.0%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は15件（2.0%）増加し、検挙人員は15人（1.8%）減少している（図表3 - 6 - (3)）。

図表3 - 6 - (3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		454	392	375	522	693	795	810	816	797	837	40	5.0
検挙件数(件)		451	393	364	502	671	770	787	787	768	783	15	2.0
検挙人員(人)		592	483	432	590	814	913	892	857	820	805	-15	-1.8

(4) 賭博の認知・検挙状況

賭博の認知件数は、前年に比べ、38件（11.2%）増加している。

検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は32件（9.5%）増加し、検挙人員は64人（4.7%）減少している（図表3 - 6 - (4)）。

図表 3 - 6 - (4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分	年次											増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)	
認知件数(件)	290	300	208	249	221	209	424	271	340	378	38	11.2	
うち遊技機使用賭博	112	95	82	133	117	91	117	126	94	125	31	33.0	
検挙件数(件)	290	300	202	243	213	204	415	252	337	369	32	9.5	
うち遊技機使用賭博	113	95	81	127	111	90	117	120	93	118	25	26.9	
検挙人員(人)	2,077	1,928	1,725	1,422	1,771	1,379	1,529	1,359	1,376	1,312	-64	-4.7	
うち遊技機使用賭博	933	873	638	709	816	564	699	711	742	777	35	4.7	

7 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

人質立てこもり事件の認知件数は4件である(図表3-7)。

図表 3 - 7 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次											増減
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	
認知事件数(件)	6	12	14	17	7	3	6	4	2	4	2	
検挙事件数(件)	6	12	14	17	7	3	6	4	2	4	2	
検挙人員(人)	6	12	14	17	7	3	6	4	2	4	2	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】成田空港における人質立てこもり事件(千葉)

ナイジェリア国籍の男(46)は、1月27日、強制送還のために航空機に搭乗させられた際、客室乗務員を羽交い締めにするなどして人質にとり、逃走しようとした(1月27日検挙)。

【事例2】一宮市における刃物使用人質立てこもり事件(愛知)

無職の男(38)は、10月20日、一宮市内のアパートにおいて、警察官が、窃盗被疑者として同人を逮捕するために赴いたところ、刃物を所持するなどして内妻を人質にとり、立てこもった(10月20日検挙)。

【事例3】岩手郡雫石町における刃物使用人質立てこもり等事件(岩手)

無職の男(58)は、11月29日、岩手郡雫石町内の公営住宅において、男性を所携の刃物で突き刺して負傷させた上、さらに、女性を同住宅の一室に連行し、刃物を示すなどして人質にとり、立てこもった(11月30日検挙)。

(2) 業務上過失致死傷事件・事故

【事例1】 渋川市内の要介護高齢者等の介護施設における建物火災事故（群馬）

平成21年3月19日、渋川市内の要介護高齢者等の介護施設において、建物火災が発生し、入居者9人が死亡した事故につき、防災設備を設置して火災の早期発見を図るなど入居者の生命、身体の安全を確保すべき業務上の注意義務を怠ったなどとして、同施設を運営する特定非営利活動法人の理事長（85）ら2名を業務上過失致死で検挙した（2月10日検挙）。

【事例2】 秩父市における消防防災ヘリコプター墜落事故（群馬）

7月25日、秩父市において、山岳救助要請を受けて出動した県消防防災ヘリコプターが墜落し、機長等5人が死亡した（7月25日検挙）。

8 その他の特徴的な犯罪

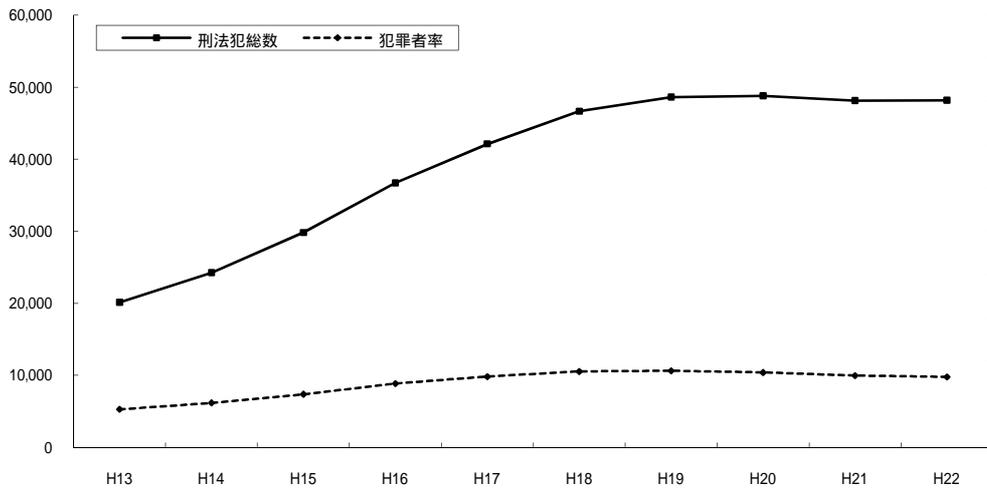
(1) 高齢者による犯罪

高齢者に係る刑法犯の検挙人員は、前年に比べ、43人(0.1%)増加している。

高齢者に係る窃盗の検挙人員は、前年に比べ、1,300人(3.9%)増加し、うち万引きの検挙人員は、前年同期に比べ343人(1.3%)増加している。

なお、強盗の検挙人員は、前年に比べ、9人(7.8%)減少している(図表3-8-(1)-1、2)。

図表3-8-(1)-1 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



図表3-8-(1)-2 高齢者の包括罪種別検挙人員の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		人員(人)	率(%)										
	刑法犯総数	20,113	24,241	29,797	36,696	42,108	46,637	48,597	48,786	48,102	48,145	43	0.1
凶	悪犯	242	272	316	321	308	338	317	367	328	373	45	13.7
	うち)殺人	119	140	144	164	138	152	123	179	143	174	31	21.7
	うち)強盗	57	61	83	84	95	101	110	103	116	107	-9	-7.8
粗	暴犯	973	1,245	1,480	1,714	2,142	2,781	3,213	3,404	3,744	3,795	51	1.4
	うち)暴行	275	348	488	598	881	1,472	1,822	2,021	2,262	2,337	75	3.3
	うち)傷害	601	769	834	965	1,074	1,086	1,124	1,112	1,185	1,174	-11	-0.9
窃	盗犯	14,619	17,377	20,218	24,204	27,333	29,953	31,573	33,276	33,055	34,355	1,300	3.9
	うち)万引き	12,840	15,174	17,456	20,667	23,252	25,060	25,854	27,015	27,019	27,362	343	1.3
知	能犯	586	702	742	826	921	1,089	1,056	1,088	1,127	1,036	-91	-8.1
	うち)詐欺	441	509	581	640	705	878	855	912	925	846	-79	-8.5
風	俗犯	186	248	247	258	313	321	337	358	306	368	62	20.3
そ	他の刑法犯	3,507	4,397	6,794	9,373	11,091	12,155	12,101	10,293	9,542	8,218	-1,324	-13.9
	うち)占有離脱物横領	2,968	3,761	5,928	8,215	9,730	10,739	10,596	8,875	8,200	6,903	-1,297	-15.8
	うち)器物損壊等	148	182	210	260	315	325	386	381	408	388	-20	-4.9
犯	罪者率	87.9	102.6	122.6	147.5	164.5	175.3	176.9	172.9	165.8	162.8		

注：犯罪者率とは、人口10万人当たりの検挙人員をいう。

(2) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚醒剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者という。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、前年に比べ、53人（6.2%）減少している（図表3-8-(2)-1）。

凶悪犯及び粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは、前年に比べ、凶悪犯で検挙された者は13人（18.1%）、粗暴犯で検挙された者は10人（5.4%）それぞれ減少している（図表3-8-(2)-2）。

図表3-8-(2)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												人数	率(%)
薬物常用者		985	954	1,011	971	1,103	934	770	808	858	805	-53	-6.2
覚醒剤等常用者		772	745	802	823	973	817	699	738	779	747	-32	-4.1
有機溶剤等乱用者		213	209	209	148	130	117	71	70	79	58	-21	-26.6

注1：覚醒剤等常用者とは、覚醒剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含有するシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表3-8-(2)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												人数	率(%)
検挙人員		985	954	1011	971	1103	934	770	808	858	805	-53	-6.2
凶悪犯		92	84	69	84	90	75	68	68	72	59	-13	-18.1
殺人		20	22	12	16	19	11	19	17	10	17	7	70.0
強盗		49	40	38	45	51	53	42	39	57	35	-22	-38.6
放火		12	10	10	5	8	4	2	6	4	2	-2	-50.0
強姦		11	12	9	18	12	7	5	6	1	5	4	100.0
粗暴犯		210	157	177	184	205	172	162	146	184	174	-10	-5.4
暴行		19	15	17	24	32	32	22	23	28	33	5	17.9
傷害		111	96	95	94	102	98	90	80	99	84	-15	-15.2
脅迫		11	11	9	8	6	4	9	5	14	15	1	7.1
恐喝		69	35	55	58	65	36	41	38	43	42	-1	-2.3
凶器準備集合		0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0
窃盗犯		482	497	507	466	526	472	349	404	373	372	-1	-0.3
その他		201	216	258	237	282	215	191	190	229	200	-29	-12.7

(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注1）の認知件数は、前年に比べ、48件（19.0%）減少している。このうち、拳銃使用事件にあっても、前年に比べ、36件（22.2%）減少している（図表3-8-(3)-1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は、前年に比べ、582件（9.2%）減少している（図表3-8-(3)-2）。

また、殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が1.8%、刀剣類・刃物類使用が51.7%、強盗事件では銃器使用が1.5%、刀剣類・刃物類使用が36.3%となっている（図表3-8-(3)-3）。

猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は、前年に比べ、2件（66.7%）増加している（図表3-8-(3)-4）。

図表3-8-(3)-1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知件数		396	375	405	517	412	366	324	275	253	205	-48	-19.0
うち拳銃使用		264	251	242	289	207	189	183	139	162	126	-36	-22.2
殺人		56	47	51	42	24	23	34	19	14	19	5	35.7
うち拳銃使用		50	43	45	36	21	21	27	19	12	16	4	33.3
強盗		171	151	126	134	111	111	94	75	100	60	-40	-40.0
うち拳銃使用		142	128	99	126	91	96	79	67	95	57	-38	-40.0
強姦		1	5	8	7	3	2	4	2	2	2	0	0.0
うち拳銃使用		1	3	7	6	3	2	3	1	2	2	0	0.0
暴行		21	19	39	44	42	36	17	21	8	10	2	25.0
うち拳銃使用		1	4	7	12	6	4	5	6	2	5	3	150.0
傷害		30	30	29	33	20	13	14	8	8	5	-3	-37.5
うち拳銃使用		3	7	10	7	4	3	2	1	4	0	-4	-100.0
脅迫		13	20	19	26	24	11	27	19	20	15	-5	-25.0
うち拳銃使用		6	15	11	19	18	9	19	13	14	11	-3	-21.4
恐喝		14	18	13	21	14	12	14	6	6	6	0	0.0
うち拳銃使用		11	8	7	15	9	10	11	6	5	4	-1	-20.0
強制わいせつ		4	1	4	3	4	4	1	4	6	3	-3	-50.0
うち拳銃使用		1	0	4	2	4	1	0	3	3	2	-1	-
器物損壊		48	63	91	141	121	96	79	85	53	59	6	11.3
うち拳銃使用		20	26	34	35	23	20	15	13	15	16	1	6.7
その他		38	21	25	66	49	58	40	36	36	26	-10	-27.8
うち拳銃使用		29	17	18	31	28	23	22	10	10	13	3	30.0

注1：「銃器」とは、拳銃、拳銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「拳銃使用」とは、拳銃及び拳銃様のものを使用した事件をいい、また、拳銃様のものとは、拳銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及ぶ事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表3-8-(3)-2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
認知件数		6,174	6,852	7,251	9,111	7,596	6,604	6,004	5,836	6,312	5,730	-582	-9.2
殺人		701	732	747	712	718	713	653	675	567	552	-15	-2.6
強盗		1,997	1,990	2,373	2,366	1,992	1,625	1,445	1,500	1,685	1,462	-223	-13.2
強姦		278	271	291	249	237	179	152	122	121	110	-11	-9.1
暴行		242	322	333	405	362	321	300	292	219	190	-29	-13.2
傷害		905	990	995	1,048	967	823	806	649	672	639	-33	-4.9
脅迫		421	437	474	534	613	607	582	622	615	559	-56	-9.1
恐喝		286	284	282	318	210	159	124	101	87	87	0	0.0
強制わいせつ		352	352	388	330	261	210	173	160	155	144	-11	-7.1
器物損壊		816	1,304	1,167	2,736	1,866	1,676	1,489	1,429	1,923	1,680	-243	-12.6
その他		176	170	201	413	370	291	280	286	268	307	39	14.6

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表3 - 8 - (3) - 3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次		平21		平22		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人	1,094	100.0	1,067	100.0	-27	-2.5		
銃器使用	14	1.3	19	1.8	5	35.7		
刀剣類・刃物類使用	567	51.8	552	51.7	-15	-2.6		
その他・不明	513	46.9	496	46.5	-17	-3.3		
強盗	4,512	100.0	4,029	100.0	-483	-10.7		
銃器使用	100	2.2	60	1.5	-40	-40.0		
刀剣類・刃物類使用	1,685	37.3	1,462	36.3	-223	-13.2		
その他・不明	2,727	60.4	2,507	62.2	-220	-8.1		

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

図表3 - 8 - (3) - 4 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
発生件数(件数)		3	5	2	66.7
殺人(未遂を含む。)		1	1	0	0.0
強盗(未遂を含む。)		0	0	0	-
その他		2	4	2	100.0

注1：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

注2：数値は、刑法犯(暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。)のみを計上している。

(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は6万9,525件、同じくクレジットカードは4万6,726件であり、手口別にみると、キャッシュカードは車上ねらいが1万9,070件(27.4%)、置き引きが1万5,542件(22.4%)、ひったくりが6,095件(8.8%)となっており、クレジットカードは車上ねらいが1万3,323件(28.5%)、置き引きが9,055件(19.4%)、ひったくりが4,634件(9.9%)となっている(図表3 - 8 - (4) - 1)。

図表3 - 8 - (4) - 1 カードの窃盗被害の状況(平成22年)

区分	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
侵入窃盗	69,525	100.0	46,726	100.0	605	100.0	4,303	100.0
住宅対象侵入窃盗	6,872	9.9	4,617	9.9	56	9.3	382	8.9
その他	5,645	8.1	4,029	8.6	46	7.6	221	5.1
非侵入窃盗	1,227	1.8	588	1.3	10	1.7	161	3.7
ひったくり	62,267	89.6	41,652	89.1	536	88.6	3,879	90.1
すり	6,095	8.8	4,634	9.9	23	3.8	118	2.7
置き引き	3,205	4.6	2,562	5.5	14	2.3	105	2.4
車上ねらい	15,542	22.4	9,055	19.4	108	17.9	1,032	24.0
仮睡者ねらい	19,070	27.4	13,323	28.5	236	39.0	919	21.4
脱衣場ねらい	2,807	4.0	2,003	4.3	31	5.1	39	0.9
その他	1,827	2.6	1,419	3.0	9	1.5	76	1.8
その他	13,721	19.7	8,656	18.5	115	19.0	1,590	37.0
乗り物盗	386	0.6	457	1.0	13	2.1	42	1.0

注1：「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2：「乗り物盗」とは、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗をいう。

注3：統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の認知件数、検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、認知件数は61件（18.7%）、検挙件数は67件（25.9%）、検挙人員は11人（19.0%）それぞれ減少している（図表3-8-(4)-2）。

図表3-8-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平21	平22	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	326	265	-61	-18.7
	検挙件数	259	192	-67	-25.9
	検挙人員	58	47	-11	-19.0
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	12	17	5	41.7
	検挙件数	8	5	-3	-37.5
	検挙人員	6	1	-5	-83.3
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	261	221	-40	-15.3
	検挙件数	216	161	-55	-25.5
	検挙人員	27	27	0	0.0
不正電磁的記録カードの譲り渡し、 貸渡し、輸入(第163条の2第3 項)	認知件数	13	4	-9	-69.2
	検挙件数	6	4	-2	-33.3
	検挙人員	8	3	-5	-62.5
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	22	17	-5	-22.7
	検挙件数	20	16	-4	-20.0
	検挙人員	13	12	-1	-7.7
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	11	3	-8	-72.7
	検挙件数	4	1	-3	-75.0
	検挙人員	2	0	-2	-100.0
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	1	1	0	0.0
	検挙件数	0	2	2	-
	検挙人員	0	1	1	-
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	2	2	0	0.0
	検挙件数	1	2	1	100.0
	検挙人員	1	2	1	100.0
支払用カード不正作出器械、原料準 備 (第163条の4第3項)	認知件数	4	0	-4	-100.0
	検挙件数	4	1	-3	-75.0
	検挙人員	1	1	0	0.0

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）、プリペイドカード（前払い）、デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを利用して、現金自動預払機（ＡＴＭ（ＣＤ含む。））から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は2,070件で、現金被害総額は8億5,784万6,000円となっている（図表3-8-(4)-3）。

また、キャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は1,159件で、被害金総額は1億2,190万8,000円となっている（図表3-8-(4)-4）。

図表3-8-(4)-3 カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成22年）

区分	種別	計			
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	
認知件数		2,070	1,769	172	129
現金被害総額（千円）		857,846	772,643	40,444	44,759

図表3-8-(4)-4 カードを使用した詐欺の状況（平成22年）

区分	種別	計				
		キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード	
認知件数		1,159	19	1,124	6	10
被害金総額（千円）		121,908	8,415	111,995	1,000	498

(5) その他

ア 暴行・傷害の認知・検挙状況

図表3-8-(5)-1 暴行の認知・検挙状況

年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数
認知件数(件)	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966	31,641	29,638	29,593	-45	-0.2
検挙件数(件)	7,852	8,348	9,539	10,666	13,703	19,405	21,463	21,925	21,238	21,667	429	2.0
検挙人員(人)	8,636	9,132	10,124	11,002	13,970	19,802	21,808	22,379	21,376	22,076	700	3.3
検挙率(%)	46.4	42.9	43.5	45.0	53.1	62.6	67.1	69.3	71.7	73.2	1.5	ポイント

図表3-8-(5)-2 傷害の認知・検挙状況

年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数
認知件数(件)	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	30,986	28,291	26,464	26,547	83	0.3
検挙件数(件)	22,544	23,453	23,659	22,938	23,304	23,331	22,062	20,180	19,388	19,350	-38	-0.2
検挙人員(人)	29,584	29,862	28,999	27,069	27,130	27,075	25,458	23,164	22,253	22,030	-223	-1.0
検挙率(%)	66.4	64.6	64.7	63.8	67.6	68.6	71.2	71.3	73.3	72.9	-0.4	ポイント

図表3-8-(5)-3 傷害致死の認知・検挙状況

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
													件(人)数
認知件数(件)		202	193	178	145	146	144	111	136	128	115	-13	-10.2
検挙件数(件)		192	182	173	136	139	141	105	129	114	110	-4	-3.5
検挙人員(人)		319	277	277	186	199	163	161	197	138	135	-3	-2.2
検挙率(%)		95.0	94.3	97.2	93.8	95.2	97.9	94.6	94.9	89.1	95.7	6.6	ポイント

図表3 - 8 - (5) - 4 暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件(人)数	率
総数		7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	523	2.5
犯罪供用物なし		7,310	7,774	8,794	9,812	12,901	18,476	20,515	21,004	20,168	20,721	553	2.7
	割合	94.4	94.5	94.1	93.2	95.4	96.4	96.8	97.0	96.0	96.2	0.2	-
犯罪供用物あり		430	449	547	713	618	699	688	656	838	808	-30	-3.6

注：解決事件を除く。

図表3 - 8 - (5) - 5 暴行の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
	平13	8,636	1,933	1,849	1,631	1,232	1,339	377	275
	平14	9,132	1,812	1,845	1,814	1,374	1,521	418	348
	平15	10,124	1,726	2,035	2,178	1,452	1,735	510	488
	平16	11,002	1,627	2,049	2,470	1,771	1,918	569	598
	平17	13,970	1,545	2,648	3,336	2,273	2,487	800	881
	平18	19,802	1,513	3,727	4,843	3,455	3,620	1,172	1,472
	平19	21,808	1,593	4,018	5,281	3,881	3,885	1,328	1,822
	平20	22,379	1,548	3,880	5,289	4,212	3,822	1,607	2,021
	平21	21,376	1,333	3,688	4,846	4,244	3,318	1,685	2,262
	平22	22,076	1,288	3,693	5,084	4,516	3,313	1,845	2,337
	増減数	700	-45	5	238	272	-5	160	75
	増減率	3.3	-3.4	0.1	4.9	6.4	-0.2	9.5	3.3

注：犯行時の年齢を計上している。

図表3 - 8 - (5) - 6 傷害の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
	平13	29,584	10,170	7,122	4,785	3,107	3,086	713	601
	平14	29,862	9,247	7,148	5,290	3,212	3,358	838	769
	平15	28,999	8,208	6,926	5,595	3,269	3,288	879	834
	平16	27,069	6,482	6,257	5,704	3,284	3,407	970	965
	平17	27,130	6,161	6,058	5,855	3,587	3,399	996	1,074
	平18	27,075	5,972	5,821	6,085	3,729	3,385	997	1,086
	平19	25,458	5,639	5,196	5,926	3,572	2,994	1,007	1,124
	平20	23,164	5,247	4,638	5,208	3,455	2,567	937	1,112
	平21	22,253	4,844	4,497	4,904	3,479	2,324	1,020	1,185
	平22	22,030	4,939	4,102	4,860	3,594	2,257	1,104	1,174
	増減数	-223	95	-395	-44	115	-67	84	-11
	増減率	-1.0	2.0	-8.8	-0.9	3.3	-2.9	8.2	-0.9

注：犯行時の年齢を計上している。

イ 万引き・置引きの認知・検挙状況

図表 3 - 8 - (5) - 7 万引きの認知・検挙状況

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	126,110	140,002	146,308	158,020	153,972	147,113	141,915	145,429	149,892	148,371	-1,521	-1.0
検挙件数(件)	92,319	101,445	106,925	114,465	115,636	110,723	105,774	105,986	108,802	107,684	-1,118	-1.0
検挙人員(人)	91,816	100,849	105,792	112,783	113,953	107,123	102,504	101,504	105,228	104,804	-424	-0.4
検挙率(率)	73.2	72.5	73.1	72.4	75.1	75.3	74.5	72.9	72.6	72.6	0.0ポイント	

図表 3 - 8 - (5) - 8 置引きの認知・検挙状況

年次 区分	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数(件)	70,244	76,170	74,967	71,818	67,328	65,377	58,727	54,109	50,212	46,208	-4,004	-8.0
検挙件数(件)	5,268	4,884	6,791	7,262	7,158	7,236	8,113	8,007	7,596	7,580	-16	-0.2
検挙人員(人)	1,675	1,948	2,184	2,536	3,120	3,779	4,288	4,519	4,914	5,124	210	4.3
検挙率(率)	7.5	6.4	9.1	10.1	10.6	11.1	13.8	14.8	15.1	16.4	1.3ポイント	

図表 3 - 8 - (5) - 9 万引きの年齢別検挙人員

年次 区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	91,816	38,833	9,817	6,372	7,217	11,425	5,312	12,840
平14	100,849	40,541	10,592	7,721	7,993	12,959	5,869	15,174
平15	105,792	38,709	12,084	8,718	8,569	13,729	6,527	17,456
平16	112,783	38,912	12,214	9,796	9,219	14,353	7,622	20,667
平17	113,953	36,481	11,859	10,146	9,508	14,662	8,045	23,252
平18	107,123	30,189	10,837	9,850	9,233	14,442	7,512	25,060
平19	102,504	28,186	9,949	9,194	8,819	13,317	7,185	25,854
平20	101,504	26,303	9,442	9,430	9,076	12,652	7,586	27,015
平21	105,228	29,153	9,850	9,625	9,538	12,279	7,764	27,019
平22	104,804	28,364	9,685	9,635	10,000	11,782	7,976	27,362
増減数	-424	-789	-165	10	462	-497	212	343
増減率	-0.4	-2.7	-1.7	0.1	4.8	-4.0	2.7	1.3

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 3 - 8 - (5) - 10 置引きの年齢別検挙人員

年次 区分	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	1,675	380	311	271	224	273	104	112
平14	1,948	495	322	310	257	311	109	144
平15	2,184	571	392	304	262	371	134	150
平16	2,536	561	464	421	339	420	130	201
平17	3,120	584	662	507	444	471	179	273
平18	3,779	664	753	645	508	636	237	336
平19	4,288	772	851	729	605	661	263	407
平20	4,519	689	909	727	621	753	310	510
平21	4,914	676	947	889	676	765	354	607
平22	5,124	763	924	884	793	699	408	653
増減数	210	87	-23	-5	117	-66	54	46
増減率	4.3	12.9	-2.4	-0.6	17.3	-8.6	15.3	7.6

注：犯行時の年齢を計上している。

ウ 公務執行妨害の認知・検挙状況

図表 3 - 8 - (5) - 11 公務執行妨害の認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	2,354	2,621	3,007	3,129	3,327	3,576	3,569	3,239	3,071	2,969	-102	-3.3
検挙件数(件)	2,302	2,544	2,909	2,957	3,188	3,402	3,459	3,071	2,952	2,881	-71	-2.4
検挙人員(人)	2,057	2,194	2,508	2,705	2,868	3,118	3,181	2,945	2,698	2,547	-151	-5.6
検挙率(率)	97.8	97.1	96.7	94.5	95.8	95.1	96.9	94.8	96.1	97.0	0.9ポイント	

図表 3 - 8 - (5) - 12 公務執行妨害の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	2,057	372	602	448	245	279	66	45	
平14	2,194	345	646	521	289	285	65	43	
平15	2,508	308	755	611	369	324	90	51	
平16	2,705	274	731	717	446	359	102	76	
平17	2,868	278	777	737	451	410	117	98	
平18	3,118	277	726	835	564	453	123	140	
平19	3,181	260	696	857	589	463	156	160	
平20	2,945	251	558	758	581	452	163	182	
平21	2,698	221	555	643	541	372	179	187	
平22	2,547	233	482	617	575	334	166	140	
増減数	-151	12	-73	-26	34	-38	-13	-47	
増減率	-5.6	5.4	-13.2	-4.0	6.3	-10.2	-7.3	-25.1	

注：犯行時の年齢を計上している。

エ 器物損壊の認知・検挙状況

図表 3 - 8 - (5) - 13 器物損壊の認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	145,936	196,018	230,743	226,059	205,312	194,824	185,472	178,191	169,292	156,717	-12,575	-7.4
検挙件数(件)	7,662	9,607	11,100	12,332	12,884	13,816	13,617	13,129	12,062	11,554	-508	-4.2
検挙人員(人)	4,222	4,931	5,331	5,522	6,362	6,551	6,575	6,480	6,160	5,864	-296	-4.8
検挙率(率)	5.3	4.9	4.8	5.5	6.3	7.1	7.3	7.4	7.1	7.4	0.3ポイント	

図表 3 - 8 - (5) - 14 器物損壊の年齢別検挙人員

区分	年次	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平13	4,222	1,126	816	732	632	634	134	148	
平14	4,931	1,190	970	932	701	771	185	182	
平15	5,331	1,373	1,039	1,037	725	725	222	210	
平16	5,522	1,248	1,146	1,164	751	716	237	260	
平17	6,362	1,562	1,214	1,283	912	813	263	315	
平18	6,551	1,610	1,281	1,243	978	860	254	325	
平19	6,575	1,662	1,213	1,286	956	803	269	386	
平20	6,480	1,742	1,131	1,202	982	756	286	381	
平21	6,160	1,594	1,028	1,216	927	694	293	408	
平22	5,864	1,411	1,024	1,158	933	659	291	388	
増減数	-296	-183	-4	-58	6	-35	-2	-20	
増減率	-4.8	-11.5	-0.4	-4.8	0.6	-5.0	-0.7	-4.9	

注：犯行時の年齢を計上している。

9 少年による犯罪

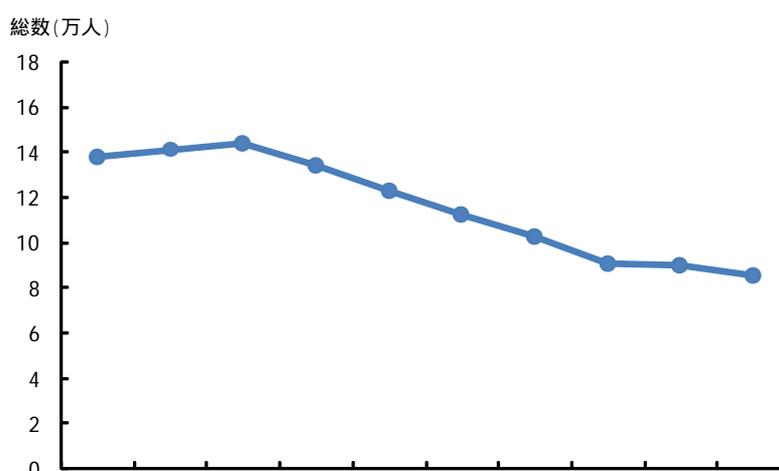
(1) 少年による刑法犯の検挙状況

少年の刑法犯検挙人員は8万5,846人で、前年に比べ、4,436人(4.9%)減少している。

包括罪種別にみると、前年に比べ、凶悪犯は166人(17.5%)、窃盗犯は2,349人(4.3%)、知能犯は166人(14.5%)、その他の刑法犯は1,869人(7.4%)それぞれ減少しているが、粗暴犯は76人(1.0%)、風俗犯は38人(9.5%)それぞれ増加している。

人口比は、前年に比べ、0.6減少している(図表3-9-(1))。

図表3-9-(1) 少年による刑法犯検挙人員の推移



区分	年次										増減数	増減率(%)
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22		
総数(人)	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	103,224	90,966	90,282	85,846	-4,436	-4.9
凶悪犯	2,127	1,986	2,212	1,584	1,441	1,170	1,042	956	949	783	-166	-17.5
殺人	99	80	93	57	67	69	62	50	50	43	-7	-14.0
強盗	1,670	1,586	1,771	1,273	1,146	892	757	713	696	565	-131	-18.8
放火	103	90	106	103	86	103	102	66	83	65	-18	-21.7
強姦	255	230	242	151	142	106	121	127	120	110	-10	-8.3
粗暴犯	18,416	15,954	14,356	11,439	10,458	9,817	9,248	8,645	7,653	7,729	76	1.0
凶器準備集合	408	250	340	239	68	127	136	74	70	42	-28	-40.0
暴行	1,915	1,794	1,714	1,608	1,532	1,505	1,584	1,547	1,322	1,279	-43	-3.3
傷害	10,102	9,140	8,110	6,408	6,103	5,919	5,583	5,212	4,795	4,895	100	2.1
脅迫	149	154	127	111	139	149	117	151	111	141	30	27.0
恐喝	5,842	4,616	4,065	3,073	2,616	2,117	1,828	1,661	1,355	1,372	17	1.3
窃盗犯	81,260	83,300	81,512	76,637	71,147	62,637	58,150	52,557	54,784	52,435	-2,349	-4.3
うちひったくり	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	796	640	712	568	-144	-20.2
うち万引き	38,804	40,511	38,648	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	-771	-2.6
知能犯	526	632	784	1,240	1,160	1,294	1,142	1,135	1,144	978	-166	-14.5
うち詐欺	449	559	672	1,077	1,030	1,186	1,053	1,019	1,038	880	-158	-15.2
風俗犯	410	347	425	344	383	346	341	389	399	437	38	9.5
うち強制わいせつ	321	256	331	253	282	242	262	275	281	318	37	13.2
その他の刑法犯	35,915	39,556	45,115	43,603	39,126	37,553	33,301	27,284	25,353	23,484	-1,869	-7.4
うち占有離脱物横領	30,965	34,263	38,547	37,194	32,326	30,528	26,437	20,594	18,971	17,268	-1,703	-9.0
人口比	16.0	16.7	17.5	16.8	15.9	14.8	13.8	12.4	12.4	11.8	-0.6	

注 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

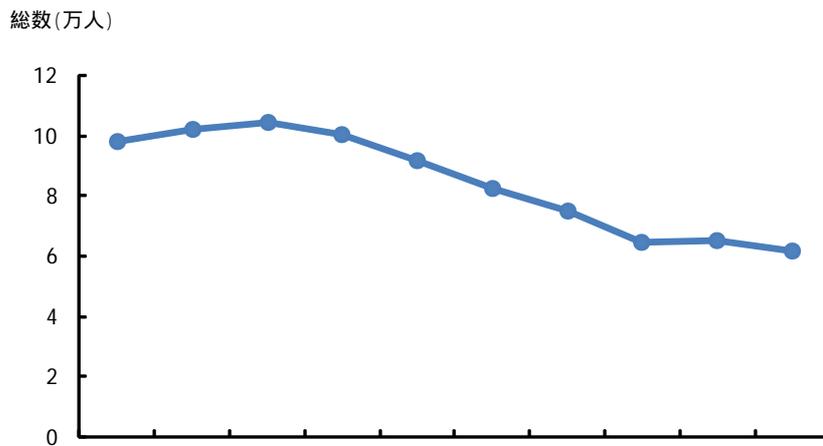
(2) 少年による初発型非行の検挙状況

少年の初発型非行（万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領をいう。以下同じ。）の検挙人員は6万1,799人で、前年に比べ、3,563人（5.5%）減少している。

罪種・手口別にみると、前年に比べ、万引きは771人（2.6%）、オートバイ盗は312人（5.3%）、自転車盗は777人（6.8%）、占有離脱物横領は1,703人（9.0%）それぞれ減少している。

刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合は、前年に比べ、0.4ポイント減少している（図表3 - 9 - (2)）。

図表3 - 9 - (2) 初発型非行検挙人員の推移



区分	年次										増減数	増減率(%)
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22		
総数(人)	97,900	102,134	104,180	100,136	91,696	82,656	74,949	64,550	65,362	61,799	-3,563	-5.5
万引き	38,804	40,511	38,648	38,865	36,450	30,161	28,161	26,277	29,119	28,348	-771	-2.6
オートバイ盗	14,288	12,650	10,669	8,735	8,188	7,311	6,740	5,702	5,842	5,530	-312	-5.3
自転車盗	13,843	14,710	16,316	15,342	14,732	14,656	13,611	11,977	11,430	10,653	-777	-6.8
占有離脱物横領	30,965	34,263	38,547	37,194	32,326	30,528	26,437	20,594	18,971	17,268	-1,703	-9.0
刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合(%)	70.6	72.0	72.1	74.3	74.1	73.3	72.6	71.0	72.4	72.0	-0.4	

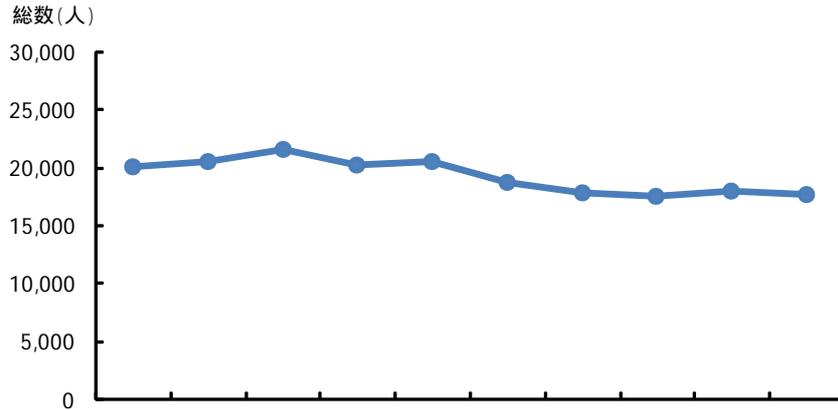
(3) 触法少年（刑法）の補導状況

触法少年（刑法）の補導人員は1万7,727人で、前年に比べ、302人(1.7%)減少している。

行為態様別にみると、前年に比べ、凶悪犯は40人(28.0%)、知能犯は8人(11.8%)、その他の刑法犯は475人(11.1%)それぞれ減少しているが、粗暴犯は161人(12.1%)、窃盗犯は51人(0.4%)、風俗犯は9人(5.4%)それぞれ増加している。

人口比は、前年に比べ、0.1減少している(図表3-9-(3))。

図表3-9-(3) 触法少年（刑法）の補導状況の推移



区分	年次										増減数	増減率(%)
	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22		
総数(人)	20,067	20,477	21,539	20,191	20,519	18,787	17,904	17,568	18,029	17,727	-302	-1.7
凶悪犯	165	144	212	219	202	225	171	110	143	103	-40	-28.0
殺人	10	3	3	5	6	4	3	5	2	1	-1	-50.0
強盗	25	25	29	28	26	20	28	22	17	15	-2	-11.8
放火	125	102	166	179	159	194	130	75	109	68	-41	-37.6
強姦	5	14	14	7	11	7	10	8	15	19	4	26.7
粗暴犯	1,696	1,613	1,467	1,301	1,624	1,467	1,425	1,347	1,336	1,497	161	12.1
凶器準備集合	0	0	22	1	2	18	4	2	5	8	3	60.0
暴行	312	310	295	354	437	382	384	427	395	482	87	22.0
傷害	824	817	707	588	799	764	733	655	707	732	25	3.5
脅迫	18	13	34	30	26	27	74	38	33	33	0	0.0
恐喝	542	473	409	328	360	276	230	225	196	242	46	23.5
窃盗犯	14,128	14,257	14,448	13,710	13,336	11,945	11,193	11,356	12,026	12,077	51	0.4
うちひったくり	174	156	145	110	93	79	57	51	84	62	-22	-26.2
うち万引き	8,524	8,673	8,468	8,353	7,961	6,743	6,489	6,803	7,855	7,810	-45	-0.6
知能犯	37	31	39	46	57	63	55	65	68	60	-8	-11.8
うち詐欺	33	31	28	29	32	38	38	52	46	44	-2	-4.3
風俗犯	110	131	132	116	116	117	138	137	166	175	9	5.4
うち強制わいせつ	105	125	121	108	109	112	129	123	154	168	14	9.1
その他の刑法犯	3,931	4,301	5,241	4,799	5,184	4,970	4,922	4,553	4,290	3,815	-475	-11.1
うち占有離脱物横領	2,682	2,825	3,592	3,184	3,403	3,107	2,968	2,637	2,304	1,984	-320	-13.9
人口比	4.0	4.2	4.4	4.2	4.3	3.9	3.7	3.7	3.8	3.7	-0.1	

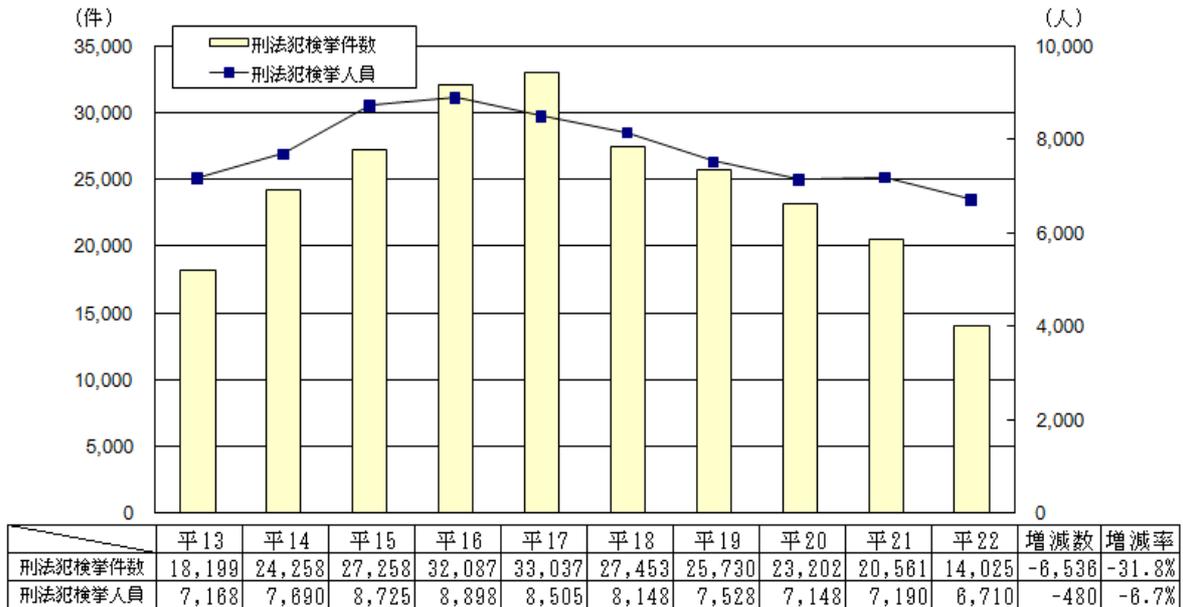
注 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく10歳～13歳の少年人口1,000人当たりの補導人員をいう。

10 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

来日外国人に係る刑法犯の検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は6,536件（31.8%）、検挙人員は480人（6.7%）それぞれ減少している（図表3-10-(1)）。

図表3-10-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



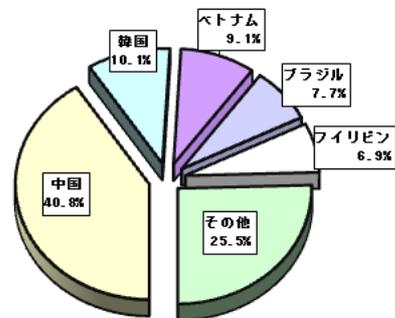
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

刑法犯の国籍・地域別検挙状況をみると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が5,243件（構成比37.4%）、次いでブラジルが2,531件（同18.0%）、ベトナムが1,507件（同10.7%）となっており、検挙人員では中国が2,740人（同40.8%）、次いで韓国が675人（同10.1%）、ベトナムが608人（同9.1%）となっている（図表3-10-(2)-1、2）。

図表3-10-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数			刑法犯検挙人員	
	件数	構成比		人員	構成比
総数	14,025	100%	総数	6,710	100%
中国	5,243	37.4%	中国	2,740	40.8%
ブラジル	2,531	18.0%	韓国	675	10.1%
ベトナム	1,507	10.7%	ベトナム	608	9.1%
韓国	1,502	10.7%	ブラジル	515	7.7%
フィリピン	442	3.2%	フィリピン	464	6.9%
その他	2,800	20.0%	その他	1,708	25.5%

図表3-10-(2)-2 検挙人員構成比



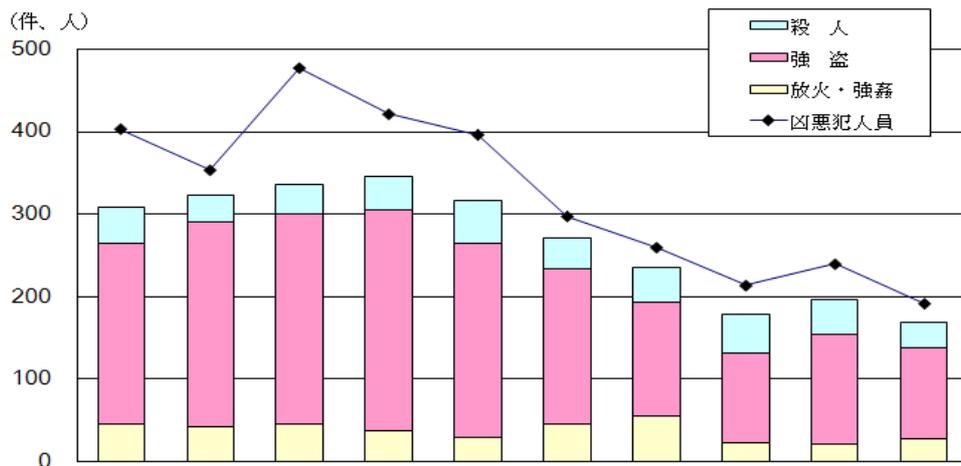
注：「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない。

(3) 凶悪犯の検挙状況

凶悪犯（殺人、強盗、放火及び強姦をいう。以下同じ。）の検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は27件（13.8%）、検挙人員は48人（20.1%）それぞれ減少している。

凶悪犯の大半を占める強盗の検挙件数及び検挙人員は、前年に比べ、検挙件数は23件（17.2%）、検挙人員は42人（24.0%）それぞれ減少しているが、強姦は、検挙件数が8件（53.3%）、検挙人員が7人（46.7%）それぞれ増加している（図表3-10-(3)）。

図表3-10-(3) 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移



		平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減数	増減率
凶悪犯検挙	件数	308	323	336	345	315	270	234	177	195	168	-27	-13.8%
	人員	403	353	477	421	396	297	259	213	239	191	-48	-20.1%
殺人	件数	45	34	37	40	51	37	41	47	41	31	-10	-24.4%
	人員	59	41	61	52	52	42	41	50	45	32	-13	-28.9%
強盗	件数	219	247	255	269	236	188	139	108	134	111	-23	-17.2%
	人員	309	280	369	338	319	216	182	142	175	133	-42	-24.0%
放火	件数	10	7	13	10	9	23	11	11	5	3	-2	-40.0%
	人員	11	7	13	9	4	18	9	10	4	4	0	0.0%
強姦	件数	34	35	31	26	19	22	43	11	15	23	8	53.3%
	人員	24	25	34	22	21	21	27	11	15	22	7	46.7%

【事例1】 中国人による殺人未遂事件（警視庁）

3月15日、渋谷区内の路上において、クラブ内での飲酒客同士のトラブルから、日本人男性客の頸部等をはさみで突き刺すなどした事件で、4月28日、中国籍の暴力団組員を殺人未遂で逮捕した。

【事例2】 中国人らグループによる逮捕監禁・強盗等事件（警視庁、千葉）

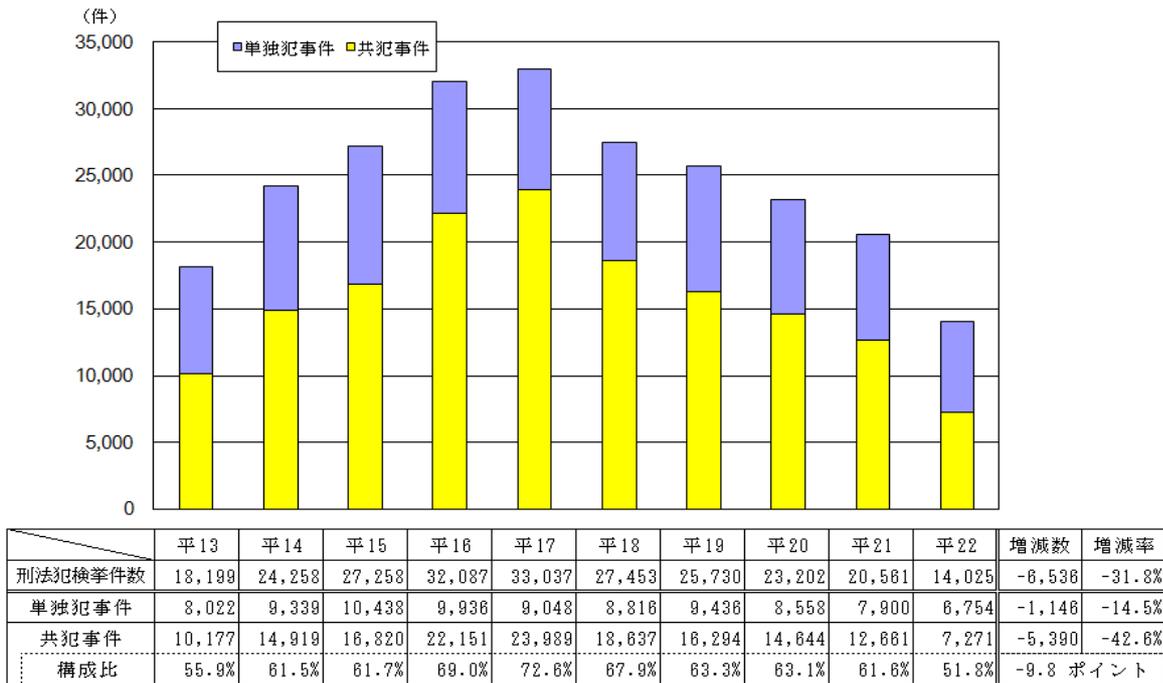
平成21年12月29日から平成22年1月30日までの間、前後3回にわたり、東京都荒川区内のマンション及び千葉県柏市内の駐車場他1カ所において、日本人女性3人、中国人女性1人に対し、いずれも粘着テープ等で顔面及び両手足を緊縛し、車両に連れ込むなどの上、現金等を強取、車内に監禁等した事件で、6月12日までに中国人男性2人、暴力団組員を含む日本人男性4人及び日本人女性1人を逮捕監禁、強盗等で逮捕した。

(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は 51.8% で、前年に比べ、9.8 ポイントと大幅に減少したが、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合（15.8%）と比べ約 3 倍であり、依然として共犯率が高い。

罪種別にみると、窃盗犯（62.9%）での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入窃盗（89.7%）の共犯率が高い（図表 3 - 10 - (4) - 1、2）。

図表 3 - 10 - (4) - 1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



図表 3 - 10 - (4) - 2 刑法犯検挙件数の罪種別・共犯形態（来日外国人・日本人）

	来日外国人						日本人					
	合計	単独犯	共犯	2人組	3人組	4人以上	合計	単独犯	共犯	2人組	3人組	4人以上
刑法犯	14,025	6,754	7,271	2,613	2,259	2,399	463,447	390,400	73,047	47,815	14,046	11,186
	構成比	48.2%	51.8%	18.6%	16.1%	17.1%	構成比	84.2%	15.8%	10.3%	3.0%	2.4%
凶悪犯	168	118	50	26	12	12	4,983	4,324	659	356	171	132
	構成比	70.2%	29.8%	15.5%	7.1%	7.1%	構成比	86.8%	13.2%	7.1%	3.4%	2.6%
うち強盗	111	66	45	22	11	12	2,295	1,778	517	267	141	109
	構成比	59.5%	40.5%	19.8%	9.9%	10.8%	構成比	77.5%	22.5%	11.6%	6.1%	4.7%
窃盗犯	10,474	3,881	6,593	2,319	2,042	2,232	303,682	251,288	52,394	37,273	10,540	4,581
	構成比	37.1%	62.9%	22.1%	19.5%	21.3%	構成比	82.7%	17.3%	12.3%	3.5%	1.5%
うち侵入盗	3,552	416	3,136	843	1,426	867	65,152	52,994	12,158	7,588	2,848	1,722
	構成比	11.7%	88.3%	23.7%	40.1%	24.4%	構成比	81.3%	18.7%	11.6%	4.4%	2.6%
うち住宅対象	3,333	344	2,989	806	1,369	814	35,437	30,285	5,152	3,665	1,038	449
	構成比	10.3%	89.7%	24.2%	41.1%	24.4%	構成比	85.5%	14.5%	10.3%	2.9%	1.3%
その他	3,383	2,755	628	268	205	155	154,782	134,788	19,994	10,186	3,335	6,473
	構成比	81.4%	18.6%	7.9%	6.1%	4.6%	構成比	87.1%	12.9%	6.6%	2.2%	4.2%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は7.0%で、前年に比べ、1.6ポイント減少している。

凶悪犯全体でみると、191人中168人(88.0%)が正規滞在者、そのうち強盗では133人中116人(87.2%)が正規滞在者となっている。

一方で、窃盗犯全体でみると、3,457人中3,201人(92.6%)が正規滞在者であるのに対し、侵入窃盗では、271人中188人(69.4%)が正規滞在者となっており、不法滞在者が30.6%を占めている(図表3-10-(5))。

図表3-10-(5) 来日外国人の罪種等別・在留資格別検挙人員の比較

		刑 法 犯																			
		凶悪犯	殺人	強盗	うち 侵入強盗	放火	強姦	粗暴犯	窃盗犯	うち 侵入窃盗	知能犯	風俗犯	その他								
														検挙人員	正規滞在	構成比	日本人の配偶者等	興行	短期滞在	留学	就学
平成22年	検挙人員	6,710	191	32	133	47	4	22	938	3,457	271	522	103	1,499							
	正規滞在	6,243	168	28	116	40	4	20	908	3,201	188	405	101	1,460							
	構成比	93.0%	88.0%	87.5%	87.2%	85.1%	100.0%	90.8%	96.8%	92.6%	69.4%	77.6%	98.1%	97.4%							
	日本人の配偶者等	1,297	46	9	30	7	1	6	292	573	18	172	23	136							
	興行	12	0	0	0	0	0	0	2	4	0	1	0	5							
	短期滞在	363	6	2	2	0	0	2	34	188	23	25	11	99							
	留学	815	17	1	15	3	0	1	89	342	27	33	10	324							
	就学	337	12	2	9	4	0	1	32	137	17	15	1	140							
	研修	567	12	5	4	1	0	3	26	420	17	13	7	34							
	定住者	1,424	49	3	40	16	2	4	256	769	66	66	20	264							
	その他	1,378	26	6	16	4	1	3	177	718	20	75	24	353							
	不法滞在	467	23	4	17	7	0	2	30	256	83	117	2	39							
	構成比	7.0%	12.0%	12.5%	12.8%	14.9%	0.0%	9.1%	3.2%	7.4%	30.6%	22.4%	1.9%	2.6%							
	不法入国・上陸	49	4	1	3	3	0	0	2	26	16	13	1	3							
	不法在留	103	2	0	1	0	0	1	3	54	31	23	1	10							
	不法残留	315	17	3	13	4	0	1	20	176	36	76	0	26							
興行	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0								
短期滞在	101	9	3	6	1	0	0	7	49	13	25	0	11								
留学	35	0	0	0	0	0	0	1	19	6	12	0	3								
就学	31	3	0	2	2	0	1	1	17	9	6	0	4								
研修	74	2	0	2	0	0	0	2	55	2	12	0	3								
その他	70	3	0	3	1	0	0	9	35	6	13	0	5								
平成21年	検挙人員	7,130	239	45	175	73	4	15	938	3,736	329	542	76	1,659							
	正規滞在	6,589	209	34	156	53	4	15	905	3,378	190	403	83	1,606							
	構成比	91.4%	87.4%	75.6%	89.1%	79.5%	100.0%	100.0%	96.5%	90.4%	57.8%	74.4%	89.5%	96.8%							
	日本人の配偶者等	1,405	33	10	22	10	0	1	297	652	30	187	26	230							
	興行	21	3	0	1	0	0	2	5	7	1	0	0	8							
	短期滞在	318	13	2	9	4	1	1	34	164	25	13	2	35							
	留学	881	8	4	3	1	0	1	81	289	21	39	8	258							
	就学	355	7	1	5	3	0	1	47	157	6	21	2	121							
	研修	763	16	3	12	2	1	0	23	550	8	23	0	151							
	定住者	1,754	38	5	77	36	2	4	261	975	75	53	15	397							
	その他	1,294	41	8	27	2	0	5	157	604	24	77	17	393							
	不法滞在	621	30	11	19	15	0	0	33	358	139	139	8	53							
	構成比	8.6%	12.6%	24.4%	10.9%	20.5%	0.0%	0.0%	3.5%	9.6%	42.2%	25.6%	10.5%	3.2%							
	不法入国・上陸	75	3	0	3	3	0	0	3	54	40	13	0	2							
	不法在留	120	6	2	4	3	0	0	6	64	34	31	1	12							
	不法残留	426	21	9	12	9	0	0	24	240	65	95	7	39							
興行	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0								
短期滞在	140	11	4	7	5	0	0	3	73	20	29	1	13								
留学	57	2	2	0	0	0	0	2	29	15	13	2	4								
就学	66	2	0	2	2	0	0	3	40	20	12	3	6								
研修	90	4	3	1	0	0	0	3	54	4	22	0	7								
その他	71	2	0	2	2	0	0	7	38	6	14	1	9								

11 暴力団による犯罪

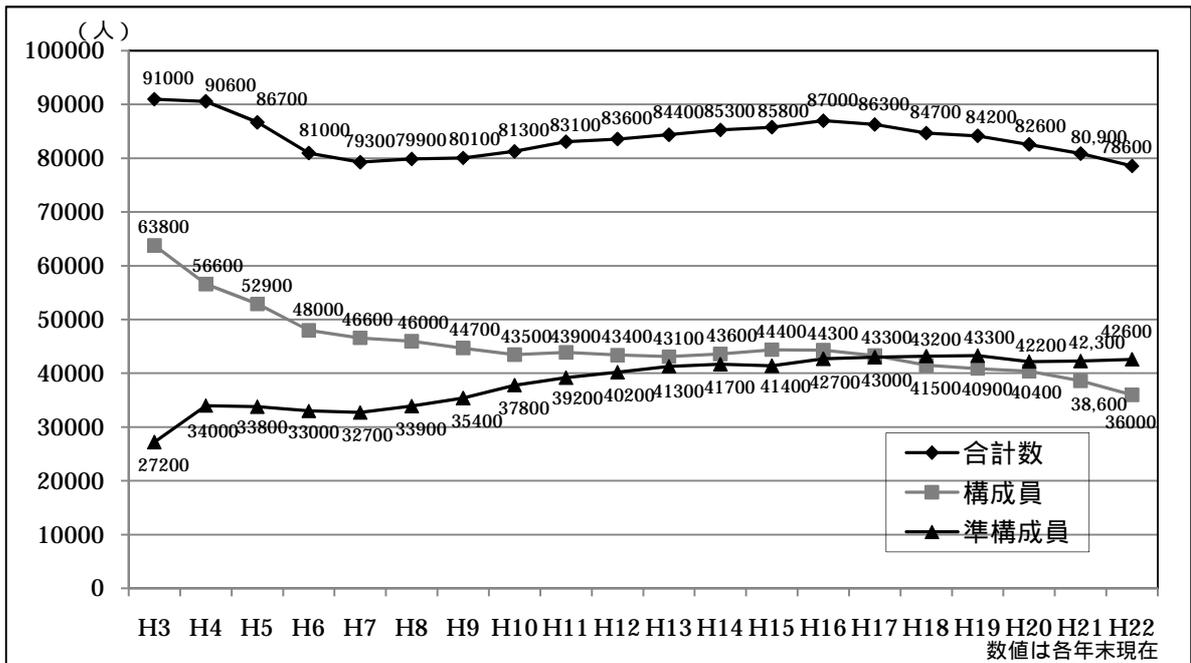
(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の数は、平成22年末現在約7万8,600人で、前年と比べ、約2,300人減少した。うち、暴力団構成員の数は約3万6,000人で、前年に比べ約2,600人減少したが、準構成員の数は約4万2,600人で、前年に比べ約300人増加した（図表3-11-(1)-1）。

また、主要3団体（六代目山口組、住吉会、稲川会）の暴力団構成員等の数は約5万6,600人（全暴力団構成員等の72.0%）で、このうち暴力団構成員の数は約2万7,700人（全暴力団構成員の76.9%）であり、主要3団体による寡占状態が続いている。

中でも山口組は、前年に比べ暴力団構成員等の数は減少しているものの、全暴力団構成員等の数の約44.4%（うち構成員については全暴力団構成員の48.1%）を占めており、依然として一極集中の状態が顕著である（図表3-11-(1)-2）。

図表3-11-(1)-1 暴力団構成員等の推移



図表3-11-(1)-2 主要3団体の暴力団構成員等の比較

主要3団体	団体名	項目	22年末の概数	21年末からの増減	全体の構成比 (構成員)
主要3団体	六代目山口組	構成員	17,300	-1,700	44.4% (構成員48.1%)
		準構成員	17,600	200	
		計	34,900	-1,500	
	住吉会	構成員	5,900	-200	16.0% (構成員16.4%)
		準構成員	6,700	0	
		計	12,600	-200	
稲川会	構成員	4,500	-200	11.6% (構成員12.5%)	
	準構成員	4,600	-100		
	計	9,100	-300		
3団体合計	構成員	27,700	-2,100	72.0% (構成員76.9%)	
	準構成員	28,900	100		
	計	56,600	-2,000		

注：本章における暴力団構成員等の数は概数であり、増減及び構成比は概数上のものである。

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

暴力団構成員等の刑法犯の検挙件数 37,369 件で、前年に比べ 2,688 件 (6.7%) 減少している (図表 3 - 11 - (2) - 1)。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は 15,782 人で、前年に比べ 530 人 (3.2%) 減少し、このうち構成員の検挙人員は 4,234 人で、前年に比べ 469 人 (10.0%) 減少している (図表 3 - 11 - (2) - 2、3)。

また、暴力団構成員の刑法犯の検挙人員を罪種別をみると、窃盗が 3,329 人 (構成比 21.1%) と最も多く、次いで傷害が 3,016 人 (同 19.1%)、詐欺が 1,960 人 (同 12.4%)、恐喝が 1,684 人 (同 10.7%) の順になっている (図表 3 - 11 - (2) - 2)。

図表 3 - 11 - (2) - 1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率 (%)
刑	殺 人	170	159	184	173	146	126	130	125	132	121	-11	-8.3
	強 盗	352	382	483	413	413	440	411	388	473	366	-107	-22.6
	放 火	46	51	51	38	34	52	45	45	29	45	16	55.2
	強 姦	119	146	127	99	110	108	127	95	102	68	-34	-33.3
	凶 器 準 備 集 合	11	8	6	11	6	3	6	4	3	2	-1	-33.3
	暴 行	997	1,040	1,050	1,074	1,166	1,313	1,278	1,257	1,172	1,181	9	0.8
	傷 害	3,490	3,560	3,466	3,208	3,125	3,308	3,030	2,782	2,605	2,620	15	0.6
	脅 迫	480	477	477	423	468	551	505	554	511	513	2	0.4
	恐 喝	2,209	2,221	2,313	1,999	1,921	1,968	1,688	1,578	1,403	1,357	-46	-3.3
	窃 盗	16,218	19,607	23,444	23,640	25,930	27,023	27,914	27,675	24,749	23,667	-1,082	-4.4
	詐 欺	3,758	3,835	3,643	3,148	3,362	3,537	3,733	3,938	4,590	3,356	-1,234	-26.9
	横 領	144	116	126	105	99	102	104	125	86	92	6	7.0
	法	文 書 偽 造	924	951	906	698	457	602	573	838	760	510	-250
賭 博		228	238	133	136	138	127	304	154	277	143	-134	-48.4
わいせつ物頒布等		73	40	59	102	135	144	127	146	140	130	-10	-7.1
公 務 執 行 妨 害		444	492	547	556	536	606	564	488	491	545	54	11.0
うち競売等妨害		30	37	34	40	22	10	17	12	8	6	-2	-25.0
犯 人 蔵 匿		49	72	58	57	45	68	54	43	58	50	-8	-13.8
証 人 威 迫		11	5	7	3	11	9	3	4	2	5	3	150.0
逮 捕 監 禁		205	225	204	205	181	168	146	126	148	132	-16	-10.8
信用毀損・威力業務妨害		74	47	62	52	53	51	57	44	36	27	-9	-25.0
器 物 損 壊		648	789	771	876	966	965	849	960	859	845	-14	-1.6
犯	暴 力 行 為	38	27	36	70	49	43	30	13	44	46	2	4.5
	そ の 他 刑 法 犯	943	1,326	1,422	1,858	1,726	1,429	1,324	1,218	1,387	1,548	161	11.6
	刑 法 犯 合 計	31,631	35,814	39,575	38,944	41,077	42,743	43,002	42,600	40,057	37,369	-2,688	-6.7

図表3 - 11 - (2) - 2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												人数	率(%)
刑	殺人	294	299	313	310	258	183	188	220	204	178	-26	-12.7
	強盗	651	652	755	727	696	593	541	534	581	560	-21	-3.6
	放火	48	77	61	61	42	40	22	44	30	33	3	10.0
	強姦	163	180	132	137	114	103	103	94	95	70	-25	-26.3
	凶器準備集合	79	109	136	92	39	31	14	13	3	4	1	33.3
	暴行	1,222	1,231	1,273	1,233	1,297	1,376	1,210	1,235	1,165	1,130	-35	-3.0
	傷害	4,838	4,904	4,651	4,319	3,972	3,881	3,580	3,219	3,123	3,016	-107	-3.4
	脅迫	613	606	551	487	543	612	545	625	543	536	-7	-1.3
	恐喝	3,070	2,954	3,092	2,808	2,619	2,523	2,175	2,013	1,800	1,684	-116	-6.4
	窃盗	2,757	2,917	3,396	3,265	3,198	3,139	3,050	3,028	3,136	3,329	193	6.2
	詐欺	1,723	1,695	1,701	1,821	1,712	1,785	1,743	1,846	2,072	1,960	-112	-5.4
	横領	107	117	101	108	86	97	83	99	64	82	18	28.1
	文書偽造	293	462	357	323	243	309	308	353	350	317	-33	-9.4
	法	賭博	1,238	1,374	780	837	845	685	648	639	789	652	-137
わいせつ物頒布等		112	62	80	128	202	197	157	197	191	154	-37	-19.4
公務執行妨害		462	493	543	569	525	488	518	457	433	450	17	3.9
うち競売等妨害		78	80	83	98	57	22	72	51	21	11	-10	-47.6
犯人蔵匿		60	99	82	69	61	84	72	47	78	58	-20	-25.6
証人威迫		15	6	13	3	16	8	2	5	2	5	3	150.0
逮捕監禁		474	471	444	414	336	299	276	239	278	202	-76	-27.3
信用毀損・威力業務妨害		108	86	82	102	88	63	83	62	41	49	8	19.5
器物損壊		515	641	618	637	642	631	535	547	509	479	-30	-5.9
暴力行為		46	59	73	126	71	82	47	22	71	77	6	8.5
その他刑法犯		762	911	1,031	896	1,024	807	721	704	754	757	3	0.4
刑法犯合計		19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	18,016	16,621	16,242	16,312	15,782	-530	-3.2

図表3 - 11 - (2) - 3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減		
												人数	率(%)	
刑	殺人	152	151	169	156	108	77	97	106	100	62	-38	-38.0	
	強盗	172	177	182	189	177	163	163	138	153	127	-26	-17.0	
	放火	9	18	23	16	12	12	4	11	1	7	6	600.0	
	強姦	42	46	40	33	24	23	24	13	15	18	3	20.0	
	凶器準備集合	14	10	34	16	26	15	11	9	3	2	-1	-33.3	
	暴行	464	466	499	446	446	476	404	411	356	362	6	1.7	
	傷害	1,741	1,803	1,742	1,539	1,436	1,450	1,305	1,071	1,029	919	-110	-10.7	
	脅迫	299	310	269	236	275	322	273	309	268	241	-27	-10.1	
	恐喝	1,398	1,325	1,462	1,358	1,232	1,197	1,005	1,006	799	802	3	0.4	
	窃盗	665	688	837	739	658	634	610	617	509	527	18	3.5	
	詐欺	502	465	469	483	485	540	510	518	530	446	-84	-15.8	
	横領	32	29	30	31	24	26	20	30	11	17	6	54.5	
	法	文書偽造	118	136	126	111	100	111	83	113	114	104	-10	-8.8
		賭博	118	117	72	90	97	66	107	107	133	81	-52	-39.1
わいせつ物頒布等		10	8	9	8	15	8	12	22	20	6	-14	-70.0	
公務執行妨害		138	144	149	180	135	137	121	114	102	101	-1	-1.0	
うち競売等妨害		22	32	31	36	25	5	4	4	4	4	0	0.0	
犯人蔵匿		22	52	43	33	27	46	31	19	18	15	-3	-16.7	
証人威迫		11	2	8	3	10	5	2	3	1	3	2	200.0	
逮捕監禁		281	222	210	182	165	115	136	103	147	71	-76	-51.7	
信用毀損・威力業務妨害		45	37	47	36	27	29	33	27	18	10	-8	-44.4	
器物損壊		176	244	250	198	209	230	169	157	152	110	-42	-27.6	
暴力行為		26	34	43	75	31	52	20	13	38	34	-4	-10.5	
その他刑法犯		274	306	377	303	324	253	228	204	186	169	-17	-9.1	
刑法犯合計		6,709	6,790	7,090	6,461	6,043	5,987	5,368	5,121	4,703	4,234	-469	-10.0	

12 女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪

(1) 女性を主たる被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

刑法犯に係る女性の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は42万6,283件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は33.9%となっている(図表3-12-(1)-1)。

女性の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が33万2,491件(女性の被害全体の78.0%)で最も多く、次いで暴行が1万818件(同2.5%)、詐欺が1万224件(同2.4%)、傷害が7,921件(同1.9%)、強制わいせつが6,866件(同1.6%)となっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐(78.9%)、詐欺(47.9%)、逮捕監禁(46.0%)等が全刑法犯被害件数に占める女性の割合(33.9%)より高くなっている(図表3-12-(1)-2)。

注:「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表3-12-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,362,317	1,256,644	-105,673	-7.8
	女性	465,776	426,283	-39,493	-8.5
	(割合%)	34.2	33.9	-0.3	-
	男性	896,541	830,361	-66,180	-7.4
	(割合%)	65.8	66.1	0.3	-

図表3 - 12 - (1) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,083	1,063	-20	-1.8
	うち女性 (割合%)	430 39.7	412 38.8	-18 -0.9	-4.2 -
強盗	被害件数	4,137	3,711	-426	-10.3
	うち女性 (割合%)	1,615 39.0	1,590 42.8	-25 3.8	-1.5 -
強姦	被害件数	1,402	1,289	-113	-8.1
	うち女性 (割合%)	1,402 100.0	1,289 100.0	-113 0.0	-8.1 -
暴行	被害件数	29,638	29,593	-45	-0.2
	うち女性 (割合%)	10,590 35.7	10,818 36.6	228 0.9	2.2 -
傷害	被害件数	26,464	26,547	83	0.3
	うち女性 (割合%)	7,616 28.8	7,921 29.8	305 1.0	4.0 -
脅迫	被害件数	2,277	2,243	-34	-1.5
	うち女性 (割合%)	878 38.6	942 42.0	64 3.4	7.3 -
恐喝	被害件数	5,423	5,093	-330	-6.1
	うち女性 (割合%)	723 13.3	670 13.2	-53 -0.1	-7.3 -
窃盗犯	被害件数	1,068,648	984,208	-84,440	-7.9
	うち女性 (割合%)	366,914 34.3	332,491 33.8	-34,423 -0.5	-9.4 -
詐欺	被害件数	26,067	21,330	-4,737	-18.2
	うち女性 (割合%)	11,716 44.9	10,224 47.9	-1,492 3.0	-12.7 -
強制わいせつ	被害件数	6,688	7,027	339	5.1
	うち女性 (割合%)	6,577 98.3	6,866 97.7	289 -0.6	4.4 -
公然わいせつ	被害件数	836	962	126	15.1
	うち女性 (割合%)	776 92.8	885 92.0	109 -0.8	14.0 -
逮捕・監禁	被害件数	362	354	-8	-2.2
	うち女性 (割合%)	180 49.7	163 46.0	-17 -3.7	-9.4 -
略取・誘拐	被害件数	156	185	29	18.6
	うち女性 (割合%)	125 80.1	146 78.9	21 -1.2	16.8 -

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

女性の被害件数を年齢層別に人口10万人当たり(以下「人口当たり」という。)でみると、20歳代が1,390.34で最も多く、次いで20歳未満の817.10件、30歳代の752.30件、40歳代の675.84件、50歳代の503.95件、60歳代の425.23件、70歳以上の263.05件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりでみると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗犯、強制わいせつ及び逮捕・監禁では20歳代が高く、公然わいせつ及び略取誘拐では20歳未満が高くなっている。さらに、殺人及び詐欺では70歳以上が高くなっている(図表3 - 12 - (1) - 3)。

図表3 - 12 - (1) - 3 年齢層別の犯罪被害件数（平成22年）

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数	合計	1,256,644	1,063	3,711	1,289	29,593	26,547	2,243	5,093	984,208	21,330	7,027	962	354	185	173,039
	人口当	981.32	0.83	2.90	1.01	23.11	20.73	1.75	3.98	768.58	16.66	5.49	0.75	0.28	0.14	135.13
女性計	合計	426,283	412	1,590	1,289	10,818	7,921	942	670	332,491	10,224	6,866	885	163	146	51,866
	人口当	648.86	0.63	2.42	1.96	16.47	12.06	1.43	1.02	506.10	15.56	10.45	1.35	0.25	0.22	78.95
	20歳未満	91,768	52	186	547	2,440	1,242	185	185	77,934	332	3,620	415	35	114	4,481
	人口当	817.10	0.46	1.66	4.87	21.73	11.06	1.65	1.65	693.92	2.96	32.23	3.70	0.31	1.02	39.90
	20歳代	96,323	42	505	547	3,217	1,969	218	173	74,061	1,292	2,495	245	68	25	11,466
	人口当	1,390.34	0.61	7.29	7.90	46.43	28.42	3.15	2.50	1,069.01	18.65	36.01	3.54	0.98	0.36	165.50
	30歳代	66,977	41	219	122	2,129	1,773	185	106	50,239	1,102	505	123	32	6	10,395
	人口当	752.30	0.46	2.46	1.37	23.91	19.91	2.08	1.19	564.29	12.38	5.67	1.38	0.36	0.07	116.76
	40歳代	56,385	52	206	44	1,417	1,333	172	87	42,300	980	162	74	18	1	9,539
	人口当	675.84	0.62	2.47	0.53	16.98	15.98	2.06	1.04	507.01	11.75	1.94	0.89	0.22	0.01	114.34
	50歳代	41,485	51	157	15	782	745	90	44	31,616	1,131	47	17	5	0	6,785
	人口当	503.95	0.62	1.91	0.18	9.50	9.05	1.09	0.53	384.06	13.74	0.57	0.21	0.06	0.00	82.42
	60歳代	40,159	67	149	8	508	495	65	44	31,379	1,991	19	7	3	0	5,424
	人口当	425.23	0.71	1.58	0.08	5.38	5.24	0.69	0.47	332.26	21.08	0.20	0.07	0.03	0.00	57.43
70歳以上	33,186	107	168	6	325	364	27	31	24,962	3,396	18	4	2	0	3,776	
人口当	263.05	0.85	1.33	0.05	2.58	2.89	0.21	0.25	197.86	26.92	0.14	0.03	0.02	0.00	29.93	
男性計	合計	830,361	651	2,121	0	18,775	18,626	1,301	4,423	651,717	11,106	161	77	191	39	121,173
人口当	1,331.56	1.04	3.40	-	30.11	29.87	2.09	7.09	1,045.09	17.81	0.26	0.12	0.31	0.06	194.31	

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成22年10月1日現在）による。

ウ 場所別被害の発生状況

罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所（「その他」を除く。）についてみると、強盗、暴行、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、殺人、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、強姦及び傷害については共同住宅、窃盗犯については駐車（輪）場が高くなっている（図表3 - 12 - (1) - 4）。

図表3 - 12 - (1) - 4 罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害総数	女	412	1,590	1,289	10,818	7,921	942	670	332,491	10,224	6,866	885	163	146	51,866
	男	651	2,121	-	18,775	18,626	1,301	4,423	651,717	11,106	161	77	191	39	121,173
一戸建住宅	女	154	103	120	1,250	1,257	276	86	36,589	5,064	359	16	13	7	4
	男	199	75	-	718	978	225	209	85,090	3,089	7	0	6	4	4
共同住宅	女	140	217	490	2,051	2,275	270	116	52,544	2,153	1,301	61	30	15	8
	男	185	79	-	1,046	1,418	255	361	88,761	1,556	34	1	40	8	8
学校（幼稚園）	女	2	1	10	82	217	25	5	7,021	22	90	1	2	5	0
	男	1	7	-	308	937	30	85	11,726	45	4	1	0	0	0
道路上	女	38	677	120	3,947	1,583	110	143	52,676	270	2,990	439	46	74	15
	男	98	586	-	7,040	6,455	223	1,436	74,998	1,194	23	32	55	15	15
駐車（輪）場	女	11	93	93	539	464	31	63	109,872	164	468	128	32	21	2
	男	27	146	-	1,304	1,582	59	716	223,716	267	9	8	31	2	2
都市公園	女	4	10	35	99	161	5	18	2,507	8	190	26	0	2	3
	男	13	40	-	343	788	18	215	4,878	22	13	6	4	3	3
空き地	女	2	5	38	21	27	1	3	1,002	1	50	6	0	1	1
	男	2	2	-	60	118	3	23	3,885	3	2	0	0	1	1
列車内	女	0	0	0	205	40	4	0	1,939	14	298	21	0	0	0
	男	0	0	-	407	163	1	15	3,082	6	4	3	0	0	0
駅・鉄道施設	女	2	11	2	294	121	6	14	2,397	39	64	23	0	2	2
	男	3	9	-	1,460	642	9	71	3,984	135	7	2	3	0	0
その他	女	59	473	381	2,330	1,776	214	222	65,944	2,489	1,056	164	40	19	19
	男	123	1,177	-	6,089	5,545	478	1,292	151,597	4,789	58	24	52	6	6

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、前年に比べ、643件（25.6%）増加している（図表3-12-(1)-5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では囑託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表3-12-(1)-5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
												件数	率(%)
殺人(件)		1,157	1,238	1,258	1,224	1,224	1,155	1,052	1,120	971	944	-27	-2.8
	うち配偶者	191	197	215	206	218	179	192	200	152	184	32	21.1
	うち夫によるもの	116	120	133	127	126	117	107	126	99	114	15	15.2
傷害		22,348	23,199	23,222	22,716	22,962	22,921	21,589	19,724	18,991	19,093	102	0.5
	うち配偶者	1,097	1,250	1,269	1,198	1,342	1,353	1,346	1,339	1,282	1,523	241	18.8
	うち夫によるもの	1,065	1,197	1,211	1,143	1,264	1,294	1,255	1,268	1,212	1,437	225	18.6
	うち傷害致死	191	180	173	135	138	139	104	129	112	110	-2	-1.8
	うち配偶者	14	18	18	14	20	15	10	15	15	11	-4	-26.7
	うち夫によるもの	10	15	16	12	17	14	8	11	12	11	-1	-8.3
暴行		7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	21,660	21,006	21,529	523	2.5
	うち配偶者	156	219	234	290	379	707	933	1,045	1,082	1,452	370	34.2
	うち夫によるもの	152	211	230	284	359	671	870	975	1,013	1,376	363	35.8
合計		31,245	32,660	33,821	34,465	37,705	43,251	43,844	42,504	40,968	41,566	598	1.5
	うち配偶者	1,444	1,666	1,718	1,694	1,939	2,239	2,471	2,584	2,516	3,159	643	25.6
	うち夫によるもの	1,333	1,528	1,574	1,554	1,749	2,082	2,232	2,369	2,324	2,927	603	25.9

注1：解決事件を除く。

注2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪

ア 子どもの犯罪被害の状況

刑法犯に係る子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は、25万6,215件で、刑法犯被害件数に占める子どもの割合は20.4%となっている（図表3-12-(2)-1）。

子どもの被害件数を主な罪種別にみると、窃盗犯が22万3,980件（子どもの被害全体の87.4%）で最も多く、次いで傷害が5,262件（同2.1%）、暴行が5,037件（同2.0%）、強制わいせつが3,760件（同1.5%）、恐喝が2,248件（同0.9%）などとなっている。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取誘拐(80.0%)、強制わいせつ(53.5%)、公然わいせつ(44.3%)、恐喝(44.1%)強姦(42.4%)等が全刑法犯被害件数に占める子どもの割合(20.4%)より高くなっている（図表3-12-(2)-2）。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表3-12-(2)-1 子どもの刑法犯被害件数

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,362,317	1,256,644	-105,673	-7.8
	少年	275,322	256,215	-19,107	-6.9
	(割合%)	20.2	20.4	0.2	-
	成人	1,086,995	1,000,429	-86,566	-8.0
	(割合%)	79.8	79.6	-0.2	-

図表3 - 12 - (2) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,083	1,063	-20	-1.8
	うち少年 (割合%)	115 10.6	125 11.8	10 1.2	8.7 -
強盗	被害件数	4,137	3,711	-426	-10.3
	うち少年 (割合%)	380 9.2	357 9.6	-23 0.4	-6.1 -
強姦	被害件数	1,402	1,289	-113	-8.1
	うち少年 (割合%)	603 43.0	547 42.4	-56 -0.6	-9.3 -
暴行	被害件数	29,638	29,593	-45	-0.2
	うち少年 (割合%)	5,379 18.1	5,037 17.0	-342 -1.1	-6.4 -
傷害	被害件数	26,464	26,547	83	0.3
	うち少年 (割合%)	5,046 19.1	5,262 19.8	216 0.7	4.3 -
脅迫	被害件数	2,277	2,243	-34	-1.5
	うち少年 (割合%)	243 10.7	295 13.2	52 2.5	21.4 -
恐喝	被害件数	5,423	5,093	-330	-6.1
	うち少年 (割合%)	2,302 42.4	2,248 44.1	-54 1.7	-2.3 -
窃盗犯	被害件数	1,068,648	984,208	-84,440	-7.9
	うち少年 (割合%)	240,816 22.5	223,980 22.8	-16,836 0.3	-7.0 -
詐欺	被害件数	26,067	21,330	-4,737	-18.2
	うち少年 (割合%)	1,015 3.9	710 3.3	-305 -0.6	-30.0 -
強制わいせつ	被害件数	6,688	7,027	339	5.1
	うち少年 (割合%)	3,508 52.5	3,760 53.5	252 1.0	7.2 -
公然わいせつ	被害件数	836	962	126	15.1
	うち少年 (割合%)	390 46.7	426 44.3	36 -2.4	9.2 -
逮捕・監禁	被害件数	362	354	-8	-2.2
	うち少年 (割合%)	92 25.4	67 18.9	-25 -6.5	-27.2 -
略取・誘拐	被害件数	156	185	29	18.6
	うち少年 (割合%)	126 80.8	148 80.0	22 -0.8	17.5 -

イ 就学別の犯罪被害の状況

子どもの被害件数を就学別に人口当たりで見ると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が2,909.38件で最も多く、次いで中学生の1,642.36件、小学生の328.37件、未就学児童の7.21件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりで見ると、殺人では未就学児童が高く、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗犯、詐欺、強制わいせつ、公然わいせつ及び逮捕監禁はその他少年が高く、略取誘拐は小学生及び中学生が高くなっている（図表3-12-(2)-3）。

図表3-12-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成22年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,256,644	1,063	3,711	1,289	29,593	26,547	2,243	5,093	984,208	21,330	7,027	962	354	185	173,039
	人口当	985.53	0.83	2.91	1.01	23.21	20.82	1.76	3.99	771.87	16.73	5.51	0.75	0.28	0.15	135.71
少年計		256,215	125	357	547	5,037	5,262	295	2,248	223,980	710	3,760	426	67	148	13,253
	人口当	1,109.64	0.54	1.55	2.37	21.81	22.79	1.28	9.74	970.03	3.07	16.28	1.84	0.29	0.64	57.40
未就学		466	54	0	0	73	124	1	0	0	0	98	1	4	35	76
	人口当	7.21	0.84	0.00	0.00	1.13	1.92	0.02	0.00	0.00	0.00	1.52	0.02	0.06	0.54	1.18
小学生		23,196	23	7	36	506	255	15	106	20,642	15	891	86	2	53	559
	人口当	328.37	0.33	0.10	0.51	7.16	3.61	0.21	1.50	292.21	0.21	12.61	1.22	0.03	0.75	7.91
中学生		59,125	6	26	99	1,131	1,674	92	806	52,308	34	539	101	7	27	2,275
	人口当	1,642.36	0.17	0.72	2.75	31.42	46.50	2.56	22.39	1,453.00	0.94	14.97	2.81	0.19	0.75	63.19
その他少年		173,428	42	324	412	3,327	3,209	187	1,336	151,030	661	2,232	238	54	33	10,343
	人口当	2,909.38	0.70	5.44	6.91	55.81	53.83	3.14	22.41	2,533.64	11.09	37.44	3.99	0.91	0.55	173.51
成人計		1,000,429	938	3,354	742	24,556	21,285	1,948	2,845	760,228	20,620	3,267	536	287	37	159,786
	人口当	958.08	0.90	3.21	0.71	23.52	20.38	1.87	2.72	728.05	19.75	3.13	0.51	0.27	0.04	153.02

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成21年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推定人口（平成21年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成21年版）による。

ウ 場所別被害の発生状況

子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）についてみると、未就学児童については共同住宅及び一戸建住宅が高く、小学生、中学生については駐車（輪）場、共同住宅及び道路上が高くなっている（図表3-12-(2)-4）。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所（「その他」を除く。）についてみると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕監禁及び略取誘拐については道路上、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、殺人及び強姦については共同住宅、窃盗犯については駐車（輪）場が高くなっている（図表3-12-(2)-5）。

図表3 - 12 - (2) - 4 就学別・場所別被害発生件数（平成22年）

就学別 区分	総数		少年							成人				
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	未就学	小学生	中学生	その他	件数	割合(%)				
被害総数	1,256,644	100.0	256,215	100.0	466	100.0	23,196	100.0	59,125	100.0	173,428	100.0	1,000,429	100.0
一戸建住宅	164,133	13.1	15,483	6.0	68	14.6	2,214	9.5	4,732	8.0	8,469	4.9	148,650	14.9
共同住宅	182,530	14.5	29,672	11.6	160	34.3	4,378	18.9	7,489	12.7	17,645	10.2	152,858	15.3
学校(幼稚園)	22,918	1.8	12,775	5.0	24	5.2	520	2.2	2,152	3.6	10,079	5.8	10,143	1.0
駐車(輪)場	408,304	32.5	115,521	45.1	22	4.7	7,147	30.8	25,207	42.6	83,145	47.9	292,783	29.3
道路上	178,392	14.2	40,753	15.9	44	9.4	3,744	16.1	9,680	16.4	27,285	15.7	137,639	13.8
都市公園	10,832	0.9	5,952	2.3	14	3.0	2,406	10.4	1,631	2.8	1,901	1.1	4,880	0.5
空き地	6,897	0.5	1,315	0.5	3	0.6	102	0.4	316	0.5	894	0.5	5,582	0.6
列車内	6,405	0.5	794	0.3	2	0.4	12	0.1	58	0.1	722	0.4	5,611	0.6
駅・鉄道施設	10,254	0.8	3,874	1.5	7	1.5	54	0.2	434	0.7	3,379	1.9	6,380	0.6
その他	265,979	21.2	30,076	11.7	122	26.2	2,619	11.3	7,426	12.6	19,909	11.5	235,903	23.6

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表3 - 12 - (2) - 5 罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
		被害総数	1,063	3,711	1,289	29,593	26,547	2,243	5,093	984,208	21,330	7,027	962	354	185	173,039
少年計	125	357	547	5,037	5,262	295	2,248	223,980	710	3,760	426	67	148	13,253	256,215	
一戸建住宅	29	7	64	157	203	66	58	14,113	277	226	5	3	8	267	15,483	
共同住宅	41	39	159	384	514	62	111	26,236	177	611	23	10	19	1,286	29,672	
学校(幼稚園)	1	3	7	149	561	23	82	11,496	18	85	1	1	4	344	12,775	
駐車(輪)場	5	37	37	359	617	10	367	108,729	21	234	27	14	19	5,045	115,521	
道路上	21	176	67	2,503	1,415	64	851	29,673	68	1,599	265	23	67	3,961	40,753	
都市公園	2	23	25	258	737	15	190	4,150	9	161	17	1	5	359	5,952	
空き地		6	19	34	77		14	810		35	6		2	312	1,315	
列車内	0	0	0	84	35	2	12	410	0	196	12	0	0	43	794	
駅・鉄道施設	3	3	1	233	121	8	53	3,170	8	43	17	0	2	212	3,874	
その他	23	63	168	876	982	45	510	25,193	132	570	53	15	22	1,424	30,076	

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況

子ども対象・暴力的性犯罪（13歳未満の少年が被害者となった強姦、強制わいせつ、強盗強姦（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）の認知件数は、前年に比べ、134件（13.2%）増加している。

罪種別にみると、前年に比べ、強姦は2件（3.8%）、強制わいせつは127件（13.6%）、わいせつ目的略取誘拐は5件（20.0%）それぞれ増加している（図表3 - 12 - (2) - 6）。

図表3 - 12 - (2) - 6 罪種別被害発生件数

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	増減	
		件数	率(%)										
子ども対象・暴力的性犯罪		2,137	1,960	2,236	1,796	1,484	1,114	1,012	1,036	1,014	1,148	134	13.2
強盗強姦		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	#DIV/0!
強姦		60	90	93	74	72	67	81	71	53	55	2	3.8
強制わいせつ		2,037	1,815	2,087	1,679	1,384	1,015	907	936	936	1,063	127	13.6
わいせつ目的略取誘拐		40	54	56	43	28	32	24	28	25	30	5	20.0

(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪

ア 高齢者の犯罪被害の状況

刑法犯に係る高齢者の被害件数(「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。)は13万7,882件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は11.0%となっている(図表3-12-(3)-1)。

高齢者の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が10万4,751件(高齢者の被害全体の76.0%)で最も多く、次いで詐欺が6,569件(同4.8%)、暴行が1,776件(同1.3%)、傷害が1,723件(同1.2%)、強盗が425件(同0.3%)などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種についてみると、詐欺(30.8%)、殺人(24.1%)及び強盗(11.5%)が全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合(11.0%)より高くなっている(図表3-12-(3)-2)。

注：「略取誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む(以下同じ)。

図表3-12-(3)-1 高齢者の刑法犯被害件数

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,362,317	1,256,644	-105,673	-7.8
	65歳以上 (割合%)	143,963 10.6	137,882 11.0	-6,081 0.4	-4.2 -
	64歳以下 (割合%)	1,218,354 89.4	1,118,762 89.0	-99,592 -0.4	-8.2 -

図表3 - 12 - (3) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平21	平22	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,083	1,063	-20	-1.8
	うち65歳以上 (割合%)	237 21.9	256 24.1	19 2.2	8.0 -
強盗	被害件数	4,137	3,711	-426	-10.3
	うち65歳以上 (割合%)	429 10.4	425 11.5	-4 1.1	-0.9 -
強姦	被害件数	1,402	1,289	-113	-8.1
	うち65歳以上 (割合%)	7 0.5	9 0.7	2 0.2	28.6 -
暴行	被害件数	29,638	29,593	-45	-0.2
	うち65歳以上 (割合%)	1,786 6.0	1,776 6.0	-10 0.0	-0.6 -
傷害	被害件数	26,464	26,547	83	0.3
	うち65歳以上 (割合%)	1,761 6.7	1,723 6.5	-38 -0.2	-2.2 -
脅迫	被害件数	2,277	2,243	-34	-1.5
	うち65歳以上 (割合%)	175 7.7	184 8.2	9 0.5	5.1 -
恐喝	被害件数	5,423	5,093	-330	-6.1
	うち65歳以上 (割合%)	177 3.3	166 3.3	-11 0.0	-6.2 -
窃盗犯	被害件数	1,068,648	984,208	-84,440	-7.9
	うち65歳以上 (割合%)	110,037 10.3	104,751 10.6	-5,286 0.3	-4.8 -
詐欺	被害件数	26,067	21,330	-4,737	-18.2
	うち65歳以上 (割合%)	6,054 23.2	6,569 30.8	515 7.6	8.5 -
強制わいせつ	被害件数	6,688	7,027	339	5.1
	うち65歳以上 (割合%)	10 0.1	25 0.4	15 0.3	150.0 -
公然わいせつ	被害件数	836	962	126	15.1
	うち65歳以上 (割合%)	7 0.8	9 0.9	2 0.1	28.6 -
逮捕・監禁	被害件数	362	354	-8	-2.2
	うち65歳以上 (割合%)	6 1.7	10 2.8	4 1.1	66.7 -
略取・誘拐	被害件数	156	185	29	18.6
	うち65歳以上 (割合%)	1 0.6	1 0.5	0 -0.1	0.0 -

イ 場所別被害の発生状況

罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所についてみると、女性の殺人、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗犯、詐欺及び強制わいせつについては一戸建住宅、強盗及び公然わいせつについては道路上、逮捕監禁については共同住宅が高くなっている。

また、男性の殺人、脅迫、恐喝、窃盗犯及び詐欺については一戸建住宅、強盗、暴行、傷害、公然わいせつ及び略取・誘拐については道路上、逮捕監禁については共同住宅が高くなっている（図表3 - 12 - (3) - 3）。

図表3 - 12 - (3) - 3 罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
被害総数	女	142	235	9	521	563	52	51	38,802	4,409	25	5	3	0
	男	114	190	0	1,255	1,160	132	115	65,949	2,160	0	4	7	1
一戸建住宅	女	76	57	5	212	221	24	21	10,313	2,917	13	0	1	0
	男	58	34	0	186	216	51	25	19,183	1,067	0	0	1	0
共同住宅	女	34	13	3	101	101	20	6	3,212	883	5	0	2	0
	男	34	14	0	125	127	28	9	4,985	211	0	0	3	0
学校（幼稚園）	女	0	0	0	1	0	0	0	70	2	0	0	0	0
	男	0	0	0	2	1	0	0	153	1	0	0	0	0
道路上	女	10	106	0	87	93	3	10	7,623	67	2	4	0	0
	男	4	59	0	470	378	13	18	6,473	203	0	3	2	1
駐車（輪）場	女	1	1	0	13	11	0	1	2,267	22	0	0	0	0
	男	2	4	0	71	53	4	7	8,581	43	0	0	0	0
都市公園	女	0	1	0	0	4	0	0	175	3	0	0	0	0
	男	1	1	0	15	19	1	2	252	3	0	0	0	0
空き地	女	1	0	0	0	0	0	0	178	0	0	0	0	0
	男	1	0	0	9	4	0	1	674	0	0	0	0	0
列車内	女	0	0	0	2	2	0	0	81	10	0	0	0	0
	男	0	0	0	8	3	0	0	139	1	0	0	0	0
駅・鉄道施設	女	0	1	0	3	8	0	0	174	12	0	0	0	0
	男	0	1	0	27	17	1	3	164	9	0	0	0	0
その他	女	20	56	1	102	123	5	13	14,709	493	5	1	0	0
	男	14	77	0	342	342	34	50	25,345	622	0	1	1	0

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

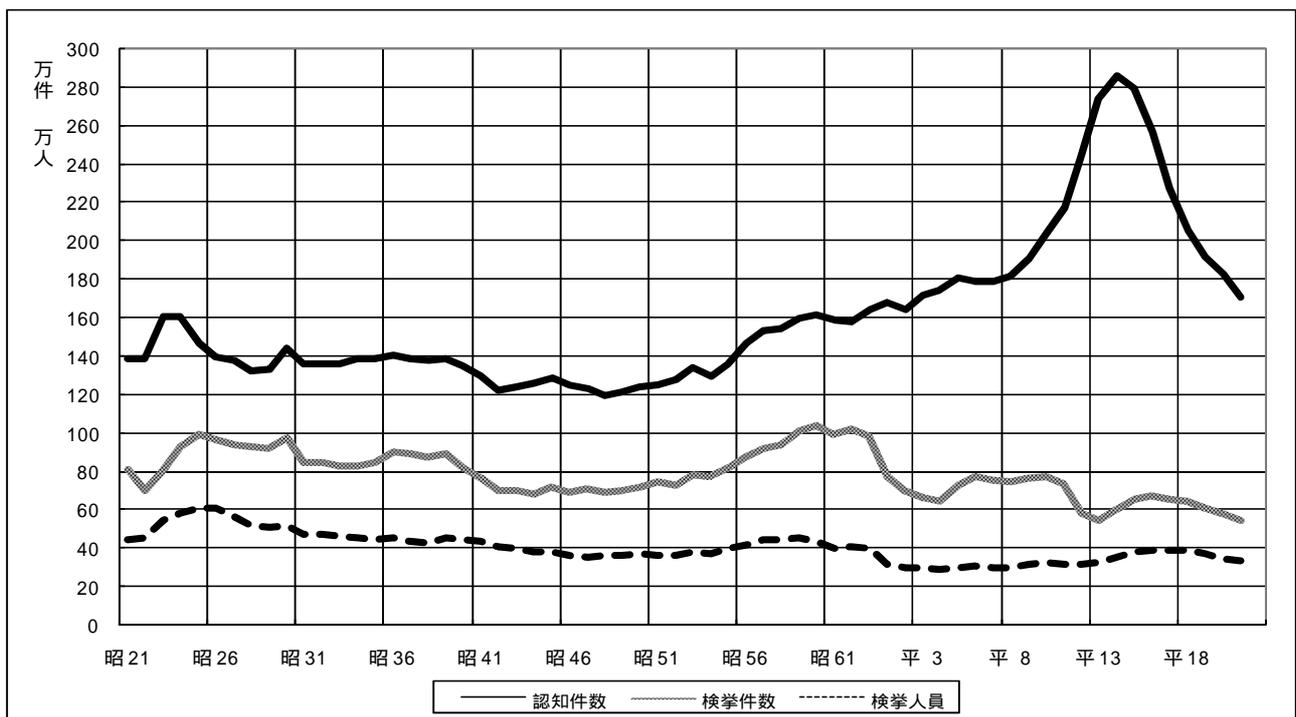
第 4 資料

図表4-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,535	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955
平 18	2,050,850	640,657	384,250
平 19	1,908,836	605,358	365,577
平 20	1,818,023	573,392	339,752
平 21	1,703,044	544,699	332,888
平 22	1,585,856	497,356	322,620

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表 4 - 2 刑法犯の

区分		年次	平13	平14	平15	平16	平17
人口(10万人)			1,273	1,274	1,276	1,277	1,278
刑法犯総数	認知件数		2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293
	犯罪率		2,148.9	2,240.0	2,186.6	2,006.9	1,775.7
重要犯罪	認知件数		21,530	22,294	23,971	22,568	20,388
	犯罪率		16.9	17.5	18.8	17.7	16.0
重要窃盗犯	認知件数		443,502	478,476	469,148	407,929	338,967
	犯罪率		348.4	375.6	367.7	319.4	265.2
凶悪犯	認知件数		11,967	12,567	13,658	13,064	11,360
	犯罪率		9.4	9.9	10.7	10.2	8.9
殺人	認知件数		1,340	1,396	1,452	1,419	1,392
	犯罪率		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
強盗	認知件数		6,393	6,984	7,664	7,295	5,988
	犯罪率		5.0	5.5	6.0	5.7	4.7
放火	認知件数		2,006	1,830	2,070	2,174	1,904
	犯罪率		1.6	1.4	1.6	1.7	1.5
強姦	認知件数		2,228	2,357	2,472	2,176	2,076
	犯罪率		1.8	1.9	1.9	1.7	1.6
粗暴犯	認知件数		72,801	76,573	78,759	76,616	73,772
	犯罪率		57.2	60.1	61.7	60.0	57.7
うち)暴行	認知件数		16,928	19,442	21,937	23,691	25,815
	犯罪率		13.3	15.3	17.2	18.6	20.2
うち)傷害	認知件数		33,965	36,324	36,568	35,937	34,484
	犯罪率		26.7	28.5	28.7	28.1	27.0
うち)恐喝	認知件数		19,566	18,403	17,595	14,424	10,978
	犯罪率		15.4	14.4	13.8	11.3	8.6
窃盗犯	認知件数		2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072
	犯罪率		1,838.6	1,866.2	1,752.2	1,551.7	1,349.8
侵入窃盗	認知件数		303,698	338,294	333,233	290,595	244,776
	犯罪率		238.6	265.5	261.2	227.6	191.5
乗り物盗	認知件数		827,593	775,435	695,791	629,722	556,987
	犯罪率		650.1	608.7	545.3	493.1	435.8
非侵入窃盗	認知件数		1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309
	犯罪率		949.9	992.0	945.8	831.1	722.5
知能犯	認知件数		53,007	62,751	74,754	99,258	97,500
	犯罪率		41.6	49.3	58.6	77.7	76.3
うち)詐欺	認知件数		43,104	49,482	60,298	83,015	85,596
	犯罪率		33.9	38.8	47.3	65.0	67.0
風俗犯	認知件数		11,841	12,220	13,034	12,346	12,085
	犯罪率		9.3	9.6	10.2	9.7	9.5
うち)強制わいせつ	認知件数		9,326	9,476	10,029	9,184	8,751
	犯罪率		7.3	7.4	7.9	7.2	6.8
その他の刑法犯	認知件数		245,485	312,140	374,087	379,909	349,504
	犯罪率		192.8	245.0	293.2	297.5	273.5

注1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平18	平19	平20	平21	平22	年次	区分
1,278	1,278	1,277	1,275	1,281	人口(10万人)	
2,050,850 1,604.7	1,908,836 1,493.6	1,818,023 1,423.7	1,703,044 1,335.7	1,585,856 1,238.0	認知件数 犯罪率	刑法犯総数
18,649 14.6	16,922 13.2	15,847 12.4	15,158 11.9	14,788 11.5	認知件数 犯罪率	重要犯罪
282,047 220.7	241,425 188.9	210,103 164.5	200,572 157.3	181,134 141.4	認知件数 犯罪率	重要窃盗犯
10,124 7.9	9,051 7.1	8,581 6.7	8,314 6.5	7,576 5.9	認知件数 犯罪率	凶悪犯
1,309 1.0	1,199 0.9	1,297 1.0	1,094 0.9	1,067 0.8	認知件数 犯罪率	殺人
5,108 4.0	4,567 3.6	4,278 3.4	4,512 3.5	4,029 3.1	認知件数 犯罪率	強盗
1,759 1.4	1,519 1.2	1,424 1.1	1,306 1.0	1,191 0.9	認知件数 犯罪率	放火
1,948 1.5	1,766 1.4	1,582 1.2	1,402 1.1	1,289 1.0	認知件数 犯罪率	強姦
76,303 59.7	72,908 57.0	68,948 54.0	63,995 50.2	63,646 49.7	認知件数 犯罪率	粗暴犯
31,002 24.3	31,966 25.0	31,641 24.8	29,638 23.2	29,593 23.1	認知件数 犯罪率	うち)暴行
33,987 26.6	30,986 24.2	28,291 22.2	26,464 20.8	26,547 20.7	認知件数 犯罪率	うち)傷害
8,636 6.8	7,384 5.8	6,349 5.0	5,530 4.3	5,202 4.1	認知件数 犯罪率	うち)恐喝
1,534,528 1,200.7	1,429,956 1,118.9	1,372,840 1,075.1	1,299,294 1,019.1	1,213,442 947.3	認知件数 犯罪率	窃盗犯
205,463 160.8	175,728 137.5	155,047 121.4	148,488 116.5	136,552 106.6	認知件数 犯罪率	侵入窃盗
517,815 405.2	510,162 399.2	501,331 392.6	497,407 390.1	464,775 362.8	認知件数 犯罪率	乗り物盗
811,250 634.8	744,066 582.2	716,462 561.1	653,399 512.5	612,115 477.8	認知件数 犯罪率	非侵入窃盗
84,271 65.9	75,999 59.5	73,252 57.4	53,002 41.6	44,347 34.6	認知件数 犯罪率	知能犯
74,632 58.4	67,787 53.0	64,427 50.5	45,162 35.4	37,516 29.3	認知件数 犯罪率	うち)詐欺
11,932 9.3	11,184 8.8	10,559 8.3	10,182 8.0	10,893 8.5	認知件数 犯罪率	風俗犯
8,326 6.5	7,664 6.0	7,111 5.6	6,688 5.2	7,027 5.5	認知件数 犯罪率	うち)強制わいせつ
333,692 261.1	309,738 242.4	283,843 222.3	268,257 210.4	245,952 192.0	認知件数 犯罪率	その他の刑法犯

図表 4 - 3 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
認知件数(件)	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850
北海道	92,832	94,091	93,863	88,249	73,071	65,417
札幌	63,359	63,792	62,143	59,413	49,839	44,834
函館	6,921	6,617	7,717	7,920	6,115	5,457
旭川	9,617	10,637	10,817	9,042	7,567	6,304
釧路	9,425	9,312	9,564	8,912	6,740	6,364
北見	3,510	3,733	3,622	2,962	2,810	2,458
東北管区	142,929	145,801	135,031	120,581	102,900	93,986
青森	17,051	19,202	18,940	17,360	14,769	13,018
岩手	15,125	15,011	13,686	12,885	11,289	10,090
宮城	49,887	49,261	43,376	40,211	33,357	31,698
秋田	12,768	11,978	10,616	9,565	8,604	7,571
山形	13,029	14,331	12,852	11,423	10,352	9,214
福島	35,069	36,018	35,561	29,137	24,529	22,395
東京	292,579	301,913	299,406	283,326	253,912	244,611
関東管区	786,208	831,091	819,702	782,924	673,226	596,152
茨城	60,681	67,672	64,844	55,633	52,266	47,183
栃木	36,321	39,061	40,469	37,943	33,380	33,059
群馬	32,544	39,803	40,753	42,643	35,453	32,060
埼玉	170,963	177,762	179,276	181,350	157,047	136,651
千葉	164,721	168,366	164,278	147,587	131,037	115,700
神奈川	179,692	190,173	186,290	183,148	142,920	122,703
新潟	33,205	35,947	35,413	31,391	28,174	26,126
山梨	13,761	15,245	14,130	12,967	10,683	9,547
長野	34,764	34,054	31,974	29,822	26,753	22,902
静岡	59,556	63,008	62,275	60,440	55,513	50,221
中部管区	323,682	342,534	361,021	328,699	306,274	249,659
富山	17,660	16,311	15,501	14,206	13,168	11,364
石川	16,805	16,666	17,770	14,648	12,739	12,524
福井	11,671	13,884	12,501	10,060	8,324	7,422
岐阜	48,088	51,956	46,956	43,160	38,649	32,864
愛知	190,212	196,117	225,706	208,170	198,937	157,382
三重	39,246	47,600	42,587	38,455	34,457	28,103
近畿管区	606,204	617,794	578,761	520,896	485,308	453,593
滋賀	31,258	32,183	27,801	23,841	18,750	17,969
京都	63,051	65,082	63,291	63,593	57,586	54,932
大阪	327,262	300,429	285,307	255,697	249,511	232,451
兵庫	129,197	164,445	153,080	135,119	121,539	113,320
奈良	31,163	32,017	28,018	23,942	21,365	18,895
和歌山	24,273	23,638	21,264	18,704	16,557	16,026
中国管区	138,510	147,661	139,054	119,383	101,354	96,602
鳥取	7,468	8,215	9,302	8,688	7,382	6,838
島根	8,695	9,055	9,217	8,864	7,586	6,782
岡山	37,678	45,386	43,423	37,195	32,102	31,632
広島	59,352	59,330	53,512	44,325	36,938	35,022
山口	25,317	25,675	23,600	20,311	17,346	16,328
四国管区	66,853	69,314	75,122	69,488	61,117	53,704
徳島	11,181	11,432	12,369	10,552	9,655	9,111
香川	15,744	19,475	22,185	20,800	16,997	14,640
愛媛	26,987	25,599	27,380	24,654	22,167	19,001
高知	12,941	12,808	13,188	13,482	12,298	10,952
九州管区	285,815	303,540	288,176	249,221	212,131	197,126
福岡	157,749	168,190	154,834	128,545	106,805	102,101
佐賀	12,391	13,222	14,351	13,033	11,040	9,660
長崎	14,097	13,952	14,454	13,911	12,833	11,148
熊本	27,034	28,684	28,973	25,628	22,191	20,054
大分	15,625	17,158	17,362	15,482	13,035	11,823
宮崎	15,588	17,703	16,389	13,610	12,030	11,352
鹿児島	19,905	18,990	18,899	17,128	14,934	13,565
沖縄	23,426	25,641	22,914	21,884	19,263	17,423

認知件数の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	-117,188	-6.9	認知件数(件)
60,880	59,733	52,139	51,226	-913	-1.8	北海道
42,133	42,078	37,417	37,147	-270	-0.7	札幌
5,556	4,864	3,845	3,794	-51	-1.3	函館
5,860	5,730	4,581	4,195	-386	-8.4	旭川
5,379	5,110	4,688	4,498	-190	-4.1	釧路
1,952	1,951	1,608	1,592	-16	-1.0	北見
85,364	82,349	77,356	73,970	-3,386	-4.4	東北管区
11,784	11,015	9,987	9,943	-44	-0.4	青森
9,102	9,111	8,240	7,400	-840	-10.2	岩手
29,216	28,583	25,859	24,614	-1,245	-4.8	宮城
6,699	6,134	5,740	5,407	-333	-5.8	秋田
8,708	7,924	8,003	7,179	-824	-10.3	山形
19,855	19,582	19,527	19,427	-100	-0.5	福島
228,805	212,152	205,708	195,970	-9,738	-4.7	東京
548,734	531,032	492,395	465,837	-26,558	-5.4	関東管区
46,087	43,885	42,491	41,312	-1,179	-2.8	茨城
30,358	28,550	25,990	23,500	-2,490	-9.6	栃木
27,769	26,730	24,110	22,211	-1,899	-7.9	群馬
126,453	122,108	113,632	106,228	-7,404	-6.5	埼玉
105,185	100,827	96,400	92,325	-4,075	-4.2	千葉
112,529	113,556	98,216	93,369	-4,847	-4.9	神奈川
25,024	23,435	22,189	21,227	-962	-4.3	新潟
8,435	7,890	8,134	7,919	-215	-2.6	山梨
21,422	21,105	20,164	18,295	-1,869	-9.3	長野
45,472	42,946	41,069	39,451	-1,618	-3.9	静岡
229,674	226,382	223,196	198,645	-24,551	-11.0	中部管区
10,648	10,112	8,740	7,679	-1,061	-12.1	富山
10,669	9,689	8,812	8,293	-519	-5.9	石川
7,193	6,740	6,369	6,058	-311	-4.9	福井
31,252	29,799	27,928	25,017	-2,911	-10.4	岐阜
143,948	144,694	145,807	128,173	-17,634	-12.1	愛知
25,964	25,348	25,540	23,425	-2,115	-8.3	三重
426,640	398,194	362,443	329,284	-33,159	-9.1	近畿管区
16,553	15,455	15,258	15,501	243	1.6	滋賀
52,960	50,259	44,538	42,258	-2,280	-5.1	京都
216,303	201,816	182,537	164,096	-18,441	-10.1	大阪
107,378	97,527	90,670	80,860	-9,810	-10.8	兵庫
18,299	18,835	15,478	14,444	-1,034	-6.7	奈良
15,147	14,302	13,962	12,125	-1,837	-13.2	和歌山
89,411	83,293	78,742	75,097	-3,645	-4.6	中国管区
6,261	6,005	5,845	5,189	-656	-11.2	鳥取
6,001	5,802	5,157	5,116	-41	-0.8	島根
29,257	27,357	25,862	24,097	-1,765	-6.8	岡山
32,696	30,129	28,853	28,335	-518	-1.8	広島
15,196	14,000	13,025	12,360	-665	-5.1	山口
51,319	48,144	44,851	42,901	-1,950	-4.3	四国管区
8,518	8,451	7,389	7,108	-281	-3.8	徳島
13,010	11,425	10,884	10,432	-452	-4.2	香川
18,626	17,829	16,827	16,672	-155	-0.9	愛媛
11,165	10,439	9,751	8,689	-1,062	-10.9	高知
188,009	176,744	166,214	152,926	-13,288	-8.0	九州管区
95,207	90,356	86,057	78,809	-7,248	-8.4	福岡
10,112	8,683	8,271	8,138	-133	-1.6	佐賀
10,730	10,323	9,199	8,950	-249	-2.7	長崎
19,553	17,429	17,015	15,309	-1,706	-10.0	熊本
11,567	9,840	9,495	8,691	-804	-8.5	大分
11,498	11,105	9,602	8,750	-852	-8.9	宮崎
13,625	13,655	12,837	11,392	-1,445	-11.3	鹿児島
15,717	15,353	13,738	12,887	-851	-6.2	沖縄

図表4 - 4 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
検挙件数(件)	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657
北海道	13,369	14,612	17,909	21,213	22,257	23,036
札幌	8,228	9,138	11,181	14,041	15,101	16,094
函館	1,268	1,207	1,561	2,086	1,564	1,630
旭川	1,663	1,962	2,077	2,244	3,029	2,163
釧路	1,364	1,594	2,025	1,939	1,789	2,294
北見	846	711	1,065	903	774	855
東北管区	36,609	40,534	43,432	38,726	36,939	34,284
青森	4,226	5,398	5,855	5,235	5,029	4,393
岩手	3,562	4,265	4,495	4,452	4,306	4,195
宮城	10,081	10,412	11,976	10,516	9,819	9,410
秋田	4,720	4,600	4,869	4,589	4,162	4,071
山形	4,152	4,808	5,130	4,125	5,069	4,024
福島	9,868	11,051	11,107	9,809	8,554	8,191
東京	75,288	75,952	85,995	89,252	86,444	89,549
関東管区	147,948	157,464	170,652	189,826	188,264	193,509
茨城	11,870	13,864	13,977	16,662	15,967	17,031
栃木	6,332	7,603	9,355	10,268	9,065	9,258
群馬	9,256	9,909	10,054	14,067	11,052	10,829
埼玉	25,019	22,735	25,788	32,413	31,161	34,060
千葉	24,131	29,908	33,458	32,902	35,528	38,122
神奈川	37,531	36,537	40,019	46,458	47,286	47,342
新潟	9,693	10,123	10,096	9,127	8,146	8,183
山梨	2,033	2,667	3,245	3,062	4,472	3,931
長野	7,239	8,533	8,748	8,970	8,490	9,669
静岡	14,844	15,585	15,912	15,897	17,097	15,084
中部管区	55,510	81,883	80,140	76,286	74,913	64,962
富山	3,845	4,650	4,829	4,085	3,802	3,573
石川	3,939	8,296	6,667	6,406	5,272	5,208
福井	3,500	4,191	4,369	3,520	4,388	3,546
岐阜	6,548	8,089	9,446	8,284	9,636	9,236
愛知	30,398	48,600	46,468	45,095	42,313	32,166
三重	7,280	8,057	8,361	8,896	9,502	11,233
近畿管区	91,039	93,386	106,410	105,720	106,802	102,594
滋賀	5,629	6,228	8,191	7,565	8,153	6,484
京都	13,766	12,811	15,908	16,089	15,385	14,978
大阪	37,497	39,100	42,137	41,341	41,290	39,192
兵庫	21,799	23,803	25,973	28,817	28,846	29,238
奈良	7,902	6,844	9,253	7,802	9,022	8,805
和歌山	4,446	4,600	4,948	4,106	4,106	3,897
中国管区	37,631	40,844	41,564	39,438	37,386	35,360
鳥取	2,889	3,598	4,541	3,574	3,437	3,862
島根	3,166	3,246	3,506	3,166	3,652	3,305
岡山	10,572	9,515	9,710	9,713	9,361	9,525
広島	13,251	13,424	13,525	14,568	12,279	11,350
山口	7,753	11,061	10,282	8,417	8,657	7,318
四国管区	21,187	20,065	21,543	20,703	21,134	20,918
徳島	5,155	4,413	5,084	3,899	4,411	3,843
香川	4,385	4,906	5,415	5,791	4,934	5,193
愛媛	6,381	6,278	6,694	7,150	8,008	7,977
高知	5,266	4,468	4,350	3,863	3,781	3,905
九州管区	63,534	67,619	80,674	86,456	75,364	76,445
福岡	24,259	27,197	37,121	40,152	34,059	35,372
佐賀	3,960	4,066	4,176	4,137	4,216	4,636
長崎	5,837	6,377	6,896	8,465	5,861	6,125
熊本	9,003	8,884	9,546	11,731	8,944	7,641
大分	3,825	4,866	5,483	5,716	4,911	5,114
宮崎	4,757	3,954	4,606	4,412	4,568	5,359
鹿児島	6,625	7,581	6,619	6,083	6,130	5,400
沖縄	5,268	4,694	6,227	5,760	6,675	6,798

検挙件数の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
605,358	573,392	544,699	497,356	-47,343	-8.7	検挙件数(件)
22,657	21,639	17,394	16,083	-1,311	-7.5	北海道
15,917	15,455	11,793	11,199	-594	-5.0	札幌
1,808	1,484	1,518	1,025	-493	-32.5	函館
2,057	1,958	1,731	1,580	-151	-8.7	旭川
1,885	2,104	1,697	1,597	-100	-5.9	釧路
990	638	655	682	27	4.1	北見
31,668	30,011	28,390	28,280	-110	-0.4	東北管区
4,080	4,046	4,030	3,892	-138	-3.4	青森
3,754	3,457	3,626	3,990	364	10.0	岩手
8,731	8,382	7,894	7,518	-376	-4.8	宮城
3,817	3,410	2,974	2,994	20	0.7	秋田
3,890	3,630	3,795	3,636	-159	-4.2	山形
7,396	7,086	6,071	6,250	179	2.9	福島
79,277	67,496	64,239	58,227	-6,012	-9.4	東京
186,541	175,365	168,484	152,497	-15,987	-9.5	関東管区
18,824	17,476	14,265	12,422	-1,843	-12.9	茨城
10,001	9,866	9,687	8,239	-1,448	-14.9	栃木
10,472	10,522	11,370	11,078	-292	-2.6	群馬
32,550	31,140	30,846	30,048	-798	-2.6	埼玉
34,911	30,608	27,627	24,918	-2,709	-9.8	千葉
44,747	41,913	40,380	35,964	-4,416	-10.9	神奈川
8,298	7,755	8,406	7,783	-623	-7.4	新潟
3,500	2,964	3,154	3,046	-108	-3.4	山梨
9,319	8,893	8,296	6,589	-1,707	-20.6	長野
13,919	14,228	14,453	12,410	-2,043	-14.1	静岡
57,174	60,186	65,867	58,673	-7,194	-10.9	中部管区
3,021	2,949	2,777	2,428	-349	-12.6	富山
4,406	3,714	3,066	2,905	-161	-5.3	石川
3,291	3,245	3,286	2,788	-498	-15.2	福井
9,249	10,018	10,843	7,903	-2,940	-27.1	岐阜
29,043	33,607	39,271	36,169	-3,102	-7.9	愛知
8,164	6,653	6,624	6,480	-144	-2.2	三重
100,692	96,651	89,300	80,505	-8,795	-9.8	近畿管区
6,715	6,111	4,873	4,326	-547	-11.2	滋賀
14,073	13,220	11,743	10,944	-799	-6.8	京都
38,079	39,025	35,386	29,841	-5,545	-15.7	大阪
28,457	26,838	25,948	23,624	-2,324	-9.0	兵庫
8,475	7,301	6,649	7,602	953	14.3	奈良
4,893	4,156	4,701	4,168	-533	-11.3	和歌山
34,370	33,315	28,539	28,015	-524	-1.8	中国管区
3,203	3,013	2,518	2,682	164	6.5	鳥取
3,006	3,000	2,691	2,751	60	2.2	島根
8,136	8,183	7,176	7,372	196	2.7	岡山
13,006	12,008	10,353	9,920	-433	-4.2	広島
7,019	7,111	5,801	5,290	-511	-8.8	山口
18,624	17,993	18,041	16,713	-1,328	-7.4	四国管区
3,506	3,508	3,403	3,145	-258	-7.6	徳島
4,948	4,965	4,755	4,616	-139	-2.9	香川
6,681	6,568	6,780	5,944	-836	-12.3	愛媛
3,489	2,952	3,103	3,008	-95	-3.1	高知
74,355	70,736	64,445	58,363	-6,082	-9.4	九州管区
34,774	34,398	30,003	27,595	-2,408	-8.0	福岡
4,079	3,460	3,661	3,464	-197	-5.4	佐賀
5,978	4,785	4,768	4,343	-425	-8.9	長崎
8,256	7,356	7,740	6,597	-1,143	-14.8	熊本
4,028	4,447	3,795	3,357	-438	-11.5	大分
4,750	4,652	3,932	3,476	-456	-11.6	宮崎
5,282	5,002	4,983	4,514	-469	-9.4	鹿児島
7,208	6,636	5,563	5,017	-546	-9.8	沖縄

図表4 - 5 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平13	平14	平15	平16	平17	平18
検挙人員(人)	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250
北海道	10,302	10,801	12,484	14,383	13,197	13,485
札幌	6,563	7,112	8,323	9,590	8,577	9,012
函館	811	826	993	1,300	1,210	1,075
旭川	1,268	1,234	1,328	1,394	1,426	1,469
釧路	1,026	1,083	1,210	1,449	1,280	1,357
北見	634	546	630	650	704	572
東北管区	22,092	25,636	26,731	24,975	22,934	21,499
青森	2,979	3,649	4,005	3,537	3,248	3,242
岩手	2,377	2,923	2,910	2,886	2,631	2,677
宮城	6,127	7,214	7,772	7,413	6,341	5,585
秋田	2,874	2,837	2,758	2,652	2,336	2,287
山形	2,540	2,941	2,958	2,635	2,887	2,542
福島	5,195	6,072	6,328	5,852	5,491	5,166
東京	47,026	47,828	54,280	57,612	58,837	58,775
関東管区	83,177	88,294	96,636	103,931	107,113	109,554
茨城	5,957	5,630	5,960	6,957	6,835	6,622
栃木	3,773	4,332	5,114	5,680	5,910	5,447
群馬	4,113	4,568	4,756	4,870	4,684	4,144
埼玉	14,017	14,438	15,631	18,433	19,589	20,255
千葉	12,210	13,652	15,411	16,308	17,230	19,895
神奈川	22,411	23,928	26,576	28,817	30,365	31,447
新潟	5,337	5,566	5,550	5,739	5,758	5,712
山梨	1,469	1,743	1,968	1,934	2,547	2,047
長野	4,522	5,133	5,403	5,125	4,811	4,947
静岡	9,368	9,304	10,267	10,068	9,384	9,038
中部管区	29,152	33,566	34,389	35,756	33,449	35,945
富山	2,878	3,052	3,076	2,791	2,612	2,432
石川	2,284	2,906	2,994	2,964	2,892	2,957
福井	2,043	2,415	2,438	1,965	1,823	1,670
岐阜	3,661	5,165	5,199	5,449	4,875	4,751
愛知	14,532	15,825	16,344	18,058	16,857	19,946
三重	3,754	4,203	4,338	4,529	4,390	4,189
近畿管区	63,293	66,169	69,678	69,537	70,851	68,971
滋賀	2,669	3,133	3,231	3,152	2,988	2,639
京都	8,636	8,333	8,667	9,784	10,178	9,941
大阪	31,015	31,235	33,456	32,201	31,919	30,531
兵庫	15,800	17,590	17,560	17,743	19,179	19,037
奈良	3,022	3,455	3,710	3,439	3,711	3,793
和歌山	2,151	2,423	3,054	3,218	2,876	3,030
中国管区	22,812	23,669	24,941	23,614	22,914	21,641
鳥取	2,167	2,071	2,390	2,081	1,988	1,734
島根	1,620	1,735	1,813	1,894	1,821	1,610
岡山	6,406	6,309	7,196	6,476	6,567	6,123
広島	8,179	8,519	8,500	8,586	8,079	7,856
山口	4,440	5,035	5,042	4,577	4,459	4,318
四国管区	10,783	11,562	12,519	12,648	11,931	11,125
徳島	2,063	2,218	2,454	2,275	2,076	2,036
香川	2,664	2,954	3,387	3,456	3,203	3,171
愛媛	3,919	3,982	4,105	4,225	3,974	3,732
高知	2,137	2,408	2,573	2,692	2,678	2,186
九州管区	36,655	40,033	47,944	46,571	45,729	43,255
福岡	14,221	16,407	22,838	21,912	20,866	19,712
佐賀	2,325	2,118	2,243	2,200	2,059	1,762
長崎	3,727	3,886	3,907	3,894	4,106	3,676
熊本	4,391	4,598	4,963	4,812	4,872	4,711
大分	2,640	2,936	3,378	3,517	2,897	2,730
宮崎	2,340	2,489	2,724	2,691	2,787	3,142
鹿児島	3,667	3,765	3,836	3,569	3,796	3,334
沖縄	3,344	3,834	4,055	3,976	4,346	4,188

検挙人員の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
365,577	339,752	332,888	322,620	-10,268	-3.1	検挙人員(人)
13,888	12,643	11,479	10,563	-916	-8.0	北海道
9,401	8,435	7,827	7,347	-480	-6.1	札幌
1,115	1,147	898	777	-121	-13.5	函館
1,611	1,340	1,266	1,051	-215	-17.0	旭川
1,334	1,261	1,048	1,036	-12	-1.1	釧路
427	460	440	352	-88	-20.0	北見
19,932	18,802	18,608	18,346	-262	-1.4	東北管区
3,087	2,967	2,975	2,998	23	0.8	青森
2,453	2,321	2,311	1,997	-314	-13.6	岩手
5,168	4,949	4,750	4,549	-201	-4.2	宮城
1,996	1,839	1,920	1,964	44	2.3	秋田
2,356	2,445	2,605	2,645	40	1.5	山形
4,872	4,281	4,047	4,193	146	3.6	福島
53,702	46,784	46,716	44,548	-2,168	-4.6	東京
103,526	98,123	94,637	95,359	722	0.8	関東管区
6,892	6,590	6,734	6,643	-91	-1.4	茨城
5,520	5,097	5,679	5,410	-269	-4.7	栃木
4,282	4,250	4,472	5,717	1,245	27.8	群馬
19,307	18,289	19,345	19,296	-49	-0.3	埼玉
17,604	16,046	15,278	14,988	-290	-1.9	千葉
28,841	26,969	22,558	23,304	746	3.3	神奈川
5,642	5,800	5,544	5,337	-207	-3.7	新潟
2,060	1,947	1,924	1,721	-203	-10.6	山梨
4,867	5,005	4,959	4,537	-422	-8.5	長野
8,511	8,130	8,144	8,406	262	3.2	静岡
33,672	30,441	31,773	30,459	-1,314	-4.1	中部管区
2,046	2,142	2,039	1,762	-277	-13.6	富山
2,403	2,195	2,163	2,051	-112	-5.2	石川
1,603	1,696	1,606	1,450	-156	-9.7	福井
4,529	4,375	4,200	3,776	-424	-10.1	岐阜
19,201	16,488	18,186	18,100	-86	-0.5	愛知
3,890	3,545	3,579	3,320	-259	-7.2	三重
67,886	62,902	61,830	56,369	-5,461	-8.8	近畿管区
2,517	2,585	2,971	2,705	-266	-9.0	滋賀
9,550	8,412	8,489	8,147	-342	-4.0	京都
30,113	28,042	25,556	22,715	-2,841	-11.1	大阪
19,335	17,965	18,793	16,913	-1,880	-10.0	兵庫
3,474	3,359	3,241	3,168	-73	-2.3	奈良
2,897	2,539	2,780	2,721	-59	-2.1	和歌山
20,900	19,923	19,226	18,515	-711	-3.7	中国管区
1,572	1,532	1,411	1,336	-75	-5.3	鳥取
1,418	1,304	1,300	1,180	-120	-9.2	島根
5,420	5,269	5,191	4,619	-572	-11.0	岡山
8,179	7,667	7,680	7,571	-109	-1.4	広島
4,311	4,151	3,644	3,809	165	4.5	山口
10,880	10,622	10,596	10,318	-278	-2.6	四国管区
2,027	2,024	1,865	1,827	-38	-2.0	徳島
3,000	2,843	3,052	2,810	-242	-7.9	香川
3,660	3,764	3,645	3,601	-44	-1.2	愛媛
2,193	1,991	2,034	2,080	46	2.3	高知
41,191	39,512	38,023	38,143	120	0.3	九州管区
18,898	18,125	15,938	16,286	348	2.2	福岡
2,079	1,810	2,046	2,211	165	8.1	佐賀
3,753	3,328	3,261	3,159	-102	-3.1	長崎
4,234	4,687	4,881	4,607	-274	-5.6	熊本
2,175	2,116	2,133	2,162	29	1.4	大分
2,868	2,562	2,426	2,464	38	1.6	宮崎
3,224	3,012	3,322	3,097	-225	-6.8	鹿児島
3,960	3,872	4,016	4,157	141	3.5	沖縄

図表 4 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
刑法犯	認知件数(件)	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	
	検挙件数(件)	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	
	検挙人員(人)	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	
凶悪犯	認知件数	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	
	検挙件数	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	
	検挙人員	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	
粗暴犯	認知件数	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	
	検挙件数	39,924	40,425	42,296	41,128	44,037	49,409	
	検挙人員	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	
窃盗犯	認知件数	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	
	検挙件数	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	
	検挙人員	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	
知能犯	認知件数	53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	
	検挙件数	37,800	39,884	40,574	36,299	38,151	37,296	
	検挙人員	11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760	
風俗犯	認知件数	11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	
	検挙件数	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	
	検挙人員	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	
その他	認知件数	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	
	検挙件数	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	
	検挙人員	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	

図表 4 - 7 凶悪犯の罪種別

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
凶悪犯	認知件数(件)	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	
	検挙件数(件)	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	
	検挙人員(人)	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	
殺人	認知件数	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	
	検挙件数	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	
	検挙人員	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	
強盗	認知件数	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	
	検挙件数	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	
	検挙人員	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	
放火	認知件数	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	
	検挙件数	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	
	検挙人員	783	815	866	867	791	825	
強姦	認知件数	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	
	検挙件数	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	
	検挙人員	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,908,836	1,818,023	1,703,044	1,585,856	-117,188	-6.9	認知件数(件)	刑法犯
605,358	573,392	544,699	497,356	-47,343	-8.7	検挙件数(件)	
365,577	339,752	332,888	322,620	-10,268	-3.1	検挙人員(人)	
9,051	8,581	8,314	7,576	-738	-8.9	認知件数	凶悪犯
6,461	6,229	6,073	5,503	-570	-9.4	検挙件数	
5,923	5,634	5,654	5,021	-633	-11.2	検挙人員	
72,908	68,948	63,995	63,646	-349	-0.5	認知件数	粗暴犯
49,656	47,772	45,719	45,932	213	0.5	検挙件数	
54,163	51,924	49,225	49,525	300	0.6	検挙人員	
1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	-85,852	-6.6	認知件数	窃盗犯
395,243	379,839	361,969	327,786	-34,183	-9.4	検挙件数	
180,446	174,738	175,823	175,214	-609	-0.3	検挙人員	
75,999	73,252	53,002	44,347	-8,655	-16.3	認知件数	知能犯
33,878	36,979	34,147	29,688	-4,459	-13.1	検挙件数	
15,264	15,145	15,433	14,138	-1,295	-8.4	検挙人員	
11,184	10,559	10,182	10,893	711	7.0	認知件数	風俗犯
6,462	6,376	6,478	6,742	264	4.1	検挙件数	
6,279	6,048	5,951	6,033	82	1.4	検挙人員	
309,738	283,843	268,257	245,952	-22,305	-8.3	認知件数	その他
113,658	96,197	90,313	81,705	-8,608	-9.5	検挙件数	
103,502	86,263	80,802	72,689	-8,113	-10.0	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
9,051	8,581	8,314	7,576	-738	-8.9	認知件数(件)	凶悪犯
6,461	6,229	6,073	5,503	-570	-9.4	検挙件数(件)	
5,923	5,634	5,654	5,021	-633	-11.2	検挙人員(人)	
1,199	1,297	1,094	1,067	-27	-2.5	認知件数	殺人
1,157	1,237	1,074	1,029	-45	-4.2	検挙件数	
1,161	1,211	1,036	999	-37	-3.6	検挙人員	
4,567	4,278	4,512	4,029	-483	-10.7	認知件数	強盗
2,790	2,612	2,923	2,516	-407	-13.9	検挙件数	
2,985	2,813	3,069	2,568	-501	-16.3	検挙人員	
1,519	1,424	1,306	1,191	-115	-8.8	認知件数	放火
1,120	1,054	913	895	-18	-2.0	検挙件数	
764	659	631	651	20	3.2	検挙人員	
1,766	1,582	1,402	1,289	-113	-8.1	認知件数	強姦
1,394	1,326	1,163	1,063	-100	-8.6	検挙件数	
1,013	951	918	803	-115	-12.5	検挙人員	

図表 4 - 8 粗暴犯の罪種別

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
粗暴犯	認知件数(件)	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	
	検挙件数(件)	39,924	40,425	42,296	41,128	44,037	49,409	
	検挙人員(人)	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	
凶器準備集合	認知件数	42	30	34	27	16	20	
	検挙件数	43	30	29	28	16	20	
	検挙人員	497	283	419	279	95	155	
暴行	認知件数	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	
	検挙件数	7,852	8,348	9,539	10,666	13,703	19,405	
	検挙人員	8,636	9,132	10,124	11,002	13,970	19,802	
傷害	認知件数	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	
	検挙件数	22,544	23,453	23,659	22,938	23,304	23,331	
	検挙人員	29,584	29,862	28,999	27,069	27,130	27,075	
脅迫	認知件数	2,300	2,374	2,625	2,537	2,479	2,658	
	検挙件数	1,590	1,572	1,567	1,581	1,638	1,812	
	検挙人員	1,525	1,527	1,457	1,388	1,522	1,693	
恐喝	認知件数	19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	8,636	
	検挙件数	7,895	7,022	7,502	5,915	5,376	4,841	
	検挙人員	10,186	8,811	8,531	7,063	6,439	5,780	

図表 4 - 9 窃盗犯の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
窃盗犯	認知件数(件)	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	
	検挙件数(件)	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	
	検挙人員(人)	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	
侵入窃盗	認知件数	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	
	検挙件数	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	
	検挙人員	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	
乗り物盗	認知件数	827,593	775,435	695,791	629,722	556,987	517,815	
	検挙件数	65,435	57,928	56,867	61,308	58,841	56,659	
	検挙人員	39,813	39,589	41,265	38,952	37,768	36,254	
非侵入窃盗	認知件数	1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	
	検挙件数	212,752	247,609	267,131	281,826	265,743	258,798	
	検挙人員	115,394	127,440	135,930	142,651	143,787	138,966	

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
72,908	68,948	63,995	63,646	-349	-0.5	認知件数(件)	粗暴犯
49,656	47,772	45,719	45,932	213	0.5	検挙件数(件)	
54,163	51,924	49,225	49,525	300	0.6	検挙人員(人)	
19	16	15	6	-9	-60.0	認知件数	凶器準備集合
20	13	15	8	-7	-46.7	検挙件数	
159	83	73	45	-28	-38.4	検挙人員	
31,966	31,641	29,638	29,593	-45	-0.2	認知件数	暴行
21,463	21,925	21,238	21,667	429	2.0	検挙件数	
21,808	22,379	21,376	22,076	700	3.3	検挙人員	
30,986	28,291	26,464	26,547	83	0.3	認知件数	傷害
22,062	20,180	19,388	19,350	-38	-0.2	検挙件数	
25,458	23,164	22,253	22,030	-223	-1.0	検挙人員	
2,553	2,651	2,348	2,298	-50	-2.1	認知件数	脅迫
1,869	1,953	1,781	1,734	-47	-2.6	検挙件数	
1,684	1,824	1,562	1,613	51	3.3	検挙人員	
7,384	6,349	5,530	5,202	-328	-5.9	認知件数	恐喝
4,242	3,701	3,297	3,173	-124	-3.8	検挙件数	
5,054	4,474	3,961	3,761	-200	-5.0	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,429,956	1,372,840	1,299,294	1,213,442	-85,852	-6.6	認知件数(件)	窃盗犯
395,243	379,839	361,969	327,786	-34,183	-9.4	検挙件数(件)	
180,446	174,738	175,823	175,214	-609	-0.3	検挙人員(人)	
175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0	認知件数	侵入窃盗
96,266	87,047	81,545	70,307	-11,238	-13.8	検挙件数	
12,037	11,079	10,852	10,766	-86	-0.8	検挙人員	
510,162	501,331	497,407	464,775	-32,632	-6.6	認知件数	乗り物盗
51,911	49,552	45,741	40,996	-4,745	-10.4	検挙件数	
33,193	29,162	28,617	26,842	-1,775	-6.2	検挙人員	
744,066	716,462	653,399	612,115	-41,284	-6.3	認知件数	非侵入窃盗
247,066	243,240	234,683	216,483	-18,200	-7.8	検挙件数	
135,216	134,497	136,354	137,606	1,252	0.9	検挙人員	

図表 4 - 10 侵入窃盗の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
侵入窃盗	認知件数(件)	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463	
	検挙件数(件)	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	
	検挙人員(人)	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	
うち)住宅対象	認知件数	161,883	189,336	190,473	170,991	142,945	120,023	
	検挙件数	45,752	51,897	59,133	57,948	60,486	58,717	
	検挙人員	5,144	5,241	5,318	5,209	4,875	4,830	
空き巣	認知件数	124,387	147,500	146,808	133,159	111,700	91,461	
	検挙件数	35,319	37,950	44,368	43,521	45,611	43,106	
	検挙人員	3,678	3,721	3,776	3,686	3,477	3,403	
忍込み	認知件数	29,093	32,860	34,893	29,456	24,159	22,442	
	検挙件数	8,235	11,642	12,452	12,211	12,362	13,143	
	検挙人員	796	832	863	889	741	810	
居空き	認知件数	8,403	8,976	8,772	8,376	7,086	6,120	
	検挙件数	2,198	2,305	2,313	2,216	2,513	2,468	
	検挙人員	670	688	679	634	657	617	
うち)金庫破り	認知件数	10,643	10,345	9,262	7,844	6,472	4,921	
	検挙件数	3,154	3,212	3,294	3,157	3,300	2,696	
	検挙人員	577	615	678	509	544	437	
うち)学校荒し	認知件数	5,987	6,365	6,647	5,024	3,923	3,133	
	検挙件数	2,564	1,949	2,400	2,214	2,009	1,980	
	検挙人員	1,067	1,001	1,239	1,115	894	738	
うち)事務所荒し	認知件数	51,333	49,411	43,686	36,511	30,465	25,181	
	検挙件数	15,235	16,897	16,472	13,016	11,988	11,884	
	検挙人員	1,774	1,648	1,588	1,421	1,313	1,280	
うち)出店荒し	認知件数	43,678	48,719	48,526	39,739	34,573	27,718	
	検挙件数	13,068	14,700	17,385	16,922	16,106	14,756	
	検挙人員	2,211	2,213	2,311	2,055	1,837	1,807	

図表 4 - 11 乗り物盗の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
乗り物盗	認知件数(件)	827,593	775,435	695,791	629,722	556,987	517,815	
	検挙件数(件)	65,435	57,928	56,867	61,308	58,841	56,659	
	検挙人員(人)	39,813	39,589	41,265	38,952	37,768	36,254	
自動車盗	認知件数	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	
	検挙件数	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	
	検挙人員	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	
オートバイ盗	認知件数	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	
	検挙件数	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	12,426	
	検挙人員	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	7,766	
自転車盗	認知件数	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	
	検挙件数	32,605	29,412	32,489	35,828	32,322	30,945	
	検挙人員	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	25,432	

手口別認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0	認知件数(件)	侵入窃盗
96,266	87,047	81,545	70,307	-11,238	-13.8	検挙件数(件)	
12,037	11,079	10,852	10,766	-86	-0.8	検挙人員(人)	
103,490	91,082	81,436	74,558	-6,878	-8.4	認知件数	うち)住宅対象
54,491	49,600	48,157	39,880	-8,277	-17.2	検挙件数	
4,462	4,182	4,170	4,072	-98	-2.4	検挙人員	
76,894	67,436	59,213	54,458	-4,755	-8.0	認知件数	空き巣
40,893	37,432	34,466	28,364	-6,102	-17.7	検挙件数	
3,120	2,900	2,973	2,927	-46	-1.5	検挙人員	
21,154	18,810	17,443	16,175	-1,268	-7.3	認知件数	忍込み
11,344	10,098	11,617	9,732	-1,885	-16.2	検挙件数	
784	726	642	615	-27	-4.2	検挙人員	
5,442	4,836	4,780	3,925	-855	-17.9	認知件数	居空き
2,254	2,070	2,074	1,784	-290	-14.0	検挙件数	
558	556	555	530	-25	-4.5	検挙人員	
3,881	3,051	3,252	2,917	-335	-10.3	認知件数	うち)金庫破り
2,787	2,169	1,751	1,572	-179	-10.2	検挙件数	
407	343	347	320	-27	-7.8	検挙人員	
2,525	2,303	2,167	1,817	-350	-16.2	認知件数	うち)学校荒し
1,408	1,185	1,067	1,010	-57	-5.3	検挙件数	
655	504	556	465	-91	-16.4	検挙人員	
20,347	17,423	18,032	14,796	-3,236	-17.9	認知件数	うち)事務所荒し
11,236	10,862	9,686	6,672	-3,014	-31.1	検挙件数	
1,154	1,053	1,045	963	-82	-7.8	検挙人員	
22,821	20,272	23,007	20,465	-2,542	-11.0	認知件数	うち)出店荒し
14,558	12,204	11,331	10,871	-460	-4.1	検挙件数	
1,651	1,567	1,573	1,498	-75	-4.8	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
510,162	501,331	497,407	464,775	-32,632	-6.6	認知件数(件)	乗り物盗
51,911	49,552	45,741	40,996	-4,745	-10.4	検挙件数(件)	
33,193	29,162	28,617	26,842	-1,775	-6.2	検挙人員(人)	
31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9	認知件数	自動車盗
13,507	12,569	9,557	8,433	-1,124	-11.8	検挙件数	
2,380	2,228	2,045	1,837	-208	-10.2	検挙人員	
83,028	80,354	82,116	73,491	-8,625	-10.5	認知件数	オートバイ盗
10,161	8,930	9,437	7,811	-1,626	-17.2	検挙件数	
7,131	6,062	6,194	5,954	-240	-3.9	検挙人員	
395,344	393,462	389,476	367,509	-21,967	-5.6	認知件数	自転車盗
28,243	28,053	26,747	24,752	-1,995	-7.5	検挙件数	
23,682	20,872	20,378	19,051	-1,327	-6.5	検挙人員	

図表 4 - 12 非侵入窃盗の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
非侵入窃盗	認知件数(件)		1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	811,250
	検挙件数(件)		212,752	247,609	267,131	281,826	265,743	258,798
	検挙人員(人)		115,394	127,440	135,930	142,651	143,787	138,966
うち) ひったくり	認知件数		50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828
	検挙件数		12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090
	検挙人員		3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652
うち) すり	認知件数		25,691	24,590	25,338	19,198	15,446	13,698
	検挙件数		4,412	4,400	4,149	3,791	3,632	3,699
	検挙人員		770	796	836	970	938	956
うち) 車上ねらい	認知件数		432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744
	検挙件数		43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	49,592
	検挙人員		3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	2,766
うち) 部品ねらい	認知件数		129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739
	検挙件数		6,650	7,260	8,515	10,668	11,786	9,840
	検挙人員		2,082	2,429	2,345	2,134	1,973	1,931
うち) 自動販売機ねらい	認知件数		170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981
	検挙件数		18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	22,607
	検挙人員		2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	1,370
うち) 万引き	認知件数		126,110	140,002	146,308	158,020	153,972	147,113
	検挙件数		92,319	101,445	106,925	114,465	115,636	110,723
	検挙人員		91,816	100,849	105,792	112,783	113,953	107,123

図表 4 - 13 知能犯の罪種別

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
知能犯	認知件数(件)		53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271
	検挙件数(件)		37,800	39,884	40,574	36,299	38,151	37,296
	検挙人員(人)		11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760
詐欺	認知件数		43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	74,632
	検挙件数		30,017	31,547	30,364	26,617	29,384	30,127
	検挙人員		8,495	9,507	10,194	11,238	11,648	12,406
横領	認知件数		1,995	2,151	2,183	2,543	2,347	2,408
	検挙件数		1,505	1,503	1,375	1,517	1,453	1,545
	検挙人員		1,067	1,184	1,088	1,210	1,111	1,252
偽造	認知件数		7,671	10,883	12,103	13,547	9,410	7,010
	検挙件数		6,050	6,608	8,675	8,032	7,175	5,433
	検挙人員		1,634	2,112	2,124	2,236	2,033	1,847
汚職	認知件数		171	178	130	111	112	158
	検挙件数		170	174	127	107	111	152
	検挙人員		255	283	195	139	230	194
あっせん 利得処罰法	認知件数		-	1	0	1	1	2
	検挙件数		-	1	0	1	1	2
	検挙人員		-	2	0	0	0	7
背任	認知件数		66	56	40	41	34	61
	検挙件数		58	51	33	25	27	37
	検挙人員		88	85	52	27	31	54

手口別認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
744,066	716,462	653,399	612,115	-41,284	-6.3	認知件数(件)	非侵入窃盗
247,066	243,240	234,683	216,483	-18,200	-7.8	検挙件数(件)	
135,216	134,497	136,354	137,606	1,252	0.9	検挙人員(人)	
23,687	19,145	19,036	14,559	-4,477	-23.5	認知件数	うち) ひったくり
11,321	11,229	9,051	6,323	-2,728	-30.1	検挙件数	
1,524	1,251	1,438	1,191	-247	-17.2	検挙人員	
10,220	8,396	7,233	6,248	-985	-13.6	認知件数	うち) すり
3,064	1,762	1,977	1,533	-444	-22.5	検挙件数	
916	897	824	923	99	12.0	検挙人員	
168,129	154,836	143,863	123,512	-20,351	-14.1	認知件数	うち) 車上ねらい
41,116	40,146	38,706	29,780	-8,926	-23.1	検挙件数	
2,344	2,258	2,290	2,186	-104	-4.5	検挙人員	
78,016	75,423	75,361	67,307	-8,054	-10.7	認知件数	うち) 部品ねらい
10,382	10,591	9,359	11,783	2,424	25.9	検挙件数	
1,758	1,621	1,523	1,399	-124	-8.1	検挙人員	
50,846	38,477	26,686	21,522	-5,164	-19.4	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
18,585	15,197	16,535	9,633	-6,902	-41.7	検挙件数	
1,064	819	746	671	-75	-10.1	検挙人員	
141,915	145,429	149,892	148,371	-1,521	-1.0	認知件数	うち) 万引き
105,774	105,986	108,802	107,684	-1,118	-1.0	検挙件数	
102,504	101,504	105,228	104,804	-424	-0.4	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
75,999	73,252	53,002	44,347	-8,655	-16.3	認知件数(件)	知能犯
33,878	36,979	34,147	29,688	-4,459	-13.1	検挙件数(件)	
15,264	15,145	15,433	14,138	-1,295	-8.4	検挙人員(人)	
67,787	64,427	45,162	37,516	-7,646	-16.9	認知件数	詐欺
27,963	30,277	28,753	24,897	-3,856	-13.4	検挙件数	
12,113	12,036	12,542	11,306	-1,236	-9.9	検挙人員	
2,157	2,193	1,963	1,735	-228	-11.6	認知件数	横領
1,358	1,485	1,324	1,259	-65	-4.9	検挙件数	
1,104	1,140	1,073	1,091	18	1.7	検挙人員	
5,941	6,503	5,790	4,982	-808	-14.0	認知件数	偽造
4,442	5,097	3,992	3,429	-563	-14.1	検挙件数	
1,898	1,810	1,710	1,617	-93	-5.4	検挙人員	
69	88	58	83	25	43.1	認知件数	汚職
67	89	55	78	23	41.8	検挙件数	
113	129	83	97	14	16.9	検挙人員	
0	0	0	0	0	0.0	認知件数	あっせん 利得処罰法
0	0	0	0	0	0.0	検挙件数	
0	0	0	0	0	0.0	検挙人員	
45	41	29	31	2	6.9	認知件数	背任
48	31	23	25	2	8.7	検挙件数	
36	30	25	27	2	8.0	検挙人員	

図表4 - 14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
風俗犯	認知件数(件)	11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	11,932	
	検挙件数(件)	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	
	検挙人員(人)	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	
賭博	認知件数	290	300	208	249	221	209	
	検挙件数	290	300	202	243	213	204	
	検挙人員	2,077	1,928	1,725	1,422	1,771	1,379	
わいせつ	認知件数	11,551	11,920	12,826	12,097	11,864	11,723	
	検挙件数	5,776	5,333	5,963	5,827	6,209	6,548	
	検挙人員	4,089	3,984	4,161	4,266	4,602	4,882	
うち) 強制わいせつ	認知件数	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	
	検挙件数	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	
	検挙人員	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	
うち) 公然わいせつ	認知件数	1,771	2,052	2,422	2,391	2,420	2,602	
	検挙件数	1,438	1,573	1,706	1,669	1,741	1,999	
	検挙人員	1,261	1,371	1,456	1,451	1,502	1,715	

図表4 - 15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
その他の刑法犯	認知件数(件)	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	
	検挙件数(件)	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	
	検挙人員(人)	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	
うち) 占有離脱物横領	認知件数	63,775	71,782	90,163	101,869	95,520	93,436	
	検挙件数	62,773	70,240	87,587	95,845	90,897	89,012	
	検挙人員	64,628	72,283	89,358	96,083	91,306	89,444	
うち) 公務執行妨害	認知件数	2,354	2,621	3,007	3,129	3,327	3,576	
	検挙件数	2,302	2,544	2,909	2,957	3,188	3,402	
	検挙人員	2,057	2,194	2,508	2,705	2,868	3,118	
うち) 住居侵入	認知件数	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	
	検挙件数	5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	9,211	
	検挙人員	3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	6,209	
うち) 逮捕・監禁	認知件数	586	630	643	639	576	522	
	検挙件数	492	523	522	480	428	418	
	検挙人員	847	887	822	762	642	629	
うち) 略取誘拐・ 人身売買	認知件数	237	251	284	320	277	199	
	検挙件数	211	215	231	232	204	180	
	検挙人員	179	173	151	187	176	167	
うち) 盗品等	認知件数	2,388	2,987	4,519	5,547	5,403	5,134	
	検挙件数	2,372	2,967	4,457	5,310	5,198	4,866	
	検挙人員	2,322	2,916	4,345	4,935	4,889	4,495	
うち) 器物損壊等	認知件数	145,936	196,018	230,743	226,059	205,312	194,824	
	検挙件数	7,662	9,607	11,100	12,332	12,884	13,816	
	検挙人員	4,222	4,931	5,331	5,522	6,362	6,551	

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
11,184	10,559	10,182	10,893	711	7.0	認知件数(件)	風俗犯
6,462	6,376	6,478	6,742	264	4.1	検挙件数(件)	
6,279	6,048	5,951	6,033	82	1.4	検挙人員(人)	
424	271	340	378	38	11.2	認知件数	賭博
415	252	337	369	32	9.5	検挙件数	
1,529	1,359	1,376	1,312	-64	-4.7	検挙人員	
10,760	10,288	9,842	10,515	673	6.8	認知件数	わいせつ
6,047	6,124	6,141	6,373	232	3.8	検挙件数	
4,750	4,689	4,575	4,721	146	3.2	検挙人員	
7,664	7,111	6,688	7,027	339	5.1	認知件数	うち) 強制わいせつ
3,542	3,555	3,563	3,637	74	2.1	検挙件数	
2,240	2,219	2,129	2,189	60	2.8	検挙人員	
2,286	2,361	2,357	2,651	294	12.5	認知件数	うち) 公然わいせつ
1,718	1,782	1,810	1,953	143	7.9	検挙件数	
1,618	1,613	1,626	1,727	101	6.2	検挙人員	

罪種別認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
309,738	283,843	268,257	245,952	-22,305	-8.3	認知件数(件)	その他の刑法犯
113,658	96,197	90,313	81,705	-8,608	-9.5	検挙件数(件)	
103,502	86,263	80,802	72,689	-8,113	-10.0	検挙人員(人)	
83,449	68,171	63,213	55,837	-7,376	-11.7	認知件数	うち) 占有離脱物横領
79,891	64,435	60,433	52,960	-7,473	-12.4	検挙件数	
80,192	64,256	59,919	52,598	-7,321	-12.2	検挙人員	
3,569	3,239	3,071	2,969	-102	-3.3	認知件数	うち) 公務執行妨害
3,459	3,071	2,952	2,881	-71	-2.4	検挙件数	
3,181	2,945	2,698	2,547	-151	-5.6	検挙人員	
27,383	24,807	23,863	22,027	-1,836	-7.7	認知件数	うち) 住居侵入
9,041	8,682	8,234	8,028	-206	-2.5	検挙件数	
5,901	5,881	5,547	5,601	54	1.0	検挙人員	
418	407	362	354	-8	-2.2	認知件数	うち) 逮捕・監禁
330	328	325	307	-18	-5.5	検挙件数	
526	511	535	413	-122	-22.8	検挙人員	
207	155	156	185	29	18.6	認知件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買
178	141	140	151	11	7.9	検挙件数	
152	129	101	107	6	5.9	検挙人員	
4,582	3,866	3,607	3,284	-323	-9.0	認知件数	うち) 盗品等
4,424	3,621	3,397	3,084	-313	-9.2	検挙件数	
4,230	3,404	3,172	2,989	-183	-5.8	検挙人員	
185,472	178,191	169,292	156,717	-12,575	-7.4	認知件数	うち) 器物損壊等
13,617	13,129	12,062	11,554	-508	-4.2	検挙件数	
6,575	6,480	6,160	5,864	-296	-4.8	検挙人員	

図表 4 - 16 街頭犯罪・侵入犯罪の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
街 頭 犯 罪 関 係	路上強盗	認知件数(件)	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759
		検挙件数(件)	968	1,104	1,226	955	836	788
		検挙人員(人)	1,658	1,631	1,865	1,377	1,285	1,053
		うち少年(人)	1,103	1,027	1,227	763	707	553
		少年の割合(%)	66.5	63.0	65.8	55.4	55.0	52.5
	ひったくり	認知件数	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828
		検挙件数	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090
		検挙人員	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652
		うち少年	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834
	強姦	少年の割合	71.2	68.6	66.3	59.8	55.4	50.5
		認知件数	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948
		うち街頭	806	869	832	732	663	612
	強制わいせつ	街頭の割合	36.2	36.9	33.7	33.6	31.9	31.4
		認知件数	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326
		うち街頭	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131
	略取誘拐・人身売買	街頭の割合	62.0	62.4	61.3	60.0	60.0	61.6
		認知件数	237	251	284	320	277	199
		うち街頭	179	175	213	237	199	126
	暴行	街頭の割合	75.5	69.7	75.0	74.1	71.8	63.3
		認知件数	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002
うち街頭		11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	18,816	
傷害	街頭の割合	67.1	65.9	66.0	64.7	63.3	60.7	
	認知件数	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	
	うち街頭	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	17,373	
恐喝	街頭の割合	57.1	56.3	55.0	53.5	52.1	51.1	
	認知件数	19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	8,636	
	うち街頭	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	4,690	
自動車盗	街頭の割合	70.8	68.0	63.0	59.2	57.8	54.3	
	認知件数	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	
	検挙件数	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	
	検挙人員	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	
	うち少年	1,691	1,680	1,542	1,216	938	852	
オートバイ盗	少年の割合	34.3	35.2	33.5	31.8	27.9	27.9	
	認知件数	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	
	検挙件数	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	12,426	
	検挙人員	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	7,766	
	うち少年	14,288	12,650	10,669	8,735	8,188	7,311	
自転車盗	少年の割合	97.2	96.5	95.1	94.9	94.5	94.1	
	認知件数	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	
	検挙件数	32,605	29,412	32,489	35,828	32,322	30,945	
	検挙人員	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	25,432	
	うち少年	13,843	14,710	16,316	15,342	14,732	14,656	
車上ねらい	少年の割合	68.6	67.8	64.1	59.2	57.2	57.6	
	認知件数	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	
	検挙件数	43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	49,592	
	検挙人員	3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	2,766	
	うち少年	663	816	776	681	527	547	
部品ねらい	少年の割合	21.9	24.6	22.2	21.0	20.0	19.8	
	認知件数	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	
	検挙件数	6,650	7,260	8,515	10,668	11,786	9,840	
	検挙人員	2,082	2,429	2,345	2,134	1,973	1,931	
	うち少年	1,329	1,574	1,468	1,255	1,204	1,132	
自動販売機ねらい	少年の割合	63.8	64.8	62.6	58.8	61.0	58.6	
	認知件数	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981	
	検挙件数	18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	22,607	
	検挙人員	2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	1,370	
	うち少年	1,593	2,163	2,453	1,933	1,479	912	
侵 入 犯 罪 関 係	侵入強盗	少年の割合	68.4	75.9	75.9	75.5	73.0	66.6
		認知件数(件)	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	1,896
		検挙件数(件)	1,116	1,314	1,402	1,458	1,328	1,201
		検挙人員(人)	1,094	1,134	1,310	1,356	1,255	1,107
		来日外国人検挙件数(件)	97	157	141	154	125	88
	侵入窃盗	来日外国人検挙人員(人)	138	163	218	201	170	98
		認知件数	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	205,463
		検挙件数	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824
		検挙人員	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434
		来日外国人検挙件数	6,147	6,754	8,482	8,396	9,160	8,692
住居侵入	来日外国人検挙人員	688	658	704	565	524	441	
	認知件数	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	
	検挙件数	5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	9,211	
	検挙人員	3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	6,209	
	来日外国人検挙件数	195	205	283	314	364	314	
来日外国人検挙人員	99	110	134	127	114	106		

認知・検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次	区分	
				件数・人員	率(%)			
1,537	1,437	1,366	1,221	-145	-10.6	認知件数(件)	路上強盗	
621	625	665	501	-164	-24.7	検挙件数(件)		
855	869	886	593	-293	-33.1	検挙人員(人)		
431	425	431	270	-161	-37.4	うち少年(人)		
50.4	48.9	48.6	45.5	-3.1	ポイント	少年の割合(%)		
23,687	19,145	19,036	14,559	-4,477	-23.5	認知件数	ひったくり	
11,321	11,229	9,051	6,323	-2,728	-30.1	検挙件数		
1,524	1,251	1,438	1,191	-247	-17.2	検挙人員		
796	640	712	568	-144	-20.2	うち少年		
52.2	51.2	49.5	47.7	-1.8	ポイント	少年の割合		
1,766	1,582	1,402	1,289	-113	-8.1	認知件数	強姦	
495	513	408	349	-59	-14.5	うち街頭		
28.0	32.4	29.1	27.1	-2.0	ポイント	街頭の割合		
7,664	7,111	6,688	7,027	339	5.1	認知件数	強制わいせつ	
4,640	4,261	3,994	4,245	251	6.3	うち街頭		
60.5	59.9	59.7	60.4	0.7	ポイント	街頭の割合		
207	155	156	185	29	18.6	認知件数	略取誘拐・人身売買	
134	97	102	121	19	18.6	うち街頭		
64.7	62.6	65.4	65.4	0.0	ポイント	街頭の割合		
31,966	31,641	29,638	29,593	-45	-0.2	認知件数	暴行	
18,993	18,306	16,950	16,358	-592	-3.5	うち街頭		
59.4	57.9	57.2	55.3	-1.9	ポイント	街頭の割合		
30,986	28,291	26,464	26,547	83	0.3	認知件数	傷害	
15,665	14,118	12,964	12,602	-362	-2.8	うち街頭		
50.6	49.9	49.0	47.5	-1.5	ポイント	街頭の割合		
7,384	6,349	5,530	5,202	-328	-5.9	認知件数	恐喝	
4,042	3,466	3,055	2,836	-219	-7.2	うち街頭		
54.7	54.6	55.2	54.5	-0.7	ポイント	街頭の割合		
31,790	27,515	25,815	23,775	-2,040	-7.9	認知件数	自動車盗	
13,507	12,569	9,557	8,433	-1,124	-11.8	検挙件数		
2,380	2,228	2,045	1,837	-208	-10.2	検挙人員		
655	508	494	451	-43	-8.7	うち少年		
27.5	22.8	24.2	24.6	0.4	ポイント	少年の割合		
83,028	80,354	82,116	73,491	-8,625	-10.5	認知件数	オートバイ盗	
10,161	8,930	9,437	7,811	-1,626	-17.2	検挙件数		
7,131	6,062	6,194	5,954	-240	-3.9	検挙人員		
6,740	5,702	5,842	5,530	-312	-5.3	うち少年		
94.5	94.1	94.3	92.9	-1.4	ポイント	少年の割合		
395,344	393,462	389,476	367,509	-21,967	-5.6	認知件数	自転車盗	
28,243	28,053	26,747	24,752	-1,995	-7.5	検挙件数		
23,682	20,872	20,378	19,051	-1,327	-6.5	検挙人員		
13,611	11,977	11,430	10,653	-777	-6.8	うち少年		
57.5	57.4	56.1	55.9	-0.2	ポイント	少年の割合		
168,129	154,836	143,863	123,512	-20,351	-14.1	認知件数	車上ねらい	
41,116	40,146	38,706	29,780	-8,926	-23.1	検挙件数		
2,344	2,258	2,290	2,186	-104	-4.5	検挙人員		
542	453	522	466	-56	-10.7	うち少年		
23.1	20.1	22.8	21.3	-1.5	ポイント	少年の割合		
78,016	75,423	75,361	67,307	-8,054	-10.7	認知件数	部品ねらい	
10,382	10,591	9,359	11,783	2,424	25.9	検挙件数		
1,758	1,621	1,523	1,399	-124	-8.1	検挙人員		
1,037	992	911	781	-130	-14.3	うち少年		
59.0	61.2	59.8	55.8	-4.0	ポイント	少年の割合		
50,846	38,477	26,686	21,522	-5,164	-19.4	認知件数	自動販売機ねらい	
18,585	15,197	16,535	9,633	-6,902	-41.7	検挙件数		
1,064	819	746	671	-75	-10.1	検挙人員		
650	460	399	411	12	3.0	うち少年		
61.1	56.2	53.5	61.3	7.8	ポイント	少年の割合		
1,700	1,647	1,892	1,680	-212	-11.2	認知件数(件)	侵入強盗	侵入犯罪関係
1,140	1,045	1,220	1,094	-126	-10.3	検挙件数(件)		
968	970	1,072	957	-115	-10.7	検挙人員(人)		
48	32	45	43	-2	-4.4	来日外国人検挙件数(件)		
70	45	73	47	-26	-35.6	来日外国人検挙人員(人)		
175,728	155,047	148,488	136,552	-11,936	-8.0	認知件数	侵入窃盗	
96,266	87,047	81,545	70,307	-11,238	-13.8	検挙件数		
12,037	11,079	10,852	10,766	-86	-0.8	検挙人員		
7,874	8,554	7,235	3,552	-3,683	-50.9	来日外国人検挙件数		
408	342	329	271	-58	-17.6	来日外国人検挙人員		
27,383	24,807	23,863	22,027	-1,836	-7.7	認知件数	住居侵入	
9,041	8,682	8,234	8,028	-206	-2.5	検挙件数		
5,901	5,881	5,547	5,601	54	1.0	検挙人員		
359	323	354	178	-176	-49.7	来日外国人検挙件数		
114	97	87	70	-17	-19.5	来日外国人検挙人員		

図表4 - 17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
総数	検挙件数(件)	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	
	検挙人員(人)	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148	
凶悪犯	検挙件数	308	323	336	345	315	270	
	検挙人員	403	353	477	421	396	297	
うち)殺人	検挙件数	45	34	37	40	51	37	
	検挙人員	59	41	61	52	52	42	
うち)強盗	検挙件数	219	247	255	269	236	188	
	検挙人員	309	280	369	338	319	216	
侵入強盗	検挙件数	97	157	141	154	125	88	
	検挙人員	138	163	218	201	170	98	
非侵入強盗	検挙件数	122	90	114	115	111	100	
	検挙人員	171	117	151	137	149	118	
粗暴犯	検挙件数	508	550	568	526	679	785	
	検挙人員	578	628	633	591	774	894	
うち)傷害	検挙件数	339	372	386	331	408	423	
	検挙人員	378	430	438	379	471	503	
窃盗犯	検挙件数	14,823	20,604	22,830	27,521	28,525	23,137	
	検挙人員	4,135	4,395	4,555	4,717	4,344	4,205	
侵入窃盗	検挙件数	6,147	6,754	8,482	8,396	9,160	8,692	
	検挙人員	688	658	704	565	524	441	
うち)住宅対象	検挙件数	3,617	4,852	6,722	7,006	8,149	7,945	
	検挙人員	275	345	399	346	340	308	
乗り物盗	検挙件数	923	1,180	1,108	1,579	1,737	2,148	
	検挙人員	501	505	620	580	548	623	
うち)自動車盗	検挙件数	450	700	601	958	1,178	1,661	
	検挙人員	142	136	155	112	133	166	
非侵入窃盗	検挙件数	7,753	12,670	13,240	17,546	17,628	12,297	
	検挙人員	2,946	3,232	3,231	3,572	3,272	3,141	
うち)部品ねらい	検挙件数	634	888	566	766	953	934	
	検挙人員	91	69	69	70	51	77	
うち)車上ねらい	検挙件数	1,883	3,111	3,010	4,795	5,042	2,394	
	検挙人員	124	105	100	179	111	111	
うち)ひったくり	検挙件数	156	164	126	35	78	60	
	検挙人員	40	43	52	26	32	30	
うち)すり	検挙件数	901	831	853	817	1,161	654	
	検挙人員	76	84	81	87	64	68	
うち)自動販売機 ねらい	検挙件数	1,061	4,384	5,355	7,336	6,751	4,611	
	検挙人員	51	37	61	29	22	17	
うち)万引き	検挙件数	2,349	2,564	2,441	2,844	2,743	2,680	
	検挙人員	2,175	2,415	2,389	2,588	2,476	2,308	
知能犯	検挙件数	643	678	728	797	721	690	
	検挙人員	267	339	497	564	525	538	
うち)偽造	検挙件数	249	448	461	538	481	471	
	検挙人員	154	228	343	381	348	345	
風俗犯	検挙件数	95	87	90	85	99	103	
	検挙人員	133	76	93	139	133	96	
うち)強制わいせつ	検挙件数	67	64	70	58	66	77	
	検挙人員	47	30	42	46	50	59	
その他	検挙件数	1,822	2,016	2,706	2,813	2,698	2,468	
	検挙人員	1,652	1,899	2,470	2,466	2,333	2,118	
うち)占有離脱物 横領	検挙件数	1,336	1,487	2,022	1,968	1,781	1,652	
	検挙人員	1,342	1,516	2,009	1,938	1,801	1,653	
うち)住居侵入	検挙件数	195	205	283	314	364	314	
	検挙人員	99	110	134	127	114	106	
うち)略取誘拐・ 人身売買	検挙件数	12	8	8	2	10	8	
	検挙人員	19	18	7	6	19	15	

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
25,730	23,202	20,561	14,025	-6,536	-31.8	検挙件数(件)	総数	
7,528	7,148	7,190	6,710	-480	-6.7	検挙人員(人)		
234	177	195	168	-27	-13.8	検挙件数	凶悪犯	
259	213	239	191	-48	-20.1	検挙人員		
41	47	41	31	-10	-24.4	検挙件数	うち)殺人	
41	50	45	32	-13	-28.9	検挙人員		
139	108	134	111	-23	-17.2	検挙件数	うち)強盗	
182	142	175	133	-42	-24.0	検挙人員		
48	32	45	43	-2	-4.4	検挙件数	侵入強盗	
70	45	73	47	-26	-35.6	検挙人員		
91	76	89	68	-21	-23.6	検挙件数	非侵入強盗	
112	97	102	86	-16	-15.7	検挙人員		
848	855	822	846	24	2.9	検挙件数	粗暴犯	
961	950	938	938	0	0.0	検挙人員		
415	392	383	413	30	7.8	検挙件数	うち)傷害	
498	470	464	459	-5	-1.1	検挙人員		
21,327	19,266	16,450	10,474	-5,976	-36.3	検挙件数	窃盗犯	
3,755	3,674	3,736	3,457	-279	-7.5	検挙人員		
7,874	8,554	7,235	3,552	-3,683	-50.9	検挙件数	侵入窃盗	
408	342	329	271	-58	-17.6	検挙人員		
7,248	8,150	6,883	3,333	-3,550	-51.6	検挙件数	うち)住宅対象	
250	229	239	174	-65	-27.2	検挙人員		
2,502	2,098	1,595	1,251	-344	-21.6	検挙件数	乗り物盗	
513	471	438	410	-28	-6.4	検挙人員		
2,114	1,323	1,116	691	-425	-38.1	検挙件数	うち)自動車盗	
119	82	94	56	-38	-40.4	検挙人員		
10,951	8,614	7,620	5,671	-1,949	-25.6	検挙件数	非侵入窃盗	
2,834	2,861	2,969	2,776	-193	-6.5	検挙人員		
1,681	1,104	975	1,330	355	36.4	検挙件数	うち)部品ねらい	
48	32	58	41	-17	-29.3	検挙人員		
4,104	3,089	2,372	636	-1,736	-73.2	検挙件数	うち)車上ねらい	
80	43	40	49	9	22.5	検挙人員		
131	65	62	30	-32	-51.6	検挙件数	うち)ひったくり	
42	23	23	13	-10	-43.5	検挙人員		
377	51	328	40	-288	-87.8	検挙件数	うち)すり	
52	23	20	21	1	5.0	検挙人員		
856	187	176	29	-147	-83.5	検挙件数	うち)自動販売機 ねらい	
11	5	4	3	-1	-25.0	検挙人員		
2,419	3,231	2,875	2,667	-208	-7.2	検挙件数	うち)万引き	
2,045	2,118	2,293	2,136	-157	-6.8	検挙人員		
870	735	965	747	-218	-22.6	検挙件数	知能犯	
536	506	542	522	-20	-3.7	検挙人員		
478	389	534	327	-207	-38.8	検挙件数	うち)偽造	
303	306	310	302	-8	-2.6	検挙人員		
88	80	77	96	19	24.7	検挙件数	風俗犯	
104	91	76	103	27	35.5	検挙人員		
63	51	52	76	24	46.2	検挙件数	うち)強制わいせつ	
54	39	38	61	23	60.5	検挙人員		
2,363	2,089	2,052	1,694	-358	-17.4	検挙件数	その他	
1,913	1,714	1,659	1,499	-160	-9.6	検挙人員		
1,452	1,255	1,269	1,150	-119	-9.4	検挙件数	うち)占有離脱物 横領	
1,462	1,262	1,245	1,125	-120	-9.6	検挙人員		
359	323	354	178	-176	-49.7	検挙件数	うち)住居侵入	
114	97	87	70	-17	-19.5	検挙人員		
7	4	5	2	-3	-60.0	検挙件数	うち)略取誘拐・ 人身売買	
6	4	3	7	4	133.3	検挙人員		

図表 4 - 18 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18
総数	検挙件数(件)		18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453
	検挙人員(人)		7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148
アジア州	検挙件数		13,245	17,406	20,199	22,530	22,381	18,990
	検挙人員		5,160	5,573	6,498	6,516	6,043	5,896
韓国	検挙件数		1,134	1,210	1,424	1,454	1,466	1,725
	検挙人員		581	472	496	617	536	600
中国	検挙件数		9,491	9,691	11,677	11,638	11,739	10,258
	検挙人員		3,343	3,632	4,554	4,408	3,884	3,597
うち)台湾	検挙件数		117	429	116	215	255	136
	検挙人員		94	102	82	85	100	121
うち)香港等	検挙件数		429	88	26	83	118	27
	検挙人員		17	27	28	38	45	24
イラン	検挙件数		271	94	70	29	66	54
	検挙人員		68	69	47	23	60	41
インドネシア	検挙件数		47	88	82	87	51	65
	検挙人員		43	79	65	84	68	57
スリランカ	検挙件数		36	120	34	301	389	350
	検挙人員		26	34	27	49	69	53
タイ	検挙件数		83	96	70	79	207	90
	検挙人員		71	83	68	72	103	93
パキスタン	検挙件数		178	84	60	122	153	191
	検挙人員		57	51	44	37	45	79
バングラディシュ	検挙件数		15	33	43	46	50	38
	検挙人員		19	30	28	43	41	32
フィリピン	検挙件数		370	458	420	364	431	482
	検挙人員		243	294	329	353	386	407
ベトナム	検挙件数		688	760	681	739	792	1,020
	検挙人員		469	583	549	576	592	650
マレーシア	検挙件数		261	284	48	46	25	83
	検挙人員		50	54	40	56	29	22
ミャンマー	検挙件数		66	19	45	29	26	29
	検挙人員		25	18	25	25	20	31
トルコ	検挙件数		412	4,272	5,353	7,350	6,779	4,391
	検挙人員		27	26	67	27	28	32
その他	検挙件数		193	197	192	246	207	214
	検挙人員		138	148	159	146	182	202
ヨーロッパ州	検挙件数		362	378	370	432	556	674
	検挙人員		325	348	336	387	444	391
イギリス	検挙件数		51	68	57	63	76	60
	検挙人員		48	71	47	56	75	61
フランス	検挙件数		10	34	60	29	46	30
	検挙人員		11	29	35	27	44	29
ロシア	検挙件数		241	164	153	251	307	215
	検挙人員		204	151	160	220	213	176
その他	検挙件数		60	112	100	89	127	369
	検挙人員		62	97	94	84	112	125
南北アメリカ州	検挙件数		4,466	6,314	6,505	8,930	9,881	7,397
	検挙人員		1,565	1,636	1,733	1,824	1,833	1,696
アメリカ	検挙件数		183	137	154	154	198	231
	検挙人員		106	128	119	135	156	166
コロンビア	検挙件数		249	645	1,066	862	1,768	2,121
	検挙人員		76	116	109	86	101	82
ブラジル	検挙件数		3,457	4,967	4,520	7,001	6,811	4,068
	検挙人員		958	952	1,005	1,116	1,064	1,016
ペルー	検挙件数		425	436	620	631	814	575
	検挙人員		326	327	364	344	369	301
その他	検挙件数		152	129	145	282	290	402
	検挙人員		99	113	136	143	143	131
アフリカ州	検挙件数		78	91	107	106	144	324
	検挙人員		66	67	81	81	119	95
オセアニア州	検挙件数		46	69	75	87	75	67
	検挙人員		50	63	75	86	65	69
無国籍・国籍不明	検挙件数		2	0	2	2	0	1
	検挙人員		2	3	2	4	1	1

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 19	平 20	平 21	平 22	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
25,730	23,202	20,561	14,025	-6,536	-31.8	検挙件数(件)	総数	
7,528	7,148	7,190	6,710	-480	-6.7	検挙人員(人)		
16,331	15,746	14,799	9,672	-5,127	-34.6	検挙件数	アジア州	
5,457	5,251	5,430	5,201	-229	-4.2	検挙人員		
2,161	1,655	1,554	1,502	-52	-3.3	検挙件数	韓国	
782	705	750	675	-75	-10.0	検挙人員		
9,967	10,787	10,294	7,986	-2,308	-22.4	検挙件数	中国	
3,023	2,880	2,916	2,904	-12	-0.4	検挙人員		
245	451	93	152	59	63.4	検挙件数	うち)台湾	
97	88	83	89	6	7.2	検挙人員		
58	273	20	15	-5	-25.0	検挙件数	うち)香港等	
27	28	17	17	0	0.0	検挙人員		
41	41	35	28	-7	-20.0	検挙件数	イラン	
35	30	33	25	-8	-24.2	検挙人員		
62	46	45	37	-8	-17.8	検挙件数	インドネシア	
63	37	42	42	0	0.0	検挙人員		
160	222	214	54	-160	-74.8	検挙件数	スリランカ	
59	66	38	42	4	10.5	検挙人員		
102	75	101	157	56	55.4	検挙件数	タイ	
107	91	88	110	22	25.0	検挙人員		
1,012	501	101	166	65	64.4	検挙件数	パキスタン	
45	31	32	22	-10	-31.3	検挙人員		
54	43	35	56	21	60.0	検挙件数	バングラディシュ	
48	43	40	51	11	27.5	検挙人員		
524	543	624	442	-182	-29.2	検挙件数	フィリピン	
444	465	541	464	-77	-14.2	検挙人員		
1,112	1,517	1,442	1,507	65	4.5	検挙件数	ベトナム	
580	613	689	608	-81	-11.8	検挙人員		
23	29	18	13	-5	-27.8	検挙件数	マレーシア	
21	20	15	13	-2	-13.3	検挙人員		
53	44	31	34	3	9.7	検挙件数	ミャンマー	
37	43	32	41	9	28.1	検挙人員		
864	33	82	22	-60	-73.2	検挙件数	トルコ	
20	23	30	21	-9	-30.0	検挙人員		
196	210	223	184	-39	-17.5	検挙件数	その他	
193	204	184	183	-1	-0.5	検挙人員		
553	552	277	330	53	19.1	検挙件数	ヨーロッパ州	
326	290	244	256	12	4.9	検挙人員		
181	292	59	31	-28	-47.5	検挙件数	イギリス	
61	53	49	34	-15	-30.6	検挙人員		
42	37	38	48	10	26.3	検挙件数	フランス	
40	38	39	44	5	12.8	検挙人員		
241	101	74	129	55	74.3	検挙件数	ロシア	
134	95	69	65	-4	-5.8	検挙人員		
89	122	106	122	16	15.1	検挙件数	その他	
91	104	87	113	26	29.9	検挙人員		
8,617	6,681	5,263	3,663	-1,600	-30.4	検挙件数	南北アメリカ州	
1,580	1,460	1,345	1,088	-257	-19.1	検挙人員		
191	452	125	167	42	33.6	検挙件数	アメリカ	
179	155	131	130	-1	-0.8	検挙人員		
506	1,082	693	339	-354	-51.1	検挙件数	コロンビア	
52	54	30	32	2	6.7	検挙人員		
7,289	4,406	3,720	2,531	-1,189	-32.0	検挙件数	ブラジル	
931	818	744	515	-229	-30.8	検挙人員		
420	518	499	430	-69	-13.8	検挙件数	ペルー	
275	321	318	289	-29	-9.1	検挙人員		
211	223	226	196	-30	-13.3	検挙件数	その他	
143	112	122	122	0	0.0	検挙人員		
145	163	165	297	132	80.0	検挙件数	アフリカ州	
80	88	107	104	-3	-2.8	検挙人員		
81	57	55	58	3	5.5	検挙件数	オセアニア州	
84	57	62	57	-5	-8.1	検挙人員		
3	3	2	5	3	150.0	検挙件数	無国籍・国籍不明	
1	2	2	4	2	100.0	検挙人員		

図表4-19 刑法犯の発生場所別認知件数

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯	殺人				強盗	放火	強姦	粗暴犯	凶器準備集合
				殺人	強盗	うち侵入強盗	うち路上強盗					
総数		1,585,856	7,576	1,067	4,029	1,680	1,221	1,191	1,289	63,646	6	
住宅		358,511	2,535	679	474	359	20	772	610	12,801	2	
一戸建住宅		166,066	1,091	353	178	160	3	440	120	5,002	1	
共同住宅		192,445	1,444	326	296	199	17	332	490	7,799	1	
共同住宅(4階建以上)		88,226	597	166	145	80	11	107	179	3,742	1	
共同住宅(3階建以下)		104,219	847	160	151	119	6	225	311	4,057	0	
事業所等		455,840	2,347	111	1,818	1,305	16	203	215	15,627	0	
一般事務所		54,852	118	25	34	24	0	50	9	1,710	0	
店舗		349,223	2,103	66	1,762	1,276	10	90	185	11,460	0	
商店		236,773	1,465	11	1,402	1,012	8	41	11	3,714	0	
デパート		19,752	25	0	21	1	0	2	2	281	0	
総合スーパー		57,170	110	3	100	21	1	6	1	665	0	
ホームセンター		12,430	28	0	26	3	0	2	0	73	0	
家電量販店		6,758	6	0	5	1	1	1	0	73	0	
コンビニエンスストア		25,844	818	0	812	723	0	4	2	1,125	0	
ドラッグストア		11,779	31	0	28	12	0	2	1	52	0	
その他のスーパーマーケット		38,505	120	1	113	31	2	4	2	380	0	
レンタルビデオ店		3,937	21	0	21	13	0	0	0	104	0	
貴金属店		599	10	0	10	9	0	0	0	4	0	
古物店		4,172	20	0	20	13	0	0	0	39	0	
給油所		4,919	21	2	18	9	0	1	0	156	0	
その他の商店		50,908	255	5	228	176	4	19	3	762	0	
サービス営業店		112,450	638	55	360	264	2	49	174	7,746	0	
生活環境営業		90,320	537	53	266	185	2	47	171	7,213	0	
一般ホテル・旅館		4,604	49	7	5	2	0	5	32	296	0	
サウナ等公衆浴場		5,193	2	0	1	0	0	1	0	133	0	
コインランドリー		2,731	3	0	2	0	0	1	0	14	0	
映画館・劇場等		664	1	0	0	0	0	1	0	38	0	
ぱちんこ屋・まあじゃん屋等		20,657	37	5	26	15	1	5	1	801	0	
票品交換所		84	6	0	6	3	0	0	0	3	0	
ゲームセンター		7,597	10	1	8	5	0	0	1	339	0	
その他の風俗営業店		2,023	21	3	12	10	0	3	3	338	0	
個室付浴場		48	0	0	0	0	0	0	0	9	0	
モーテル・ラブホテル等		1,501	113	6	24	11	0	1	82	102	0	
その他の特殊営業店		297	7	2	5	3	0	0	0	45	0	
カラオケボックス		2,699	32	1	13	4	0	1	17	491	0	
マンガ喫茶・インターネットカフェ		3,815	13	1	10	8	0	0	2	58	0	
深夜飲食店		10,251	81	11	38	25	1	8	24	2,271	0	
その他の飲食店		28,156	162	16	116	99	0	21	9	2,275	0	
金融機関等		11,641	97	1	93	79	0	1	2	185	0	
質屋		158	8	0	8	8	0	0	0	1	0	
貸金業		359	1	0	1	0	0	0	0	9	0	
銀行		6,854	11	0	10	6	0	1	0	75	0	
郵便局		2,081	68	1	66	59	0	0	1	63	0	
信用金庫・組合		1,084	6	0	6	5	0	0	0	16	0	
農(漁)業協同組合		1,105	3	0	2	1	0	0	1	21	0	
公営競技場		673	0	0	0	0	0	0	0	57	0	
競馬場		174	0	0	0	0	0	0	0	17	0	
競輪場		291	0	0	0	0	0	0	0	17	0	
オートレース場		39	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
競艇場		169	0	0	0	0	0	0	0	17	0	
スポーツ・行楽施設		9,816	4	1	1	0	0	1	1	291	0	
ゴルフ場		1,677	0	0	0	0	0	0	0	19	0	
その他のスポーツ施設		7,481	2	0	0	0	0	1	1	252	0	
遊園地動物園		658	2	1	1	0	0	0	0	20	0	
学校(幼稚園)		31,886	45	3	8	1	5	24	10	1,697	0	
病(医)院診療所		9,965	33	17	4	3	0	9	3	543	0	
神社仏閣		9,914	48	0	10	1	1	30	8	217	0	
街頭		685,599	2,293	220	1,635	8	1,154	89	349	32,301	4	
道路上		205,684	1,559	136	1,276	0	1,004	27	120	20,949	3	
コインパーキング		8,235	8	1	6	0	4	0	1	186	0	
月極駐車場		64,446	55	6	24	0	10	5	20	413	0	
その他の駐車場		139,055	310	29	191	6	83	27	63	3,926	0	
駐輪場		218,069	52	3	29	1	11	10	10	421	0	
都市公園		14,933	112	17	50	0	32	10	35	1,648	1	
空き地		8,588	58	4	7	0	3	9	38	256	0	
公共交通機関等		23,861	47	16	25	1	6	1	5	3,728	0	
地下鉄内		877	0	0	0	0	0	0	0	128	0	
新幹線内		321	0	0	0	0	0	0	0	33	0	
その他の列車内		5,579	0	0	0	0	0	0	0	674	0	
駅		13,387	24	5	18	1	4	0	1	2,551	0	
その他の鉄道施設		912	5	0	3	0	2	1	1	67	0	
航空機内		46	0	0	0	0	0	0	0	13	0	
空港		380	2	0	2	0	0	0	0	33	0	
船舶内		267	0	0	0	0	0	0	0	9	0	
海港		1,627	16	11	2	0	0	0	3	77	0	
バス内		465	0	0	0	0	0	0	0	143	0	
その他の交通機関		1,880	88	6	25	0	1	0	57	665	0	
タクシー内		1,137	16	0	16	0	0	0	0	342	0	
その他の自動車内		743	72	6	9	0	1	0	57	323	0	
その他の街頭		848	4	2	2	0	0	0	0	109	0	
地下街地下道路		494	1	1	0	0	0	0	0	72	0	
高速道路		354	3	1	2	0	0	0	0	37	0	
その他		85,906	401	57	102	8	31	127	115	2,917	0	

(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)(平成22年)

暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	窃盗犯				罪種・手口			発生場所
					侵入窃盗	乗り物盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	罪種・手口	発生場所	
29,593	26,547	2,298	5,202	1,213,442	136,552	464,775	23,775	73,491	367,509		総数	
5,065	5,928	1,029	777	266,222	78,592	114,306	3,105	26,928	84,273		住宅	
1,968	2,235	502	296	122,393	51,301	37,650	1,743	9,422	26,485		一戸建住宅	
3,097	3,693	527	481	143,829	27,291	76,656	1,362	17,506	57,788		共同住宅	
1,464	1,751	294	232	64,146	7,682	40,717	480	8,434	31,803		共同住宅(4階建以上)	
1,633	1,942	233	249	79,683	19,609	35,939	882	9,072	25,985		共同住宅(3階建以下)	
7,019	6,627	620	1,361	369,193	50,471	33,036	2,732	2,938	27,366		事務所等	
578	733	215	184	40,968	18,435	4,508	2,162	567	1,779		一般事務所	
5,756	4,372	299	1,033	290,613	25,192	17,903	503	1,838	15,562		店舗	
2,172	1,014	106	422	212,356	12,453	12,160	338	1,088	10,734		商店	
163	54	5	59	18,466	119	787	3	56	728		デパート	
368	170	20	107	53,781	304	3,961	14	260	3,687		総合スーパー	
46	18	7	2	11,913	106	216	6	25	185		ホームセンター	
55	14	1	3	6,019	115	191	0	14	177		家電量販店	
705	306	22	92	21,462	270	1,641	50	128	1,463		コンビニエンスストア	
37	12	1	2	11,299	216	265	0	17	248		ドラッグストア	
242	105	6	27	36,318	537	1,896	12	125	1,759		その他のスーパーマーケット	
59	31	3	11	3,299	198	653	1	60	592		レンタルビデオ店	
4	0	0	0	492	121	12	2	2	8		貴金属店	
28	7	1	3	3,613	440	278	26	24	228		古物店	
79	65	2	10	3,016	969	93	25	27	41		給油所	
386	232	38	106	42,678	9,058	2,167	199	350	1,618		その他の商店	
3,584	3,358	193	611	78,257	12,739	5,743	165	750	4,828		サービス営業店	
3,344	3,168	174	527	64,942	11,957	4,398	120	614	3,664		生活環境営業	
136	117	11	32	3,085	523	159	23	17	119		一般ホテル・旅館	
90	35	0	8	4,728	128	77	6	11	60		サウナ等公衆浴場	
7	7	0	0	2,452	144	14	1	4	9		コインランドリー	
19	14	3	2	514	8	74	1	6	67		映画館・劇場等	
530	218	13	40	17,055	151	754	32	171	551		ぱちんこ屋・まあじゃん屋等	
2	0	0	1	55	7	4	0	1	3		景品交換所	
171	97	6	65	6,412	68	927	7	99	821		ゲームセンター	
135	179	11	13	1,080	330	61	1	12	48		その他の風俗営業店	
3	3	0	3	32	8	0	0	0	0		個室付浴場	
34	45	7	16	689	75	6	3	0	3		モーテル・ラブホテル等	
17	20	3	5	158	41	5	0	1	4		その他の風俗営業店	
226	244	5	16	1,330	101	483	3	40	440		カラオケボックス	
37	15	2	4	3,077	51	90	4	12	74		マンガ喫茶・インターネットカフェ	
925	1,241	43	62	5,503	1,895	149	4	21	124		深夜飲食店	
1,012	933	70	260	18,772	8,427	1,595	35	219	1,341		その他の飲食店	
76	34	14	61	4,338	250	319	20	31	268		金融機関等	
0	0	0	1	78	15	0	0	0	0		質屋	
2	2	1	4	82	10	0	0	0	0		貸金業	
32	7	4	32	2,425	3	146	1	10	135		銀行	
30	19	4	10	717	25	73	0	8	65		郵便局	
4	1	0	11	342	12	37	0	5	32		信用金庫・組合	
8	5	5	3	694	185	63	19	8	36		農(漁)業協同組合	
39	16	1	1	495	15	167	2	45	120		公営競技場	
11	5	0	1	123	1	7	0	1	6		競馬場	
13	4	0	0	232	2	150	1	42	107		競輪場	
4	2	0	0	27	1	4	1	1	2		オートレース場	
11	5	1	0	113	11	6	0	1	5		競艇場	
125	140	4	22	8,482	517	859	23	60	776		スポーツ・行楽施設	
7	11	1	0	1,512	196	23	15	3	5		ゴルフ場	
113	117	3	19	6,409	309	803	7	55	741		その他のホ-ル施設	
5	12	0	3	561	12	33	1	2	30		遊園地動物園	
390	1,154	62	91	21,406	2,669	9,831	40	429	9,362		学校(幼稚園)	
233	244	40	26	7,928	1,881	592	15	84	493		病(医)院診療所	
62	124	4	27	8,278	2,294	202	12	20	170		神社仏閣	
16,358	12,602	501	2,836	511,291	198	305,037	15,409	41,281	248,347		街頭	
10,987	8,038	336	1,585	133,294	2	80,303	1,705	9,973	68,625		道路上	
72	84	1	29	6,169	2	517	286	61	170		コインパーキング	
133	196	7	77	47,162	34	8,065	5,437	1,202	1,426		月極駐車場	
1,530	1,706	77	613	95,831	44	26,734	7,202	6,639	12,893		その他の駐車場	
180	144	6	91	199,779	8	181,193	196	22,758	158,239		駐輪場	
442	949	23	233	8,388	23	2,217	12	148	2,057		都市公園	
81	145	4	26	5,895	2	1,977	541	298	1,138		空き地	
2,526	1,068	27	107	14,091	75	4,010	28	201	3,781		公共交通機関等	
93	32	2	1	652	0	0	0	0	0		地下鉄内	
26	7	0	0	259	0	0	0	0	0		新幹線内	
493	164	3	14	4,145	0	0	0	0	0		その他の列車内	
1,710	745	13	83	6,693	36	3,813	5	174	3,634		駅	
44	18	2	3	369	9	126	4	16	106		その他の鉄道施設	
10	3	0	0	27	0	0	0	0	0		航空機内	
18	12	2	1	246	1	4	0	0	4		空港	
3	5	0	1	231	0	2	0	0	2		船舶内	
25	44	4	4	1,310	29	65	19	11	35		海港	
104	38	1	0	159	0	0	0	0	0		バス内	
343	231	20	71	211	2	0	0	0	0		その他の交通機関	
235	83	3	21	111	0	0	0	0	0		タクシー内	
108	148	17	50	100	2	0	0	0	0		その他の自動車内	
64	41	0	4	471	6	21	2	1	18		その他の街頭	
42	26	0	4	277	2	15	0	0	15		地下街地下道路	
22	15	0	0	194	4	6	2	1	3		高速道路	
1,151	1,390	148	228	66,736	7,291	12,396	2,529	2,344	7,523		その他	

図表5 - 20 刑法犯の発生場所別認知件数

発生場所	罪種・手口	非侵入窃盗						知能犯	うち詐欺
		うちひったくり	うちすり	うち車上ねらい	うち部品ねらい	うち自動販売機ねらい			
総数		612,115	14,559	6,248	123,512	67,307	21,522	44,347	37,516
住宅		73,324	88	0	16,597	13,166	809	12,532	12,090
一戸建住宅		33,442	0	0	9,841	3,959	234	8,513	8,265
共同住宅		39,882	88	0	6,756	9,207	575	4,019	3,825
共同住宅(4階建以上)		15,747	69	0	2,598	4,842	268	2,273	2,176
共同住宅(3階建以下)		24,135	19	0	4,158	4,365	307	1,746	1,649
事業所等		285,686	113	2,786	8,423	3,195	9,217	23,473	18,766
一般事務所		18,025	1	9	1,654	1,802	3,769	3,500	2,231
店舗		247,518	103	2,593	5,039	1,137	5,059	19,678	16,302
商店		187,743	66	1,183	2,757	821	2,693	7,179	5,497
デパート		17,560	13	332	62	15	28	357	258
総合スーパー		49,516	25	382	484	89	221	640	472
ホームセンター		11,591	0	10	109	14	81	181	156
家電量販店		5,713	0	11	45	10	20	530	394
コンビニエンスストア		19,551	1	27	518	41	51	752	539
ドラッグストア		10,818	0	10	127	10	81	137	84
その他のスーパーマーケット		33,885	21	220	570	32	290	415	300
レンタルビデオ店		2,448	1	8	165	7	30	250	199
貴金属店		359	0	0	3	5	1	54	41
古物店		2,895	0	9	88	59	15	219	179
給油所		1,954	2	2	48	24	99	994	951
その他の商店		31,453	3	172	538	515	1,776	2,650	1,924
サービス営業店		59,775	37	1,410	2,282	316	2,366	12,499	10,805
生活環境営業		48,587	33	1,266	1,884	218	1,206	6,701	6,345
一般ホテル・旅館		2,403	2	17	95	16	47	718	670
サウナ等公衆浴場		4,523	0	17	189	8	31	121	112
コインランドリー		2,294	0	1	25	2	613	7	7
映画館・劇場等		432	0	58	5	1	2	5	4
ぱちんこ屋・まあじゃん屋等		16,150	19	240	614	67	140	437	389
景品交換所		44	1	1	1	1		6	3
ゲームセンター		5,417	6	321	97	33	85	47	29
その他の風俗営業店		689	1	27	14	5	21	140	127
個室付浴場		24	0	0	0	0	0	2	1
モーテル・ラブホテル等		608	0	7	38	3	5	423	415
その他の風俗営業店		112	0	2	1	1	2	7	4
カラオケボックス		746	2	13	51	8	2	285	276
マンガ喫茶・インターネットカフェ		2,936	0	44	57	3	14	538	525
深夜飲食店		3,459	0	345	62	7	9	1,127	1,095
その他の飲食店		8,750	2	173	635	63	235	2,838	2,688
金融機関等		3,769	2	40	63	51	167	5,705	4,399
質屋		63	0	1	0	0	0	30	21
貸金業		72	0	0	0	0	3	224	144
銀行		2,276	2	30	18	12	0	3,658	2,913
郵便局		619	0	4	6	8	4	1,017	765
信用金庫・組合		293	0	4	10	1	3	613	450
農(漁)業協同組合		446	0	1	29	30	157	163	106
公営競技場		313	1	47	15	15	10	27	16
競馬場		115	0	14	1	3	3	12	8
競輪場		80	1	13	10	9	0	5	4
オートレース場		22	0	3	1	1	4	3	0
競艇場		96	0	17	3	2	3	7	4
スポーツ・行楽施設		7,106	1	57	320	32	983	66	45
ゴルフ場		1,293	0	0	70	6	299	27	22
その他のスポーツ施設		5,297	1	39	239	25	646	27	16
遊園地動物園		516	0	18	11	1	38	12	7
学校(幼稚園)		8,906	4	25	1,330	198	325	88	74
病(医)院診療所		5,455	4	49	183	50	30	180	138
神社仏閣		5,782	1	110	217	8	34	27	21
街頭		206,056	14,205	3,122	95,185	48,946	6,377	6,517	5,675
道路上		52,989	13,986	729	18,966	3,392	2,887	3,464	3,096
コインパーキング		5,650	6	3	4,177	729	314	15	12
月極駐車場		39,063	14	0	18,705	18,153	122	43	31
その他の駐車場		69,053	113	24	43,057	17,664	1,839	575	491
駐輪場		18,578	25	4	7,171	7,948	104	48	27
都市公園		6,148	25	55	1,532	62	492	39	31
空き地		3,916	3	5	1,301	577	458	13	8
公共交通機関等		10,006	29	2,274	231	416	156	1,613	1,500
地下鉄内		652	2	347	0	0	0	2	2
新幹線内		259	0	39	0	0	0	4	2
その他の列車内		4,145	3	1,539	0	0	0	30	28
駅		2,844	19	285	37	72	115	1,463	1,408
その他の鉄道施設		234	5	9	22	17	13	26	24
航空機内		27	0	1	0	0	0	1	0
空港		241	0	10	7	3	1	52	14
船舶内		229	0	2	1	31	0	1	1
海港		1,216	0	2	164	293	27	4	3
バス内		159	0	40	0	0	0	30	18
その他の交通機関		209	0	14	0	0	0	654	447
タクシー内		111	0	4	0	0	0	578	381
その他の自動車内		98	0	10	0	0	0	76	66
その他の街頭		444	4	14	45	5	5	53	32
地下街地下道路		260	4	13	1	1	4	14	11
高速道路		184	0	1	44	4	1	39	21
その他		47,049	153	340	3,307	2,000	5,119	1,825	985

(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)(平成22年)

風俗犯	うち強制わいせつ	その他の刑法犯	うち占有離脱物横領	うち公務執行妨害	うち住居侵入	うち略取誘拐・人身売買	うち器物損壊等	罪種・手口	発生場所
10,893	7,027	245,952	55,837	2,969	22,027	185	156,717		総数
2,354	1,701	62,067	4,007	247	13,644	34	42,512		住宅
540	366	28,527	334	102	7,649	11	19,765		一戸建住宅
1,814	1,335	33,540	3,673	145	5,995	23	22,747		共同住宅
1,060	775	16,408	1,885	71	1,976	13	11,986		共同住宅(4階建以上)
754	560	17,132	1,788	74	4,019	10	10,761		共同住宅(3階建以下)
1,707	694	43,493	5,018	407	6,837	20	28,735		事務所等
142	58	8,414	340	172	1,866	0	5,546		一般事務所
1,356	454	24,013	3,571	201	3,053	12	15,590		店舗
654	176	11,405	1,900	52	1,485	8	7,290		商店
41	24	582	121	5	32	0	392		デパート
71	39	1,903	451	5	117	5	1,169		総合スーパー
8	2	227	49	0	38	0	129		ホームセンター
1	1	129	17	0	29	0	78		家電量販店
116	22	1,571	485	18	49	2	925		コンビニエンスストア
10	5	250	29	0	40	0	157		ドラッグストア
47	14	1,225	310	5	141	1	662		その他のスーパーマーケット
60	7	203	54	2	22	0	118		レンタルビデオ店
0	0	39	0	0	13	0	26		貴金属店
18	10	263	20	0	67	0	113		古物店
2	0	730	174	3	67	0	476		給油所
280	52	4,283	190	14	870	0	3,045		その他の商店
702	278	12,608	1,671	149	1,568	4	8,300		サービス営業店
647	260	10,280	1,319	139	1,377	3	6,986		生活環境営業
50	44	406	30	7	81	1	244		一般ホテル・旅館
25	20	184	43	2	32	0	99		サウナ等公衆浴場
18	5	237	26	0	21	0	187		コインランドリー
30	3	76	18	2	3	0	49		映画館・劇場等
26	5	2,301	669	5	91	0	1,466		ばちんこ屋・まあじゃん屋等
0	0	14	0	0	1	0	10		景品交換所
39	7	750	179	4	29	0	502		ゲームセンター
158	8	286	12	7	40	0	204		その他の風俗営業店
0	0	5	0	0	0	0	4		個室付浴場
21	20	153	3	2	16	0	116		モーテル・ラブホテル等
47	2	33	5	1	6	0	19		その他の風俗営業店
40	37	521	48	11	18	0	418		カラオケボックス
17	8	112	37	2	11	0	59		マンガ喫茶・インターネットカフェ
56	38	1,213	40	43	182	0	893		深夜飲食店
120	63	3,989	209	53	846	2	2,716		その他の飲食店
22	0	1,294	176	5	65	0	641		金融機関等
0	0	41	1	0	2	0	15		質屋
0	0	43	0	0	5	0	35		貸金業
0	0	685	112	3	10	0	244		銀行
22	0	194	15	1	12	0	115		郵便局
0	0	107	31	1	4	0	61		信用金庫・組合
0	0	224	17	0	32	0	171		農(漁)業協同組合
1	0	93	47	2	4	0	29		公営競技場
1	0	21	12	1	1	0	4		競馬場
0	0	37	19	0	0	0	13		競輪場
0	0	3	2	0	0	0	0		オートレース場
0	0	32	14	1	3	0	12		競艇場
32	18	941	129	3	122	1	644		スポーツ・行楽施設
2	1	117	9	0	20	0	72		ゴルフ場
28	16	763	100	3	92	0	547		その他のスポーツ施設
2	1	61	20	0	10	1	25		遊園地動物園
106	94	8,544	931	7	1,382	5	5,995		学校(幼稚園)
53	48	1,228	69	22	190	2	809		病(医)院診療所
50	40	1,294	107	5	346	1	795		神社仏閣
6,238	4,245	126,959	44,528	1,882	195	121	77,068		街頭
4,331	3,013	42,087	25,848	1,475	3	89	12,958		道路上
14	7	1,843	50	7	5	0	1,771		コインパーキング
120	104	16,653	471	19	6	3	16,116		月極駐車場
525	278	37,888	2,093	202	48	20	35,143		その他の駐車場
135	95	17,634	12,124	14	7	0	5,092		駐輪場
353	203	4,393	1,960	13	38	5	2,163		都市公園
74	52	2,292	1,099	14	0	2	1,122		空き地
579	403	3,803	841	87	84	2	2,485		公共交通機関等
48	32	47	5	5	0	0	36		地下鉄内
0	0	25	2	0	0	0	22		新幹線内
354	270	376	66	2	0	0	295		その他の列車内
121	63	2,535	650	64	63	2	1,652		駅
12	8	433	61	3	3	0	210		その他の鉄道施設
2	2	3	0	1	0	0	1		航空機内
1	1	46	21	4	4	0	13		空港
0	0	26	2	0	6	0	13		船舶内
5	4	215	27	1	8	0	164		海港
36	23	97	7	7	0	0	79		バス内
83	74	179	14	42	0	0	83		その他の交通機関
9	9	81	9	3	0	0	66		タクシー内
74	65	98	5	39	0	0	17		その他の自動車内
24	16	187	28	9	4	0	135		その他の街頭
20	15	110	12	6	0	0	87		地下街地下道路
4	1	77	16	3	4	0	48		高速道路
594	387	13,433	2,284	433	1,351	10	8,402		その他

図 表 索 引

1	1 - 1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2	1 - 2	包括罪種別の認知・検挙状況の推移	2
3	1 - 3 - (1)	刑法犯 死傷被害者数の推移	3
4	1 - 3 - (2)	財産犯 被害額の推移	3
5	2 - 1	街頭犯罪の認知状況の推移	7
6	2 - 1 - (1) - 1	路上強盗の認知・検挙状況の推移	8
7	2 - 1 - (1) - 2	路上強盗の発生場所別認知件数	9
8	2 - 1 - (1) - 3	路上強盗の発生時間帯別認知件数	9
9	2 - 1 - (1) - 4	路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成22年)	9
10	2 - 1 - (1) - 5	路上強盗の共犯形態別検挙件数	9
11	2 - 1 - (1) - 6	路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段	10
12	2 - 1 - (2) - 1	ひったくりの認知・検挙状況の推移	11
13	2 - 1 - (2) - 2	ひったくりの発生場所別認知件数	11
14	2 - 1 - (2) - 3	ひったくりの発生時間帯別認知件数	11
15	2 - 1 - (2) - 4	ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数(平成22年)	12
16	2 - 1 - (2) - 5	ひったくりの共犯形態別検挙件数	12
17	2 - 1 - (2) - 6	ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段	12
18	2 - 1 - (3) - 1	強姦の認知・検挙状況の推移	13
19	2 - 1 - (3) - 2	街頭における強姦の発生場所別認知件数	13
20	2 - 1 - (3) - 3	街頭における強姦の発生時間帯別認知件数	13
21	2 - 1 - (3) - 4	街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数(平成22年)	14
22	2 - 1 - (3) - 5	強姦の共犯形態別検挙件数	14
23	2 - 1 - (4) - 1	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	15
24	2 - 1 - (4) - 2	街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数	15
25	2 - 1 - (4) - 3	街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数	15
26	2 - 1 - (4) - 4	街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数(平成22年)	16
27	2 - 1 - (4) - 5	強制わいせつの共犯形態別検挙件数	16
28	2 - 1 - (5) - 1	略取誘拐の認知・検挙状況の推移	17
29	2 - 1 - (5) - 2	街頭における略取誘拐の発生場所別認知件数	17
30	2 - 1 - (5) - 3	街頭における略取誘拐の発生時間帯別認知件数	17
31	2 - 1 - (5) - 4	街頭における略取誘拐の被害者の年齢別認知件数(平成22年)	18
32	2 - 1 - (5) - 5	略取誘拐の共犯形態別検挙件数	18
33	2 - 1 - (6) - 1	街頭における暴行・傷害・恐喝の認知・検挙状況の推移	19
34	2 - 1 - (6) - 2	街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数	20
35	2 - 1 - (6) - 3	街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成22年)	20
36	2 - 1 - (6) - 4	街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況	21
37	2 - 1 - (7) - 1	自動車盗の認知・検挙状況の推移	22
38	2 - 1 - (7) - 2	自動車盗の発生場所別認知件数	23
39	2 - 1 - (7) - 3	自動車盗のキーの有無別認知件数の推移	23
40	2 - 1 - (7) - 4	自動車盗の被害額別認知件数の推移	23
41	2 - 1 - (7) - 5	被害自動車の還付数・還付率の推移	23
42	2 - 1 - (7) - 6	自動車盗の共犯形態別検挙件数	24
43	2 - 1 - (8) - 1	オートバイ盗の認知・検挙状況の推移	25
44	2 - 1 - (8) - 2	オートバイ盗の発生場所別認知件数	25
45	2 - 1 - (8) - 3	オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移	25
46	2 - 1 - (8) - 4	被害オートバイの還付数・還付率の推移	26
47	2 - 1 - (8) - 5	オートバイ盗の共犯形態別検挙件数	26
48	2 - 1 - (9) - 1	自転車盗の認知・検挙状況の推移	27
49	2 - 1 - (9) - 2	自転車盗の発生場所別認知件数	27
50	2 - 1 - (9) - 3	自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移	27
51	2 - 1 - (9) - 4	被害自転車の還付数・還付率の推移	28
52	2 - 1 - (9) - 5	自転車盗の共犯形態別検挙件数	28
53	2 - 1 - (9) - 6	自転車盗の年齢別検挙人員	28
54	2 - 1 - (10) - 1	車上ねらいの認知・検挙状況の推移	29
55	2 - 1 - (10) - 2	車上ねらいの発生場所別認知件数	29
56	2 - 1 - (10) - 3	車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移	30
57	2 - 1 - (10) - 4	車上ねらいの共犯形態別検挙件数	30

58	2 - 1 - (10) - 5	車上ねらいの年齢別検挙人員	3 0
59	2 - 1 - (11) - 1	部品ねらいの認知・検挙状況の推移	3 1
60	2 - 1 - (11) - 2	部品ねらいの発生場所別認知件数	3 1
61	2 - 1 - (11) - 3	部品ねらいの共犯形態別検挙件数	3 2
62	2 - 1 - (11) - 4	部品ねらいの年齢別検挙人員	3 2
63	2 - 1 - (12) - 1	自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移	3 3
64	2 - 1 - (12) - 2	自動販売機ねらいの発生場所別認知件数	3 4
65	2 - 1 - (12) - 3	自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数	3 4
66	2 - 1 - (12) - 4	自動販売機ねらいの年齢別検挙人員	3 4
67	2 - 2	侵入犯罪の認知状況の推移	3 5
68	2 - 2 - (1) - 1	侵入強盗の認知・検挙状況の推移	3 6
69	2 - 2 - (1) - 2	侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移	3 6
70	2 - 2 - (1) - 3	侵入強盗の発生場所別認知件数	3 6
71	2 - 2 - (1) - 4	侵入強盗の発生時間帯別認知件数	3 7
72	2 - 2 - (1) - 5	侵入強盗の共犯形態別検挙件数	3 7
73	2 - 2 - (2) - 1	侵入窃盗の認知・検挙状況の推移	3 8
74	2 - 2 - (2) - 2	侵入窃盗の発生場所別認知件数	3 8
75	2 - 2 - (2) - 3	侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成22年）	3 9
76	2 - 2 - (2) - 4	ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移	3 9
77	2 - 2 - (2) - 5	ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移	3 9
78	2 - 2 - (2) - 6	侵入窃盗の共犯形態別検挙件数	4 0
79	2 - 2 - (3) - 1	住居侵入の認知・検挙状況の推移	4 1
80	2 - 2 - (3) - 2	住居侵入の発生場所別認知件数	4 1
81	2 - 2 - (3) - 3	住居侵入の共犯形態別検挙件数	4 2
82	3 - 1 - (1)	重要犯罪の認知・検挙状況の推移	4 5
83	3 - 1 - (2) - 1	殺人事件の認知・検挙状況の推移	4 6
84	3 - 1 - (2) - 2	殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）	4 6
85	3 - 1 - (2) - 3	殺人事件の発生場所別認知件数の状況（平成22年）	4 6
86	3 - 1 - (2) - 4	殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成22年）	4 6
87	3 - 1 - (2) - 5	殺人事件の年齢別検挙人員	4 7
88	3 - 1 - (2) - 6	捜査本部設置・解決状況の推移	4 8
89	3 - 1 - (2) - 7	通り魔殺人事件の認知・検挙の推移	4 8
90	3 - 1 - (2) - 8	保険金目的殺人事件の検挙件数の推移	4 9
91	3 - 1 - (2) - 9	殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係	5 0
92	3 - 1 - (3) - 1	強盗事件の認知・検挙状況の推移	5 1
93	3 - 1 - (3) - 2	強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）	5 1
94	3 - 1 - (3) - 3	強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成22年）	5 2
95	3 - 1 - (3) - 4	強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移	5 2
96	3 - 1 - (3) - 5	強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）	5 2
97	3 - 1 - (3) - 6	強盗事件の年齢別検挙人員	5 2
98	3 - 1 - (3) - 7	金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	5 3
99	3 - 1 - (3) - 8	金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳	5 4
100	3 - 1 - (3) - 9	金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成22年）	5 4
101	3 - 1 - (3) - 10	防犯設備の設置・活用状況（平成22年）（金融機関・郵便局対象）	5 4
102	3 - 1 - (3) - 11	消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移	5 5
103	3 - 1 - (3) - 12	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	5 5
104	3 - 1 - (3) - 13	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成22年）	5 5
105	3 - 1 - (3) - 14	防犯設備の設置・活用状況（平成22年）（深夜スーパーマーケット等対象）	5 6
106	3 - 1 - (3) - 15	ばちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移	5 6
107	3 - 1 - (3) - 16	ばちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数（平成22年）	5 6
	3 - 1 - (3) - 17	ばちんこ商品買取所対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	5 7
108	3 - 1 - (3) - 18	ばちんこ商品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成22年）	5 7
109	3 - 1 - (3) - 19	現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	5 7
110	3 - 1 - (3) - 20	タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移	5 8
111	3 - 1 - (3) - 21	タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成22年）	5 8
112	3 - 1 - (3) - 22	防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成22年）	5 8
113	3 - 1 - (3) - 23	強盗の山口別認知件数	5 9

114	3 - 1 - (3) - 24	強盗の山口別検挙件数・検挙率	5 9
115	3 - 1 - (3) - 25	強盗の山口別検挙人員	5 9
116	3 - 1 - (4) - 1	強姦の認知・検挙状況の推移	6 0
117	3 - 1 - (4) - 2	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	6 0
118	3 - 1 - (4) - 3	主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）	6 0
119	3 - 1 - (4) - 4	主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）	6 1
120	3 - 1 - (4) - 5	強姦の年齢別検挙人員	6 1
121	3 - 1 - (4) - 6	強制わいせつの年齢別検挙人員	6 1
122	3 - 1 - (5) - 1	略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移	6 2
123	3 - 1 - (5) - 2	略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成22年）	6 2
124	3 - 1 - (5) - 3	略取誘拐・人身売買事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）	6 2
125	3 - 1 - (5) - 4	略取誘拐・人身売買事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）	6 3
126	3 - 1 - (5) - 5	略取誘拐・人身売買の年齢別検挙人員	6 3
127	3 - 1 - (5) - 6	身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移	6 3
128	3 - 1 - (6) - 1	放火事件の認知・検挙状況の推移	6 4
129	3 - 1 - (6) - 2	放火事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成22年）	6 4
130	3 - 1 - (6) - 3	放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成22年）	6 4
131	3 - 1 - (6) - 4	放火の年齢別検挙人員	6 5
132	3 - 2 - (1) - 1	重要窃盗犯山口別認知・検挙状況の推移	6 6
133	3 - 2 - (1) - 2	侵入盗の年齢別検挙人員	6 7
134	3 - 2 - (1) - 3	侵入盗のうち住宅対象の年齢別検挙人員	6 7
135	3 - 2 - (1) - 4	侵入盗のうち住宅対象以外の年齢別検挙人員	6 7
136	3 - 2 - (1) - 5	自動車盗の年齢別検挙人員	6 8
137	3 - 2 - (1) - 6	ひったくりの年齢別検挙人員	6 8
138	3 - 2 - (1) - 7	すりの年齢別検挙人員	6 8
139	3 - 2 - (2)	組織窃盗事件（登録・認定）数の推移	6 9
140	3 - 2 - (3)	建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移	7 0
141	3 - 3 - 1	振り込め詐欺の認知・検挙状況	7 1
142	3 - 3 - 2	振り込め詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）	7 1
143	3 - 3 - (1) - 1	オレオレ詐欺の認知・検挙状況	7 2
144	3 - 3 - (1) - 2	オレオレ詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）	7 2
145	3 - 3 - (2) - 1	架空請求詐欺の認知・検挙状況	7 3
146	3 - 3 - (2) - 2	架空請求詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）	7 3
147	3 - 3 - (3) - 1	融資保証金詐欺の認知・検挙状況	7 4
148	3 - 3 - (3) - 2	融資保証金詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）	7 4
149	3 - 3 - (4) - 1	還付金等詐欺の認知・検挙状況	7 5
150	3 - 3 - (4) - 2	還付金等詐欺の被害者性別・年齢別構成（平成22年中）	7 5
151	3 - 3 - (5) - 1	口座詐欺等の検挙状況	7 6
152	3 - 3 - (5) - 2	改正本人確認法等の検挙状況	7 6
153	3 - 3 - (5) - 3	携帯電話端末詐欺・携帯電話不正利用防止法違反の検挙状況	7 7
154	3 - 4	詐欺の認知・検挙状況の推移	7 7
155	3 - 5 - (1) - 1	政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数	7 8
156	3 - 5 - (1) - 2	公職選挙法違反事件の検挙件数・人員	8 0
157	3 - 5 - (2)	金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移	8 2
158	3 - 5 - (3)	偽造日本銀行券の発見枚数の推移	8 3
159	3 - 6 - (2)	公然わいせつの認知・検挙状況の推移	8 4
160	3 - 6 - (3)	わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移	8 4
161	3 - 6 - (4)	賭博の認知・検挙状況の推移	8 5
162	3 - 7	人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移	8 5
163	3 - 8 - (1) - 1	高齢者の刑法犯検挙人員の推移	8 7
164	3 - 8 - (1) - 2	高齢者の包括罪種別検挙人員の推移	8 7
165	3 - 8 - (2) - 1	薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移	8 8
166	3 - 8 - (2) - 2	薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移	8 8
167	3 - 8 - (3) - 1	銃器使用事件の認知件数の推移	8 9
168	3 - 8 - (3) - 2	刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移	8 9
169	3 - 8 - (3) - 3	殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数	9 0
170	3 - 8 - (3) - 4	猟銃等使用事件の発生状況	9 0
171	3 - 8 - (4) - 1	カードの窃盗被害の状況（平成22年）	9 0
172	3 - 8 - (4) - 2	カード偽造犯罪の認知・検挙状況	9 1

173	3 - 8 - (4) - 3	カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成22年）	9 2
174	3 - 8 - (4) - 4	カードを使用した詐欺の状況（平成22年）	9 2
175	3 - 8 - (5) - 1	暴行の認知・検挙状況	9 2
176	3 - 8 - (5) - 2	傷害の認知・検挙状況	9 2
177	3 - 8 - (5) - 3	傷害致死の認知・検挙状況	9 2
178	3 - 8 - (5) - 4	暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無	9 3
179	3 - 8 - (5) - 5	暴行の年齢別検挙人員	9 3
180	3 - 8 - (5) - 6	傷害の年齢別検挙人員	9 3
181	3 - 8 - (5) - 7	万引きの認知・検挙状況	9 4
182	3 - 8 - (5) - 8	置引きの認知・検挙状況	9 4
183	3 - 8 - (5) - 9	万引きの年齢別検挙人員	9 4
184	3 - 8 - (5) - 10	置引きの年齢別検挙人員	9 4
185	3 - 8 - (5) - 11	公務執行妨害の認知・検挙状況	9 5
186	3 - 8 - (5) - 12	公務執行妨害の年齢別検挙人員	9 5
187	3 - 8 - (5) - 13	器物損壊の認知・検挙状況	9 5
188	3 - 8 - (5) - 14	器物損壊の年齢別検挙人員	9 5
189	3 - 9 - (1)	少年による刑法犯検挙人員の推移	9 6
190	3 - 9 - (2)	初発型非行検挙人員の推移	9 7
191	3 - 9 - (3)	触法少年（刑法）の補導状況の推移	9 8
192	3 - 10 - (1)	来日外国人の刑法犯検挙状況の推移	9 9
193	3 - 10 - (2) - 1	国籍・地域別検挙状況	9 9
194	3 - 10 - (2) - 2	検挙人員構成比	9 9
195	3 - 10 - (3)	来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移	10 0
196	3 - 10 - (4) - 1	来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移	10 1
197	3 - 10 - (4) - 2	刑法犯検挙件数の罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）	10 1
198	3 - 10 - (5)	来日外国人の罪種等別・在留資格別検挙人員の比較	10 2
199	3 - 11 - (1) - 1	暴力団構成員等の推移	10 3
200	3 - 11 - (1) - 2	主要3団体の暴力団構成員等の比較	10 3
201	3 - 11 - (2) - 1	暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移	10 4
202	3 - 11 - (2) - 2	暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移	10 5
203	3 - 11 - (2) - 3	暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移	10 5
204	3 - 12 - (1) - 1	女性の刑法犯被害件数	10 6
205	3 - 12 - (1) - 2	罪種別被害状況（女性）	10 7
206	3 - 12 - (1) - 3	年齢層別の犯罪被害件数（平成22年）（女性）	10 8
207	3 - 12 - (1) - 4	罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）（女性）	10 8
208	3 - 12 - (1) - 5	配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移	10 9
209	3 - 12 - (2) - 1	子どもの刑法犯被害件数	11 0
210	3 - 12 - (2) - 2	罪種別被害状況（子ども）	11 1
211	3 - 12 - (2) - 3	就学別の犯罪被害件数（平成22年）	11 2
212	3 - 12 - (2) - 4	就学別・場所別被害発生件数（平成22年）	11 3
213	3 - 12 - (2) - 5	罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）（子ども）	11 3
214	3 - 12 - (2) - 6	罪種別被害発生件数（子ども対象・暴力的性犯罪）	11 3
215	3 - 12 - (3) - 1	高齢者の刑法犯被害件数	11 4
216	3 - 12 - (3) - 2	罪種別被害状況（高齢者）	11 5
217	3 - 12 - (3) - 3	罪種別・場所別被害発生件数（平成22年）（高齢者）	11 6
218	4 - 1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	11 9
219	4 - 2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	12 0
220	4 - 3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	12 2
221	4 - 4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	12 4
222	4 - 5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	12 6
223	4 - 6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	12 8
224	4 - 7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	12 8
225	4 - 8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	13 0
226	4 - 9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	13 0
227	4 - 10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	13 2
228	4 - 11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	13 2
229	4 - 12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	13 4
230	4 - 13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	13 4
231	4 - 14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	13 6

232	4 - 15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 3 6
233	4 - 16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	1 3 8
234	4 - 17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	1 4 0
235	4 - 18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	1 4 2
236	4 - 19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	1 4 4
237	4 - 20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	1 4 6